

第 18 回 県民意識調査報告書

調査テーマ

「ひょうごの環境と今後の再生可能エネルギー」

平成 24 年度

兵 庫 県

目次

調査の概要

1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収結果	1
4	標本抽出および集計方法	2
5	回答者のプロフィール	3
6	標本誤差	4

調査の結果

1	「ひょうごの環境」に関することについて	5
	問1 特に関心を持っている環境問題	5
	問2 住居周辺の環境の満足度	8
	問3 環境をよくする活動への関わり	17
	問3-2 環境をよくする活動への参加のきっかけ	34
	問4 普段の生活の中での省エネルギーや省資源・リサイクル活動	37
	問5 環境学習で重視すること	49
	問6 県が環境学習を推進する上で特に重要と思われること	52
2	「再生可能エネルギーの利用」に関することについて	55
	問7 再生可能エネルギーの認知度	55
	問8 家庭や地域における再生可能エネルギー等設備の導入状況	70
	問9 家庭で再生可能エネルギー等を導入する際の課題や問題点	87
	問10 再生可能エネルギーを普及させるための経済的負担	90
	問11 再生可能エネルギーの普及促進を図るために県が進めるべき取り組み	93
3	毎年調査項目	96
	問12 今の生活全般での満足度	96
	問13 今の生活の個別側面での満足度	100
	問14 去年と比べた生活の向上感	140
	問15 大地震発生の可能性	144
	問16 地域活動への参加状況	148
	問17 県政への関心	150
	問18 県政への評価	155
	問19 県民局の認知度	188
	問20 県民情報番組「ひょうごワイワイ」の視聴	191

調査票

第18回	県民意識調査「ひょうごの環境と再生可能エネルギー」調査票	194
------	------------------------------	-----

調査結果を読む際の注意

結果数値(%)は0.1%未満を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。

グラフ中のカテゴリーの順番が、調査票と異なることがある。

グラフ・表中での選択肢表記は、語句を短縮・簡略化していることがある。

調査の概要

1 調査目的

本調査は県民の価値観や行動志向、行政への評価・要望など、県民生活の基本的な意識の経年変化を大きな潮流として捉えることにより、政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としている。今回は、年次テーマを「ひょうごの環境と今後の再生可能エネルギー」とし、第3次兵庫県環境基本計画の見直しを前に、県民の環境問題に対する意識や取り組みと、東日本大震災後、関心が高まっている節電への取り組みや再生可能エネルギーのあり方について調査する。

2 調査設計

- (1) 調査地域 兵庫県全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 調査方法 郵送法（ハガキによる督促1回）
- (5) 調査時期 平成24年9月7日(金)～9月26日(水)
- (6) 県民意識調査委員会
設問作成にあたり、県民意識調査委員会を設置して、下記の学識経験者から指導・助言を得た。

立木 茂雄 （同志社大学教授）

鳥越 皓之 （早稲田大学教授）

中瀬 勲 （兵庫県立大学教授・県立人と自然の博物館副館長）

吉田 三千代 （(株)サンケイリビング新聞社 企画開発部長）

[五十音順]

3 回収結果

回収数 2,819件(回収率56.4%)

地域	標本数	回収数	回収率	無効票	有効回答
神戸	500	258	51.6%	1	257
阪神南	500	244	48.8%	0	244
阪神北	500	277	55.4%	1	276
東播磨	500	288	57.6%	1	287
北播磨	500	295	59.0%	3	292
中播磨	500	266	53.2%	1	265
西播磨	500	294	58.8%	1	293
但馬	500	323	64.6%	3	320
丹波	500	302	60.4%	3	299
淡路	500	270	54.0%	1	269
地域不明	-	2	-	2	0
全県	5000	2,819	56.4%	17	2,802

無効票は属性不明等

4 標本抽出および集計方法

- (1) 母集団 住民基本台帳（H24.3.31）に記載された県民数に、外国人登録者数から推計した外国人県民（成人）数を加えたものを母集団とした。
- (2) 標本配分 地域ごとに500の標本数を都市規模別母集団構成比に応じて配分（合計5,000人）した。
 なお、外国人県民については、市区町ごとに、母集団（日本人+外国人県民）における外国人県民比率を計算し、各市区町の合計標本数（日本人+外国人県民）に、外国人県民比率を乗じ、外国人標本数を算出した。
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出法
 - ・住民基本台帳（H24.3.31）に記載された県民数を母集団数とし、10の地域毎に500の標本数を市町別・男女別・年齢10歳階級別の母集団構成比に応じて配分した。
 - ・各地点における対象者の抽出は、住民基本台帳から等間隔抽出法で抽出した。
 - ・外国人県民については、市区町ごとに外国人録名簿等から無作為抽出した。
- (4) 集計方法 地域ごとの回収数について、全県内の母集団構成比を復元するよう重み付け集計をした。

地 域 区 分



県民局	該当市町
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町
丹波	篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

5 回答者のプロフィール

性別 (%)

	男性	女性	不明
全県	41.3	57.2	1.5
神戸	40.5	57.6	1.9
阪神南	41.0	57.0	2.0
阪神北	42.4	56.5	1.1
東播磨	41.1	57.8	1.0
北播磨	46.2	52.7	1.0
中播磨	41.9	57.0	1.1
西播磨	39.6	59.0	1.4
但馬	39.4	59.1	1.6
丹波	43.5	55.9	0.7
淡路	38.7	60.6	0.7

年齢 (%)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明
全県	7.6	12.0	16.4	16.8	22.1	15.9	7.6	1.5
神戸	8.9	9.7	15.2	16.3	23.0	18.7	6.2	1.9
阪神南	7.0	13.1	19.3	14.8	20.5	14.8	8.6	2.0
阪神北	7.2	15.9	19.6	17.8	17.4	14.9	6.2	1.1
東播磨	8.0	10.8	17.1	16.0	25.8	12.5	8.7	1.0
北播磨	5.8	15.1	12.7	16.8	25.7	13.7	9.2	1.0
中播磨	7.9	14.3	15.5	21.9	19.6	14.3	5.3	1.1
西播磨	6.8	11.9	15.4	16.0	24.6	18.1	5.8	1.4
但馬	6.3	8.8	13.4	15.9	22.2	18.8	13.1	1.6
丹波	7.0	8.0	12.0	19.7	22.1	17.7	12.7	0.7
淡路	4.1	8.2	10.8	17.1	27.1	16.7	14.9	1.1

職業 (%)

	職業別								不明
	自営業	正規社員 (職員)	会社等の 役員	契約・ 派遣社員	パート・ アルバイト	主婦 (主夫)	学生	その他 無職	
全県	8.8	26.0	2.7	4.7	12.8	18.9	1.3	23.2	1.7
神戸	7.4	23.7	2.7	4.7	11.3	21.0	1.2	26.1	1.9
阪神南	5.7	27.5	3.3	5.3	9.8	21.7	1.2	23.4	2.0
阪神北	6.5	29.0	2.5	5.1	14.9	19.2	1.1	20.7	1.1
東播磨	8.4	27.9	0.3	4.2	12.5	19.2	1.7	24.7	1.0
北播磨	11.3	26.0	3.4	5.8	18.2	13.4	0.3	20.5	1.0
中播磨	10.9	29.8	4.5	3.0	16.2	16.2	1.9	16.2	1.1
西播磨	9.6	22.2	3.1	6.8	16.0	15.7	1.4	21.8	3.4
但馬	9.6	22.2	3.1	6.8	16.0	15.7	1.4	21.8	3.4
丹波	19.7	24.7	1.7	3.3	12.0	12.4	1.0	23.1	2.0
淡路	22.7	17.8	1.5	3.0	14.1	13.4	0.7	25.3	1.5

世帯構成 (%)

	1人世帯	夫婦だけ (1世代)	親と子ども (2世代)	親と子と孫 (3世代)	その他	不明
全県	8.0	26.1	50.0	11.5	2.8	1.5
神戸	9.3	30.4	49.0	6.6	2.7	1.9
阪神南	12.3	26.2	48.8	7.8	2.9	2.0
阪神北	6.9	24.3	54.3	8.7	4.7	1.1
東播磨	5.2	27.5	55.1	10.1	1.4	0.7
北播磨	4.5	20.2	44.5	27.1	2.7	1.0
中播磨	4.9	22.3	54.7	15.5	1.5	1.1
西播磨	6.8	21.2	45.4	20.5	3.8	2.4
但馬	6.9	23.8	39.4	25.3	2.8	1.9
丹波	4.7	19.7	43.8	27.4	3.0	1.3
淡路	9.3	26.4	41.3	19.3	3.0	0.7

6 標本誤差

世論調査で無作為抽出法をとった場合は、数学的に標本誤差を計算することが可能であり、誤差の幅はサンプル数と得られた結果の比率などによって異なる。

今回の調査のサンプル数についての標本誤差の幅は、以下のとおりである。

誤差の算出式

(層化抽出、信頼度95%の場合)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(100 - P)}{n}}$$

N:母集団 n:回答者総数 P:回答比率(%)

例:サンプル数2,819の場合

回答比率 (%)	10% (または90%)	20% (または80%)	30% (または70%)	40% (または60%)	50%
誤差(%)	±1.13	±1.51	±1.73	±1.85	±1.89

調査の結果

1 『ひょうごの環境』に関することについて

問1 特に関心を持っている環境問題

問1

現在、地球規模に及ぶさまざまな環境問題が生じています。次の中から、あなたが特に関心をもっていることを2つまで選んで番号に をつけてください。

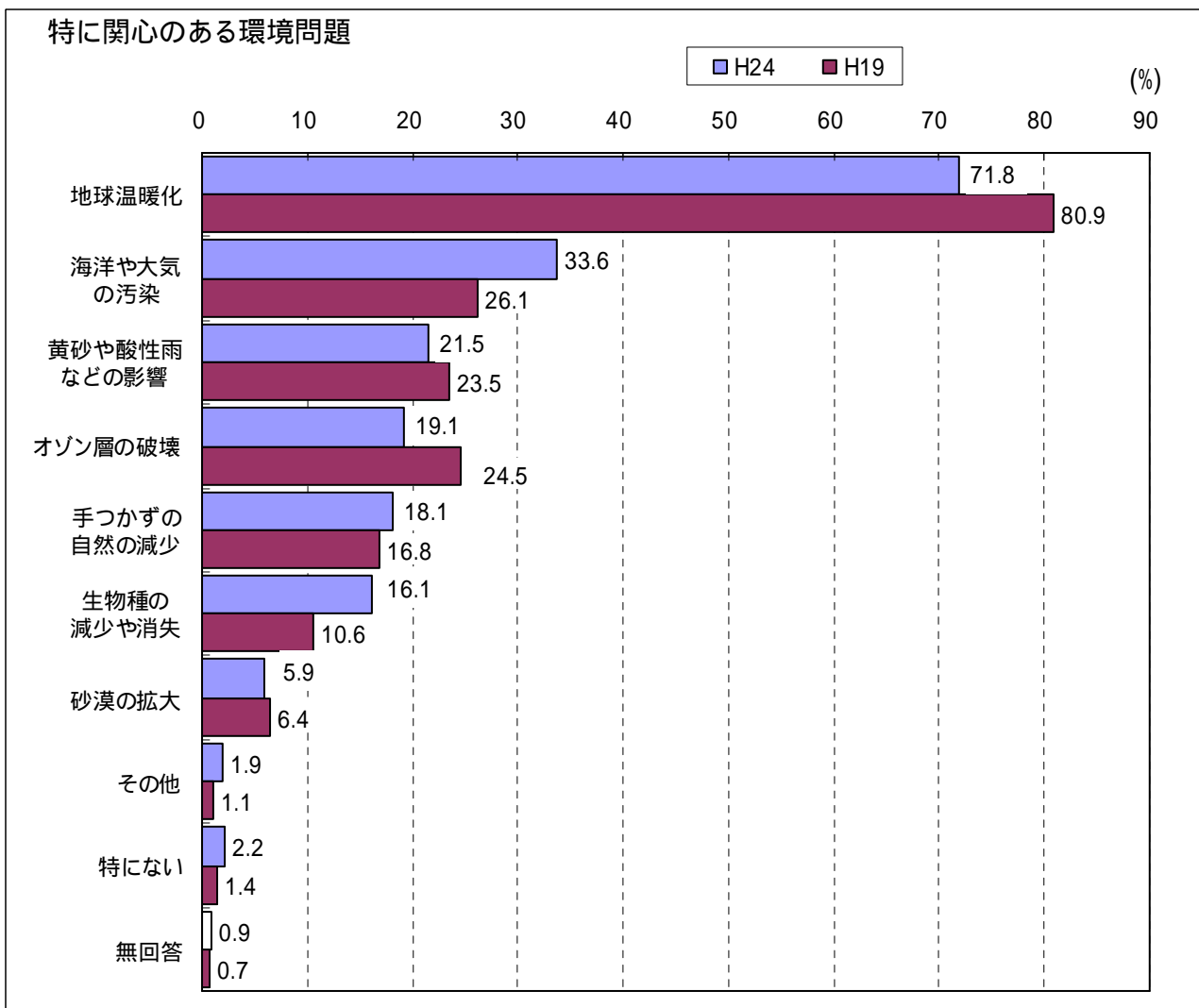
- | | |
|---------------|-----------|
| 1 手つかずの自然の減少 | 6 オゾン層の破壊 |
| 2 砂漠の拡大 | 7 地球温暖化 |
| 3 生物種の減少や消失 | 8 その他 |
| 4 海洋や大気汚染 | 9 特にない |
| 5 黄砂や酸性雨などの影響 | |

【全 県】

「地球温暖化」が7割を超え突出している。次いで「海洋や大気汚染」が3割強、「黄砂や酸性雨などの影響」、「オゾン層の破壊」、「手つかずの自然の減少」が2割前後となっている。

【H19調査との比較】

前回調査と比較すると、最も関心が高いのは「地球温暖化」で同じであるが、H19に比べ9.1ポイント減少している。一方、「海洋や大気汚染」ではH19に比べ7.5ポイント増加している。



【地域別】

全県で最も関心が高かった「地球温暖化」は、西播磨が8割を超え最も多く、神戸が最も低くなっているが、「海洋や大気汚染」や「黄砂や酸性雨などの影響」では共に神戸の関心が最も高い。

特に関心をもっている環境問題【地域別】						最大値	最小値	（%）		
	減少 手つかずの自然の	砂漠の 拡大	失生物種 の減少や消	海洋や大気 の汚染	黄砂や酸性 雨などの影 響	オゾン層 の破壊	地球温暖 化	その他	特にな い	無回 答
全 県	18.1	5.9	16.1	33.6	21.5	19.1	71.8	1.9	2.2	0.9
地域別										
神 戸	20.2	6.6	15.6	38.1	24.1	19.1	65.4	1.9	1.6	0.8
阪神南	18.9	7.8	17.6	29.1	13.9	19.3	73.4	2.9	2.9	1.6
阪神北	20.3	4.7	16.3	37.0	23.9	16.7	70.7	2.2	2.9	0.4
東播磨	15.0	3.1	15.7	33.4	22.0	20.9	76.3	0.7	2.4	0.7
北播磨	15.8	5.8	11.6	30.1	24.0	22.3	74.0	1.0	2.1	1.0
中播磨	14.7	6.0	15.1	35.8	23.4	20.0	74.3	2.3	1.5	0.4
西播磨	14.3	5.8	18.8	26.6	20.8	17.4	80.2	1.4	0.7	2.0
但 馬	18.4	4.7	22.2	24.4	23.8	15.3	72.5	2.2	5.0	0.9
丹 波	18.7	4.7	15.7	25.8	23.4	20.7	77.3	0.7	3.3	1.0
淡 路	17.8	5.6	11.5	32.0	18.2	19.7	78.1	2.2	1.9	1.1
地域間の差	6.0	4.7	10.7	13.8	10.2	6.9	14.8	2.2	4.3	1.7

【性別、性・年代別】

性別で見ると、「地球温暖化」「海洋や大気の大汚染」「黄砂や酸性雨などの影響」など、全県で関心が高かった項目は、男性よりも女性の関心が高い。

特に関心をもっている環境問題【性別】

(%)

	減少 手つかずの自然の	砂漠の拡大	失生物種の減少や消	海洋や大気の大汚染	黄砂や酸性雨などの影響	オゾン層の破壊	地球温暖化	その他	特にない	無回答
全 県	18.1	5.9	16.1	33.6	21.5	19.1	71.8	1.9	2.2	0.9
性別										
男 性	20.2	8.5	17.2	32.9	19.6	19.7	66.6	2.2	2.8	0.8
女 性	16.5	3.9	15.6	34.2	23.1	18.7	75.6	1.8	1.8	1.0
性別間の差	3.7	4.6	1.6	1.3	3.4	1.0	9.0	0.4	1.0	0.2

特に関心をもっている環境問題【性・年代別】

最大値

最小値

(%)

	減少 手つかずの自然の	砂漠の拡大	失生物種の減少や消	海洋や大気の大汚染	黄砂や酸性雨などの影響	オゾン層の破壊	地球温暖化	その他	特にない	無回答
全 県	18.1	5.9	16.1	33.6	21.5	19.1	71.8	1.9	2.2	0.9
性・年代別										
男 性										
20代	18.7	15.2	20.1	41.1	13.7	18.4	49.6	7.1	5.6	0.3
30代	14.9	13.2	19.3	35.8	17.0	16.6	58.0	5.5	6.7	1.4
40代	20.6	11.4	23.6	28.0	15.2	20.7	66.8	1.6	2.6	0.0
50代	22.2	8.1	18.3	34.8	17.6	20.0	66.7	1.3	1.4	1.5
60代	23.5	6.6	11.9	32.4	24.8	21.2	68.6	0.9	1.5	0.3
70代	15.4	4.9	10.5	33.3	24.4	18.5	78.6	1.7	2.1	1.5
80歳以上	24.2	2.2	24.2	25.7	18.4	21.0	68.1	0.0	2.9	0.2
年代間の差	9.3	12.9	13.6	15.4	11.2	4.7	29.0	7.1	5.3	1.5
女 性										
20代	15.4	6.5	25.3	24.3	23.5	22.2	78.7	0.0	0.0	0.0
30代	10.6	9.1	12.9	41.7	23.9	18.7	69.7	5.2	2.0	8.6
40代	15.0	5.4	16.7	32.7	25.9	19.4	77.9	1.3	1.1	0.0
50代	11.9	1.9	14.7	36.9	25.5	24.9	73.6	2.8	0.6	0.2
60代	18.7	2.3	12.8	38.1	21.0	16.9	76.7	0.4	2.4	0.9
70代	22.3	2.5	18.4	28.0	18.4	14.3	80.6	1.5	1.8	2.6
80歳以上	20.6	2.3	11.1	33.0	25.4	15.3	66.0	1.7	6.0	4.5
年代間の差	11.7	7.2	14.2	17.4	7.4	10.6	14.6	5.2	6.0	8.6

問2 住居周辺の環境の満足度

問2

あなたは、お住まいの周辺の環境にどの程度満足していますか。次のア～カについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に をつけてください。

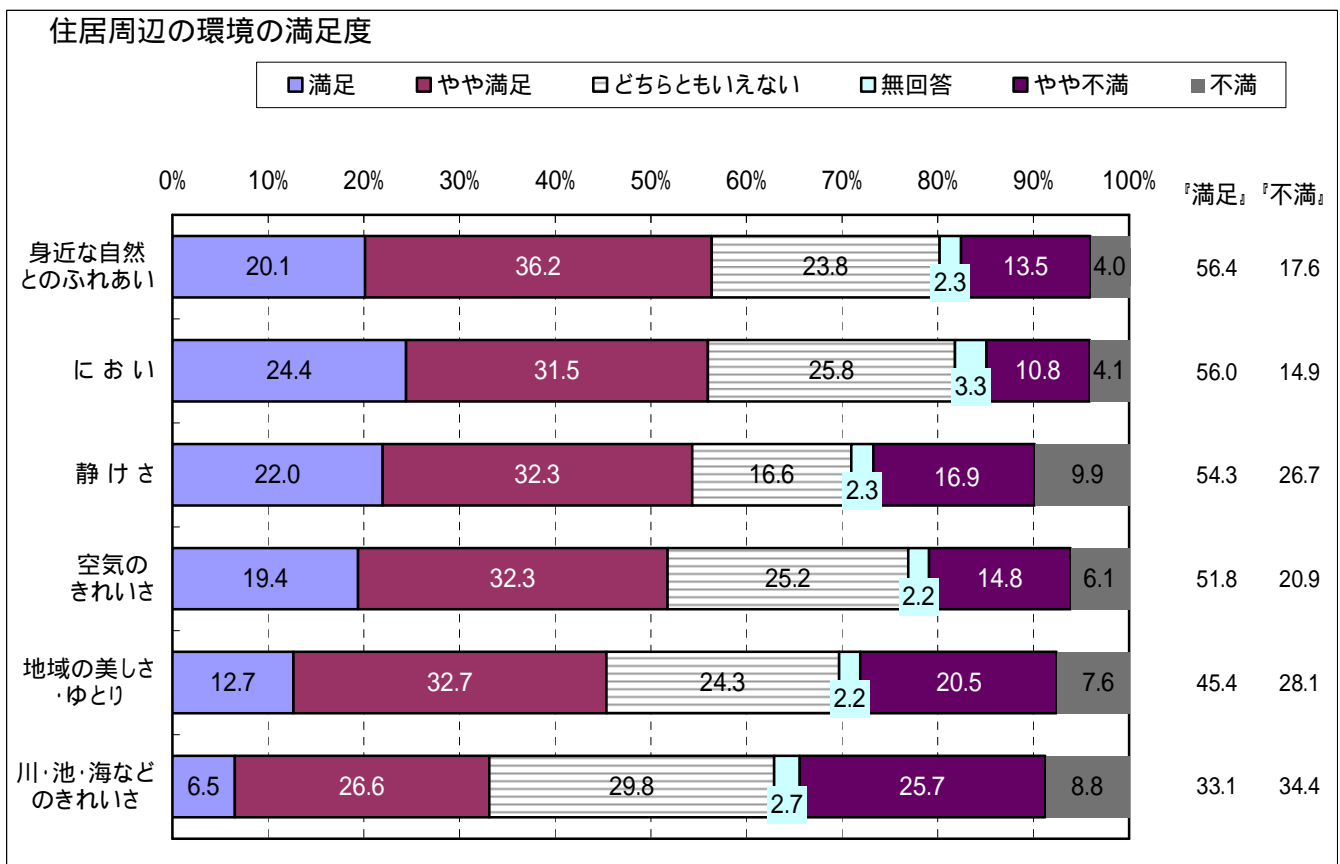
- ア 空気のきれいさ（粉じん、排気ガスなど）
- イ 川・池・海などのきれいさ（汚れ、濁り、水辺のごみなど）
- ウ におい（工場、飲食店等のおいなど）
- エ 静けさ（車、鉄道、近隣からの騒音など）
- オ 身近な自然とのふれあい（田畑や公園の緑、動植物など）
- カ 地域の美しさ・ゆとり（街路樹、ごみ、違法駐車など）

- 1 満足
- 2 やや満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満

【全 県】

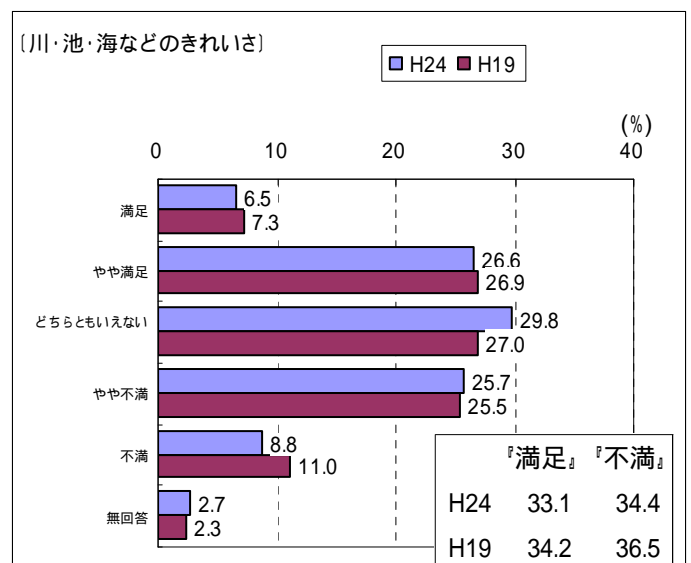
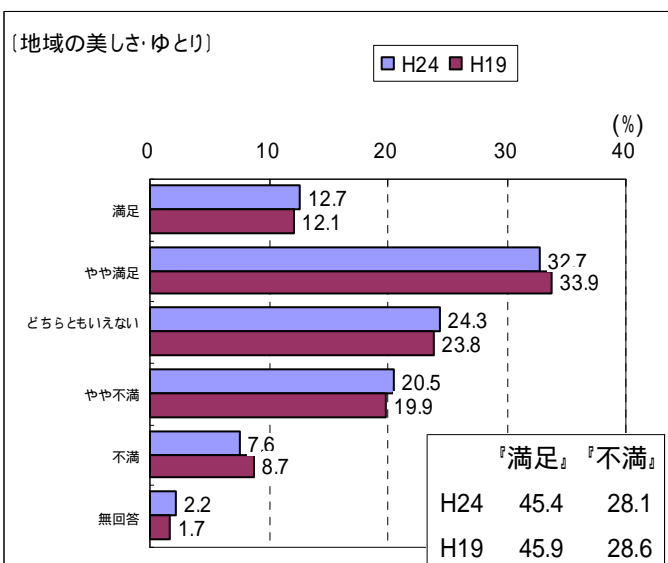
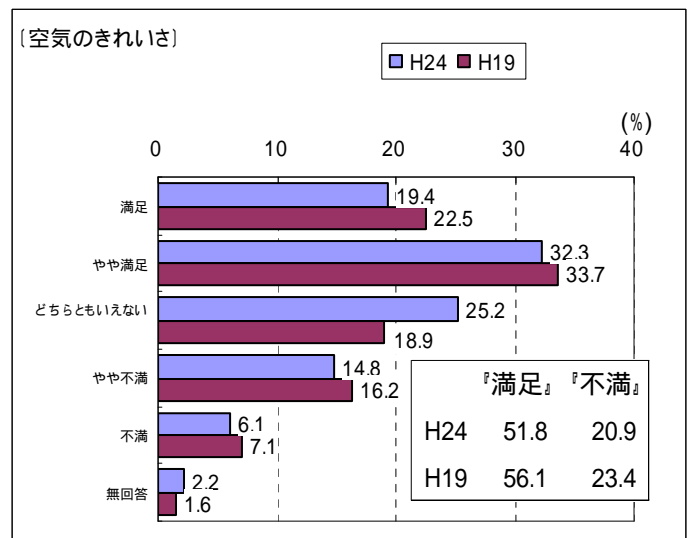
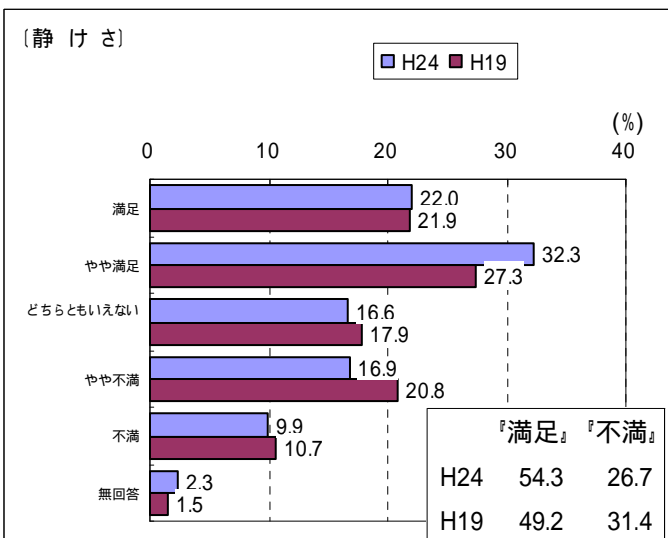
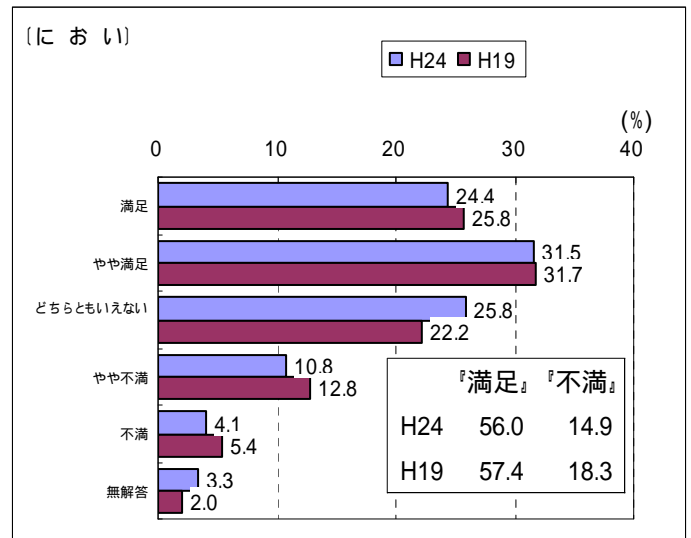
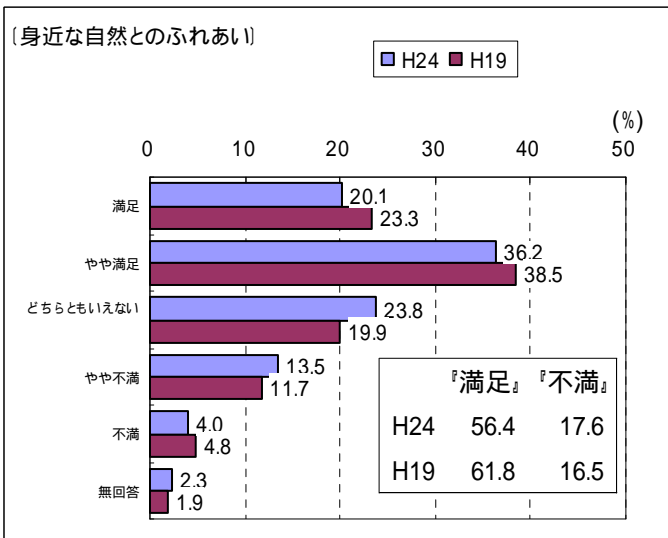
ア～カまでの6項目のうち、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』では、〔身近な自然とのふれあい〕、〔におい〕、〔静けさ〕、〔空気のきれいさ〕が5割を超え満足度が高い。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』では、〔川・池・海などのきれいさ〕、〔地域の美しさ・ゆとり〕、〔静けさ〕の不満度が高い。



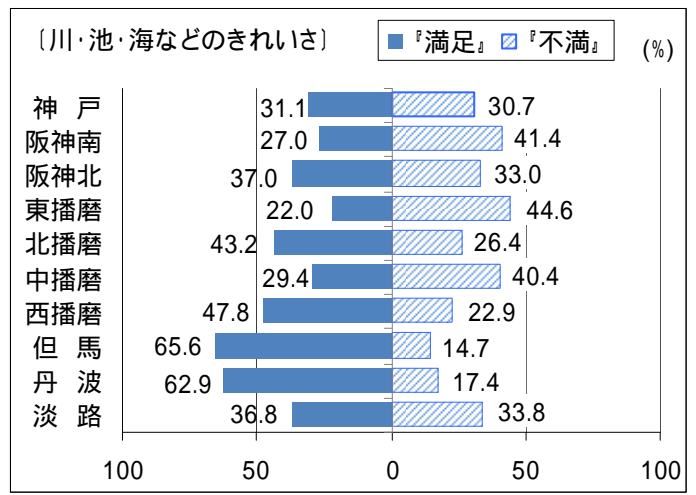
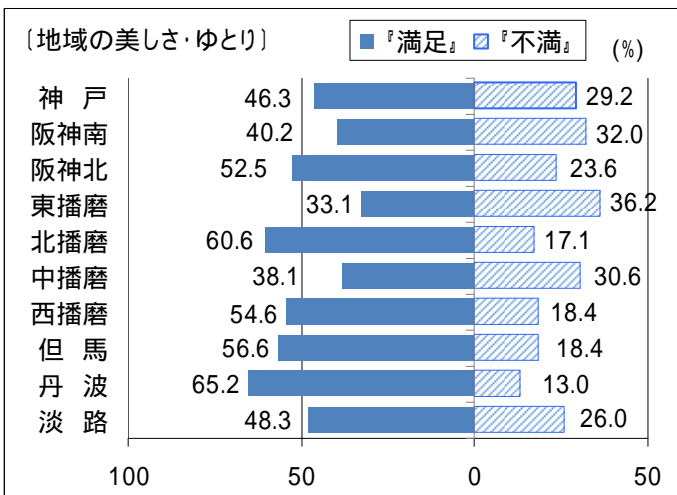
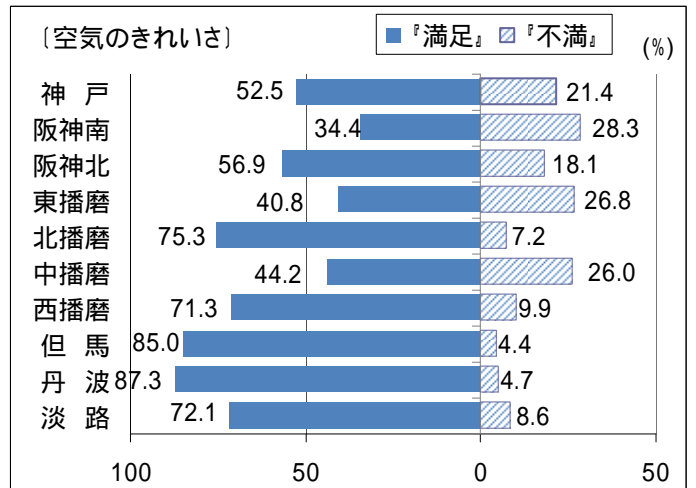
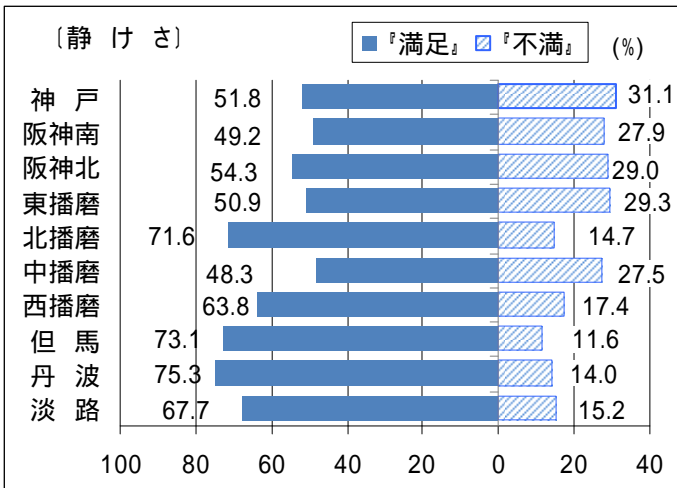
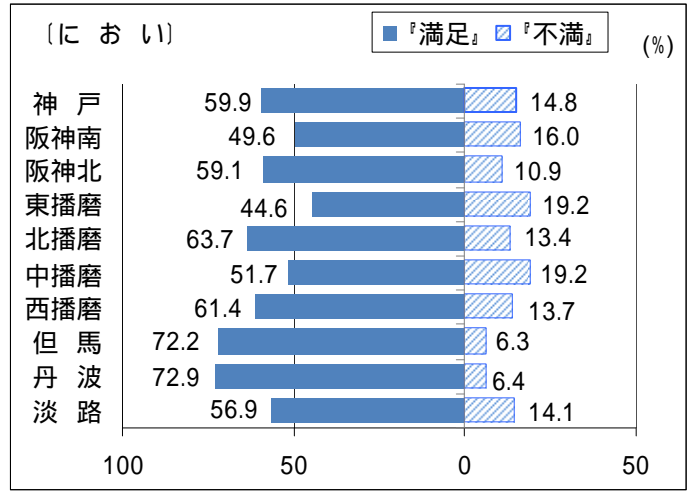
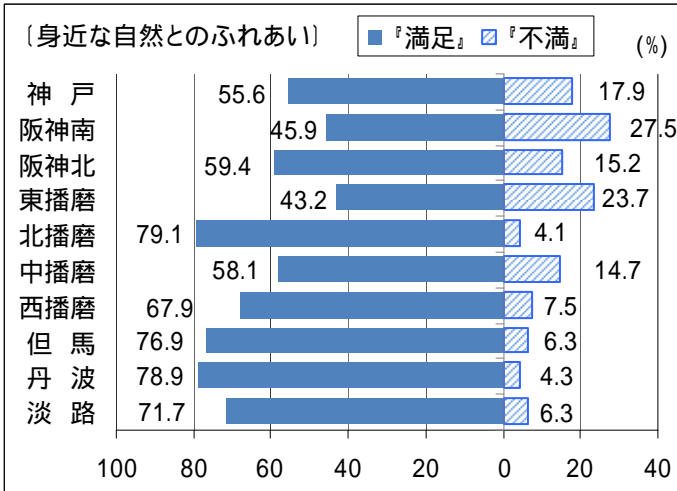
【H19調査との比較】

項目別にH19調査と比較すると、『満足』の割合が前回は上回っているのは〔静けさ〕のみ(5.1ポイント増加)となっている。また、『不満』の割合は〔身近な自然とのふれあい〕を除き減少している。



【地域別】

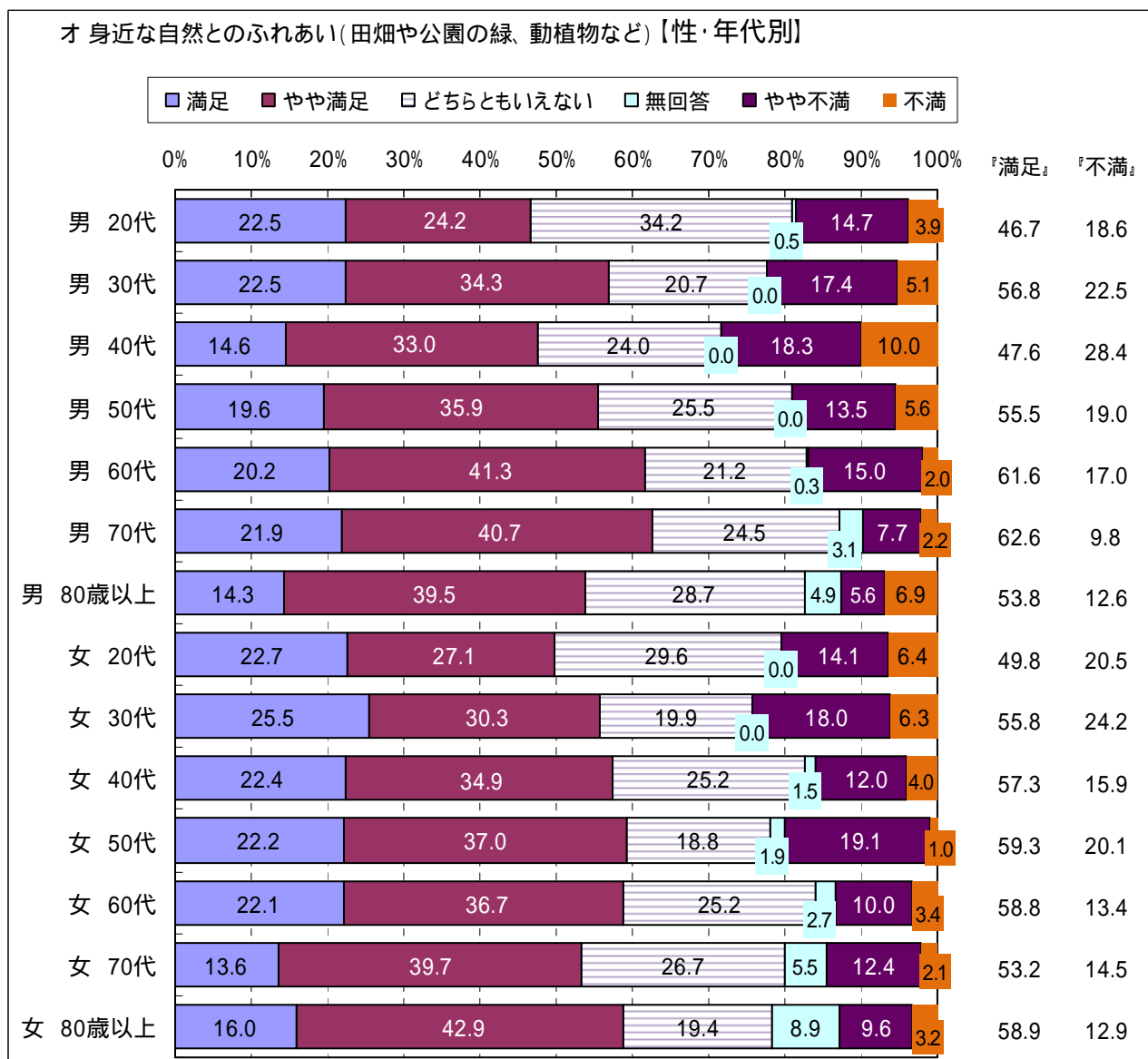
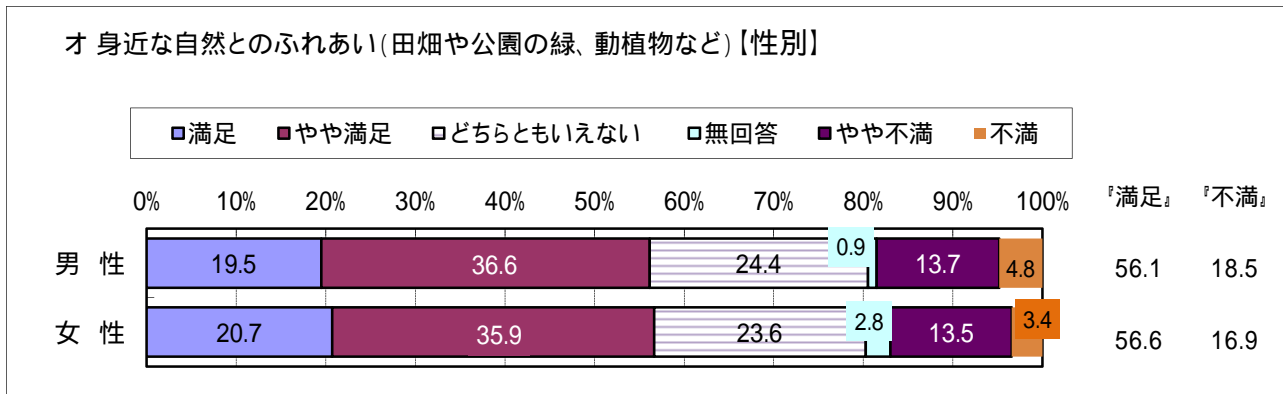
全ての項目において、都市部よりも農村部で満足度が高い傾向が窺える。



〔身近な自然とのふれあい〕

【性別、性・年代別】

性別による違いはあまりみられないが、性・年代別では、男性20・40代と女性20代では『満足』が低く5割を下回っている。



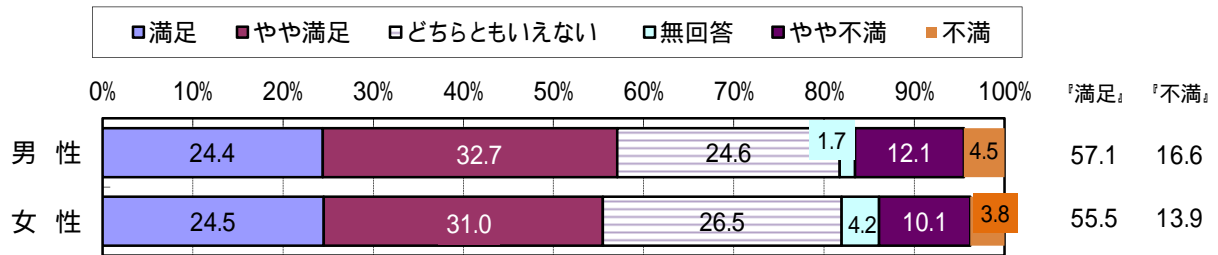
〔に お い〕

【性別、性・年代別】

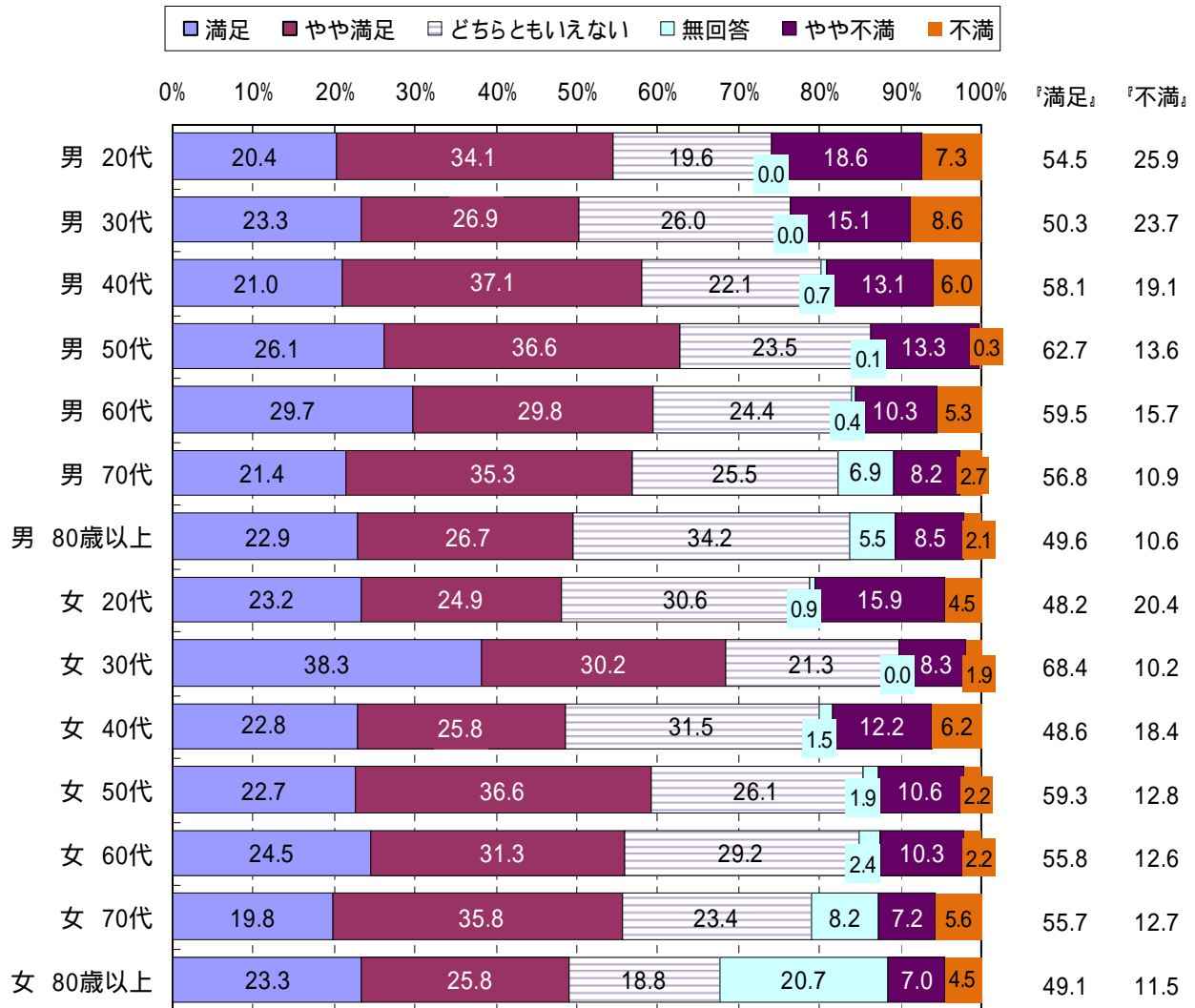
性別で見ると、女性よりもわずかに男性の満足度が高くなっている。

性・年代別で見ると、女性の30代の満足度が約7割と突出して高くなっている。

ウにおい(工場、飲食店等のおいなど)【性別】



ウにおい(工場、飲食店等のおいなど)【性・年代別】

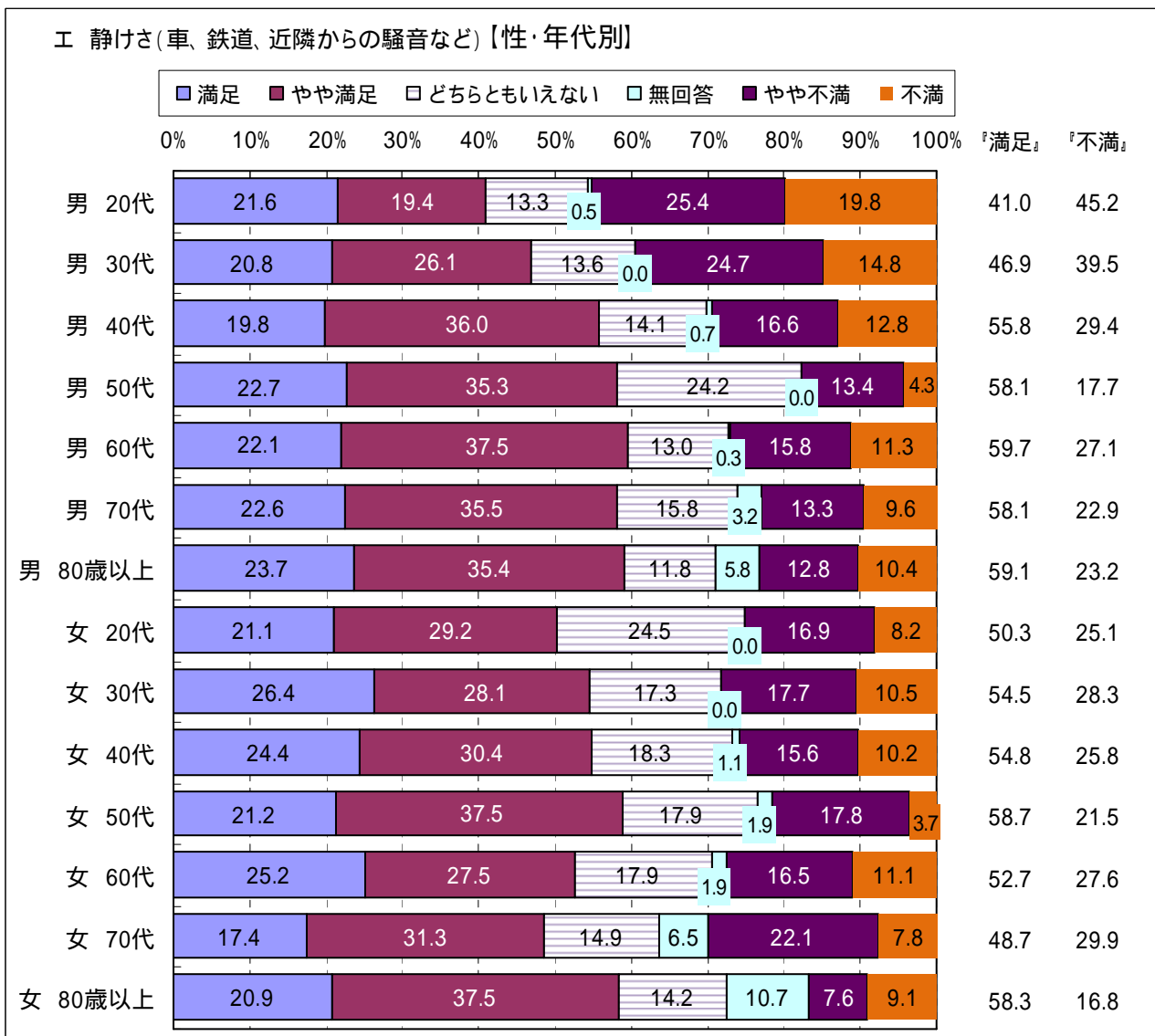
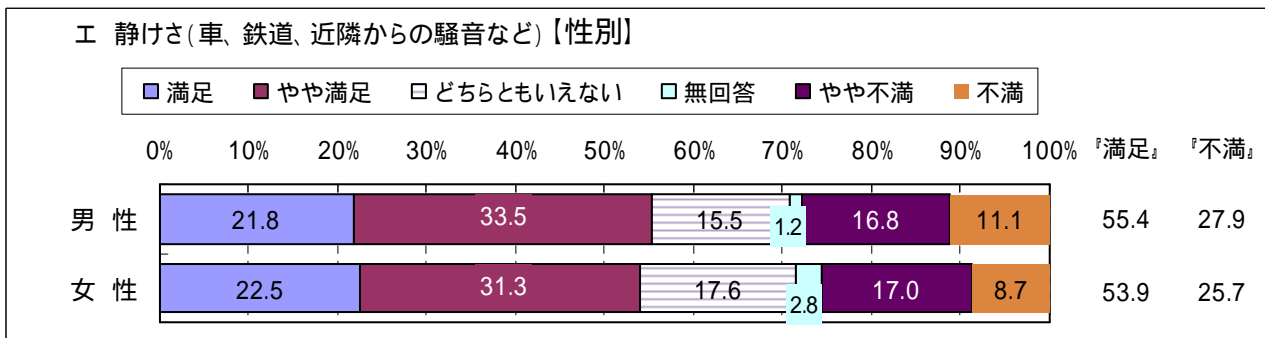


〔静けさ〕

【性別、性・年代別】

性別で見ると、女性よりもわずかに男性の満足度が高くなっている。

性・年代別で見ると、男性の満足度は20～30代で低いものの、40代以上はいずれも約6割となっている。一方の女性は50代と80歳以上を除き5割前後に留まっている

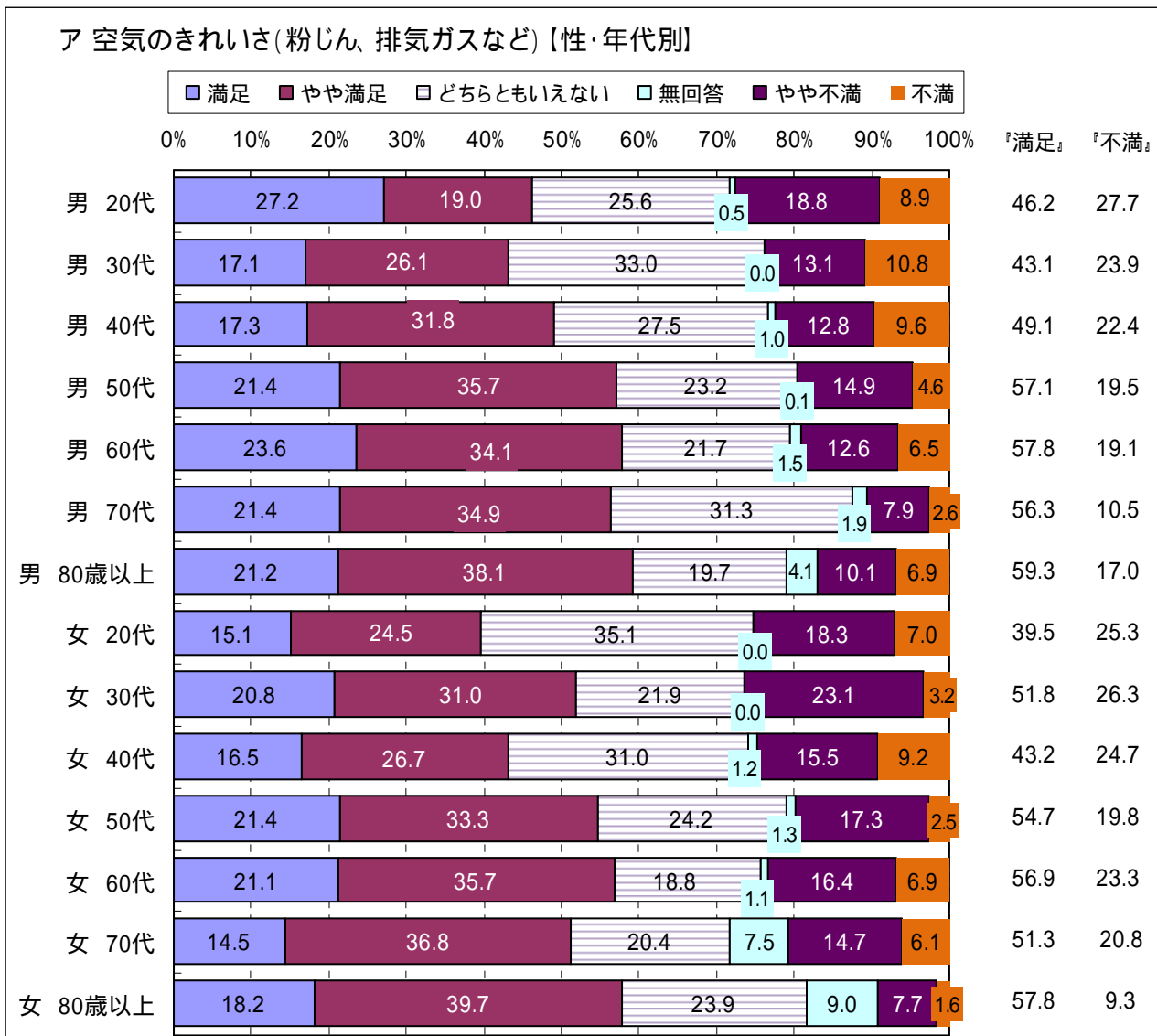
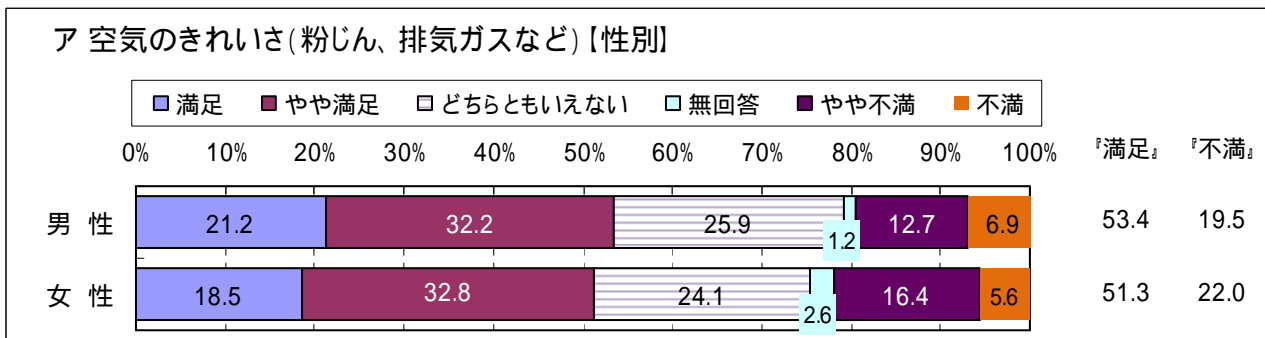


〔空気のきれいさ〕

【性別、性・年代別】

性別で見ると、女性よりもわずかに男性の満足度が高くなっている。

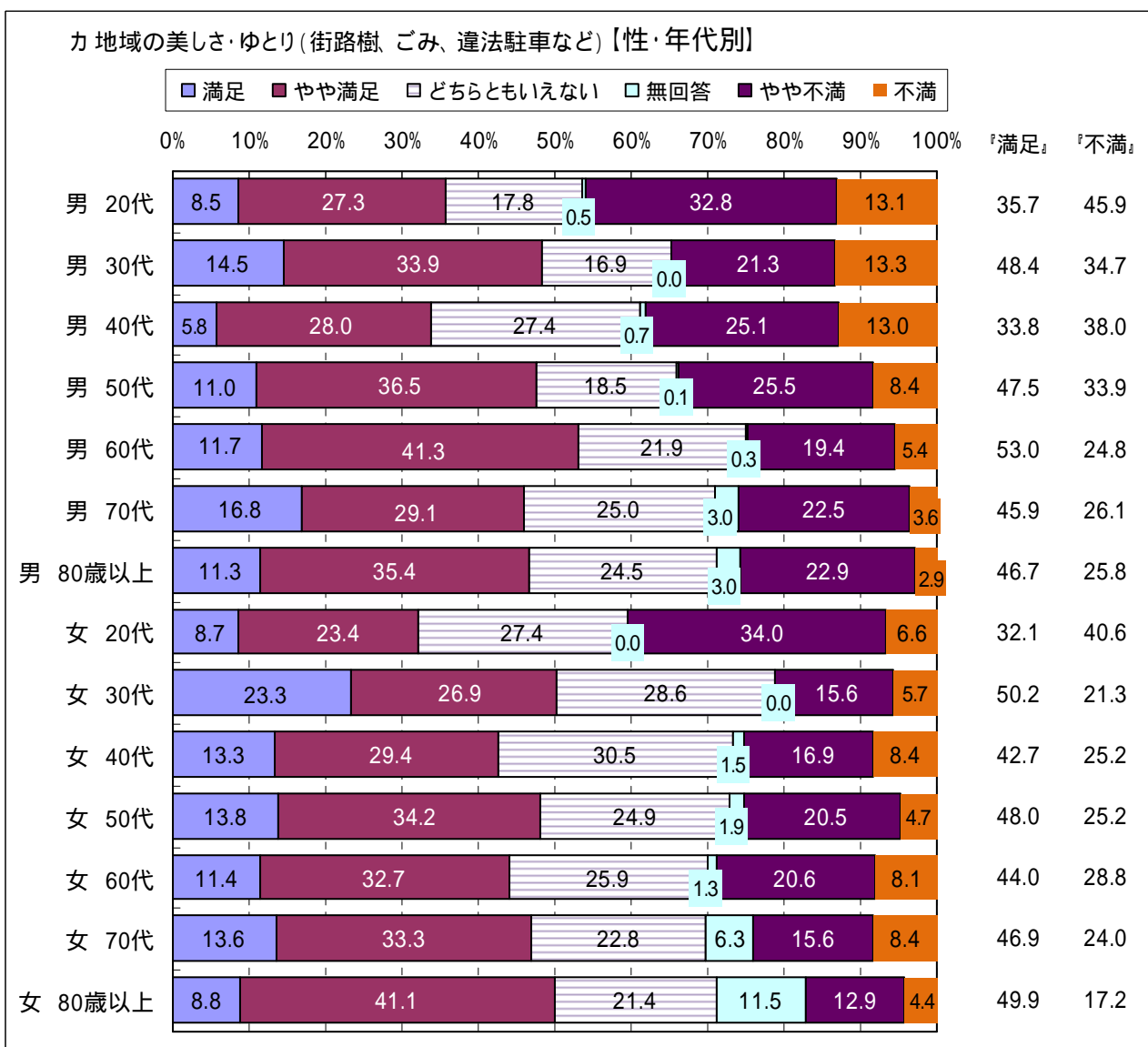
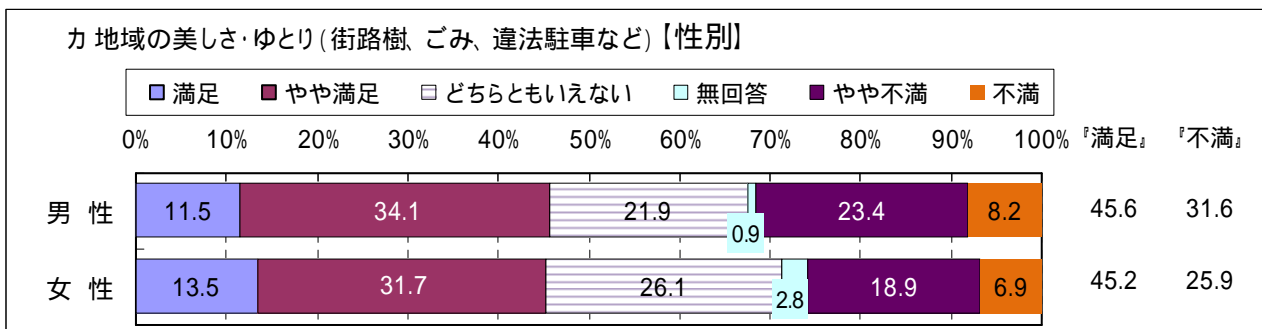
性・年代別で見ると、男性の満足度は20～30代で低いが、50代以上はいずれも約6割となっている。一方の女性は20代と40代で低く、30代と50代以上で5割を超えている。



〔地域の美しさ・ゆとり〕

【性別、性・年代別】

性別による違いはあまりみられないが、性・年代別では、男性20・40代と女性20代では『満足』が3割強に留まっている。

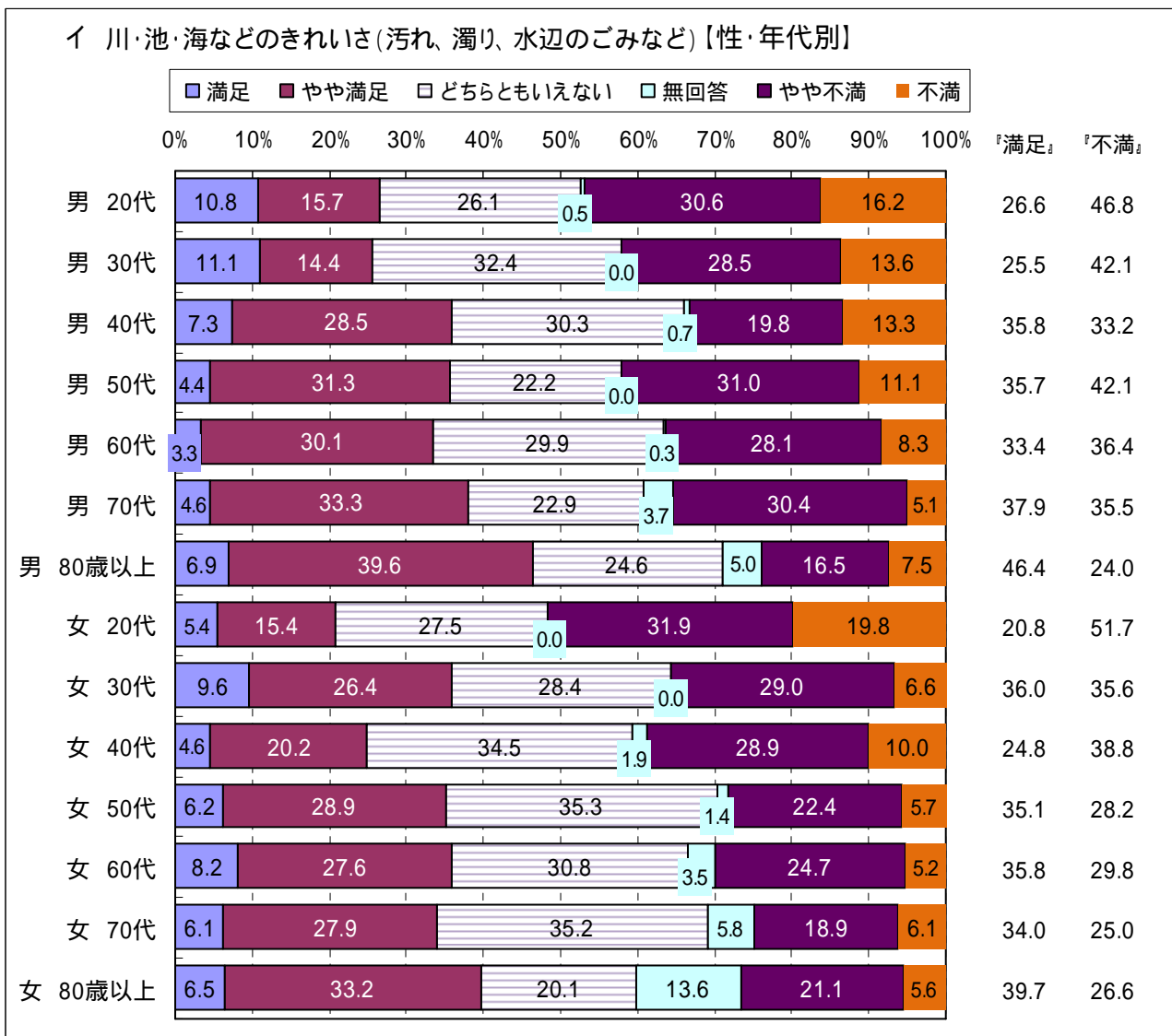
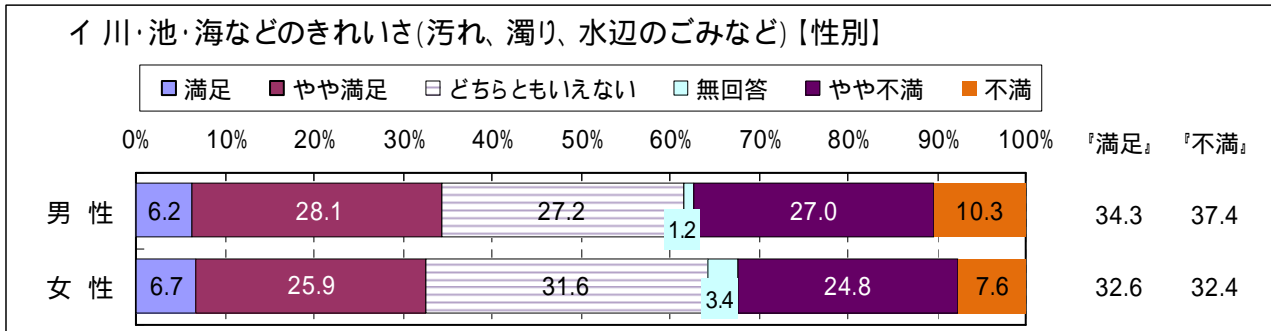


〔川・池・海などのきれいさ〕

【性別、性・年代別】

性別で見ると、女性よりもわずかに男性の満足度が高くなっている。

性・年代別で見ると、男女ともに若い年代よりも高い年代で満足度が高い傾向がみられる。



問3 環境をよくする活動への関わり

問3

リサイクルや河川の清掃、緑化、自然保護など、環境をよりよくするための活動について、あなたはどのように関わっていますか。次のア～ケについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号をつけてください。

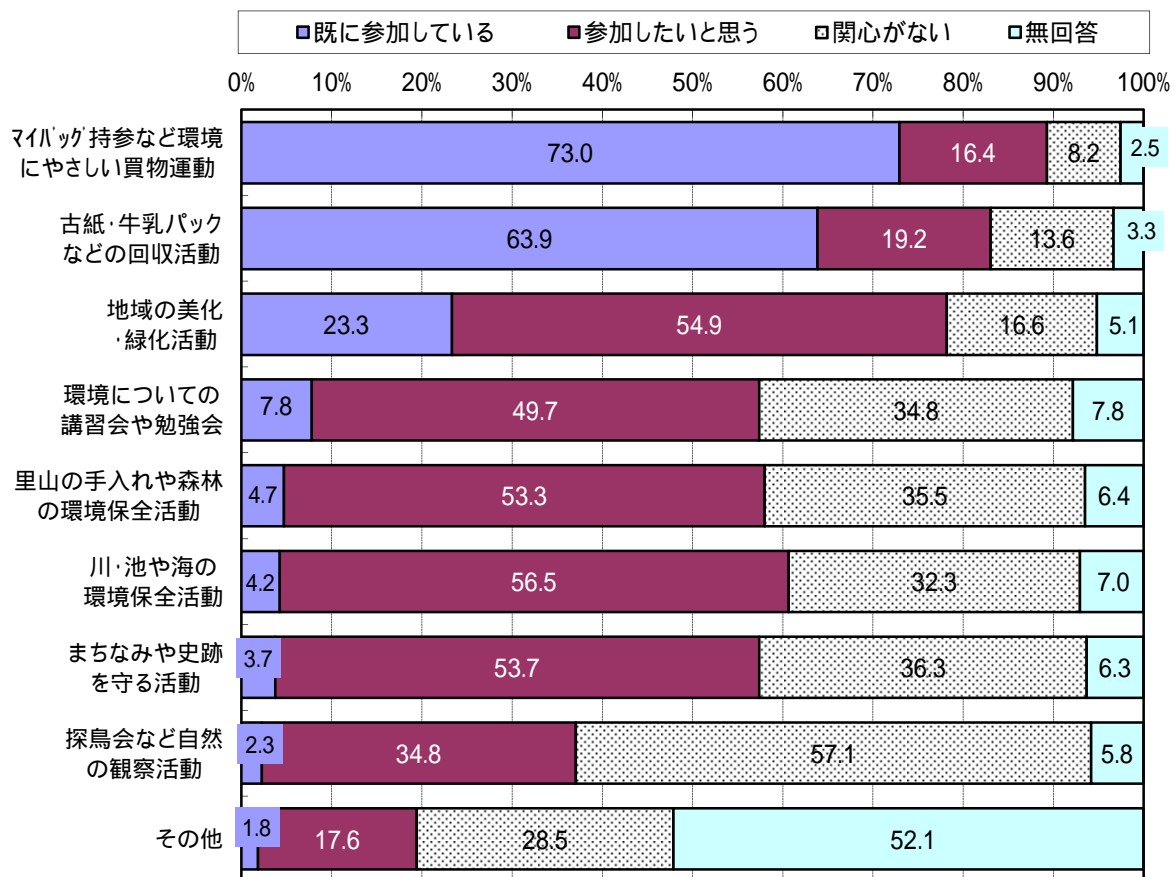
- ア 環境についての講習会や勉強会
- イ 古紙・牛乳パックなどの回収活動
- ウ マイバッグ持参など環境にやさしい買物運動
- エ 探鳥会など自然の観察活動
- オ まちなみや史跡を守る活動
- カ 地域の美化・緑化活動
- キ 里山の手入れや森林の環境保全活動
- ク 川・池や海（藻場、干潟を含む）の環境保全活動
- ケ その他

- 1 既に参加している 2 参加したいと思う 3 関心がない

【全 県】

〔環境にやさしい買物運動〕〔古紙・牛乳パックなどの回収活動〕など、家族で日常的に取り組める活動については「既に参加している」割合が高い。一方、環境保全活動や美化・緑化活動などは、「既に参加している」割合は低い、「参加したいと思う」割合が高い。

環境をよくする活動への関わり

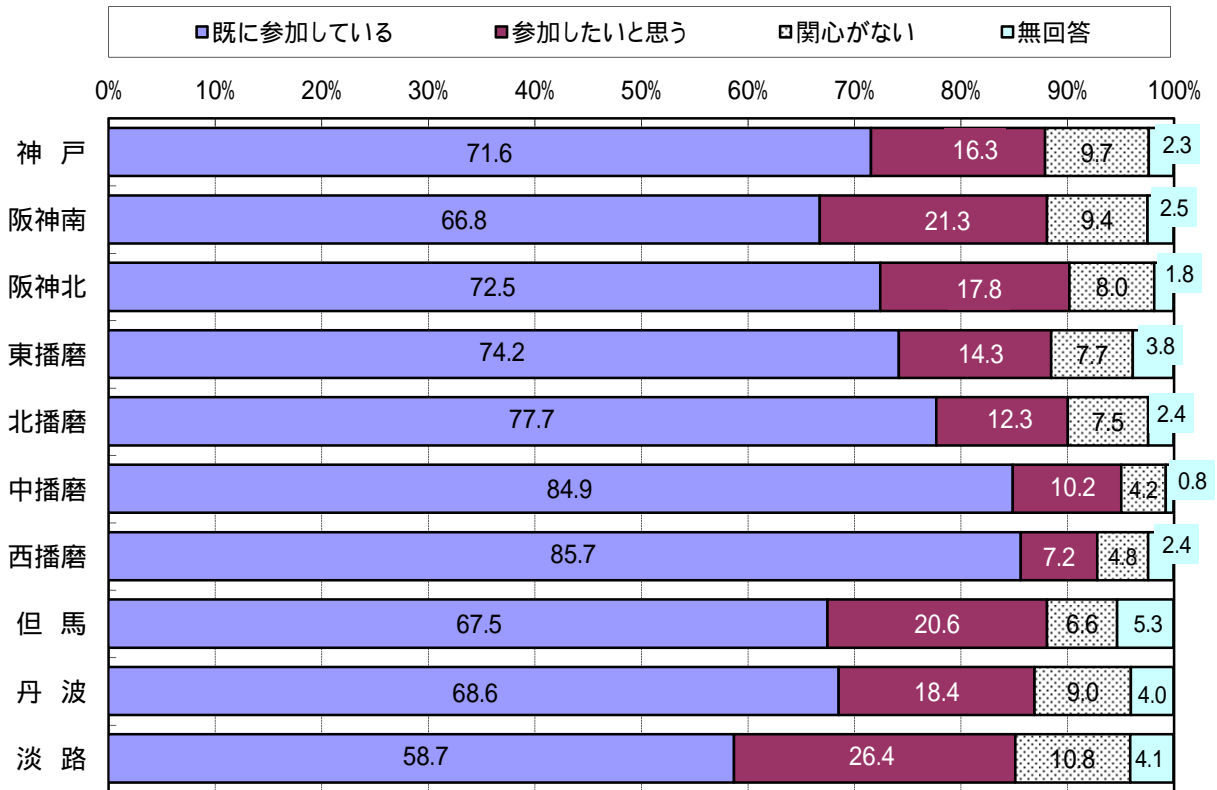


〔マイバッグ持参など環境にやさしい買物運動〕

【地域別】

中播磨と西播磨で「既に参加している」割合が高く 8 割半ばに達する。

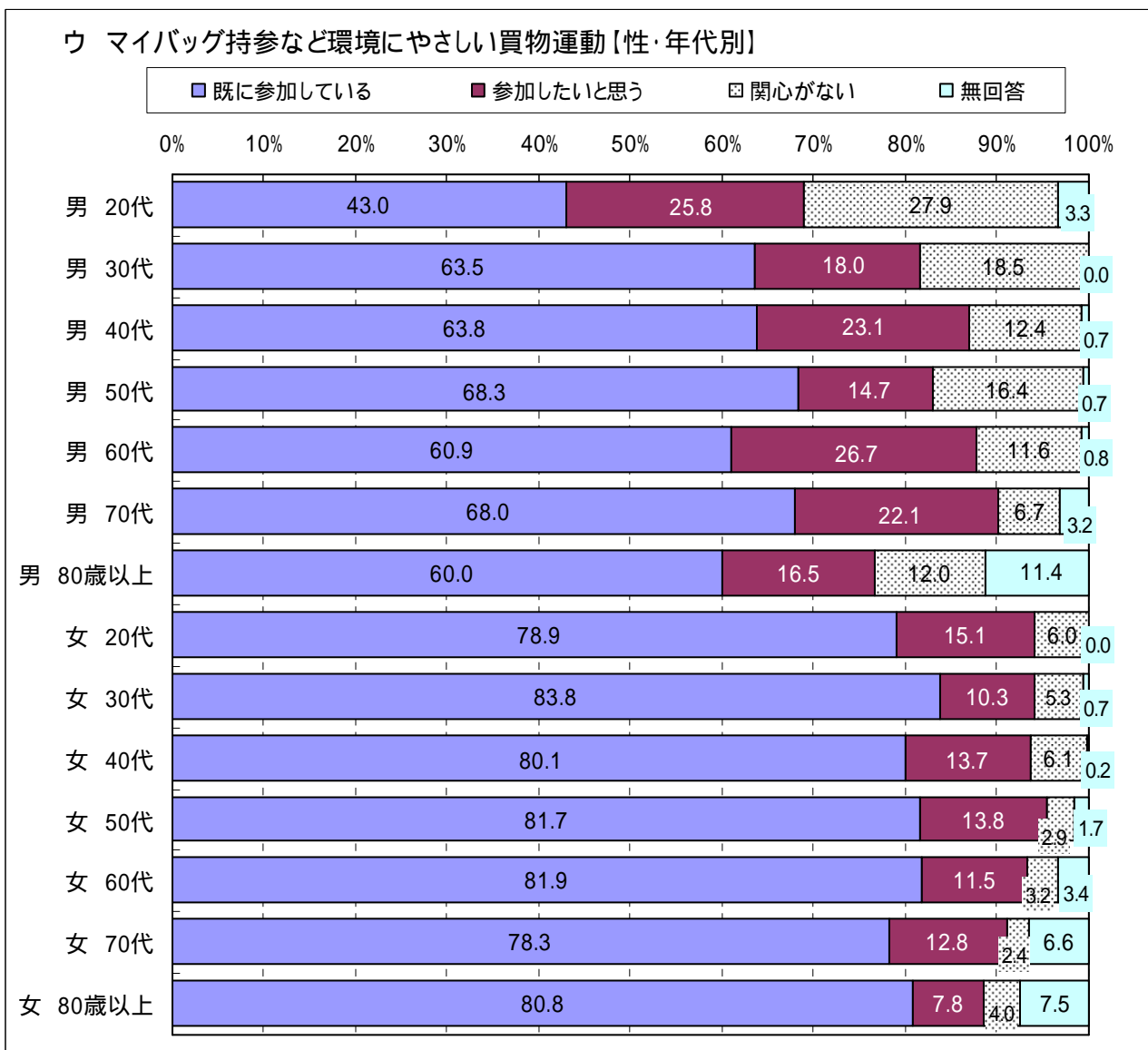
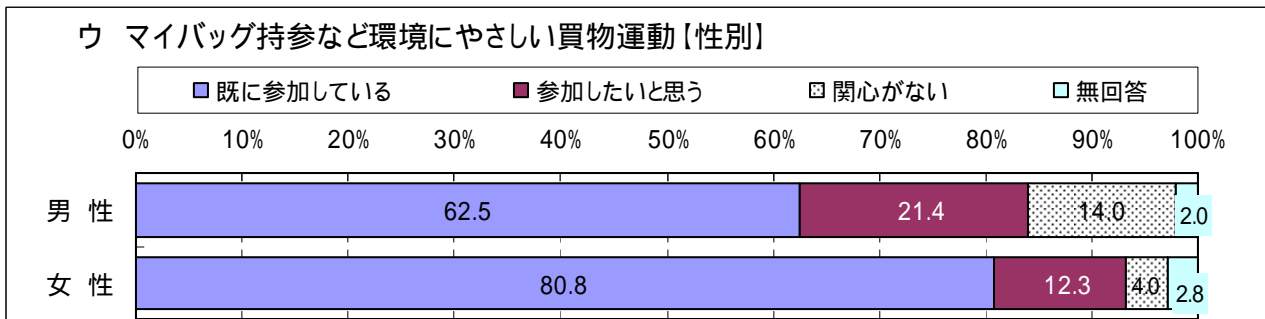
ウ マイバッグ持参など環境にやさしい買物運動【地域別】



【性別、性・年代別】

性別でみると、女性は「既に参加している」で8割に達しているが、男性は6割強に留まっている。

性・年代別でみると、女性はいずれの年代でも「既に参加している」割合が8割前後に達しているが、男性は20代の4割強から50代の7割弱まで年代間で差がみられる。

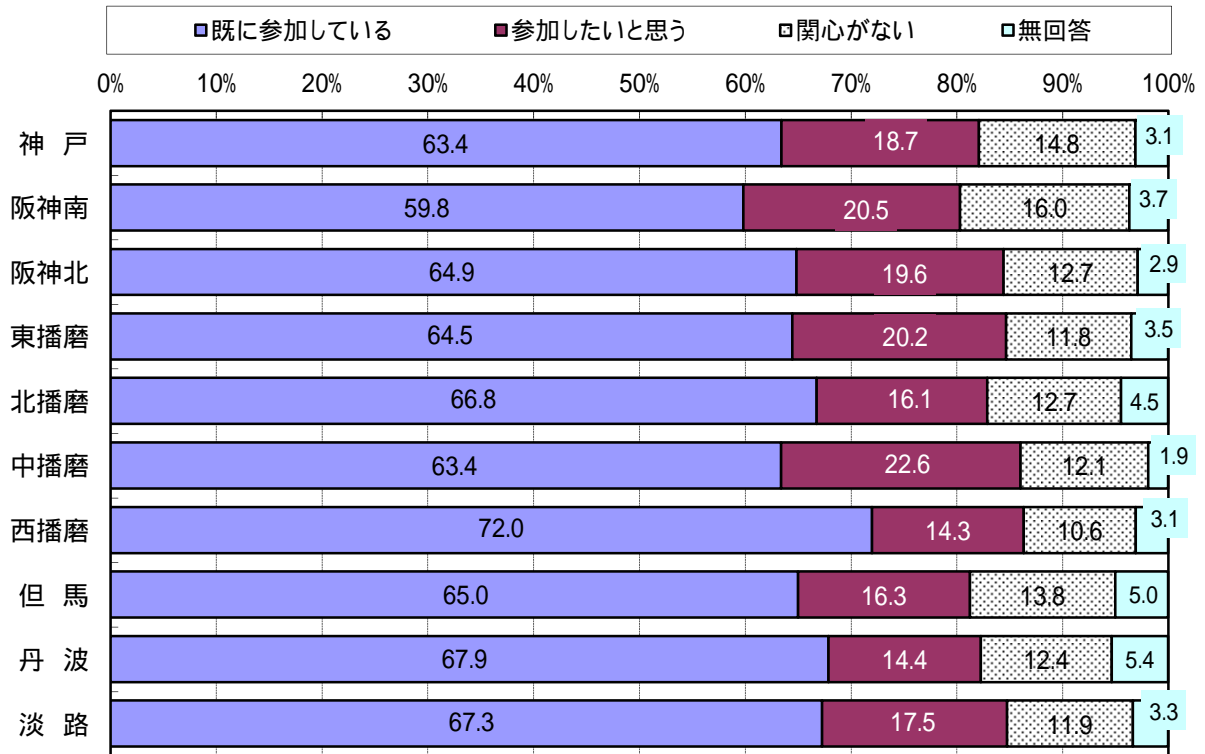


〔古紙・牛乳パックなどの回収活動〕

【地域別】

「既に参加している」でみると、西播磨のみ7割を上回っているが、いずれの地域も6～7割で大きな差はみられない。

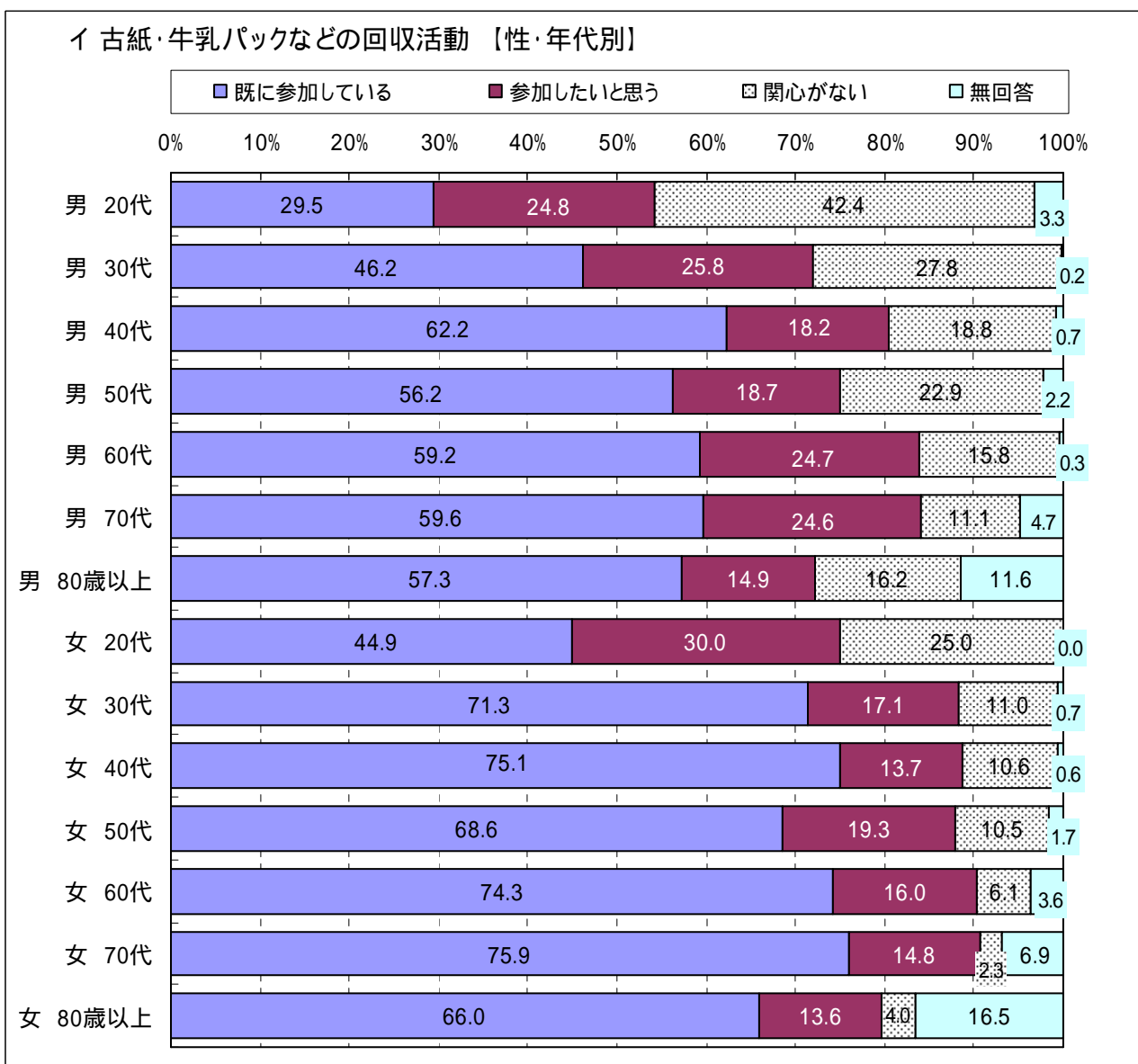
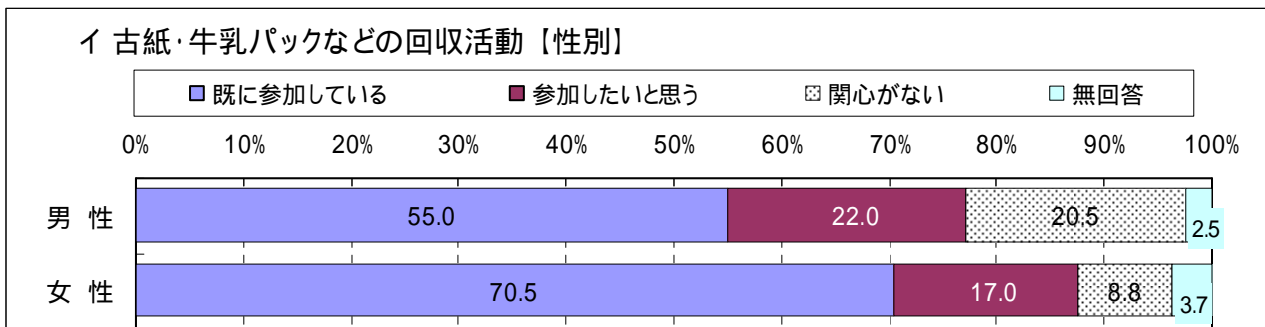
イ 古紙・牛乳パックなどの回収活動【地域別】



【性別、性・年代別】

性別で見ると、女性は「既に参加している」で7割に達しているが、男性は5割強に留まっている。

性、年代別で見ると、「既に参加している」では、男女とも20代で低くなっているほか、他の年代でも男性が4割半ばから6割強程度であるのに対し、女性は6割半ばから7割半ばと男性に比べて高くなっている。

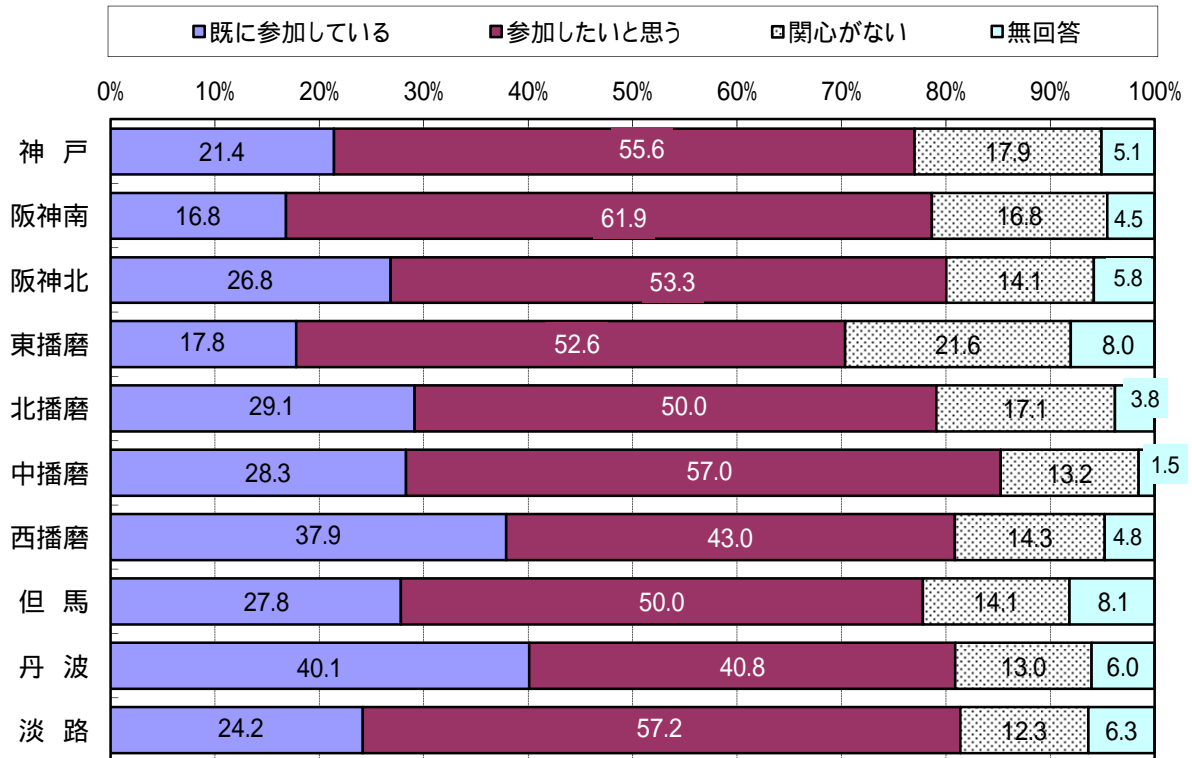


〔地域の美化・緑化運動〕

【地域別】

家庭内で取り組める活動に比べ、全体的に参加の割合は低く、丹波と西播磨の約4割が最多となっている。

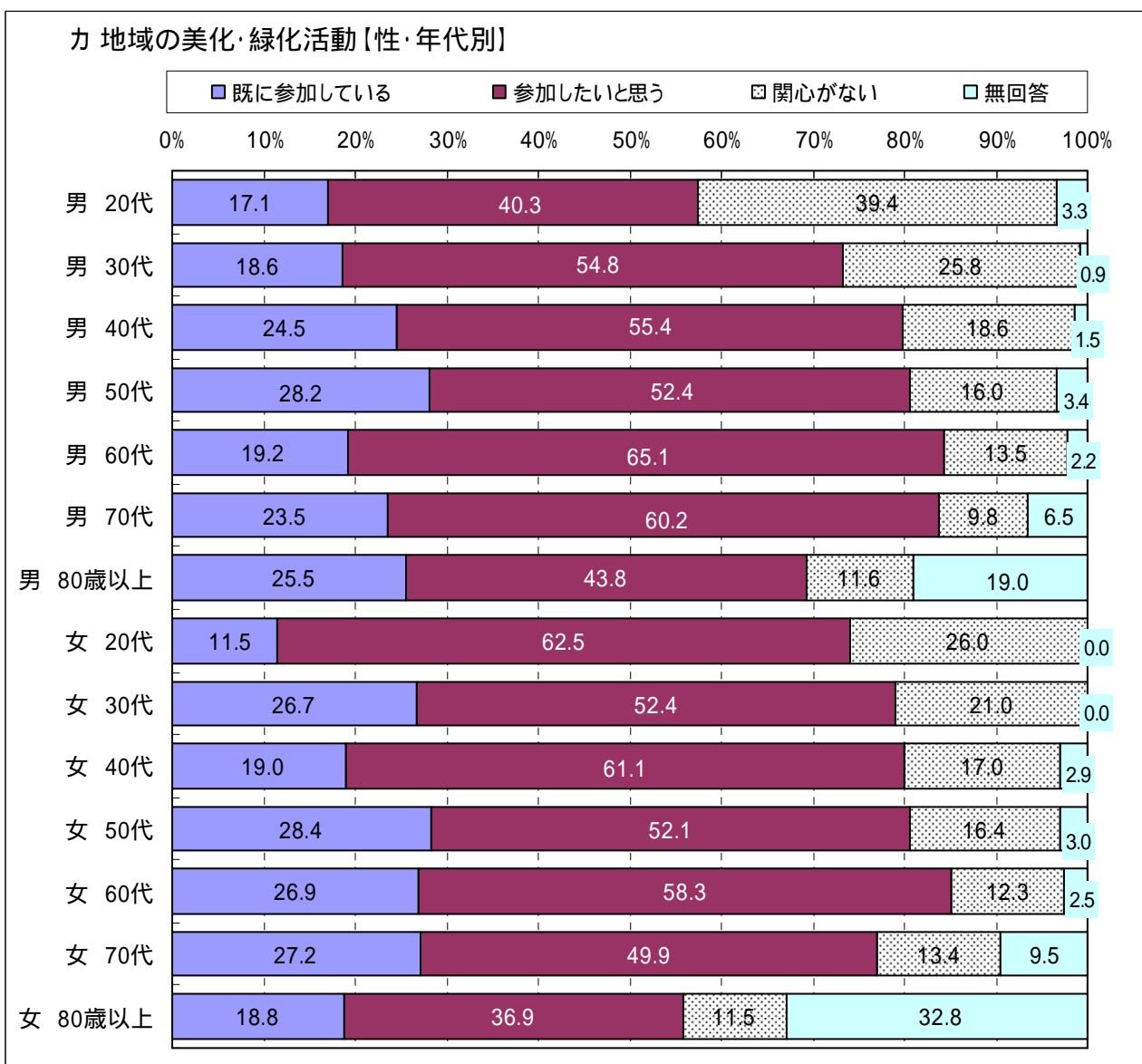
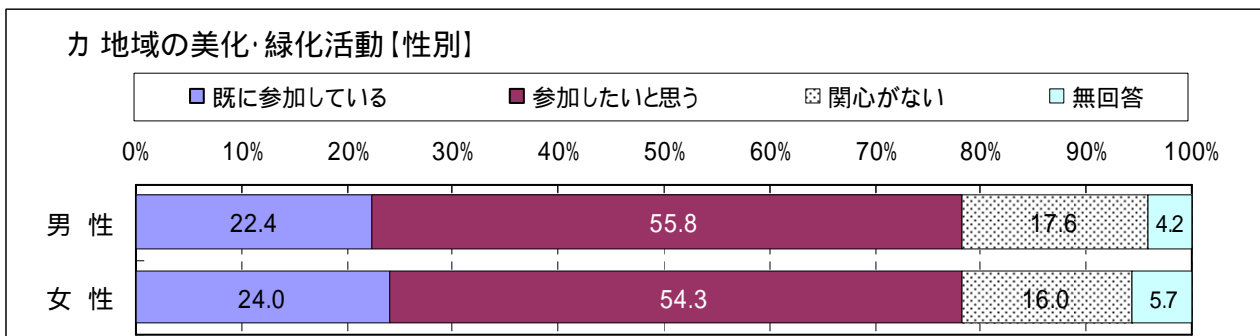
カ 地域の美化・緑化活動【地域別】



【性別、性・年代別】

性別で見ると、「既に参加している」は女性がわずかに男性を上回っている。

性・年代別で見ると、男女とも20代の参加割合が低い。

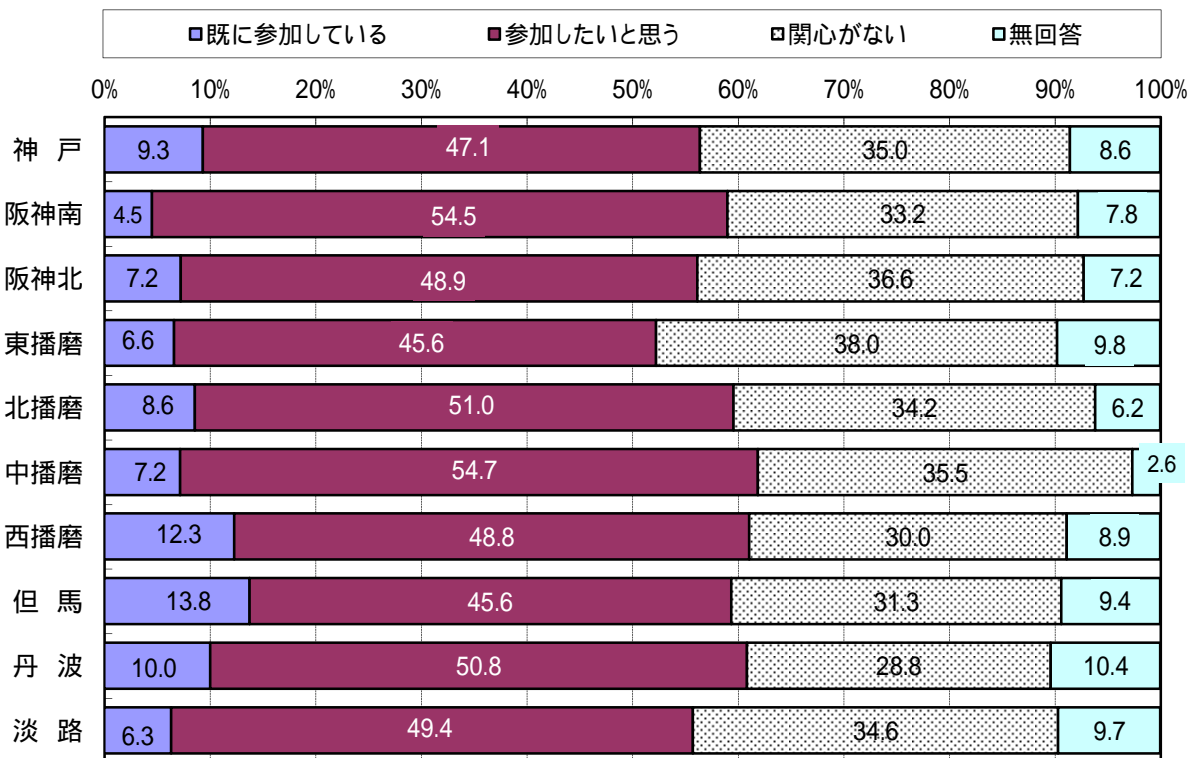


〔環境についての講習会や勉強会〕

【地域別】

全体的に「既に参加している」割合は低く、但馬、西播磨、丹波の3地域で1割を上回る程度であるが、「参加したいと思う」割合はいずれの地域も5割前後ある、

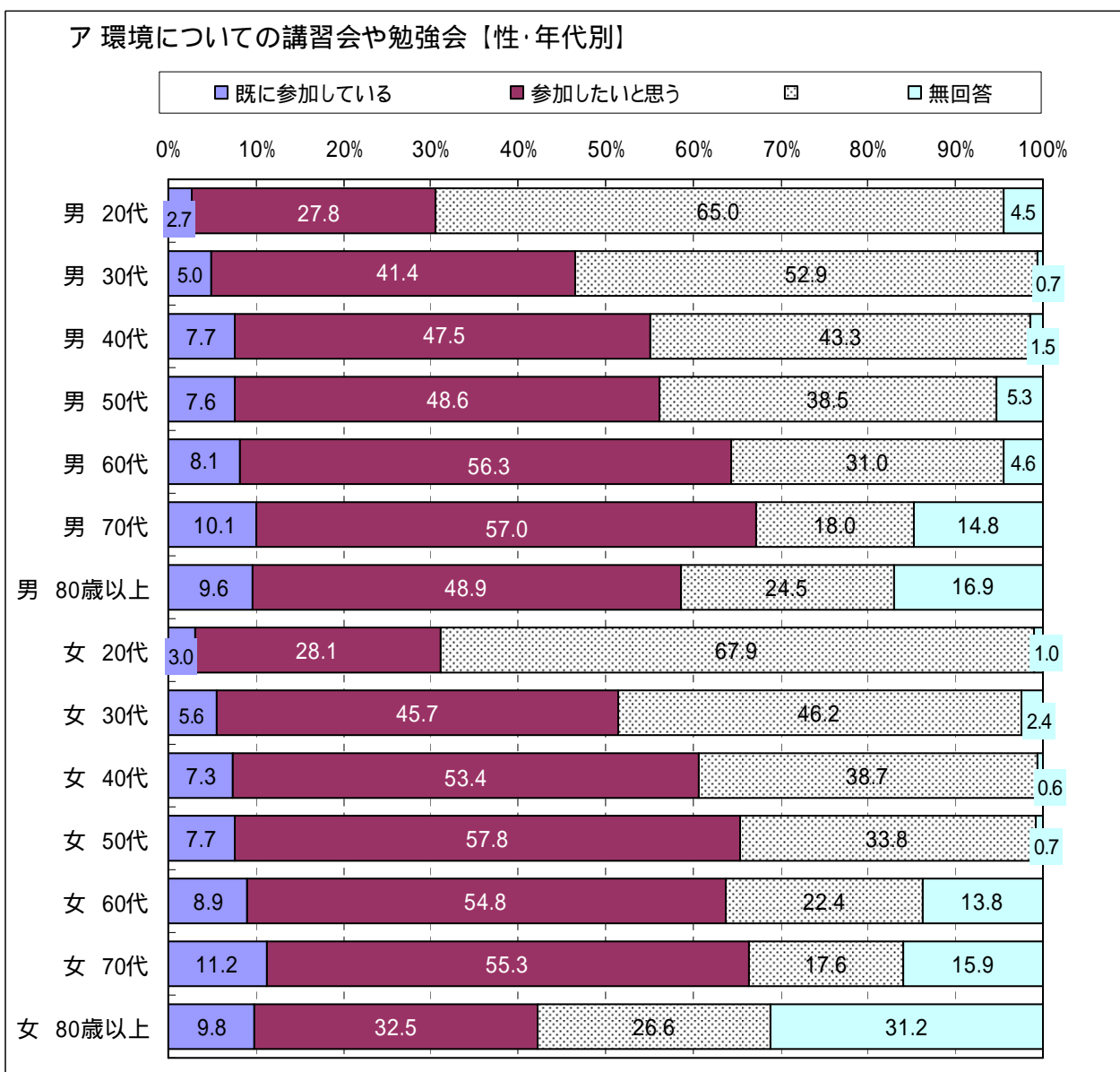
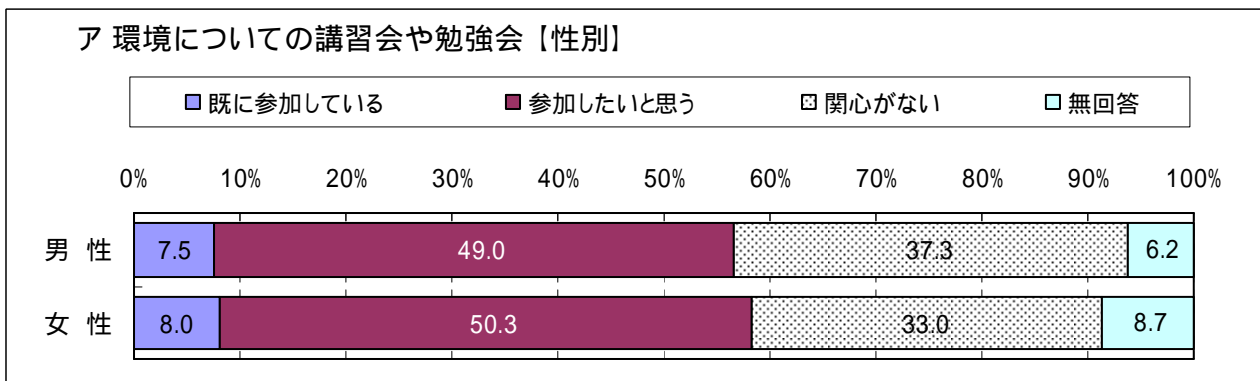
ア 環境についての講習会や勉強会【地域別】



【性別、性・年代別】

性別で見ると、「既に参加している」は女性がわずかに男性を上回っている。

性・年代別で見ると、年齢が高くなるほど「既に参加している」や「参加したいと思う」割合が高くなる傾向がみられる。

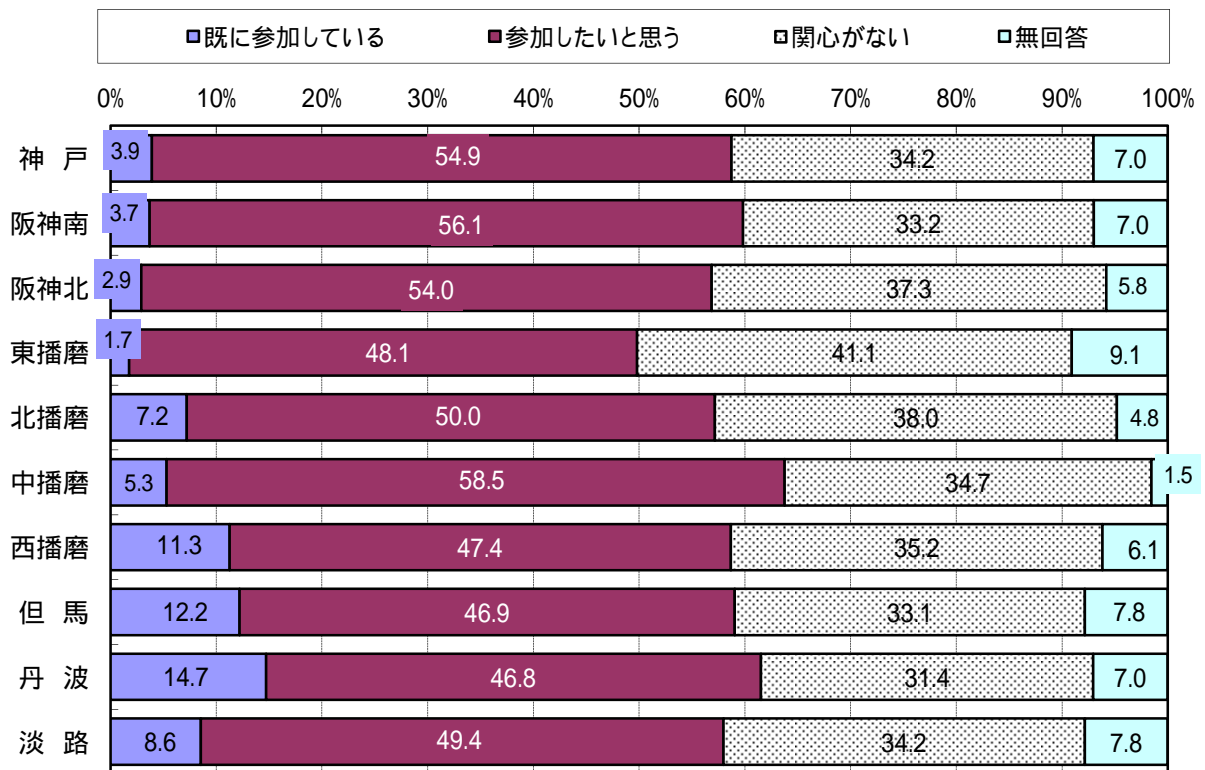


〔里山の手入れや森林の環境保全活動〕

【地域別】

「既に参加している」では都市部よりも農村部の方が多いが、「参加したいと思う」では阪神間は5割を超え多くなっている。

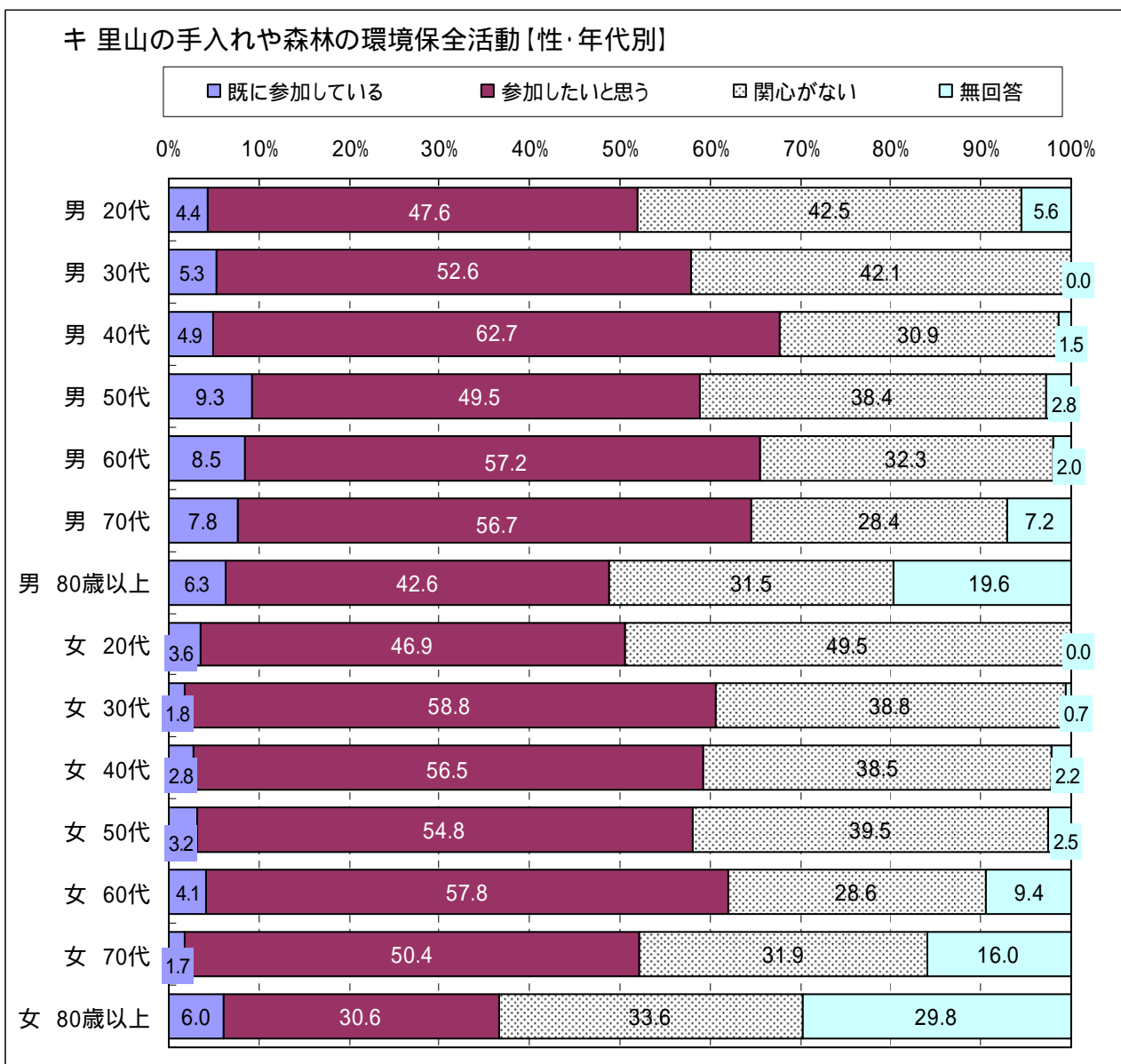
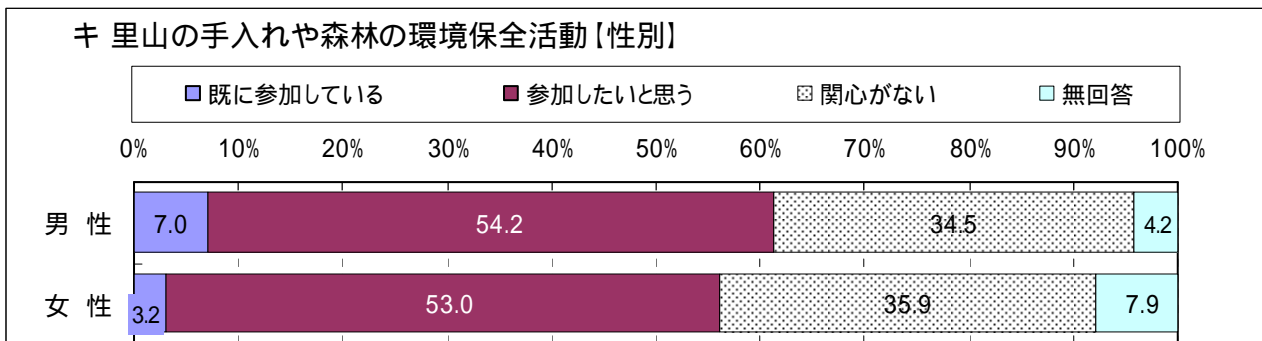
キ 里山の手入れや森林の環境保全活動【地域別】



【性別、性・年代別】

性別で見ると、「既に参加している」「参加したいと思う」ともに男性が多くなっている。

性・年代別で見ると、「既に参加している」では男性の50～70代が1割弱で比較的多く、また男性40代は「参加したいと思う」が6割を上回っている。

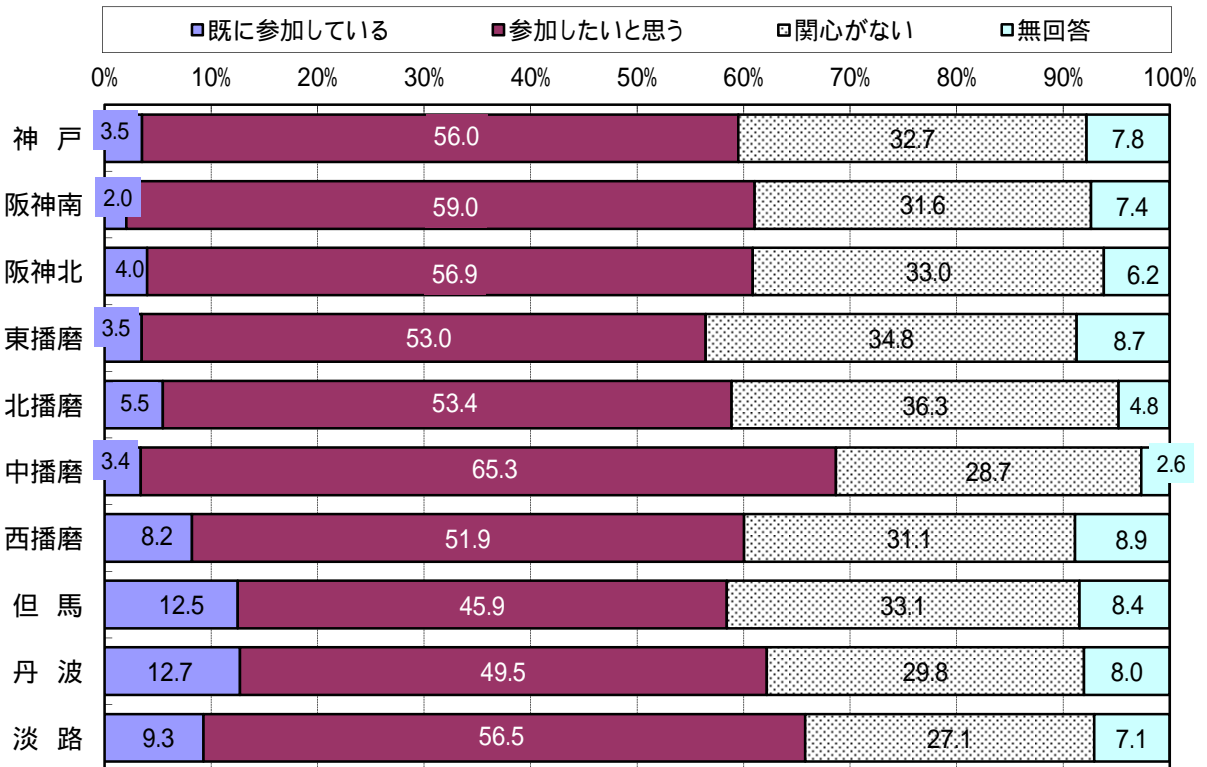


〔川・池・海（藻場・干潟を含む）の環境保全活動〕

【地域別】

「既に参加している」では都市部よりも農村部の方が多いが、「参加したいと思う」では阪神間は約6割で多くなっている。

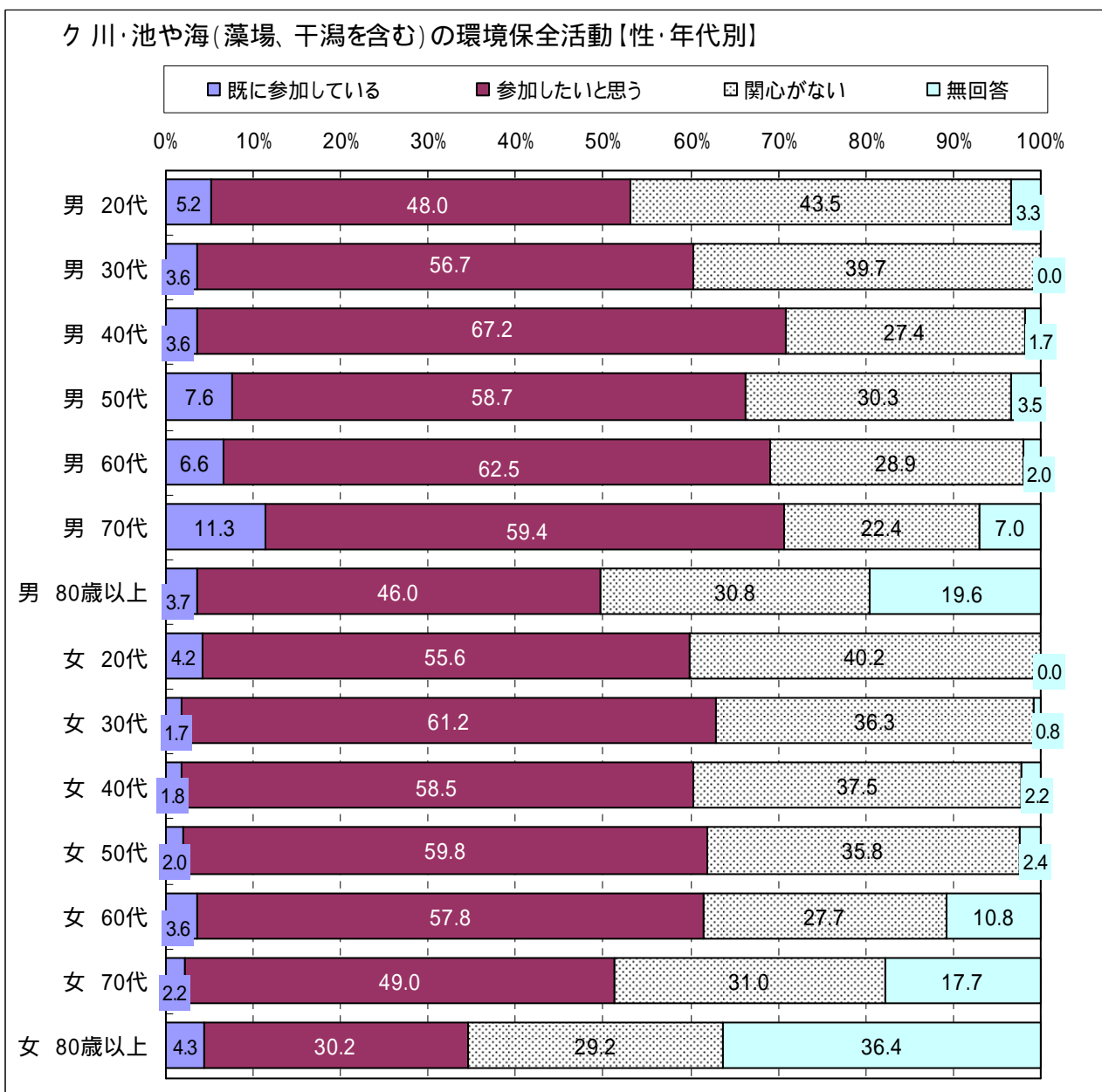
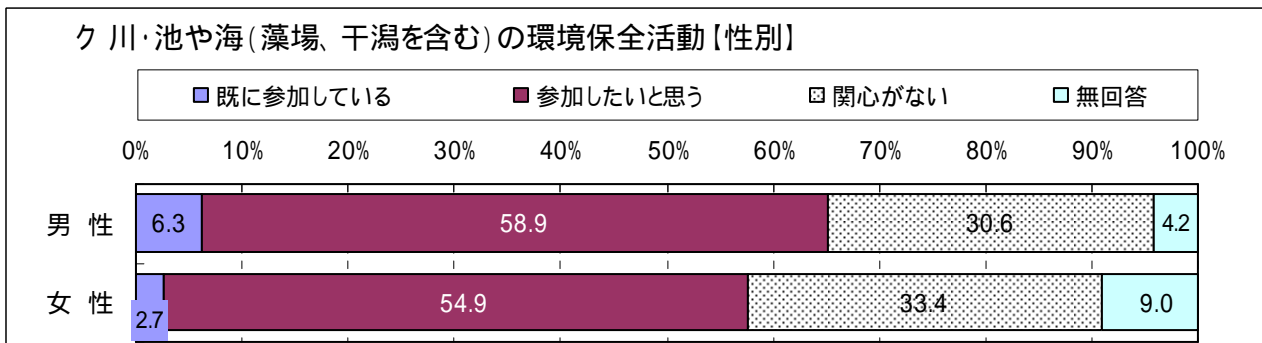
ク川・池や海（藻場、干潟を含む）の環境保全活動【地域別】



【性別、性・年代別】

性別で見ると、「既に参加している」「参加したいと思う」ともに男性が多くなっている。

性・年代別で見ると、「既に参加している」では男性70代のみ1割を超えており、「参加したいと思う」では、男女ともに80代を除くと概ね5～6割台となっている。

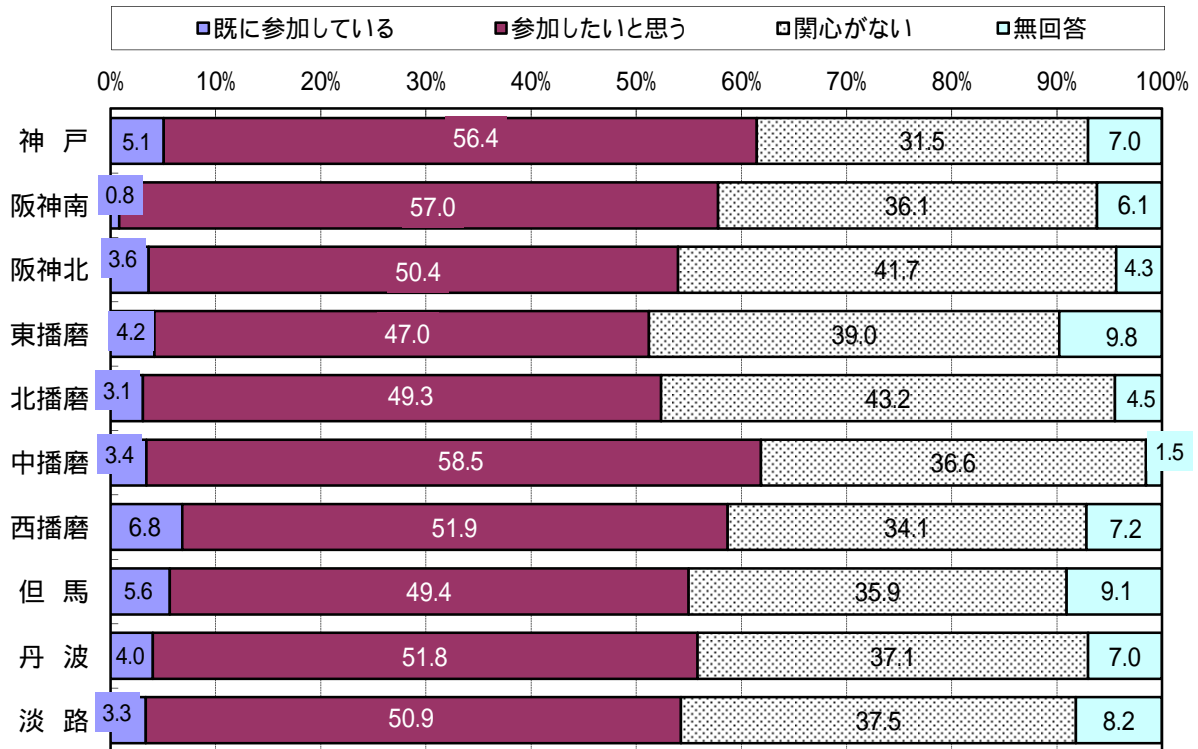


〔まちなみや史跡を守る運動〕

【地域別】

「既に参加している」は低く1割に満たないが、「参加したいと思う」でみると、いずれの地域も5割前後となっている。

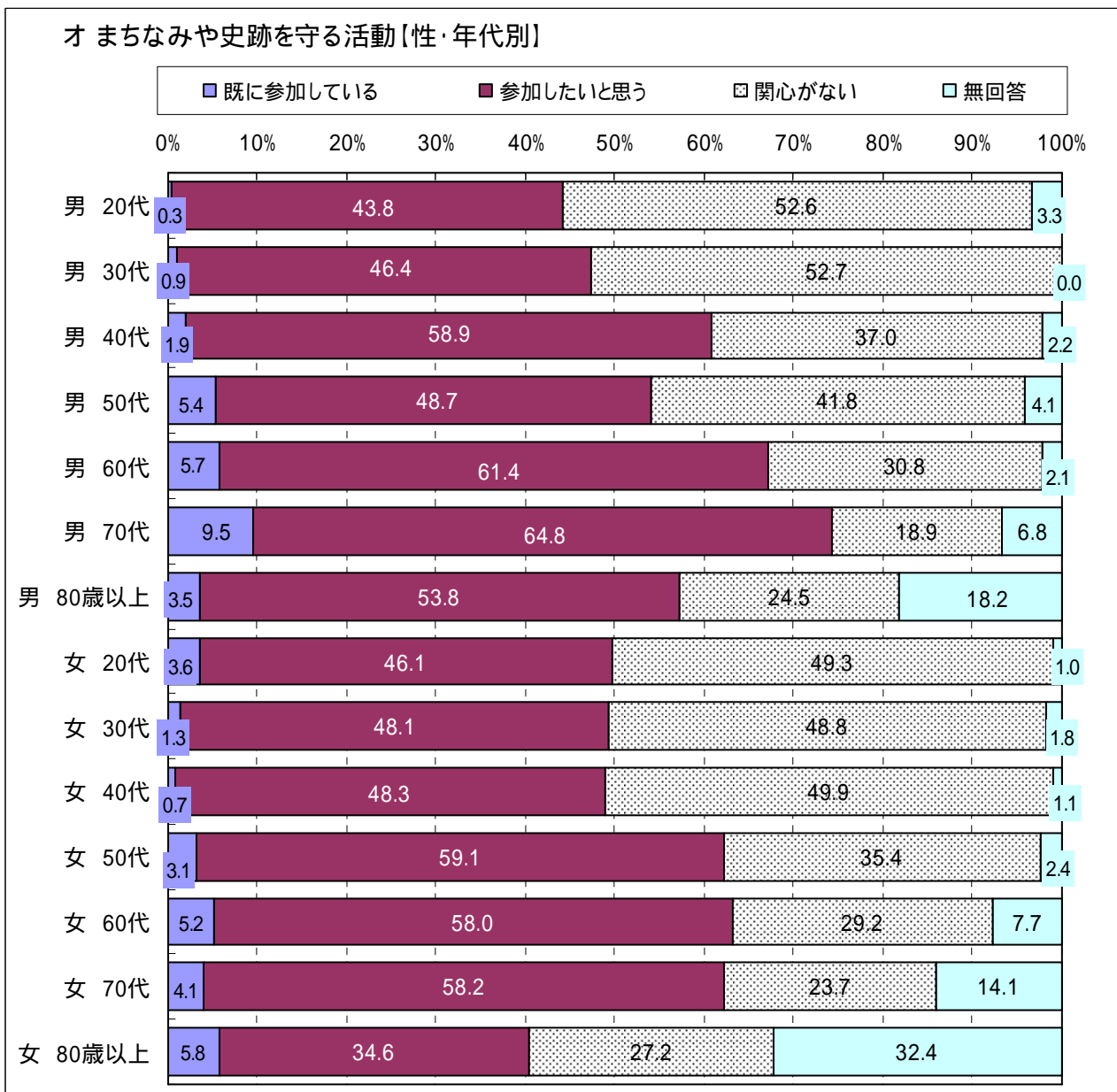
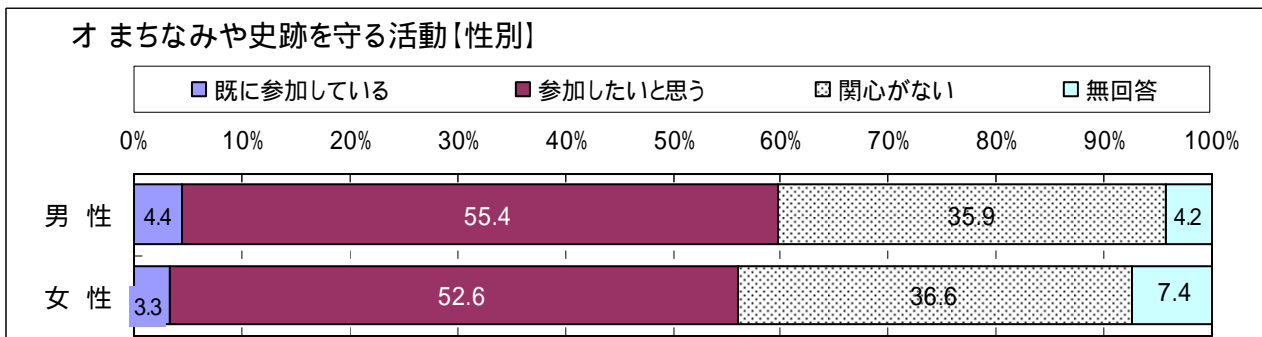
才まちなみや史跡を守る活動【地域別】



【性別、性・年代別】

性別でみると、「既に参加している」「参加したいと思う」ともに男性が多くなっている。

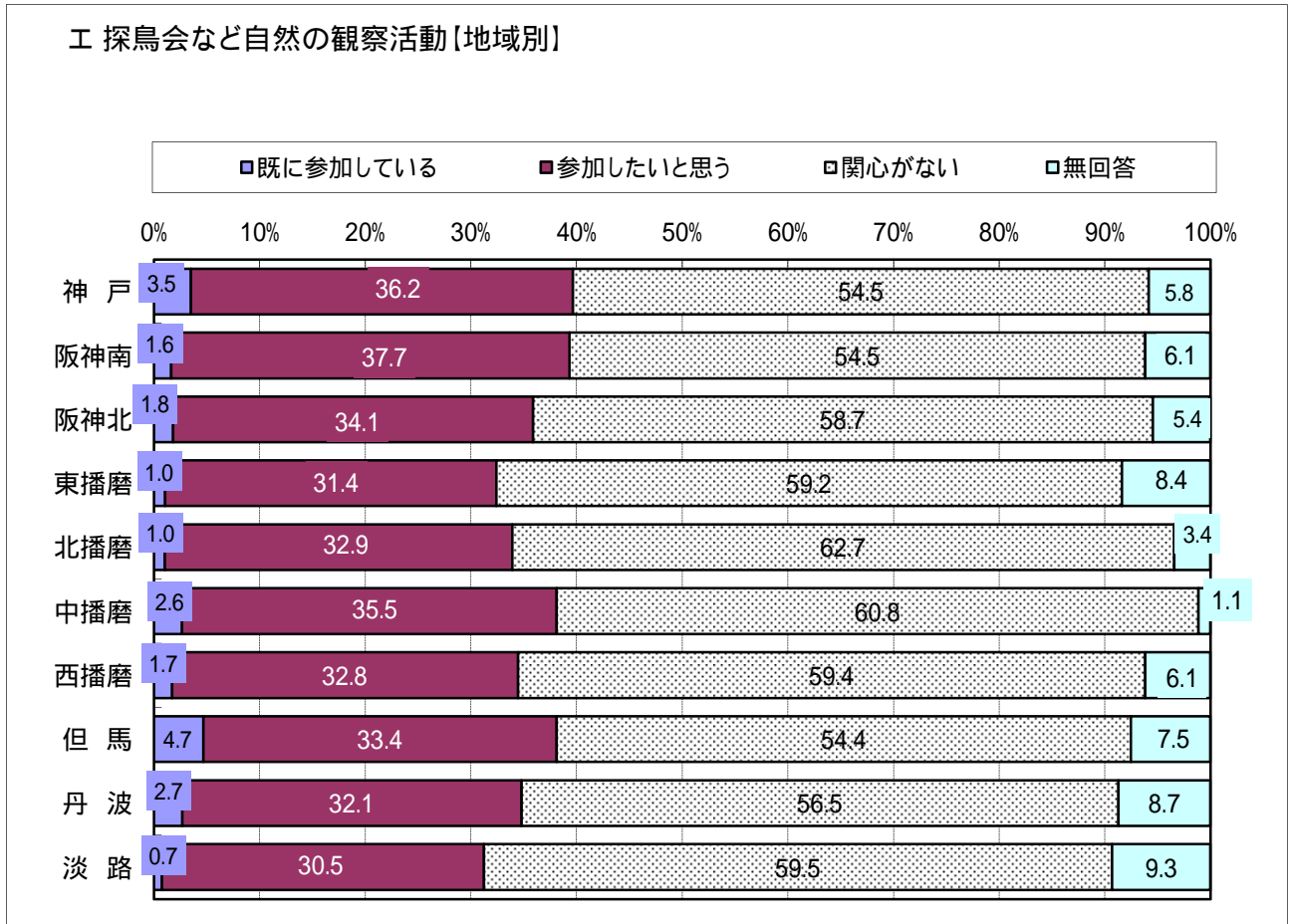
性・年代別でみると、「既に参加している」「参加したいと思う」ともに、男性70代が最も多くなっている。



〔探鳥会など自然の観察活動〕

【地域別】

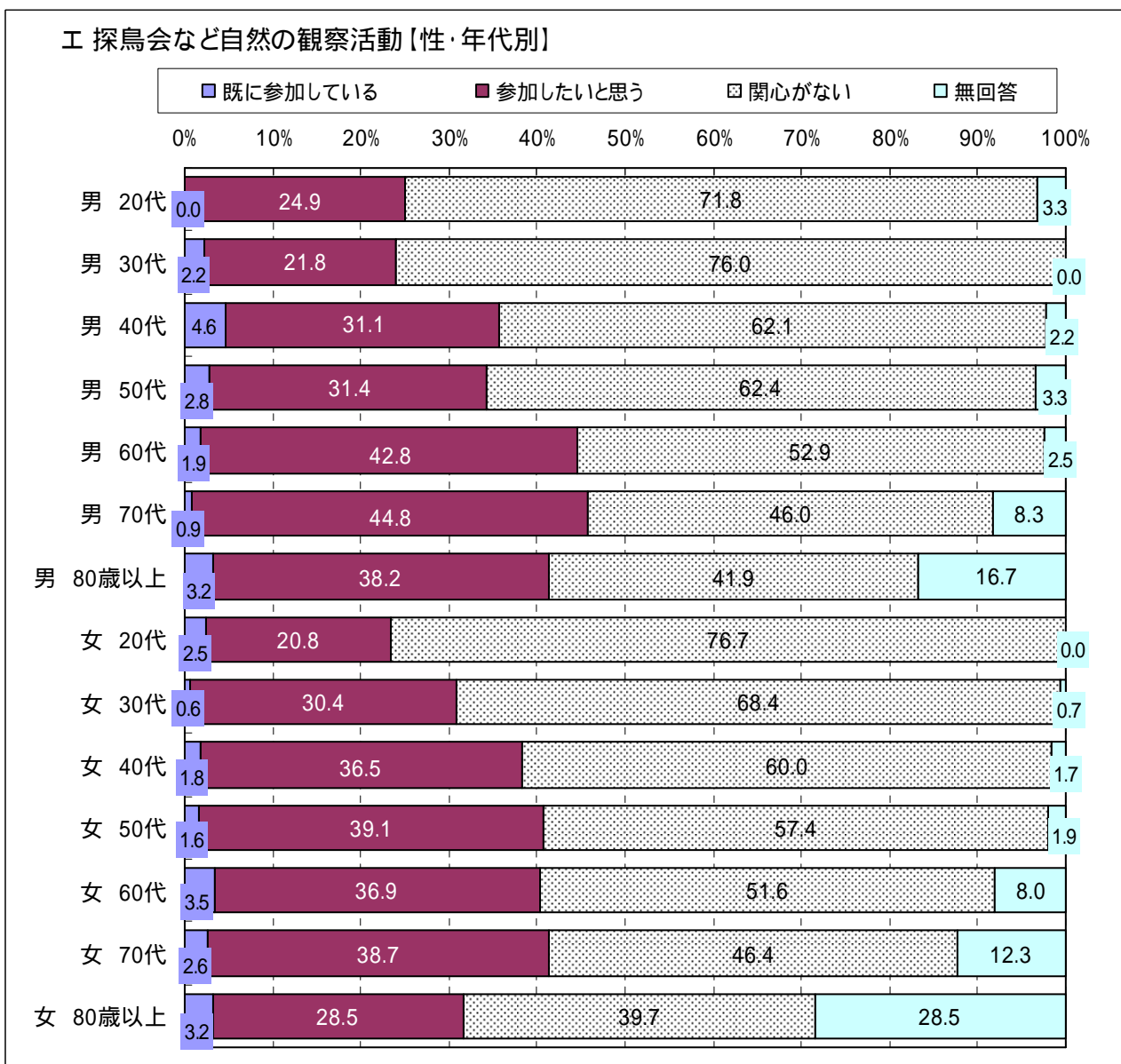
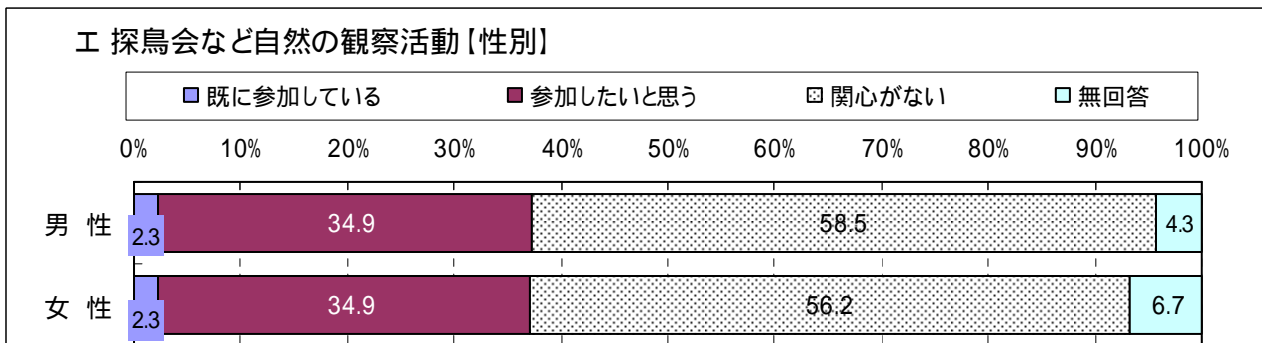
「既に参加している」「参加したいと思う」を合わせても4割に満たず、いずれの地域でも「関心がない」が5割半ば～6割強に達している。



【性別、性・年代別】

性別による違いはみられない。

性・年代別に関わらず「既に参加している」はいずれも低いが、男女ともに年齢が高くなるほど「参加したいと思う」割合が高くなる傾向がみられる。



問3 - 2 環境をよくする活動への参加のきっかけ（問3の1，2 選択者対象）

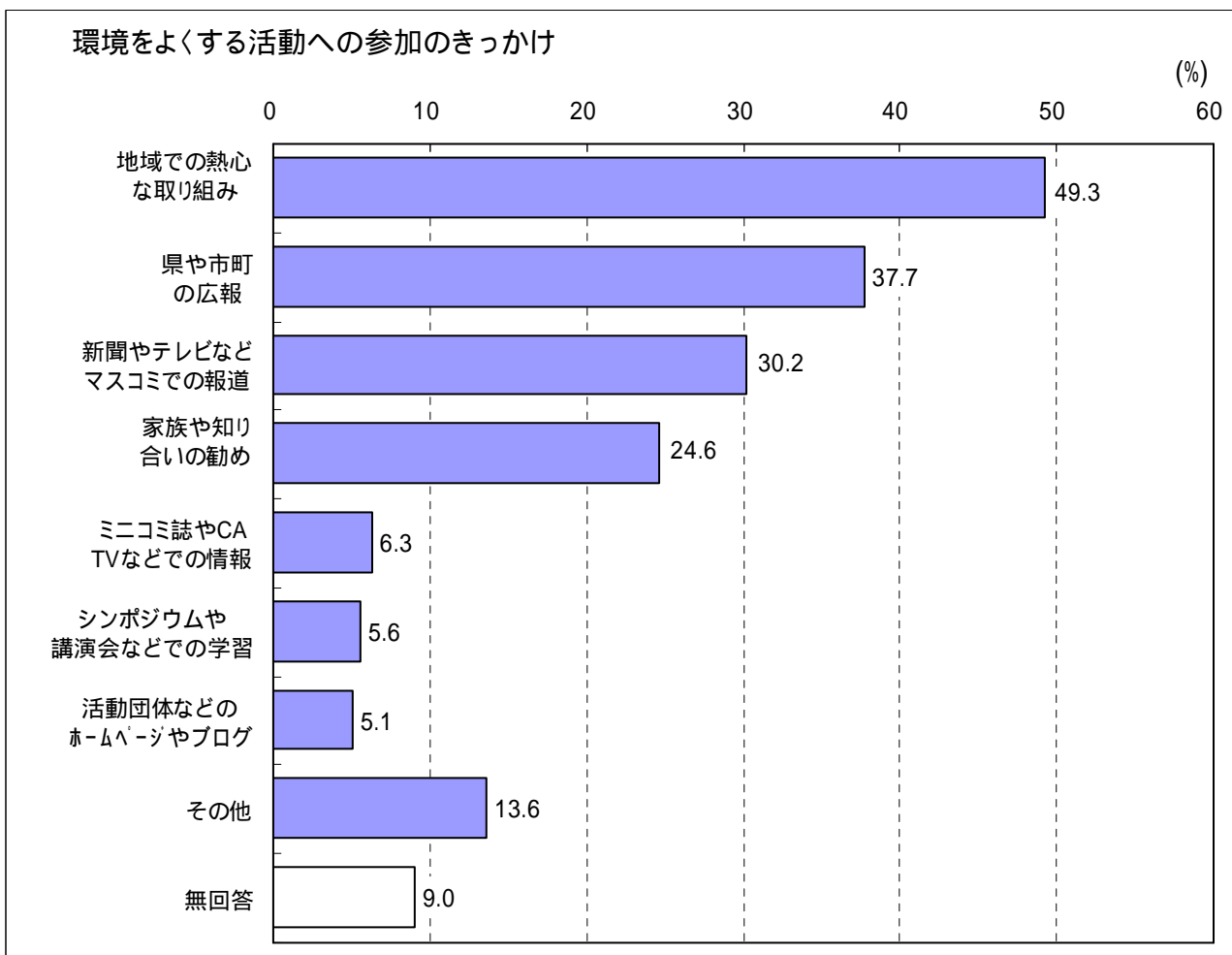
問3 - 2 【問3の各項目で1又は2を選択された方にお聞きします】

それらの活動にあなたが参加する（した）きっかけはどのようなことですか。次の中から該当するものを全て選んで番号に をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 家族や知り合いの勧め | 5 県や市町の広報 |
| 2 地域での熱心な取り組み | 6 ミニコミ誌やCATVなどでの情報 |
| 3 活動団体などのホームページやブログ | 7 新聞やテレビなどマスコミでの報道 |
| 4 シンポジウムや講演会などでの学習 | 8 その他 |

【全 県】

「地域での熱心な取り組み」が最も高く約5割となっており、身近な取り組みが環境をよくする活動への参加を促している。次いで「県や市町の広報」、「新聞やテレビなどマスコミでの報道」、「家族や知り合いの勧め」の順で高くなっている。



【地域別】

西播磨では「地域での熱心な取り組み」が7割を超え、他地域より突出して多い。

環境をよくする活動への参加のきっかけ【地域別】

					最大値	最小値			(%)
	家族や知り合いの 勧め	地域での熱心な取 り組み	活動団体などの ホームページやブ ログ	シンポジウムや講 演会などでの学習	県や市町の広報	ミニコミ誌やCATV などでの情報	新聞やテレビなど マスコミでの報道	その他	無回答
全 県	24.6	49.3	5.1	5.6	37.7	6.3	30.2	13.6	9.0
地域別									
神 戸	23.3	45.4	7.9	7.1	36.7	8.8	33.8	12.5	9.2
阪神南	28.4	37.9	3.9	5.2	37.1	4.3	26.7	16.4	9.9
阪神北	20.2	49.8	3.0	4.2	39.9	5.3	33.8	14.1	9.5
東播磨	27.9	51.1	4.8	3.7	37.5	7.7	33.5	12.9	9.9
北播磨	27.1	53.4	5.1	7.6	40.8	4.0	28.2	13.7	9.0
中播磨	23.2	58.7	3.9	3.5	31.7	4.6	27.0	14.7	6.2
西播磨	20.9	70.5	3.6	7.2	44.2	5.4	23.4	11.2	5.4
但 馬	24.1	57.8	3.8	8.1	42.5	6.6	25.3	14.1	8.4
丹 波	26.9	55.9	6.6	6.3	35.3	3.8	25.2	9.8	9.1
淡 路	23.1	55.3	3.5	6.3	45.1	7.1	24.7	8.6	13.3
地域間の差	8.3	32.6	4.9	4.7	13.4	4.9	10.5	7.8	7.9

【性別、性・年代別】

性別で見ると、「家族や知り合いの勧め」で男女の差が大きくなっており、男性は3割弱に達する一方、女性は2割強に留まっている。

性・年代別で見ると、「家族や知り合いの勧め」は男女とも20～30代の若い年代に多くみられ、「県や市町の広報」「新聞やテレビなどマスコミでの報道」では高い年代が多くなっている。

環境をよくする活動への参加のきっかけ【性別】

(%)

	家族や知り合いの勧め	地域での熱心な取り組み	活動団体などのホームページやブログ	シンポジウムや講演会などの学習	県や市町の広報	ミニコミ誌やCATVなどの情報	新聞やテレビなどのマスコミでの報道	その他	無回答
全 県	24.6	49.3	5.1	5.6	37.7	6.3	30.2	13.6	9.0
性別									
男 性	29.8	46.0	5.6	4.4	36.9	5.7	28.5	14.8	12.1
女 性	21.5	51.7	4.8	6.3	38.3	6.7	31.5	12.7	6.7
性別間の差	8.3	5.7	0.8	1.9	1.4	1.1	3.1	2.0	5.4

環境をよくする活動への参加のきっかけ【性・年代別】

最大値

最小値

(%)

	家族や知り合いの勧め	地域での熱心な取り組み	活動団体などのホームページやブログ	シンポジウムや講演会などの学習	県や市町の広報	ミニコミ誌やCATVなどの情報	新聞やテレビなどのマスコミでの報道	その他	無回答
全 県	24.6	49.3	5.1	5.6	37.7	6.3	30.2	13.6	9.0
性・年代別									
男 性									
20代	30.1	52.0	3.5	4.1	31.3	4.3	24.7	18.4	13.0
30代	40.2	41.9	5.0	3.4	27.0	2.8	24.1	19.8	9.4
40代	34.8	48.6	4.2	2.3	22.2	4.9	26.4	22.6	8.8
50代	25.5	45.0	10.1	5.2	35.9	10.6	26.3	13.9	10.1
60代	25.4	45.8	7.2	5.4	47.2	7.4	30.8	8.7	9.4
70代	21.6	61.4	4.1	7.2	52.5	3.4	30.9	6.2	9.6
80歳以上	32.8	44.6	0.7	3.4	43.1	4.6	35.3	10.9	18.5
年代間の差	18.6	19.5	9.5	4.9	30.4	7.8	11.2	16.4	9.6
女 性									
20代	42.3	37.9	0.8	3.1	10.9	2.9	31.8	19.2	2.6
30代	27.7	49.2	5.9	2.5	22.2	3.0	21.9	27.4	4.5
40代	16.4	52.4	7.5	3.6	33.4	7.6	28.6	14.3	6.3
50代	19.4	56.9	6.3	7.5	38.0	9.0	33.1	10.6	6.3
60代	20.8	52.2	4.8	7.5	46.9	8.2	35.8	10.1	8.7
70代	18.3	56.0	1.8	10.5	51.6	8.0	31.1	7.5	6.1
80歳以上	13.4	48.5	6.1	6.0	48.7	2.0	34.6	2.9	12.3
年代間の差	28.9	19.1	6.7	8.0	40.8	7.0	13.8	24.5	9.7

問4 普段の生活の中での省エネルギーや省資源・リサイクル活動

問4

次のア～ツについて、あなたが普段の生活の中で現在していることやこれからしたいことがあれば、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に をつけてください。

省エネルギー

- ア 使用していない家電製品のコンセントをぬく
- イ 冷蔵庫の適正使用（ドアの開閉時間を短くする、物をつめすぎない）
- ウ テレビをつけっぱなしにしない
- エ 冷暖房は適温にする（冬は20、夏は28前後）
- オ 省エネタイプの家電製品を使用する
- カ 照明器具はLED電球を使う
- キ 住宅の保温、断熱化を行う（カーテン、二重窓など）
- ク 自家用車の利用を控え、バス・電車・自転車を利用する
- ケ アイドリング・ストップ（自動車の駐停車中のエンジン停止）を行う
- コ 低公害車（電気自動車、ハイブリッド自動車、低燃費・低排出ガス車など）を利用する
- サ 夏場に家庭内の電気使用を抑えるため、身近な商業施設や公共施設など（クールスポット）に出掛ける

省資源・リサイクル

- シ 過剰包装の商品は買わない
- ス 買物の際、マイバッグを持参してレジ袋を断る
- セ 衣服や家具、家電製品は、修繕・修理して使用する
- ソ ビンやプラスチック容器は、中身だけを詰め替えて使用する
- タ チラシや包装紙などを計算用紙、封筒などにして再使用する
- チ 新聞紙、雑誌などを分別してリサイクル業者に出す
- ツ 生ごみ処理機を使用する

1 現在している

2 これからしたい

【全 県】

「現在している」と「これからしたい」を合わせると、18項目中10項目で9割を超えている。

省エネルギー関連

「現在している」ことでは、〔テレビをつけっぱなしにしない〕、〔冷暖房を適温にする〕、〔冷蔵庫の適正使用〕、〔家電製品のコンセントをぬく〕の割合が6割半ば～8割と高く、家庭で日常的に取り組める活動は割合が高くなっている。

一方で、新たに費用負担を伴うような〔照明器具はLED電球を使う〕、〔低公害車の利用〕は、「現在している」割合は低いが、「これからしたい」とする割合は6割程度と高い。

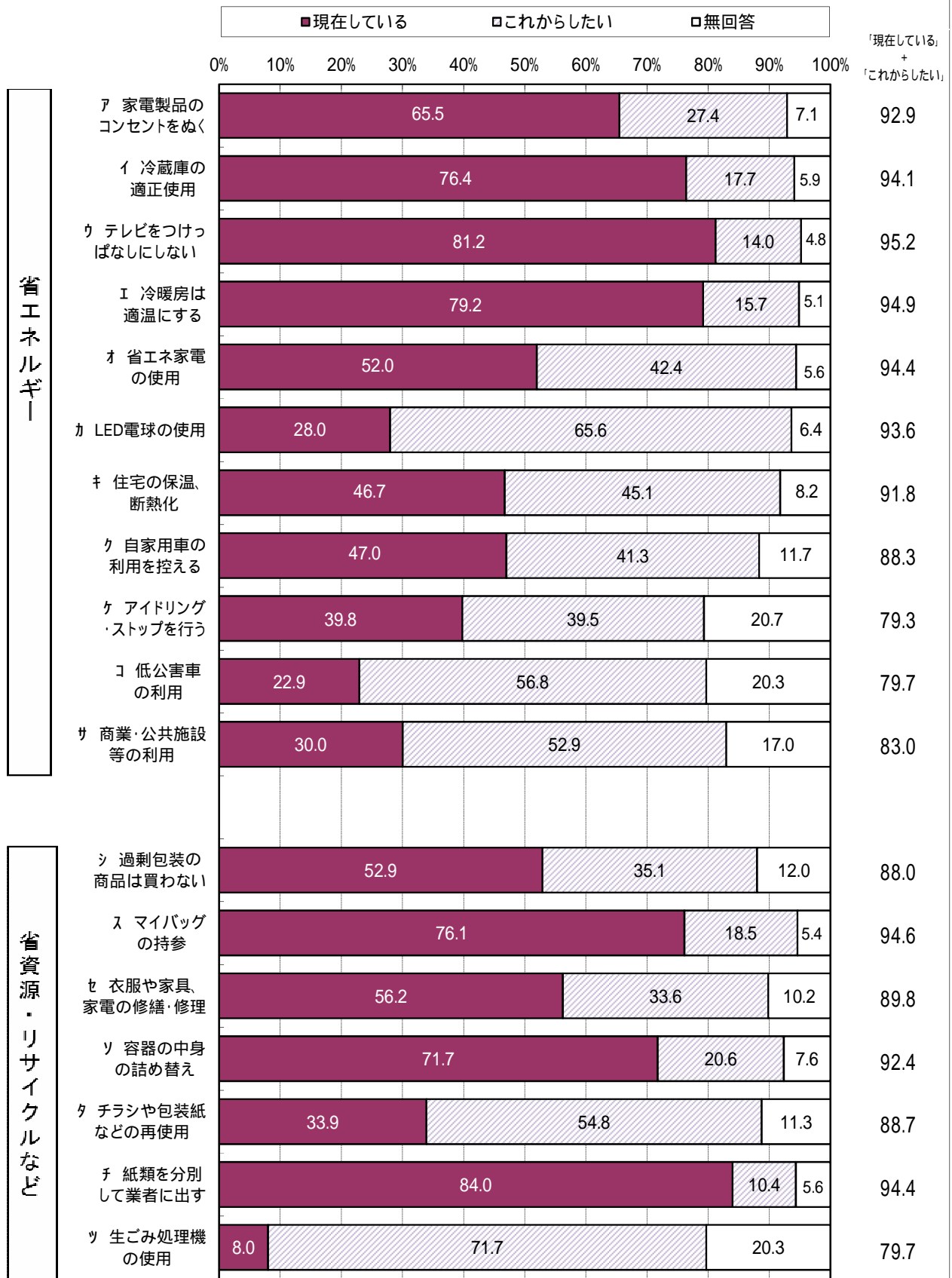
夏の節電対策の一環で実施した〔商業施設や公共施設など（クールスポット）に出掛ける〕は、3割の実施であった。

省資源・リサイクル関連

「現在している」ことでは、〔紙類を分別して業者に出す〕、〔マイバッグの持参〕、〔容器の中身を詰め替えて使用〕の割合が7～8割と高くなっており、普段の生活の中に定着しているといえる。

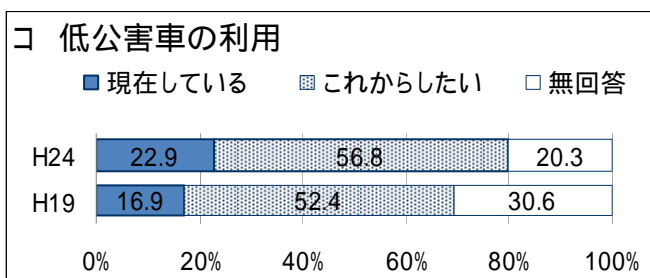
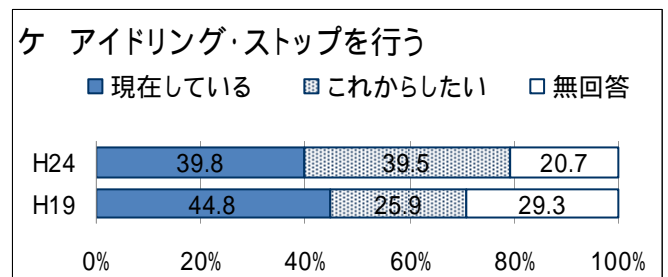
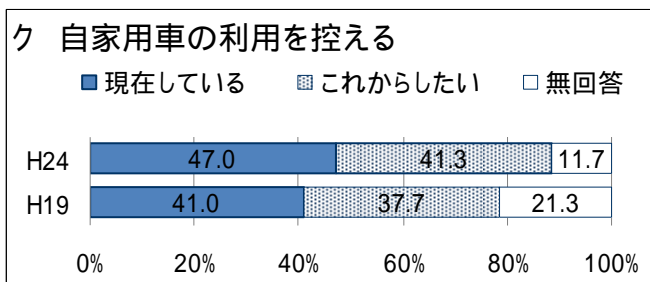
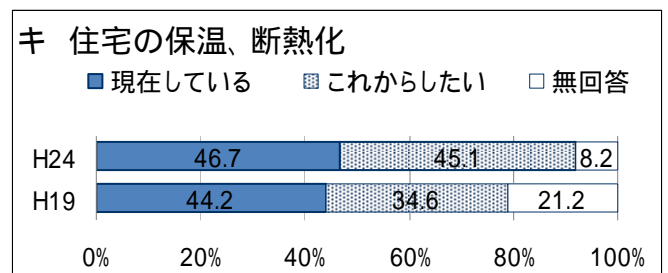
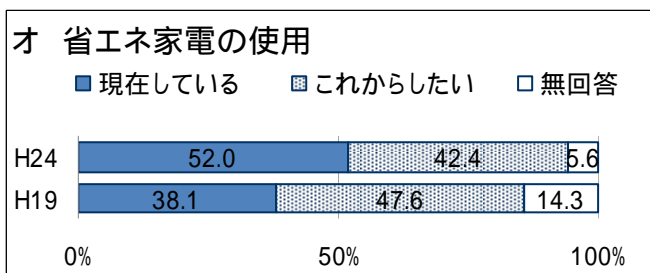
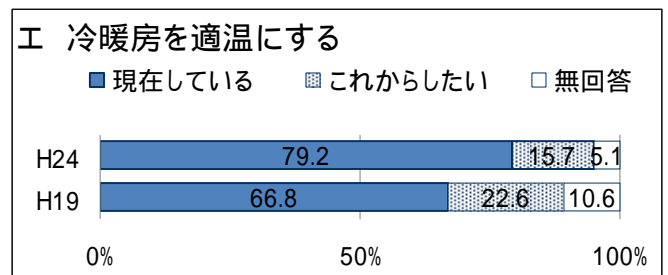
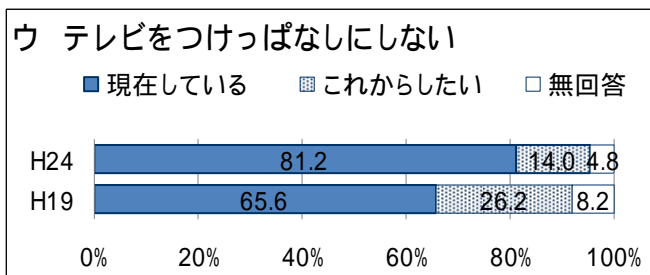
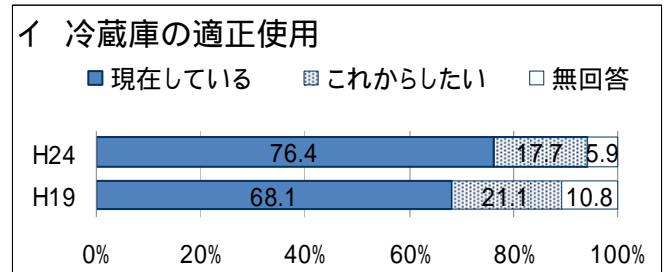
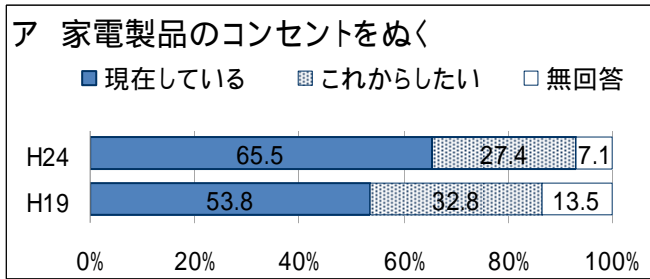
一方で、〔生ごみ処理機の使用〕は「現在している」割合では1割に満たないが、「これからしたい」とする割合は7割を超えている。

普段の生活の中での省エネルギーや省資源・リサイクル活動



【H19調査との比較】(省エネルギー関連)

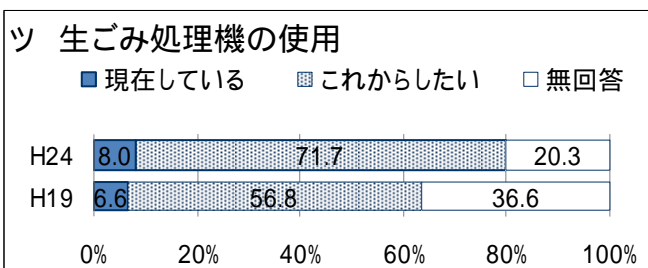
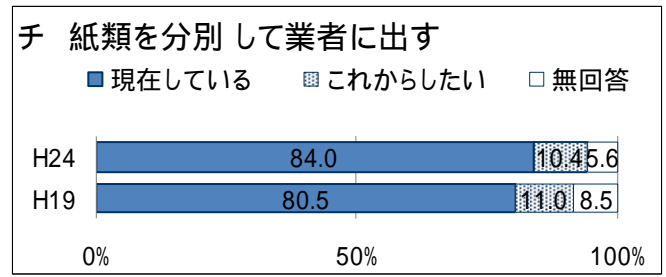
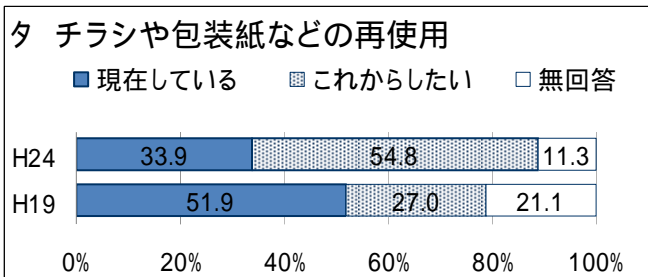
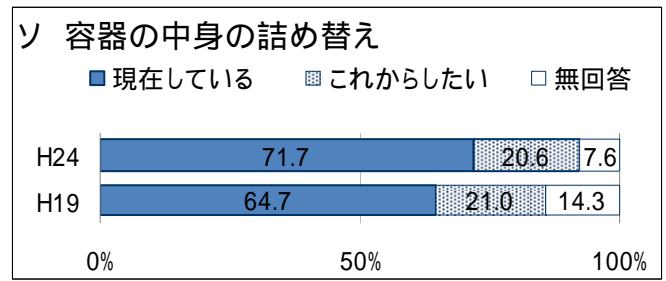
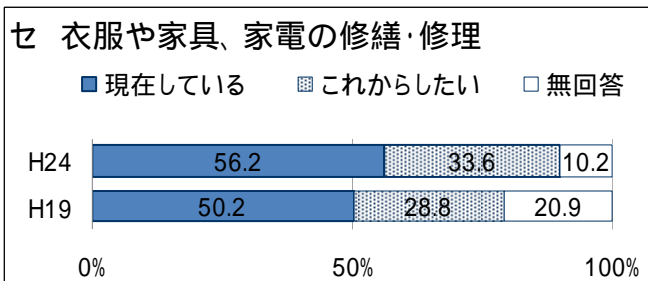
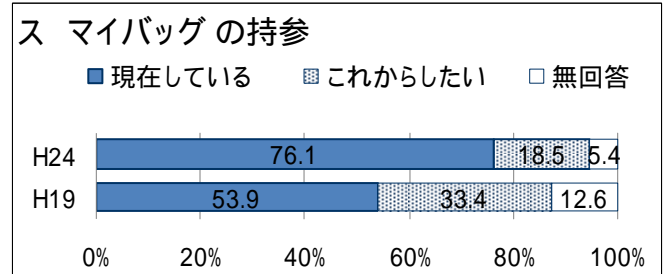
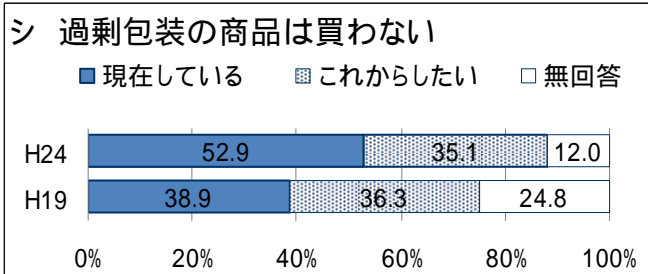
「現在している」と回答のあった省エネルギー活動の割合を H19 調査と比較すると、「アイドリング・ストップを行う」を除き前回調査を上回っている。



調査項目中「カ 照明器具はLED電球を使う」、「サ 商業・公共施設等(クールスポット)に出掛ける」は前回の調査で未実施のため記載していない。

【H19調査との比較】(省資源・リサイクル関連)

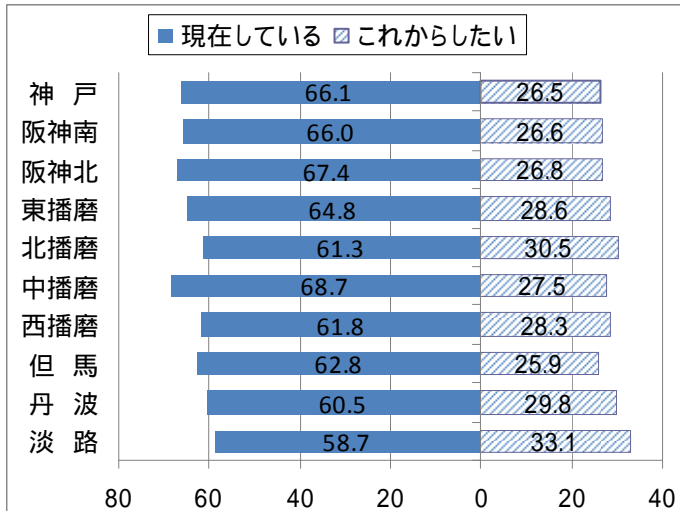
「現在している」と回答のあった省資源・リサイクル活動の割合を H19 調査と比較すると、〔チラシや包装紙などの再使用〕を除き前回調査を上回っており、特に〔マイバッグの持参〕では、前回調査と比べて 22.2ポイントも増加している。



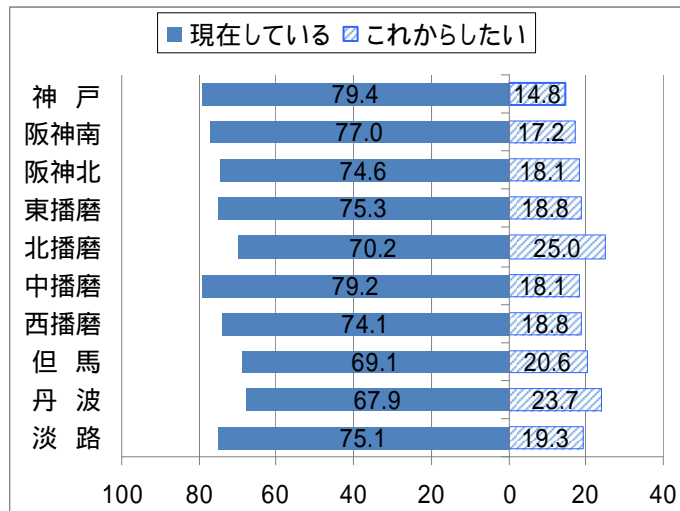
【地域別】(省エネルギー関連)

全体的に地域差はあまりみられないが、〔ク 自家用車の利用を控える〕のみ、都市部と農村部で大きな違いがあり、「現在している」で最も多い神戸と最も少ない丹波では 50 ポイントもの差が開いている。

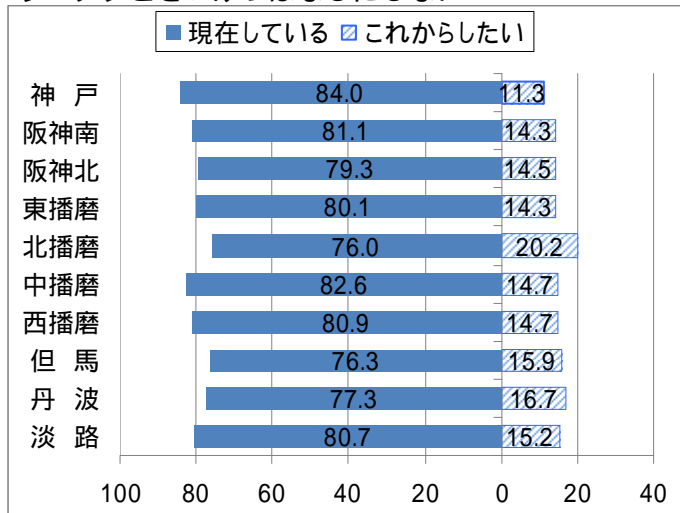
ア 家電製品のコンセントをぬく



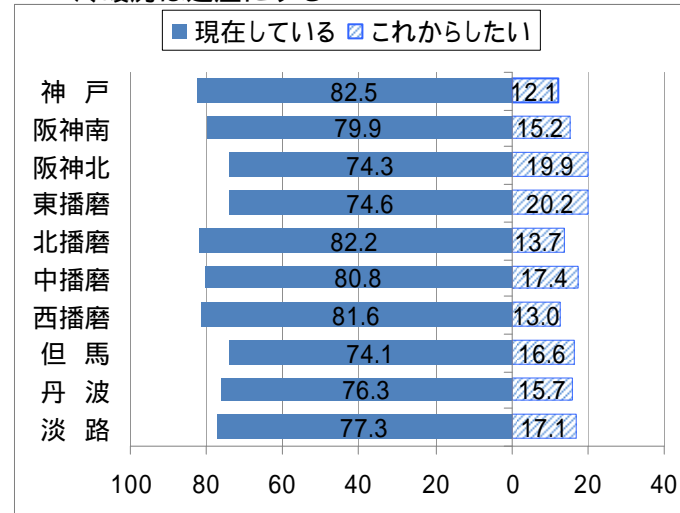
イ 冷蔵庫の適正使用



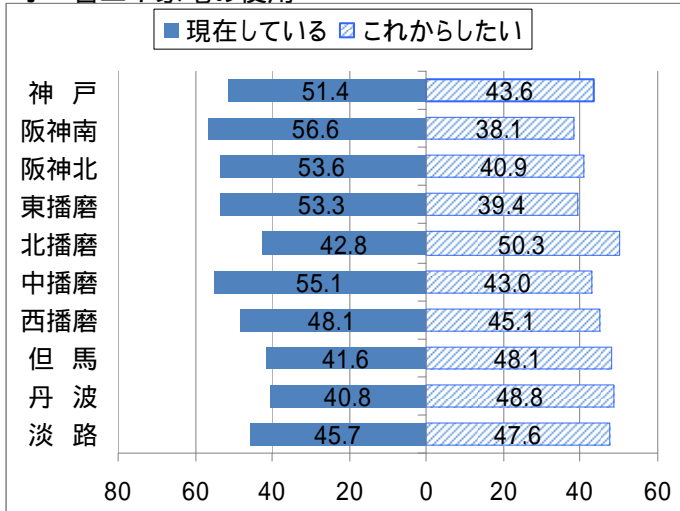
ウ テレビをつけっぱなしにしない



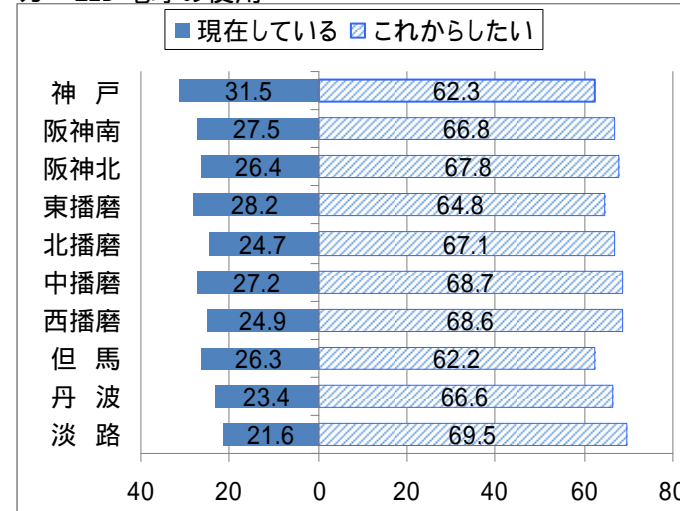
エ 冷暖房は適温にする



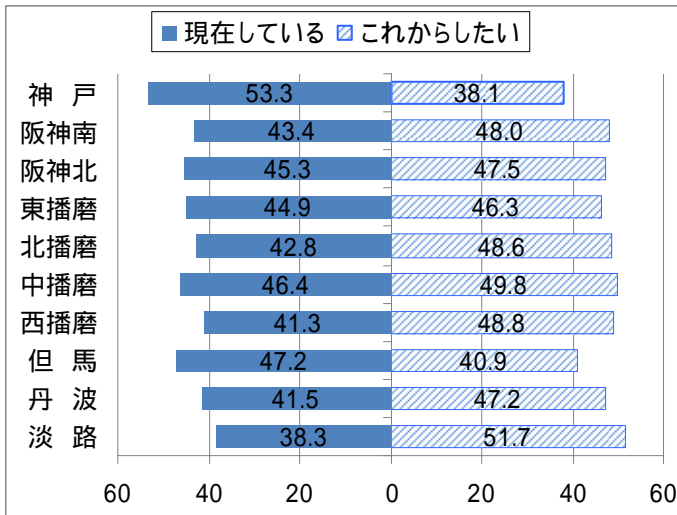
オ 省エネ家電の使用



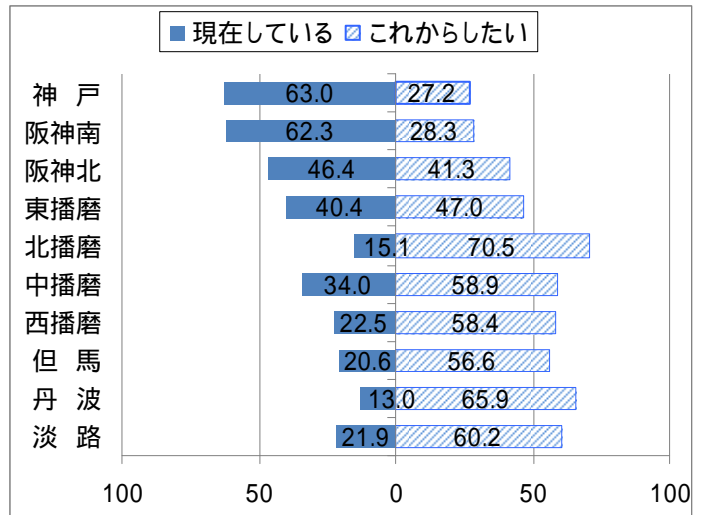
カ LED電球の使用



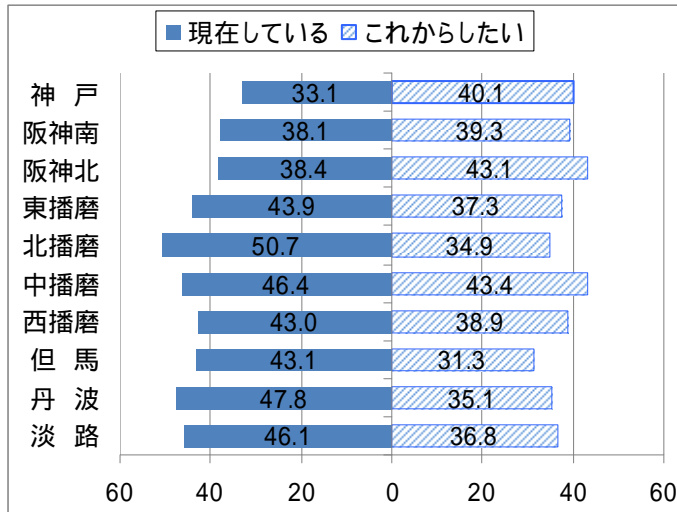
キ 住宅の保温、断熱化



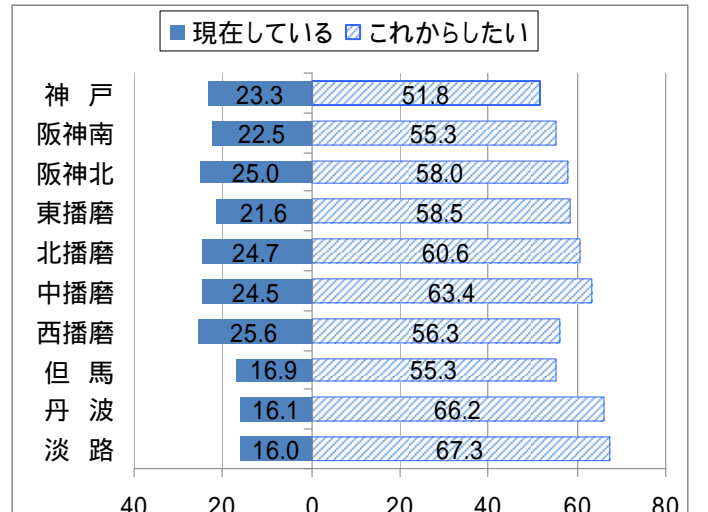
ク 自家用車の利用を控える



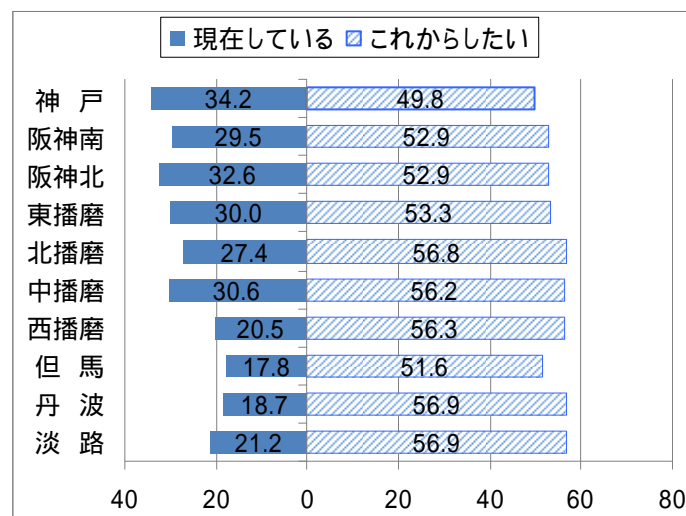
ケ アイドリング・ストップを行う



コ 低公害車の利用



サ 商業・公共施設等の利用

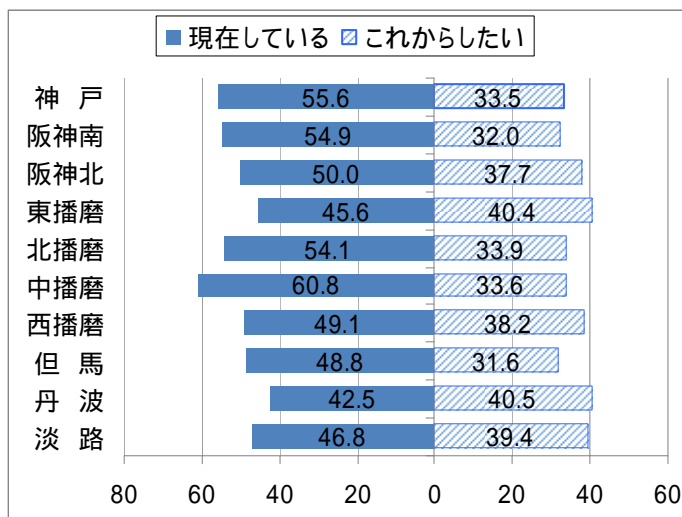


【地域別】(省資源・リサイクル関連)

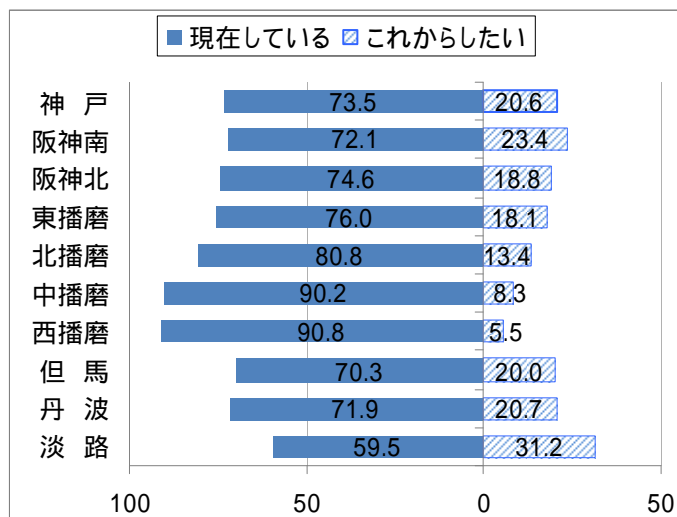
地域差はあまりみられないが、〔ス マイバッグの持参〕では、西播磨と中播磨のみ「現在している」が9割を超え多くなっている。

〔ツ 生ごみ処理機〕については、いずれの地域でも「現在している」割合は少ないものの、比較的、都市部より農村部で多い傾向がみられ、丹波では2割を上回っている。

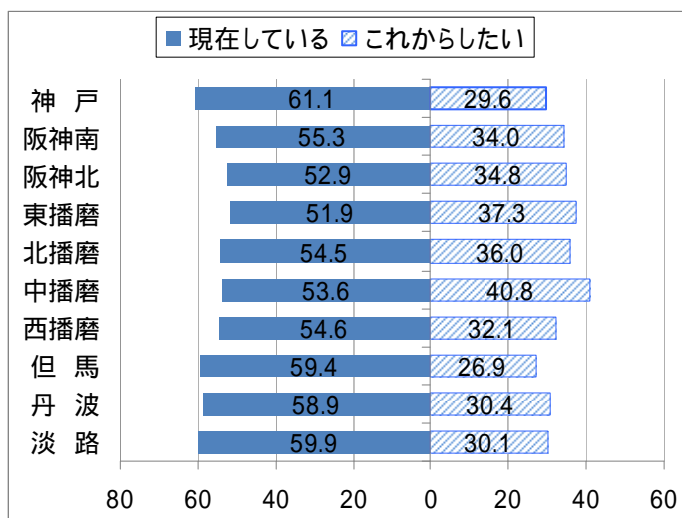
シ 過剰包装の商品は買わない



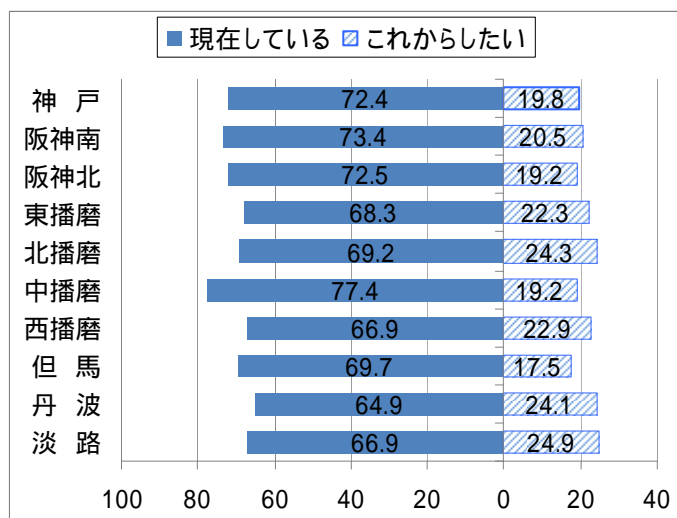
ス マイバッグの持参



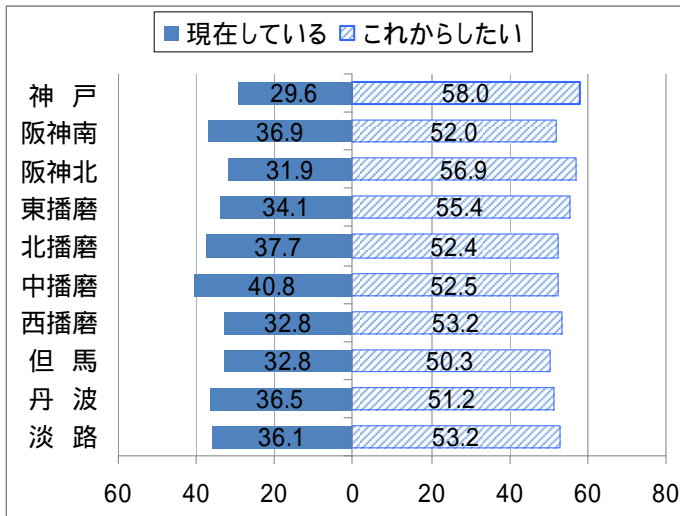
セ 衣服や家具、家電の修繕・修理



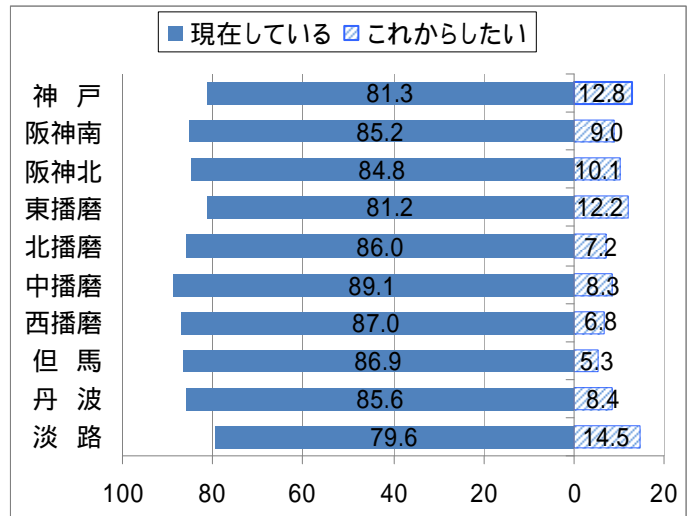
ソ 容器の中身の詰め替え



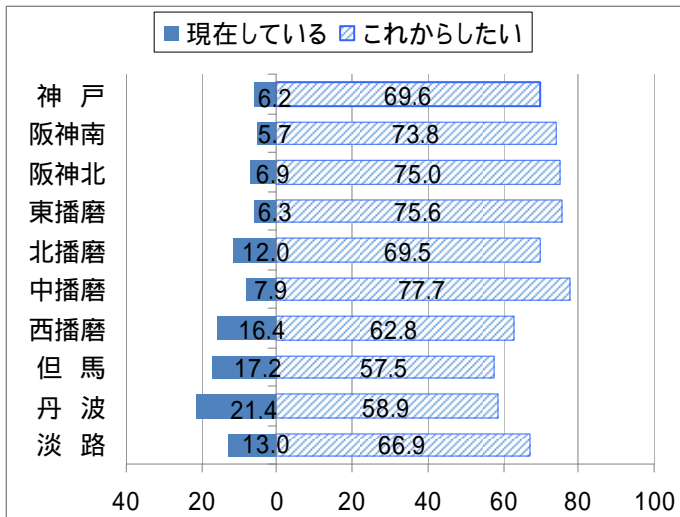
タ チラシや包装紙などの再使用



チ 紙類を分別して業者に出す



ツ 生ごみ処理機の使用



【性・年代別】(省エネルギー関連)

家庭全体で取り組む項目も多く、全体的に性別による違いは少ない。

暮らしの中での環境に配慮した工夫や努力【性別/性・年代別】(ア～サ)



最大値  最小値 

(%)

	ア 家電製品のコンセントをぬく			イ 冷蔵庫の適正使用			ウ テレビをつけっぱなしにしない		
	現在 している	これから したい	無回答	現在 している	これから したい	無回答	現在 している	これから したい	無回答
全 県	65.5	27.4	7.1	76.4	17.7	5.9	81.2	14.0	4.8
男 性	61.2	31.2	7.6	74.2	19.9	6.0	82.0	13.9	4.2
女 性	68.5	25.2	6.3	78.7	16.0	5.4	81.1	14.0	4.9
性別間の差	7.4	6.1		4.5	3.9		0.8	0.1	
男性-20代	54.3	33.9	11.7	63.3	23.3	13.4	72.7	22.8	4.5
男性-30代	63.1	30.0	6.9	78.3	18.5	3.2	82.2	14.7	3.1
男性-40代	70.1	23.6	6.3	81.5	17.6	0.9	82.4	16.8	0.7
男性-50代	55.8	33.2	11.0	68.5	22.6	8.9	78.3	17.1	4.5
男性-60代	59.6	35.3	5.0	74.5	20.5	4.9	81.9	14.5	3.6
男性-70代	58.5	34.4	7.1	76.4	17.1	6.5	87.7	5.7	6.6
男性-80歳以上	69.2	22.2	8.7	71.2	19.8	9.0	87.0	4.3	8.7
男性 年代間の差	15.7	13.2		18.2	6.2		15.0	18.5	
女性-20代	61.5	30.4	8.2	70.9	24.8	4.4	76.4	19.3	4.4
女性-30代	69.6	26.3	4.1	79.7	16.2	4.1	86.5	12.2	1.4
女性-40代	74.7	22.2	3.1	80.9	16.1	3.0	80.8	16.6	2.6
女性-50代	68.7	24.4	6.9	78.2	17.4	4.4	81.6	12.8	5.5
女性-60代	65.0	30.3	4.7	83.7	11.4	4.9	81.2	14.2	4.6
女性-70代	72.9	20.5	6.6	77.7	15.8	6.5	79.0	14.5	6.6
女性-80歳以上	59.4	22.8	17.8	69.0	16.4	14.6	81.6	6.3	12.1
女性 年代間の差	15.3	9.9		14.7	13.3		10.1	13.0	

(%)

	エ 冷暖房は適温にする			オ 省エネ家電の使用			カ LED電球の使用		
	現在 している	これから したい	無回答	現在 している	これから したい	無回答	現在 している	これから したい	無回答
全 県	79.2	15.7	5.1	52.0	42.4	5.6	28.0	65.6	6.4
男 性	76.1	18.5	5.4	49.8	46.0	4.3	25.4	69.6	5.0
女 性	81.9	13.5	4.5	53.6	40.1	6.3	29.8	63.3	6.9
性別間の差	5.8	4.9		3.8	5.8		4.4	6.2	
男性-20代	61.3	30.6	8.1	50.4	41.5	8.1	33.3	59.1	7.6
男性-30代	69.0	30.3	0.7	64.8	33.1	2.1	26.2	72.2	1.6
男性-40代	78.5	18.6	2.9	47.7	48.9	3.4	19.6	76.8	3.7
男性-50代	70.2	20.9	9.0	60.0	39.0	1.0	24.0	73.2	2.8
男性-60代	83.6	13.8	2.6	39.1	57.1	3.8	24.2	70.8	5.0
男性-70代	76.9	14.0	9.1	45.0	49.1	5.9	27.3	64.9	7.9
男性-80歳以上	87.4	4.1	8.5	47.9	40.8	11.3	30.9	58.4	10.7
男性 年代間の差	26.2	26.6		25.7	24.0		13.7	18.3	
女性-20代	74.5	19.6	5.9	59.0	35.4	5.6	36.2	59.8	4.0
女性-30代	78.4	18.7	2.9	55.2	42.9	1.9	34.0	64.0	2.0
女性-40代	82.9	15.0	2.1	59.6	38.8	1.6	30.9	66.9	2.2
女性-50代	81.3	13.8	4.9	53.4	42.5	4.2	27.9	66.9	5.2
女性-60代	84.5	12.6	2.9	56.3	39.1	4.5	29.1	63.6	7.3
女性-70代	84.3	9.5	6.1	47.0	43.8	9.3	33.1	58.3	8.5
女性-80歳以上	81.2	7.3	11.6	39.5	33.3	27.2	13.4	59.7	26.9
女性 年代間の差	10.0	12.4		20.0	10.5		22.8	8.6	

最大値  最小値  (%)

	キ 住宅の保温、断熱化			ク 自家用車の利用を控える			ケ アイドリング・ストップを行う		
	現在 している	これから したい	無回答	現在 している	これから したい	無回答	現在 している	これから したい	無回答
全 県	46.7	45.1	8.2	47.0	41.3	11.7	39.8	39.5	20.7
男 性	43.1	49.4	7.5	45.9	43.8	10.3	39.2	45.0	15.8
女 性	49.6	42.0	8.4	47.9	39.9	12.2	40.4	36.0	23.6
性別間の差	6.5	7.4		2.0	3.9		1.2	9.0	
男性-20代	32.8	53.5	13.7	57.4	32.2	10.4	24.9	60.0	15.2
男性-30代	41.1	54.0	4.9	40.0	53.2	6.7	32.7	60.2	7.2
男性-40代	50.1	42.7	7.2	43.0	48.0	9.0	47.5	45.3	7.1
男性-50代	40.8	53.4	5.8	40.8	47.5	11.7	38.1	49.0	12.9
男性-60代	43.5	52.2	4.2	45.8	43.7	10.5	33.8	48.3	18.0
男性-70代	42.0	48.5	9.5	48.9	40.1	11.0	52.1	28.7	19.2
男性-80歳以上	48.9	35.3	15.8	56.0	30.8	13.2	41.9	16.9	41.2
男性 年代間の差	17.3	18.6		17.4	22.4		27.3	43.2	
女性-20代	38.0	47.2	14.8	49.4	40.9	9.7	33.3	51.5	15.2
女性-30代	53.1	43.5	3.4	36.6	57.0	6.4	45.5	45.4	9.1
女性-40代	49.4	47.0	3.5	39.0	53.5	7.5	33.9	52.3	13.8
女性-50代	50.4	45.1	4.6	37.4	50.1	12.5	43.2	43.7	13.1
女性-60代	48.8	43.4	7.8	52.7	33.6	13.8	47.9	27.9	24.2
女性-70代	56.3	33.4	10.3	66.3	20.9	12.8	40.5	18.6	40.9
女性-80歳以上	41.9	31.3	26.7	54.0	18.1	27.9	27.3	12.9	59.8
女性 年代間の差	18.3	15.8		29.6	38.9		20.7	39.3	

	コ 低公害車の利用			サ 商業・公共施設等の利用		
	現在 している	これから したい	無回答	現在 している	これから したい	無回答
全 県	22.9	56.8	20.3	30.0	52.9	17.0
男 性	24.8	59.8	15.3	27.9	57.3	14.7
女 性	21.9	54.8	23.3	31.6	50.4	18.0
性別間の差	3.0	5.0		3.7	7.0	
男性-20代	20.4	67.3	12.3	40.0	49.2	10.8
男性-30代	25.2	68.5	6.3	41.4	51.5	7.1
男性-40代	26.0	63.3	10.7	29.5	56.9	13.6
男性-50代	27.3	60.7	12.0	31.0	52.9	16.1
男性-60代	27.1	56.1	16.8	16.6	69.4	13.9
男性-70代	24.3	58.3	17.4	28.4	52.5	19.1
男性-80歳以上	15.4	42.9	41.7	17.4	58.0	24.6
男性 年代間の差	11.8	25.6		24.7	20.2	
女性-20代	21.1	67.7	11.2	30.8	56.9	12.2
女性-30代	26.8	65.1	8.2	45.3	49.3	5.3
女性-40代	25.7	63.1	11.2	40.6	51.3	8.1
女性-50代	22.8	64.4	12.7	30.0	56.3	13.7
女性-60代	22.4	48.8	28.8	28.4	51.1	20.5
女性-70代	16.1	42.4	41.5	26.1	47.2	26.7
女性-80歳以上	15.3	30.0	54.7	16.2	35.1	48.7
女性 年代間の差	11.5	37.7		29.2	21.8	

【性・年代別】(省資源・リサイクル関連)

性別では、〔ス マイバッグの持参〕で、「現在している」割合で見ると、女性の方が男性を14.2ポイント上回っているが、〔セ 衣服や家具、家電の修繕・修理〕では男女の差はほとんどみられない。

暮らしの中での環境に配慮した工夫や努力【性別/性・年代別】(シ～ツ)

最大値  最小値 

(%)

	シ 過剰包装の商品は買わない			ス マイバッグの持参			セ 衣服や家具、家電の修繕・修理		
	現在している	これからしたい	無回答	現在している	これからしたい	無回答	現在している	これからしたい	無回答
全 県	52.9	35.1	12.0	76.1	18.5	5.4	56.2	33.6	10.2
男 性	46.8	40.8	12.4	68.1	25.8	6.2	56.3	35.0	8.8
女 性	57.9	31.0	11.1	82.3	13.2	4.5	56.8	32.6	10.6
性別間の差	11.1	9.8		14.2	12.6		0.5	2.4	
男性-20代	44.5	39.5	16.0	55.7	32.9	11.4	49.5	41.5	9.0
男性-30代	38.3	48.9	12.8	69.8	29.6	0.5	50.3	41.3	8.4
男性-40代	50.9	35.3	13.8	68.1	25.0	7.0	60.5	31.3	8.2
男性-50代	58.4	31.0	10.6	65.4	26.5	8.1	54.2	37.9	7.9
男性-60代	43.0	47.3	9.7	65.0	30.5	4.5	48.5	43.2	8.3
男性-70代	48.2	38.3	13.5	81.8	13.7	4.5	68.5	20.7	10.8
男性-80歳以上	38.8	46.3	14.9	67.2	20.4	12.4	69.3	20.8	9.8
男性 年代間の差	20.1	17.9		26.1	19.2		20.8	22.5	
女性-20代	45.2	44.3	10.5	72.2	23.8	4.0	44.5	44.8	10.8
女性-30代	53.4	41.9	4.6	86.2	11.2	2.6	57.0	37.7	5.3
女性-40代	55.8	38.4	5.8	80.9	16.3	2.8	46.6	46.8	6.5
女性-50代	62.6	26.8	10.6	82.6	13.7	3.7	54.9	34.2	10.8
女性-60代	59.5	29.3	11.3	90.4	6.9	2.7	61.3	27.9	10.7
女性-70代	61.4	22.8	15.8	78.7	15.4	5.9	66.7	20.9	12.5
女性-80歳以上	59.1	16.6	24.4	74.2	9.9	15.9	61.8	15.7	22.5
女性 年代間の差	17.3	27.7		18.3	16.9		22.2	31.1	

(%)

	ソ 容器の中身の詰め替え			タ チラシや包装紙などの再使用			チ 紙類を分別して業者に出す		
	現在している	これからしたい	無回答	現在している	これからしたい	無回答	現在している	これからしたい	無回答
全 県	71.7	20.6	7.6	33.9	54.8	11.3	84.0	10.4	5.6
男 性	64.1	27.8	8.0	51.2	38.9	9.9	81.2	13.4	5.5
女 性	77.7	15.5	6.8	57.7	30.8	11.5	86.6	8.2	5.2
性別間の差	13.6	12.3		6.5	8.1		5.5	5.2	
男性-20代	60.6	25.7	13.7	50.2	40.5	9.3	56.9	33.0	10.1
男性-30代	65.8	27.8	6.4	49.9	45.2	4.9	72.8	20.6	6.6
男性-40代	72.1	21.3	6.7	47.8	41.4	10.8	80.8	13.5	5.8
男性-50代	67.8	29.0	3.2	44.6	45.0	10.3	81.6	13.4	4.9
男性-60代	58.6	34.0	7.5	53.9	33.8	12.3	87.1	8.9	3.9
男性-70代	62.4	25.1	12.6	60.7	31.4	7.9	90.7	6.8	2.5
男性-80歳以上	61.2	27.4	11.4	48.1	38.8	13.1	82.9	7.3	9.8
男性 年代間の差	13.5	12.7		16.1	13.8		33.8	26.2	
女性-20代	67.2	26.3	6.4	51.2	38.7	10.1	69.9	21.3	8.8
女性-30代	91.2	7.0	1.9	52.7	39.2	8.1	87.4	9.2	3.5
女性-40代	84.6	13.7	1.8	56.6	36.0	7.4	87.7	9.4	2.8
女性-50代	80.0	16.3	3.7	51.0	39.7	9.4	88.5	8.5	3.0
女性-60代	76.0	17.5	6.6	64.3	25.2	10.6	88.8	6.8	4.4
女性-70代	73.2	16.1	10.7	65.0	19.5	15.5	91.7	2.9	5.4
女性-80歳以上	61.7	13.6	24.7	54.9	19.0	26.1	78.2	5.6	16.3
女性 年代間の差	29.5	19.3		14.0	20.7		21.8	18.5	

(%)

	ツ 生ごみ処理機の使用		
	現在 している	これから したい	無回答
全 県	8.0	71.7	20.3
男 性	7.4	75.1	17.5
女 性	8.7	69.7	21.6
性別間の差	1.3	5.4	
男性-20代	6.6	78.1	15.4
男性-30代	4.6	83.8	11.6
男性-40代	9.8	75.3	14.9
男性-50代	6.3	71.3	22.4
男性-60代	4.5	77.3	18.2
男性-70代	10.6	70.8	18.6
男性-80歳以上	12.7	67.5	19.8
男性 年代間の差	8.2	16.3	
女性-20代	6.6	80.9	12.5
女性-30代	4.7	85.9	9.4
女性-40代	6.3	77.0	16.7
女性-50代	10.4	74.2	15.4
女性-60代	9.4	63.0	27.6
女性-70代	11.0	61.8	27.3
女性-80歳以上	11.4	43.8	44.8
女性 年代間の差	6.7	42.2	

問5 環境学習で重視すること

問5

あなたが環境について学ぶとすれば、どのようなことを重視しますか。次の中から2つまで選んで番号に をつけてください。

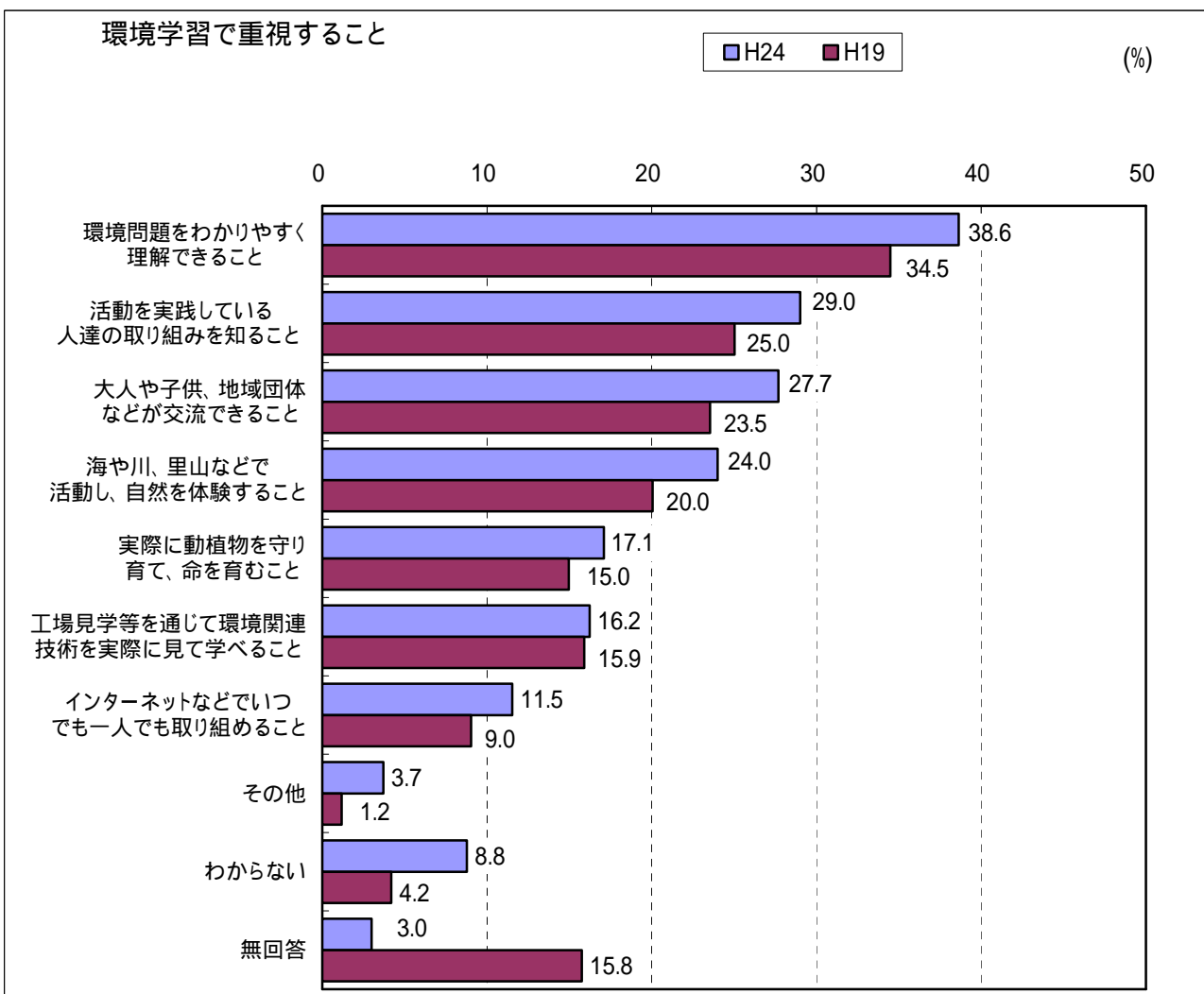
- 1 環境問題をわかりやすく理解できること
- 2 工場見学等を通じて、環境関連技術を実際に見て学べること
- 3 活動を実践している人達の取り組みを知ること
- 4 インターネットなどでいつでも一人でも取り組めること
- 5 海や川、里山などで活動し、自然を体験すること
- 6 実際に動植物を守り育て、命を育むこと
- 7 大人や子供、地域団体などが交流できること
- 8 その他
- 9 わからない

【全 県】

「わかりやすく理解できること」が4割弱で最も多く、「活動を実践している人達の取り組みを知る」、「大人や子供、地域団体などが交流できる」が約3割となっている。

【H19調査との比較】

H19調査と概ね同じ傾向となっている。



【地域別】

全県で最も多かった「環境問題をわかりやすく理解できること」は、農村部よりも都市部で多くなっている一方で、「大人や子供、地域団体を交流できること」では、都市部よりも農村部で多い傾向がみられ、地域間の差も11.1ポイントで最も大きい。

環境学習で重視すること【地域別】													
						最大値		最小値		(%)			
	こ や 環 境 問 題 を わ か り 易 く 理 解 で き る こ と	を 実 際 に 見 て 学 べ る こ と	工 場 見 学 等 を 通 じ て 、 環 境 関 連 技 術	活 動 を 実 践 し て い る 人 達 の 取 り 組 み を 知 る こ と	と ど も 取 り 組 め る こ と	イ ン タ ー ネ ッ ト な ど で い つ で も 一 人 で 取 り 組 め る こ と	体 験 す る こ と	海 や 川 、 里 山 な ど で 活 動 し 、 自 然 を 体 験 す る こ と	こ り 育 て 、 命 を 育 む こ と	大 人 や 子 供 、 地 域 団 体 な ど が 交 流 で き る こ と	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 県	38.6	16.2	29.0	11.5	24.0	17.1	27.7	3.7	8.8	3.0			
地域別													
神 戸	42.0	14.0	31.5	12.5	26.1	15.2	26.5	3.5	8.2	2.3			
阪神南	39.8	21.3	23.0	12.3	27.0	18.0	24.6	4.1	6.6	2.5			
阪神北	39.9	15.9	32.6	13.8	23.6	15.9	28.3	4.7	7.6	2.5			
東播磨	34.1	17.4	29.6	12.2	19.9	19.9	25.1	2.1	12.2	3.8			
北播磨	38.7	16.1	27.1	10.3	20.9	15.1	30.1	4.1	11.3	2.1			
中播磨	37.7	15.1	27.2	10.2	22.3	19.2	29.4	4.9	8.7	4.2			
西播磨	33.4	13.0	28.7	9.2	20.1	18.8	35.2	2.7	10.9	3.8			
但 馬	33.1	13.4	29.4	5.0	24.4	15.9	33.1	4.4	11.3	4.7			
丹 波	34.4	15.1	32.8	6.7	20.4	18.1	33.1	2.7	8.4	4.7			
淡 路	34.2	14.5	32.7	5.9	24.9	16.4	35.7	2.2	8.9	4.1			
地域間の差	8.9	8.3	9.8	8.8	7.2	4.8	11.1	2.8	5.6	2.6			

【性別、性・年代別】

男女の差が最も大きいのは、「海や川、里山などで活動し、自然を体験すること」で、男性が女性を11.4ポイント上回っている。

また、男女ともに主要な項目では20代や30代など、若い年代の割合が最も多くなっている。

環境学習で重視すること【性別】

(%)

	環境問題をわかりやすく理解できること	工場見学等を通じて、環境関連技術を実際に見て学べること	活動を実践している人達を知ること	インターネットなどでも取り組めること	海や川、里山などで活動し、自然を体験すること	実際に動植物を守り育て、命を育むこと	大人や子供、地域団体などが交流できること	その他	わからない	無回答
全 県	38.6	16.2	29.0	11.5	24.0	17.1	27.7	3.7	8.8	3.0
性別										
男 性	35.4	19.3	28.6	12.9	30.7	15.1	27.3	3.8	7.7	2.0
女 性	41.4	14.3	29.2	10.8	19.3	18.6	27.9	3.8	9.8	3.1
性別間の差	6.0	5.1	0.6	2.2	11.4	3.6	0.6	0.0	2.1	1.2

環境学習で重視すること【性・年代別】

最大値

最小値

(%)

	環境問題をわかりやすく理解できること	工場見学等を通じて、環境関連技術を実際に見て学べること	活動を実践している人達を知ること	インターネットなどでも取り組めること	海や川、里山などで活動し、自然を体験すること	実際に動植物を守り育て、命を育むこと	大人や子供、地域団体などが交流できること	その他	わからない	無回答
全 県	38.6	16.2	29.0	11.5	24.0	17.1	27.7	3.7	8.8	3.0
性・年代別										
男 性										
20代	26.6	25.0	19.8	9.6	48.9	21.7	24.5	7.3	3.5	1.2
30代	38.7	16.3	25.7	18.3	31.7	9.0	28.9	4.8	11.6	0.2
40代	29.9	20.2	22.5	16.7	35.9	16.0	31.8	1.1	8.9	0.9
50代	45.5	20.9	31.8	14.0	26.7	15.7	18.2	4.4	6.3	0.4
60代	35.3	16.5	35.8	13.9	34.2	14.8	25.4	2.5	4.6	1.4
70代	34.5	23.8	26.3	9.0	22.3	14.7	35.4	4.2	9.3	1.6
80歳以上	28.8	13.3	29.3	2.6	14.6	16.6	28.8	5.2	12.0	13.8
年代間の差	18.9	11.6	16.0	15.8	34.3	12.7	17.1	6.2	8.5	13.6
女 性										
20代	39.0	17.6	31.5	21.0	23.1	25.9	19.3	0.6	5.6	0.0
30代	41.3	22.8	23.5	15.3	25.8	14.9	29.4	3.9	7.2	0.0
40代	44.2	11.1	31.8	16.0	19.6	16.7	28.9	1.1	10.1	0.1
50代	51.1	15.7	34.3	14.3	21.9	14.2	21.5	1.8	6.2	1.4
60代	38.8	11.0	33.1	6.5	21.5	22.4	30.3	6.7	10.0	1.5
70代	40.0	15.5	25.8	3.6	12.6	20.9	29.8	4.7	9.7	9.1
80歳以上	26.3	8.3	14.6	1.7	7.8	15.4	34.8	6.6	24.4	13.4
年代間の差	24.7	14.5	19.7	19.3	18.1	11.7	15.5	6.1	18.8	13.4

問6 県が環境学習を推進する上で特に重要と思われること

問6

県が環境学習を推進する上で、特に重要と思われることはどのようなことですか。次の中から2つまで選んで番号に をつけてください。

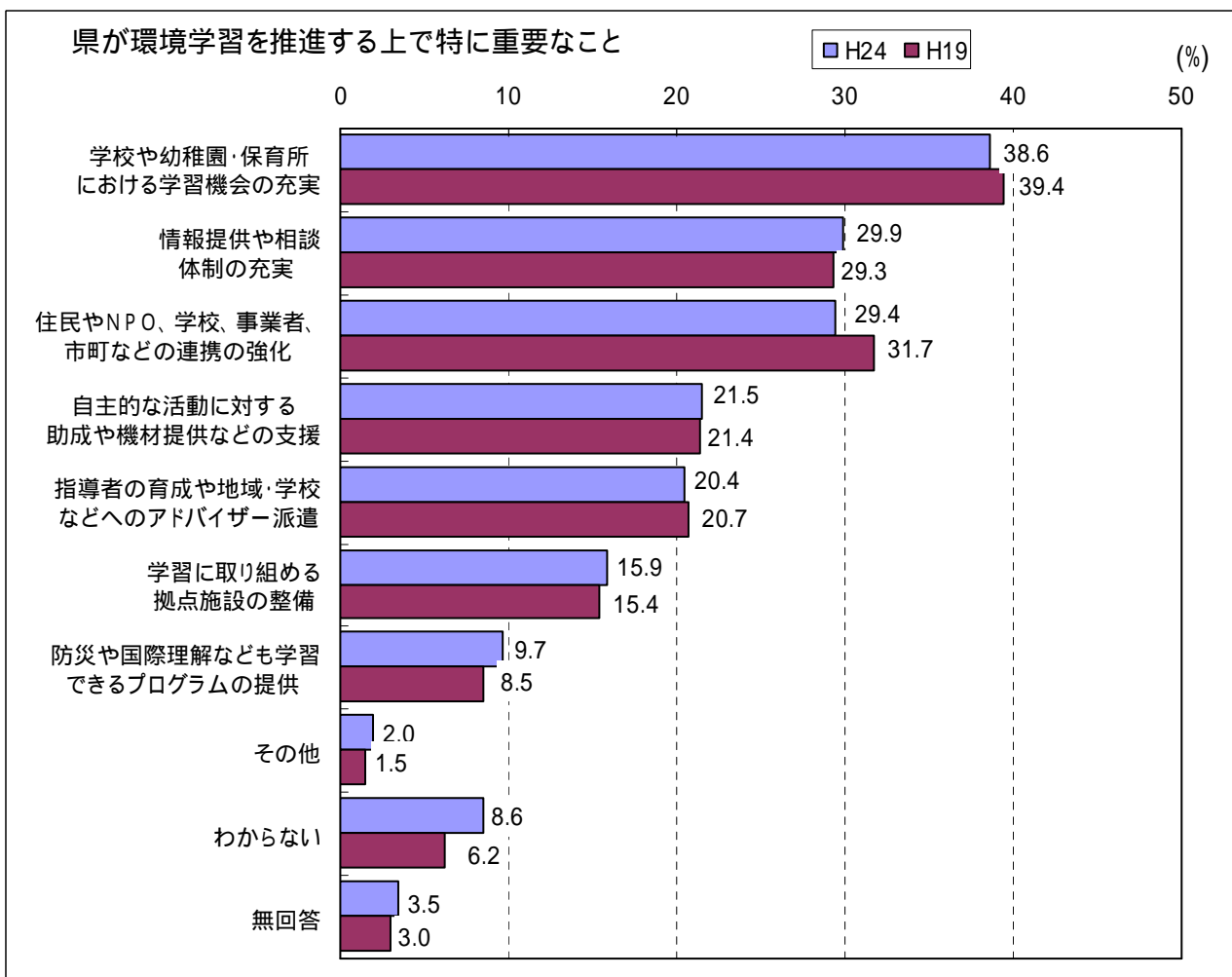
- 1 情報提供や相談体制の充実
- 2 学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実
- 3 防災や国際理解なども学習できるプログラムの提供
- 4 住民やNPO、学校、事業者、市町などの連携の強化
- 5 指導者の育成や地域・学校などへのアドバイザー派遣
- 6 自主的な活動に対する助成や機材提供などの支援
- 7 学習に取り組める拠点施設の整備
- 8 その他
- 9 わからない

【全 県】

「学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実」が約4割で最も多く、「情報提供や相談体制の充実」「住民やNPO、学校、事業者、市町などの連携の強化」が約3割となっている。

【H19調査との比較】

H19調査と概ね同じ傾向となっている。



【地域別】

地域間の差が最も大きいのは、「自主的な活動に対する助成や機材提供などの支援」で、西播磨では3割を超えているが、神戸では1割半ばに留まっている。一方、「情報提供や相談体制の充実」では神戸が3割半ばで最も多く、北播磨が2割半ば留まっており、地域により求められる支援内容の違いが見受けられる。

県が環境学習を推進する上で特に重要なこと【地域別】

	最大値						最小値			(%)
	情報提供や相談体制の充実	学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実	防災や国際理解などでも学習できるプログラム	住民や事業者の連携の強化	指導者の育成や地域・学校などへの派遣	自主的な活動に対する助成や機材提供	学習施設への整備	その他	わからない	無回答
全 県	29.9	38.6	9.7	29.4	20.4	21.5	15.9	2.0	8.6	3.5
地域別										
神 戸	36.2	37.4	11.3	32.3	19.8	15.6	16.7	1.2	7.4	2.7
阪神南	28.3	41.8	8.6	25.0	23.8	22.5	13.1	2.5	7.4	3.3
阪神北	27.5	40.6	9.1	27.9	26.1	25.4	15.9	2.5	8.0	2.2
東播磨	26.1	37.6	10.1	30.0	17.4	21.3	20.6	2.4	10.5	4.2
北播磨	26.0	38.4	7.5	28.8	17.1	20.2	15.1	1.4	14.4	1.7
中播磨	28.3	37.7	10.9	34.0	17.0	21.5	15.5	2.3	8.3	4.9
西播磨	26.6	35.2	7.5	28.0	18.4	33.8	16.7	1.0	7.5	5.8
但 馬	30.3	37.5	9.4	25.3	17.5	25.9	12.8	2.2	10.3	5.6
丹 波	26.1	41.5	4.0	29.1	21.4	26.4	12.0	1.0	9.0	5.0
淡 路	28.3	33.1	10.4	24.9	16.0	30.9	12.6	3.7	11.9	5.2
地域間の差	10.2	8.7	7.3	9.1	10.1	18.2	8.5	2.7	7.0	4.1

【性別、性・年代別】

性別による大きな違いは見受けられない。

性・年代別でみると、「学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実」は、男女ともに30代で最も大きくなっており、就学児童を持つ年代で特に期待されていることがうかがえる。

県が環境学習を推進する上で特に重要なこと【性別】

(%)

	情報提供や相談体制の充実	学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実	防災や国際理解なども学習できるプログラムを提供	住民や事業者、市町などの連携の強化	指導者の育成や地域・学校などへのアドバイザー派遣	自主的な活動に対する助成や機材提供などの支援	学習に取り組める拠点施設の整備	その他	わからない	無回答
全 県	29.9	38.6	9.7	29.4	20.4	21.5	15.9	2.0	8.6	3.5
性別										
男 性	30.0	39.5	8.9	30.3	21.0	24.2	17.7	2.3	7.3	1.7
女 性	30.3	38.1	10.4	28.8	19.9	20.0	14.7	1.8	9.7	4.2
性別間の差	0.3	1.4	1.5	1.5	1.2	4.1	3.0	0.6	2.4	2.4

県が環境学習を推進する上で特に重要なこと【性・年代別】

最大値

最小値

(%)

	情報提供や相談体制の充実	学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実	防災や国際理解なども学習できるプログラムを提供	住民や事業者、市町などの連携の強化	指導者の育成や地域・学校などへのアドバイザー派遣	自主的な活動に対する助成や機材提供などの支援	学習に取り組める拠点施設の整備	その他	わからない	無回答
全 県	29.9	38.6	9.7	29.4	20.4	21.5	15.9	2.0	8.6	3.5
性・年代別										
男 性										
20代	21.1	40.5	1.9	35.8	29.8	27.4	14.1	2.7	10.1	1.2
30代	27.0	47.2	8.8	32.2	6.8	26.2	21.8	3.0	8.8	0.2
40代	26.9	43.4	5.8	28.9	23.0	25.3	18.9	2.8	7.0	0.6
50代	28.7	44.8	15.5	33.3	16.2	27.0	17.7	0.8	4.1	0.7
60代	29.1	37.6	9.3	32.0	26.5	24.0	15.5	2.9	5.3	1.1
70代	38.9	35.3	9.9	27.5	19.0	18.6	22.3	2.3	9.5	1.6
80歳以上	37.9	20.4	4.9	18.0	30.0	19.8	9.7	1.5	11.2	11.6
年代間の差	17.8	26.8	13.7	17.8	23.2	8.8	12.6	2.2	7.2	11.4
女 性										
20代	31.2	50.9	16.9	31.8	17.3	18.2	10.1	2.5	5.4	0.0
30代	19.6	67.2	7.8	28.5	19.6	27.6	10.0	1.0	4.4	0.0
40代	25.0	43.4	12.5	31.7	22.9	23.5	13.9	1.5	8.6	0.7
50代	35.6	38.1	8.4	37.8	21.1	22.2	13.1	1.1	6.6	1.1
60代	32.9	30.1	7.7	26.2	20.1	16.9	21.5	1.8	13.3	3.9
70代	33.8	25.6	12.3	25.2	17.8	16.3	14.2	2.8	10.4	11.5
80歳以上	30.7	18.7	10.7	14.8	17.2	14.3	13.6	1.9	19.2	13.9
年代間の差	16.0	48.5	9.2	23.0	5.8	13.3	11.5	1.8	14.8	13.9

2 『再生可能エネルギーの利用』に関することについて

問7 再生可能エネルギーの認知度

問7

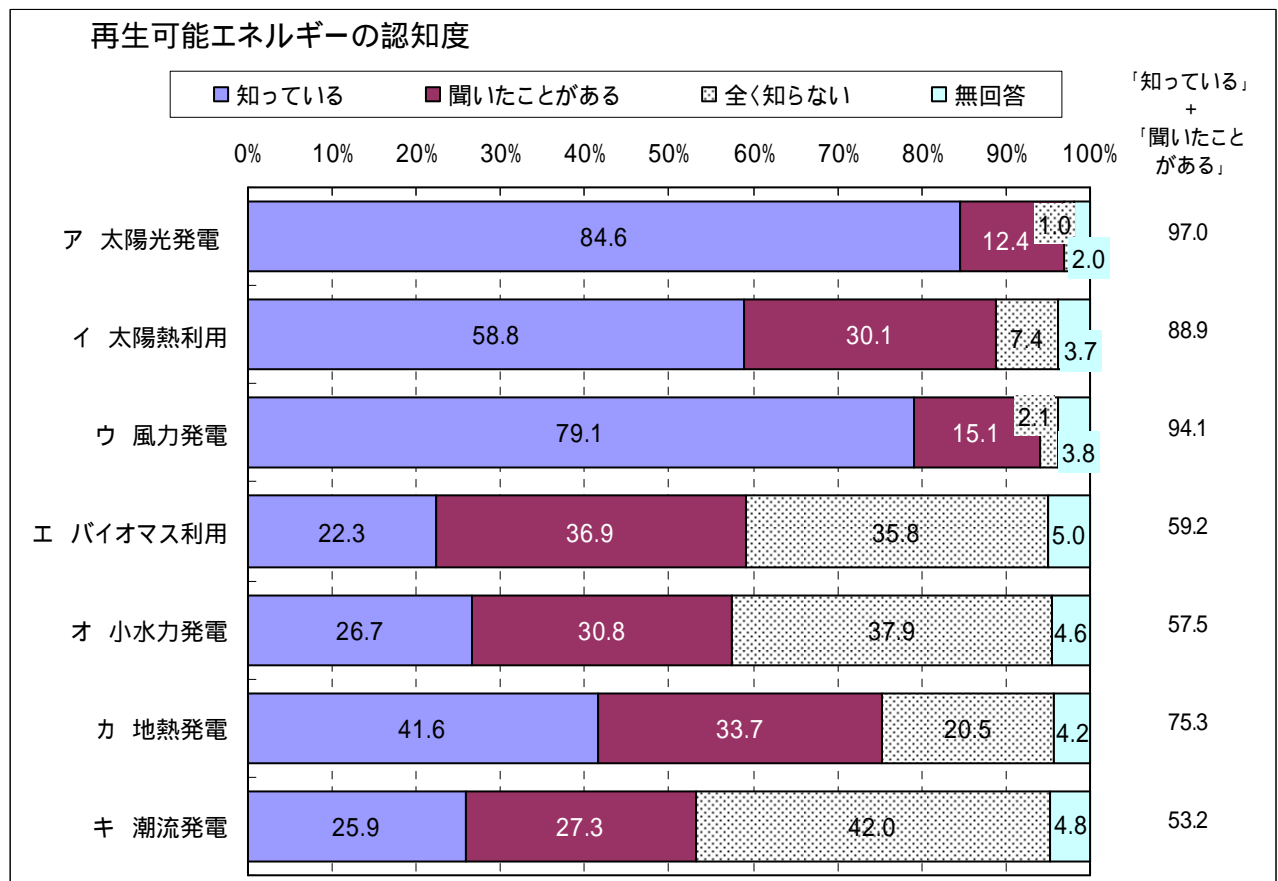
次のア～キの再生可能エネルギーについて、あなたはどの程度ご存じですか。それぞれの項目ごとに1つ選んで番号にをつけてください。

- | | |
|-----------|---------|
| ア 太陽光発電 | オ 小水力発電 |
| イ 太陽熱利用 | カ 地熱発電 |
| ウ 風力発電 | キ 潮流発電 |
| エ バイオマス利用 | |

- 1 知っている 2 聞いたことがある 3 全く知らない

【全 県】

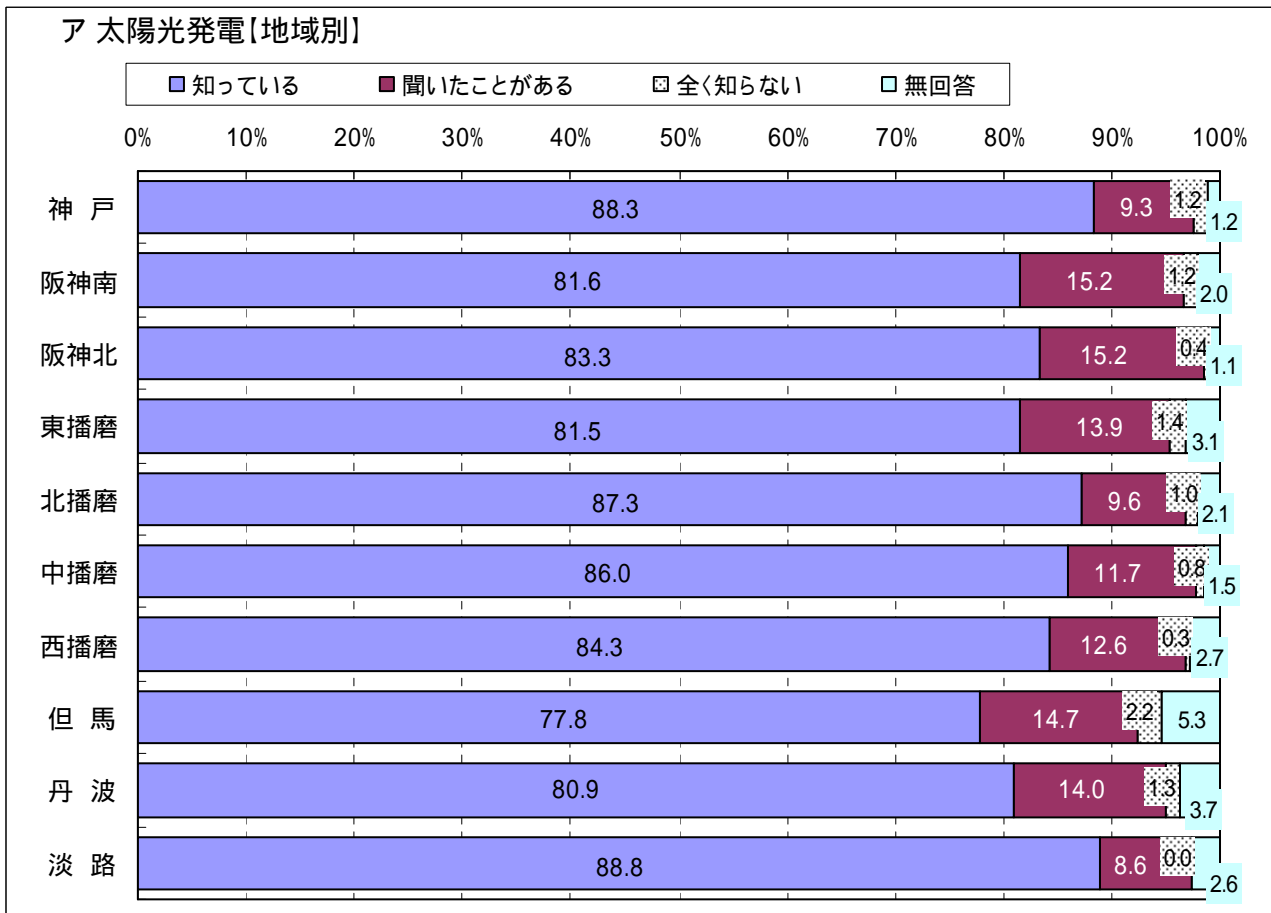
「知っている」と「聞いたことがある」を合わせると、〔太陽光発電〕はほぼ全ての人が認知しており、〔風力発電〕〔太陽熱利用〕もそれぞれ9割前後の認知度となっている。また、最も少ない〔潮流発電〕でも認知度は5割を超える。



〔ア 太陽光発電〕

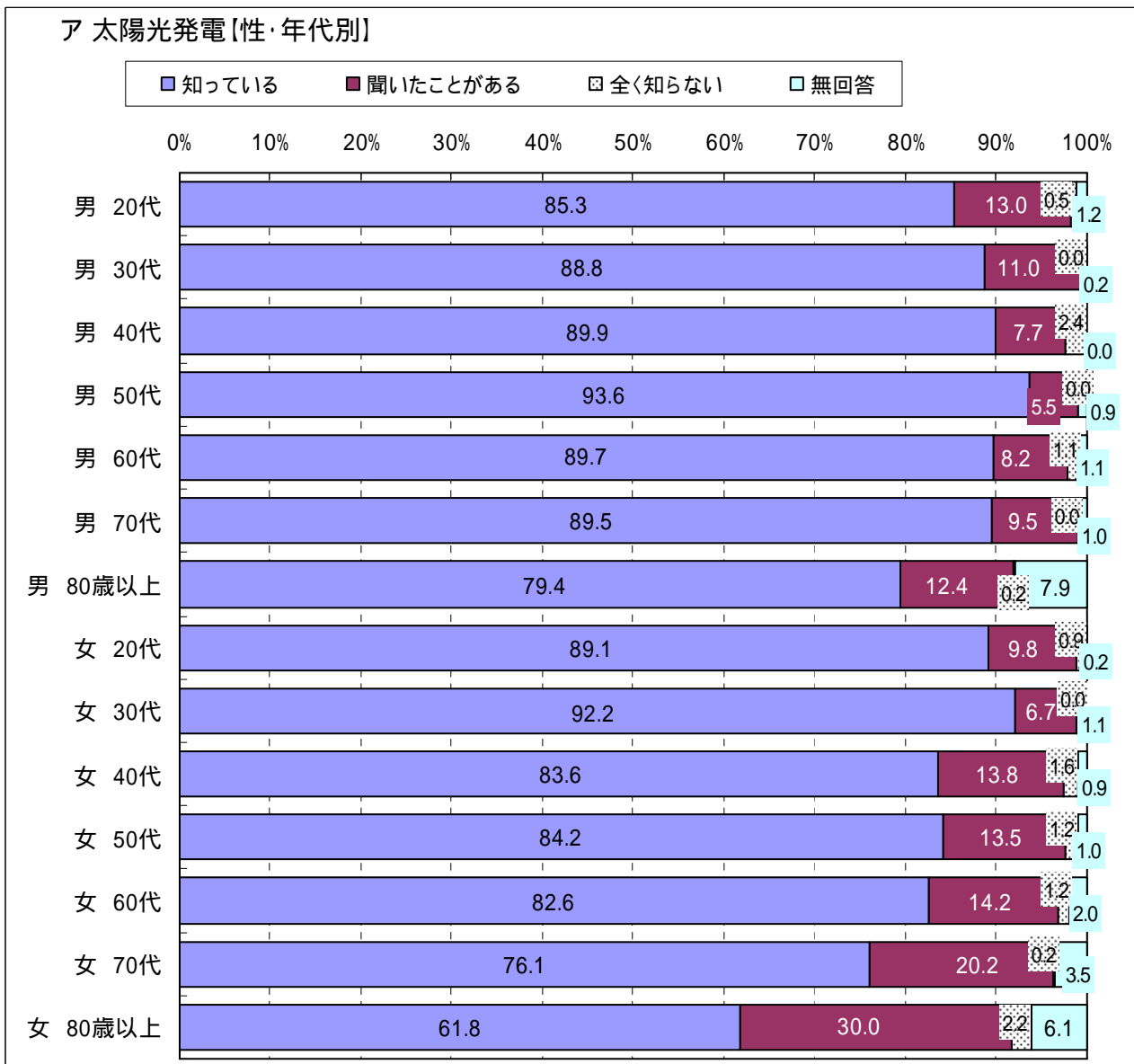
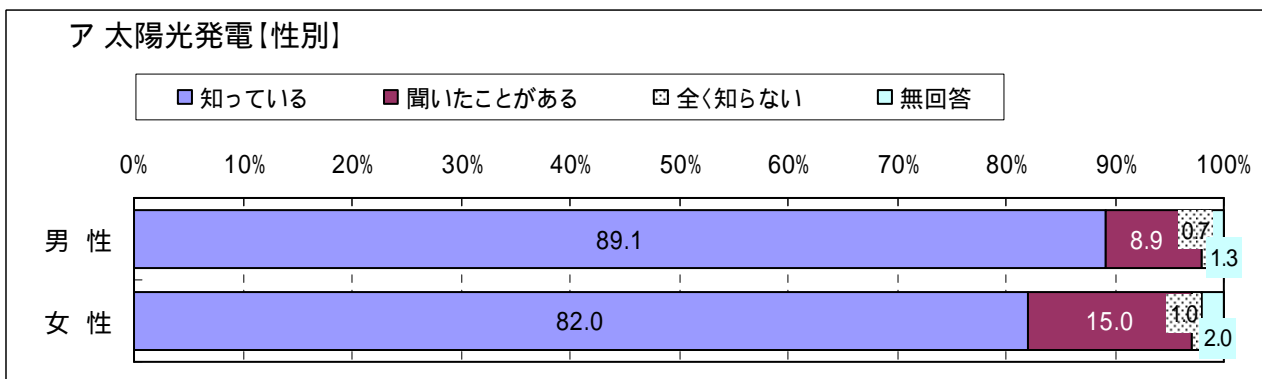
【地域別】

〔太陽光発電〕では、いずれの地域でも概ね8割が「知っている」と答えており、最も低い但馬でも7割後半の認知度である。



【性別、性・年代別】

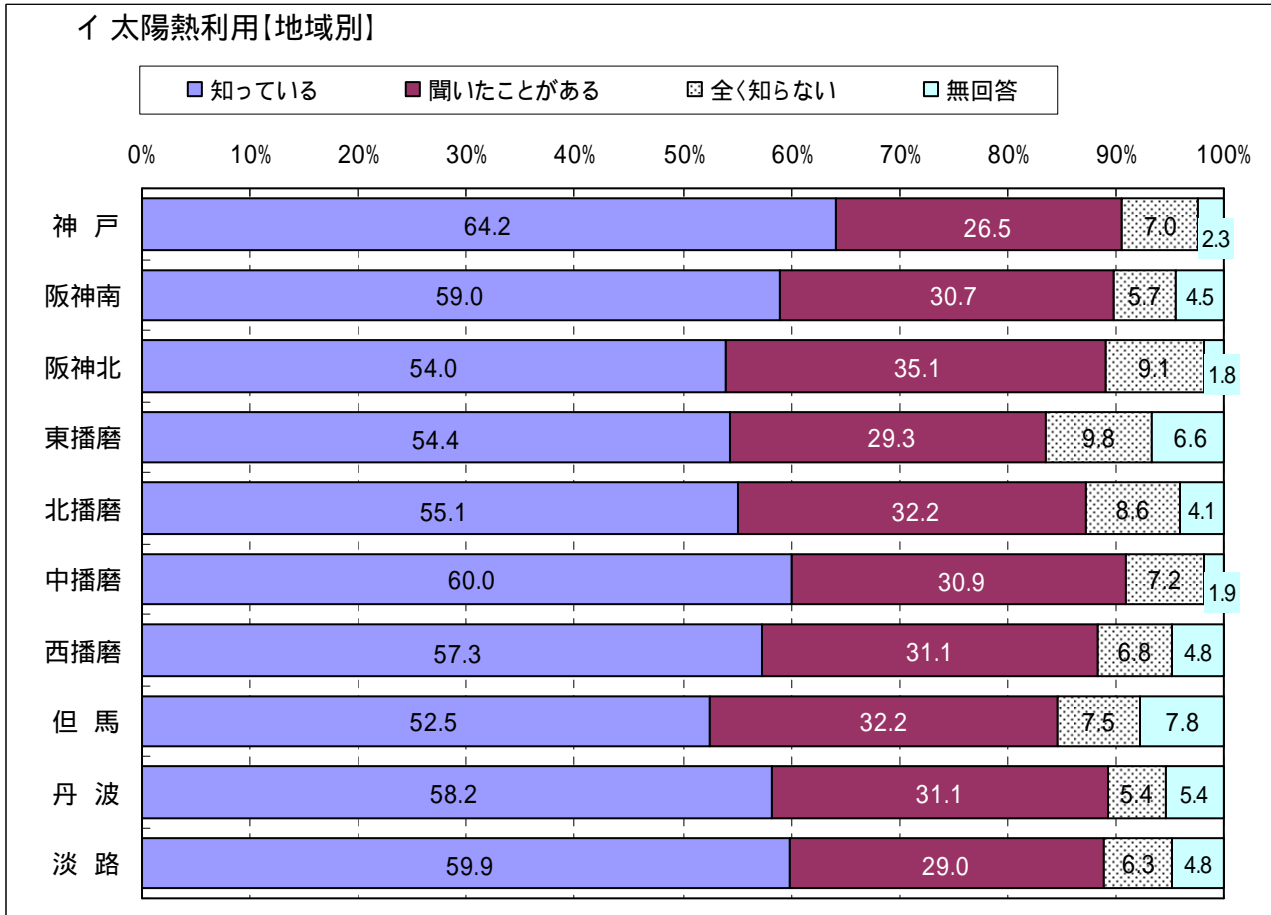
性別、性・年代別による大きな違いはみられず、最も低い女性の80歳以上でも「聞いたことがある」を含めると9割を超える認知度となっている。



〔イ 太陽熱利用〕

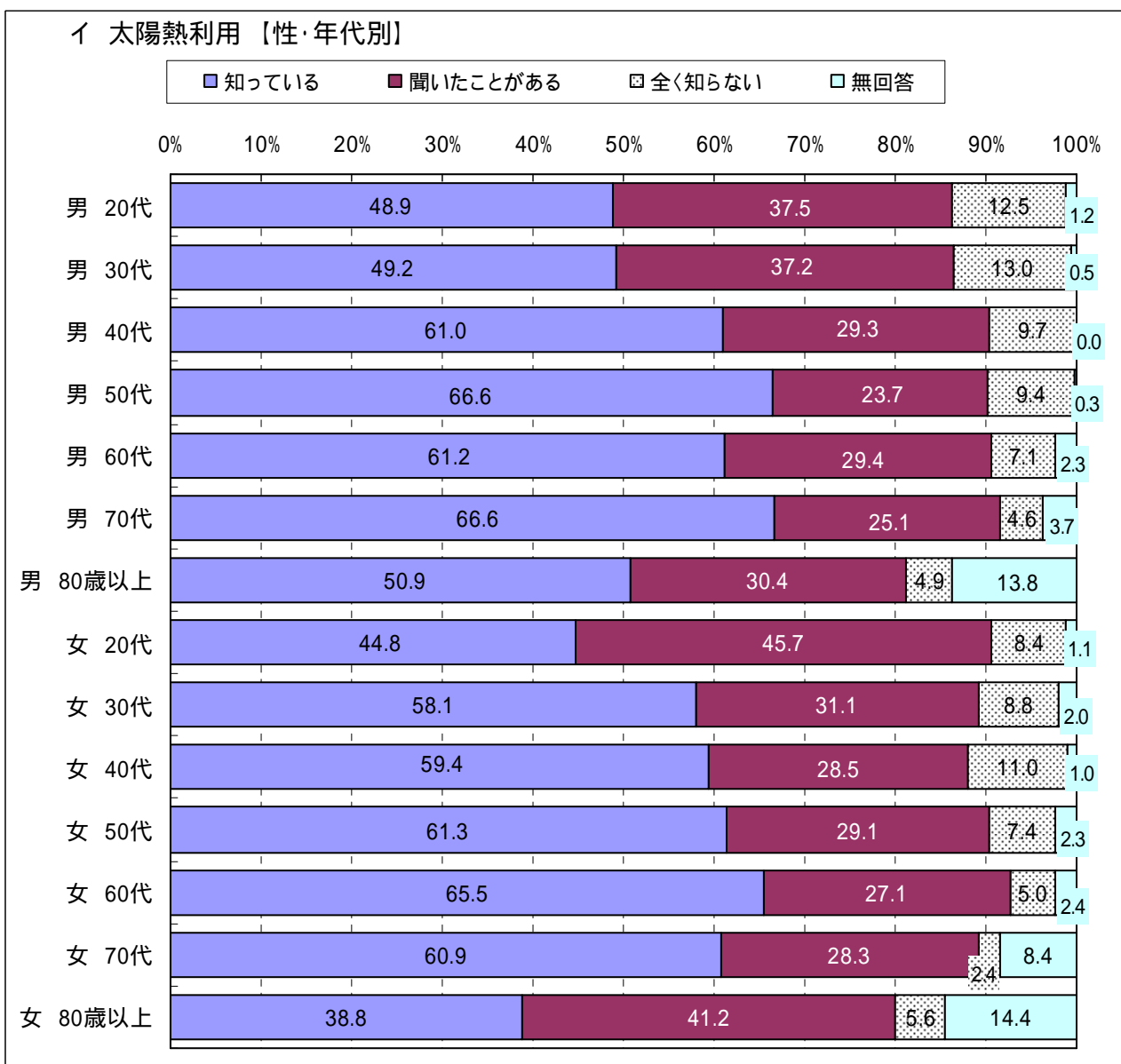
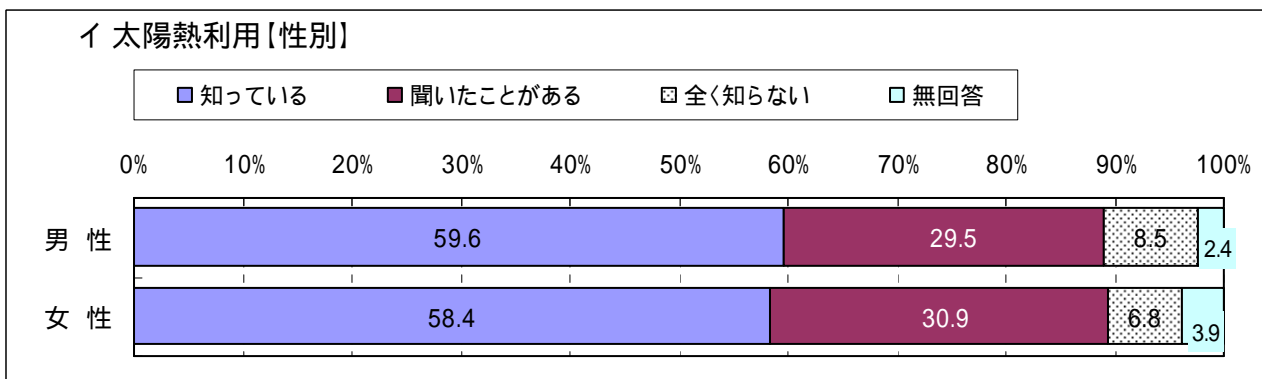
【地域別】

「知っている」では、神戸が最も多く6割半ばに達しているほか、全ての地域で5割を超える。



【性別、性・年代別】

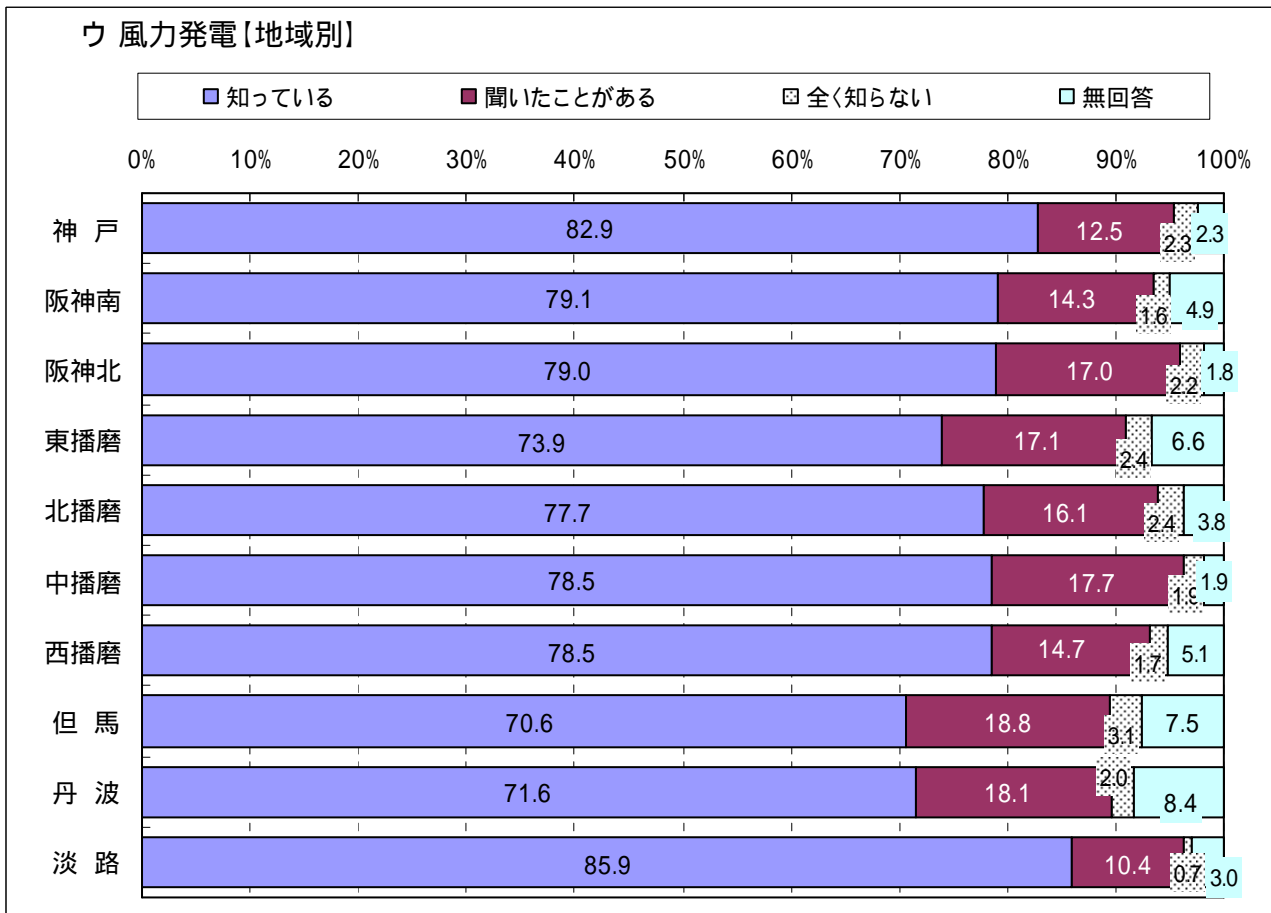
性別による違いはみられないが、性・年代別で見ると、男女ともに40～70代の年代で認知度が高いいずれも6割前後となっている。



〔ウ 風力発電〕

【地域別】

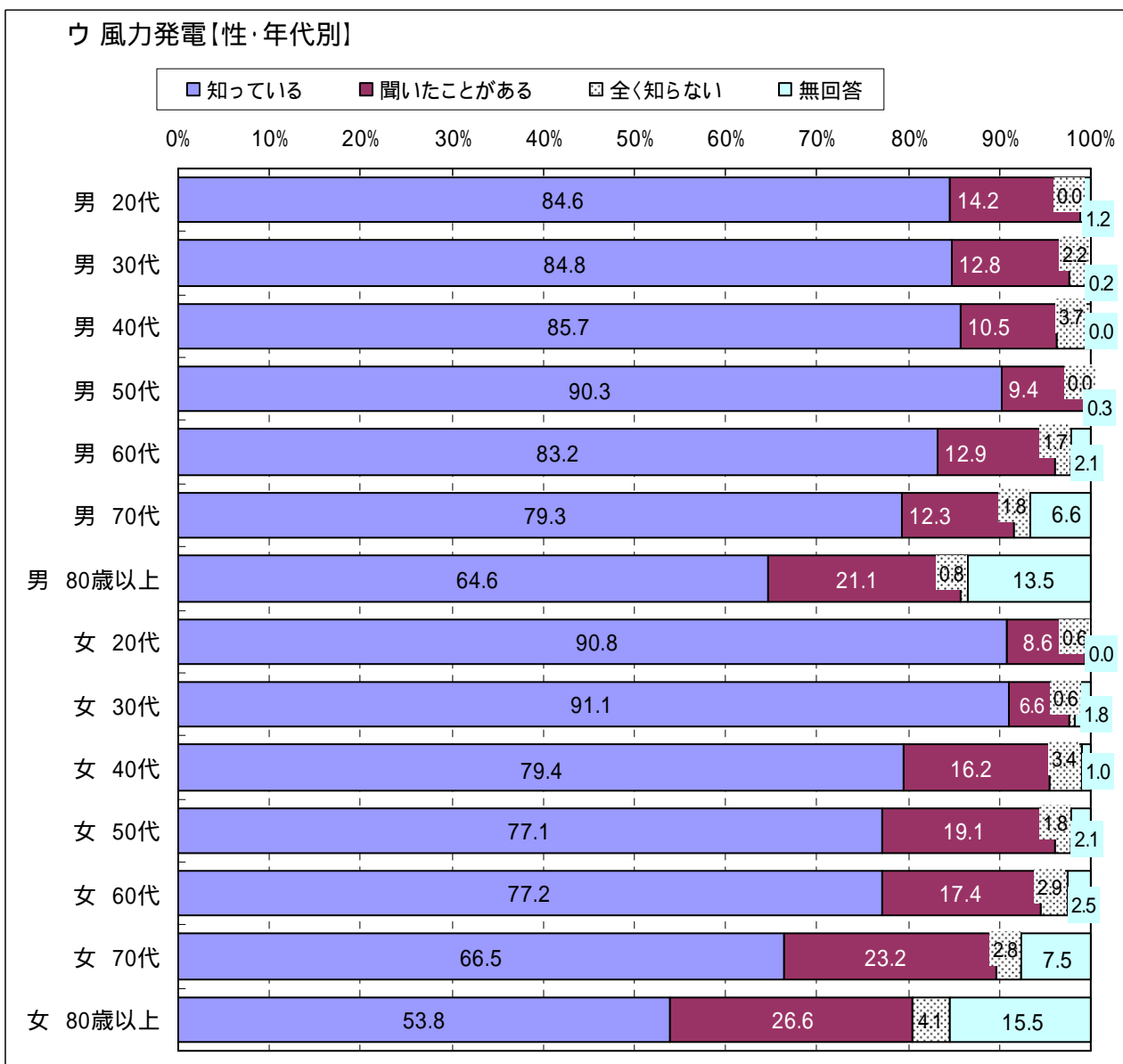
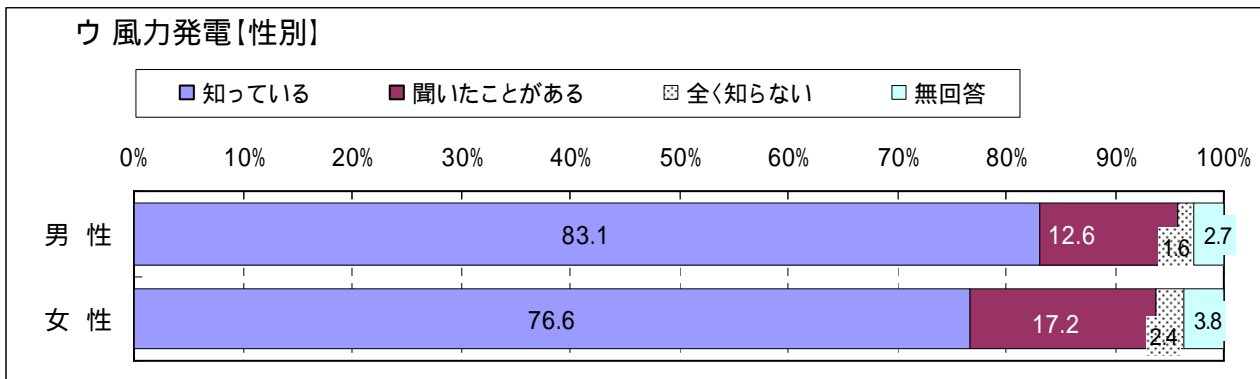
「知っている」では、淡路のみ8割半ばに達し最も多く、次いで神戸、阪神南が8割前後で続いている。



【性別、性・年代別】

性別で見ると、男性の認知度が高いが、男女ともに「知っている」では8割前後に達する。

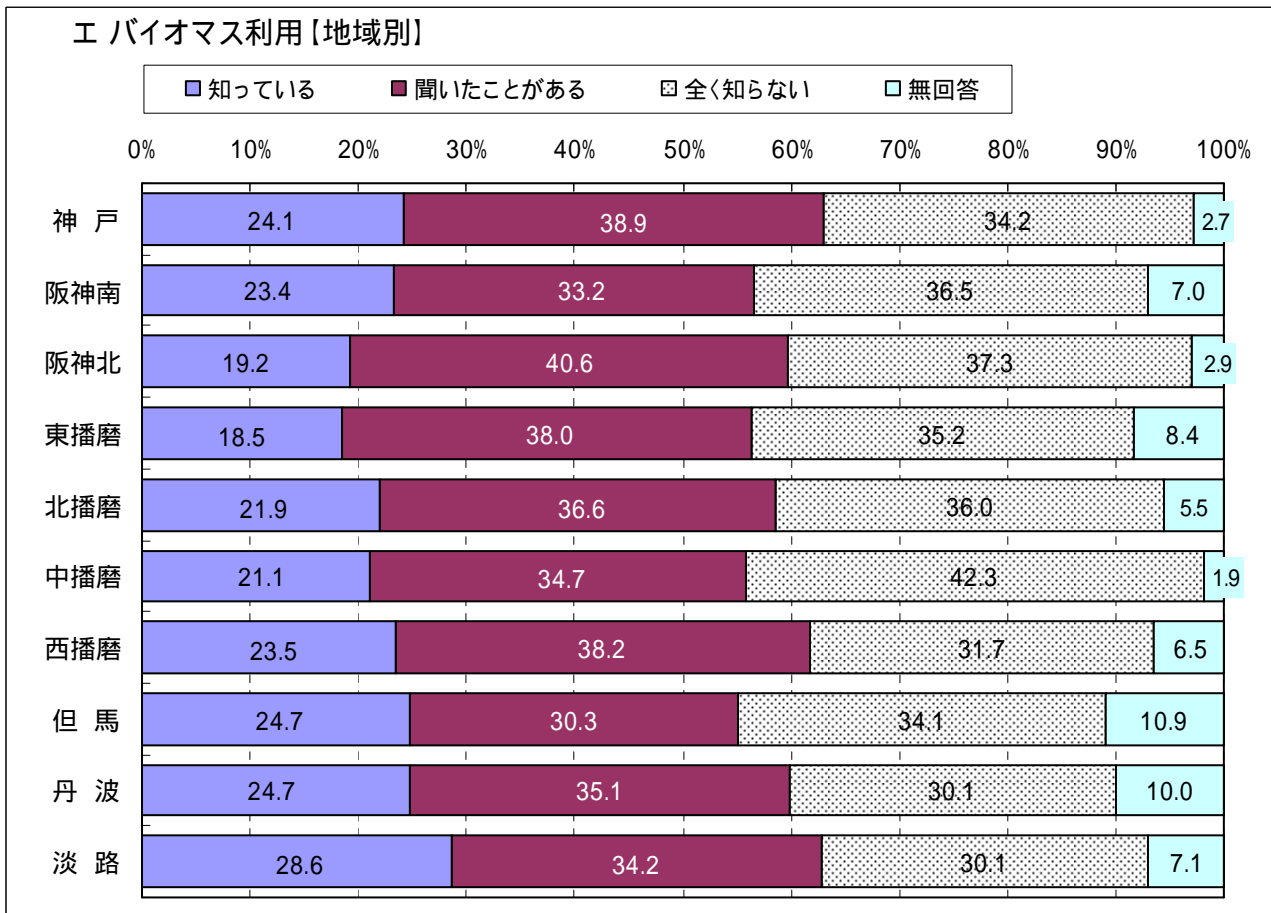
性・年代別で見ると、女性の20～30代の「知っている」は9割を超えているが、男性と異なり年代が上がるにしたがって急に認知度が低くなっていく傾向がみられる。



〔エ バイオマス利用〕

【地域別】

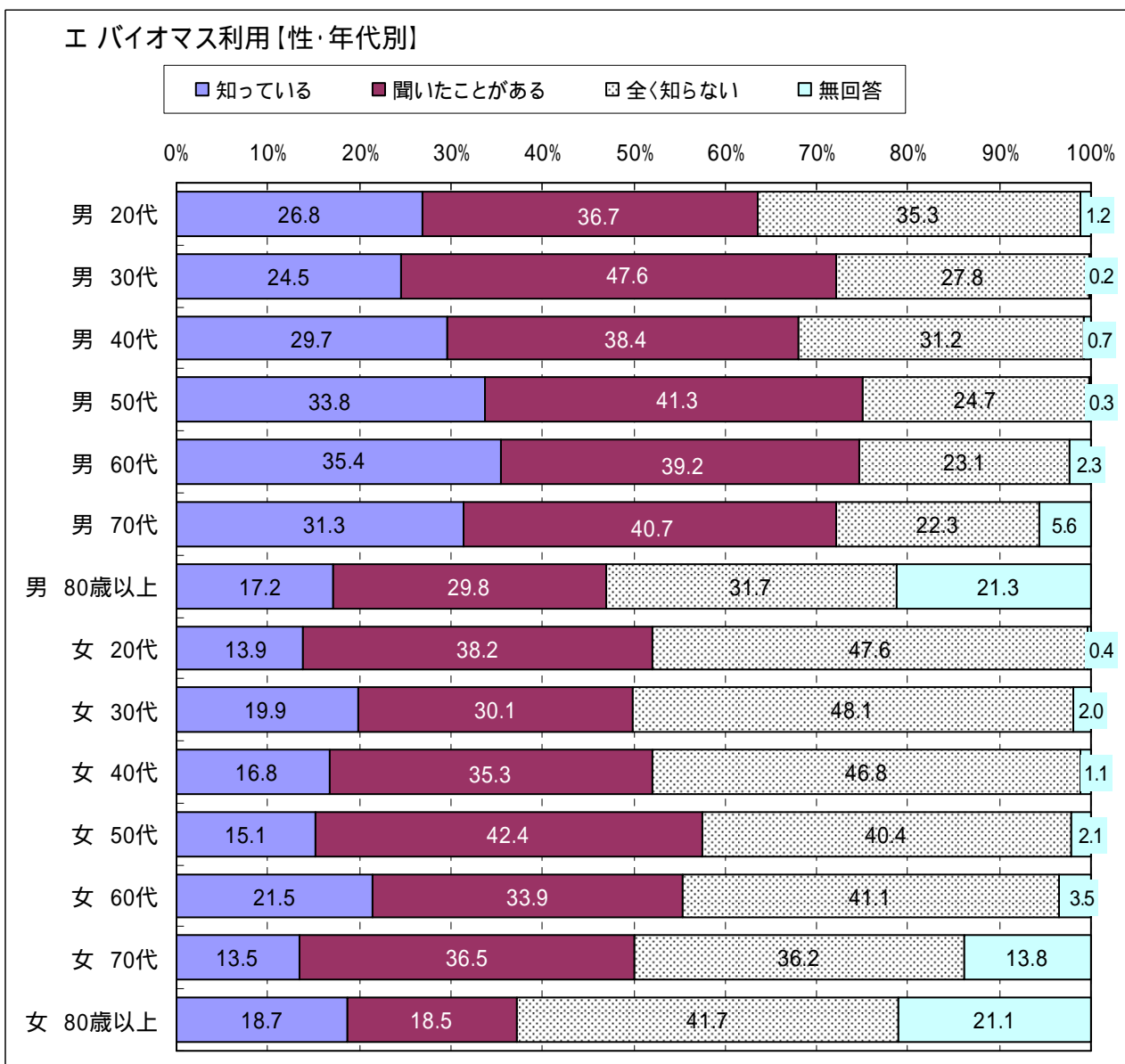
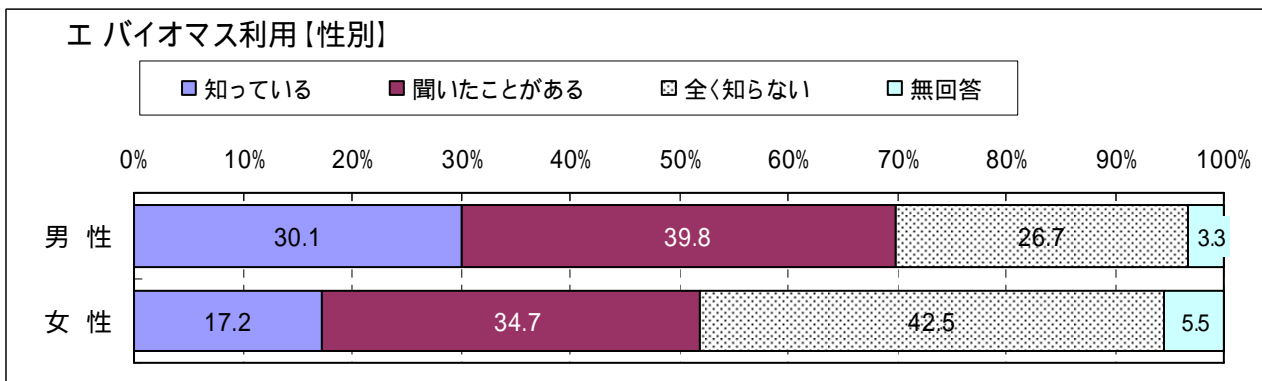
いずれの地域も「知っている」は2～3割に留まっており、「聞いたことがある」を含めて5～6割前後の認知度である。



【性別、性・年代別】

性別で見ると、「知っている」では、男性の3割に対し女性は2割に満たず、男女で認知度の違いがみられる。

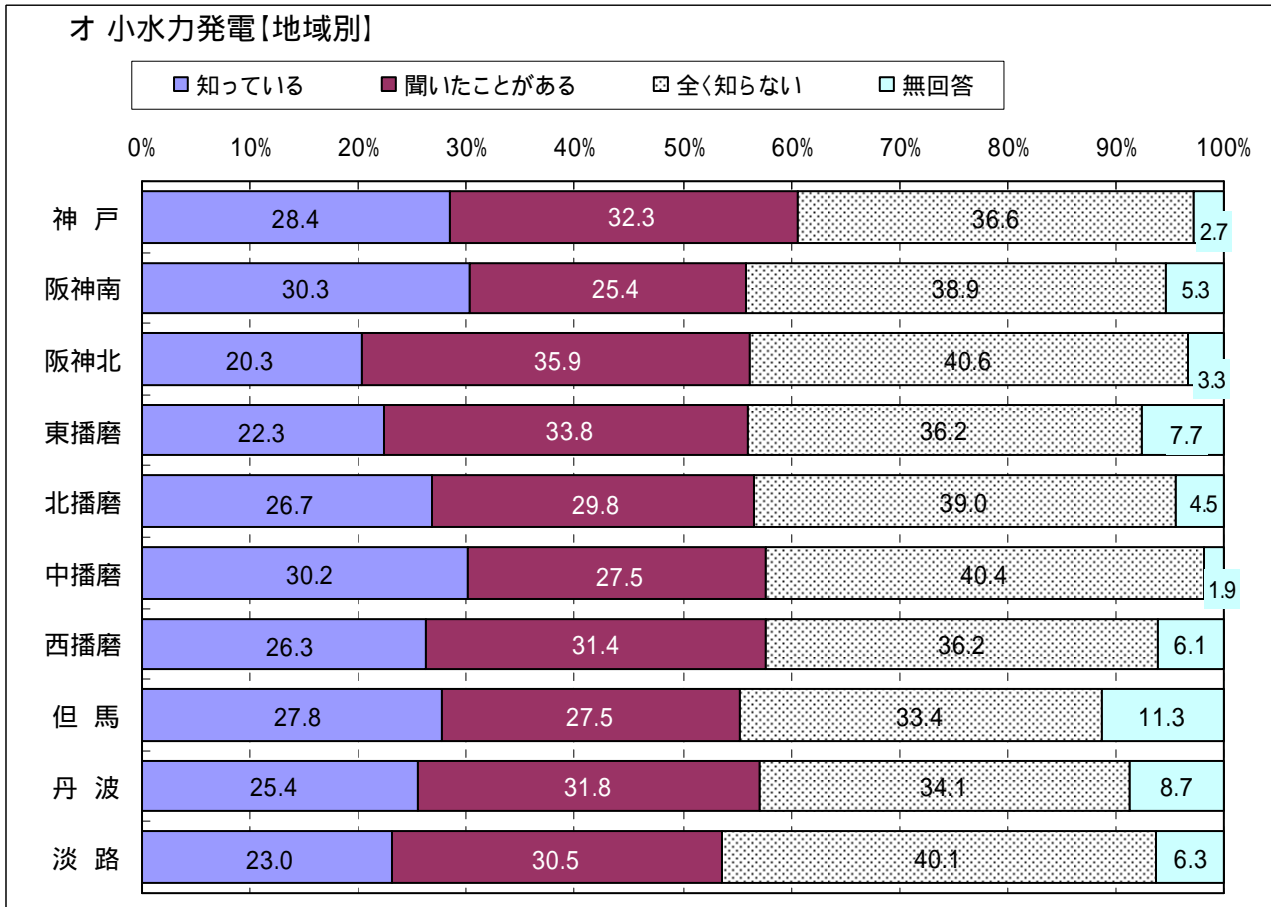
性・年代別で見ると、男女とも、60代で認知度が高くなっている。



〔オ 小水力発電〕

【地域別】

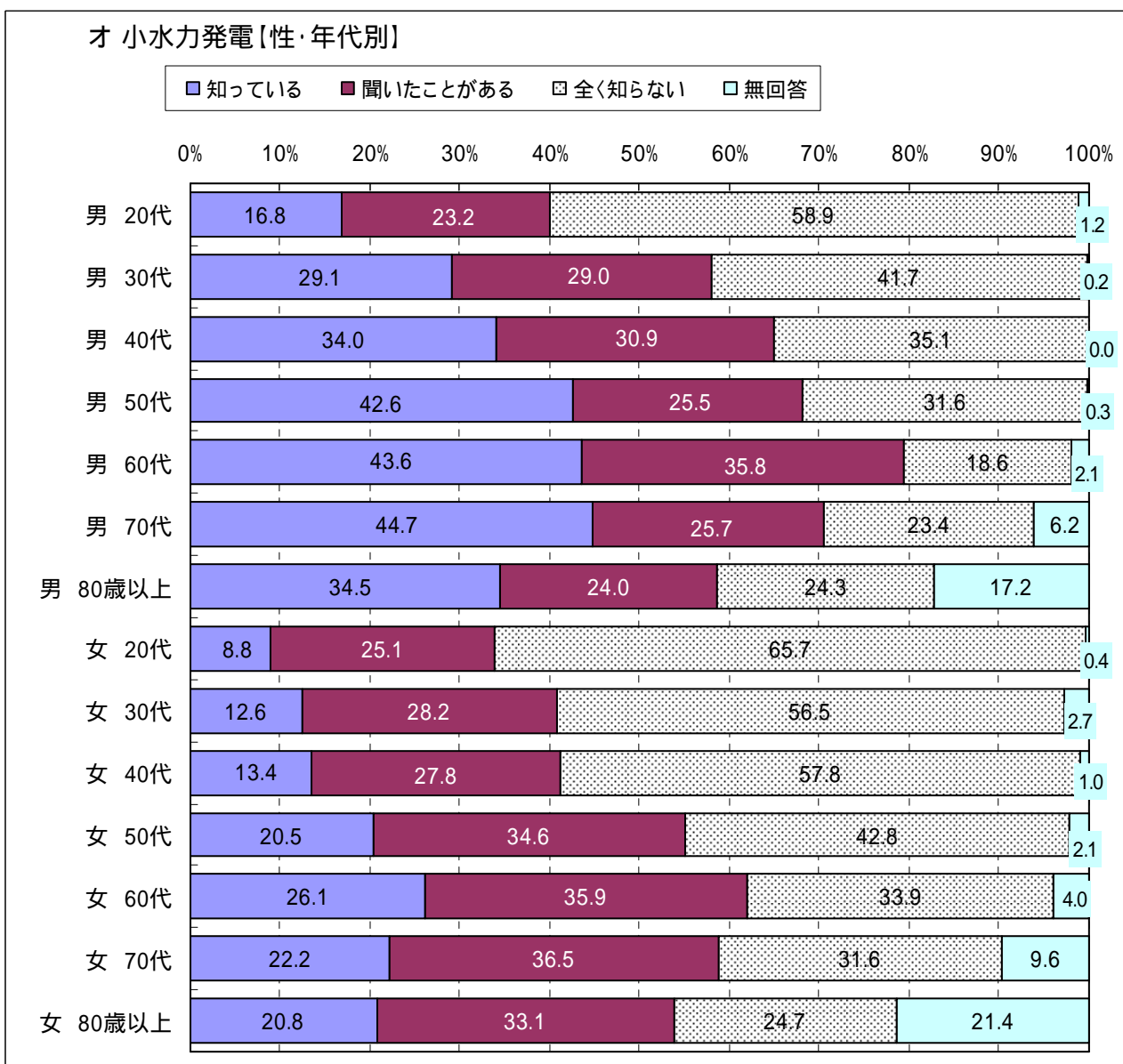
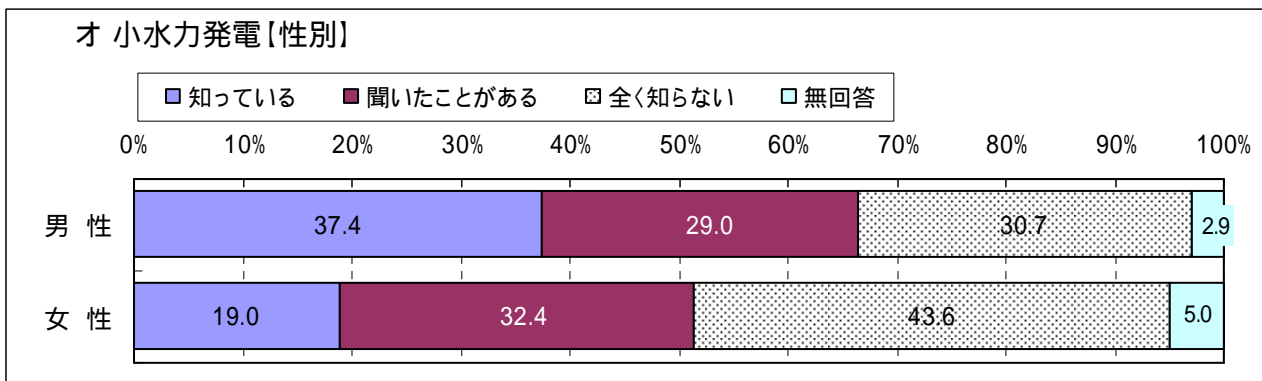
「知っている」では、いずれの地域とも認知度は概ね2～3割の間であり、「聞いたことがある」を含めて5割半ばに達する程度である。



【性別、性・年代別】

性別で見ると、「知っている」で男性が3割後半であるのに対し女性は2割弱に留まっている。

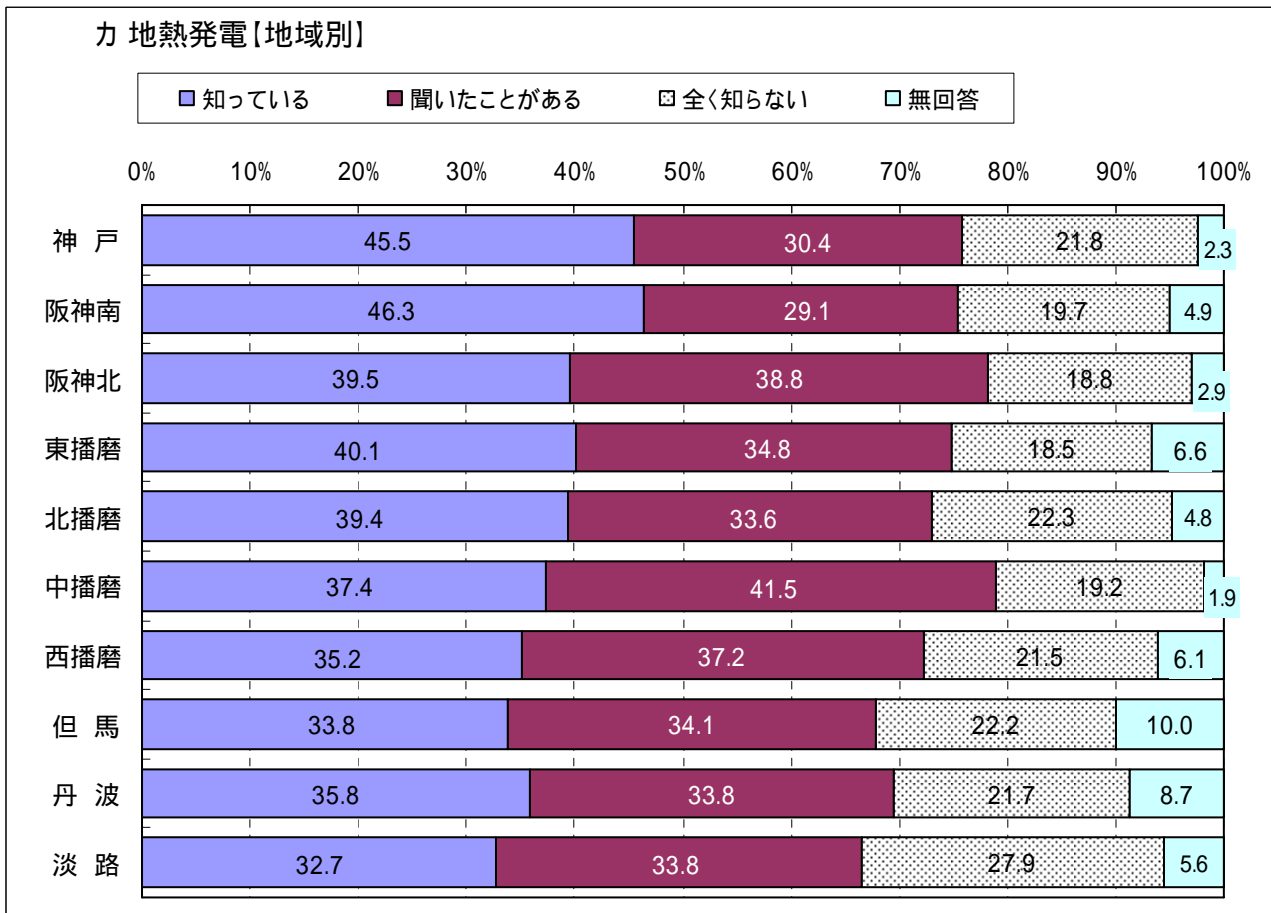
性・年代別で見ると、男女とも20代が最も低く60代が最も高くなっており、60～70代の高年齢層で認知度が高い傾向がみられる。



〔カ 地熱発電〕

【地域別】

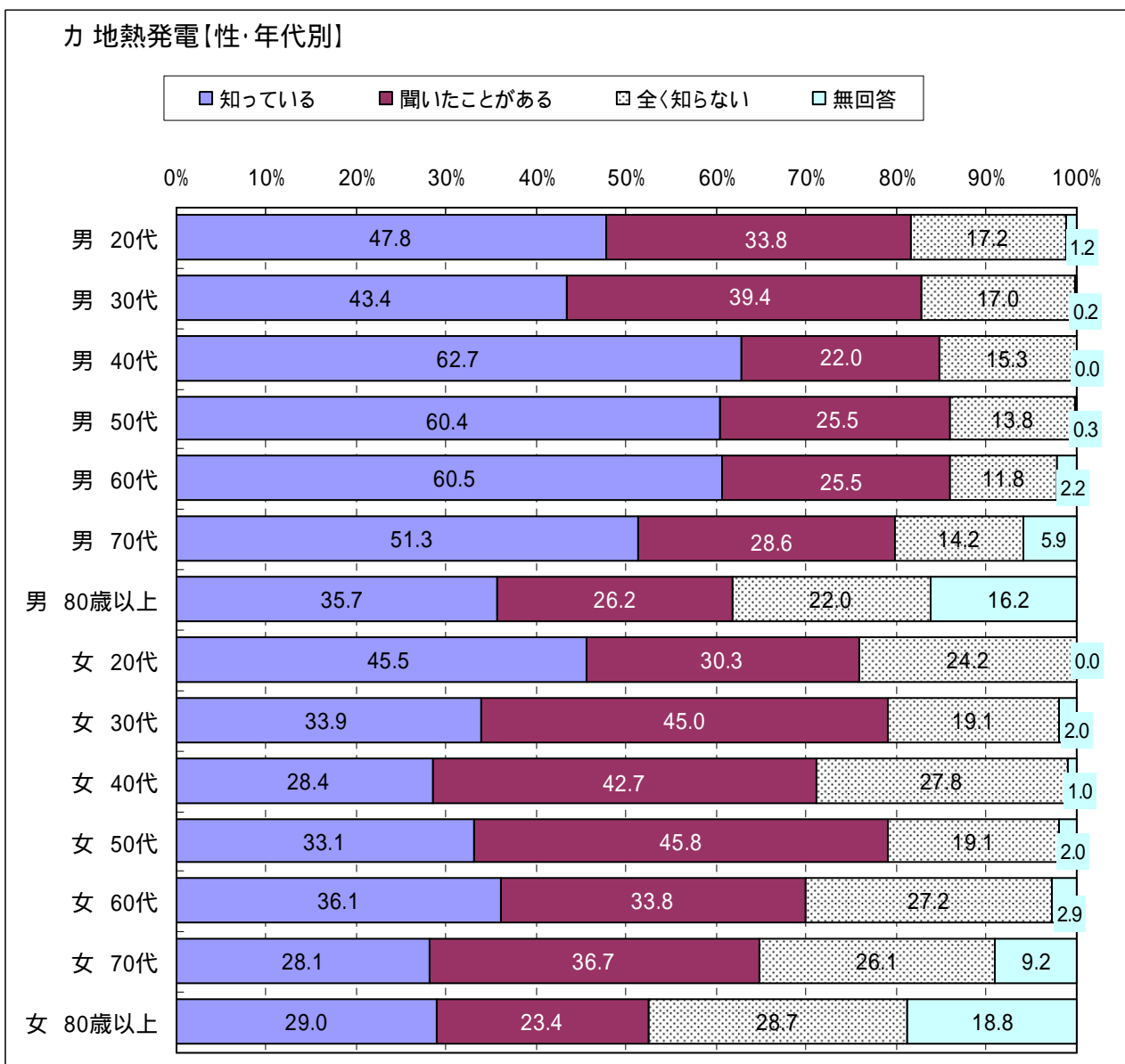
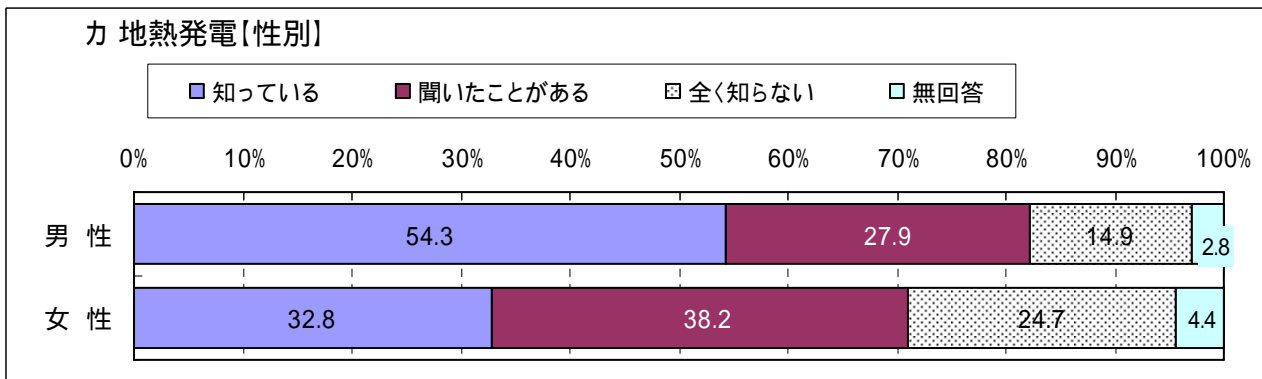
「知っている」でみると、阪神南と神戸が4割半ばで多く、都市部の方が農村部よりも若干認知度が高くなっている。



【性別】

性別でみると、女性より男性の認知度が高い。

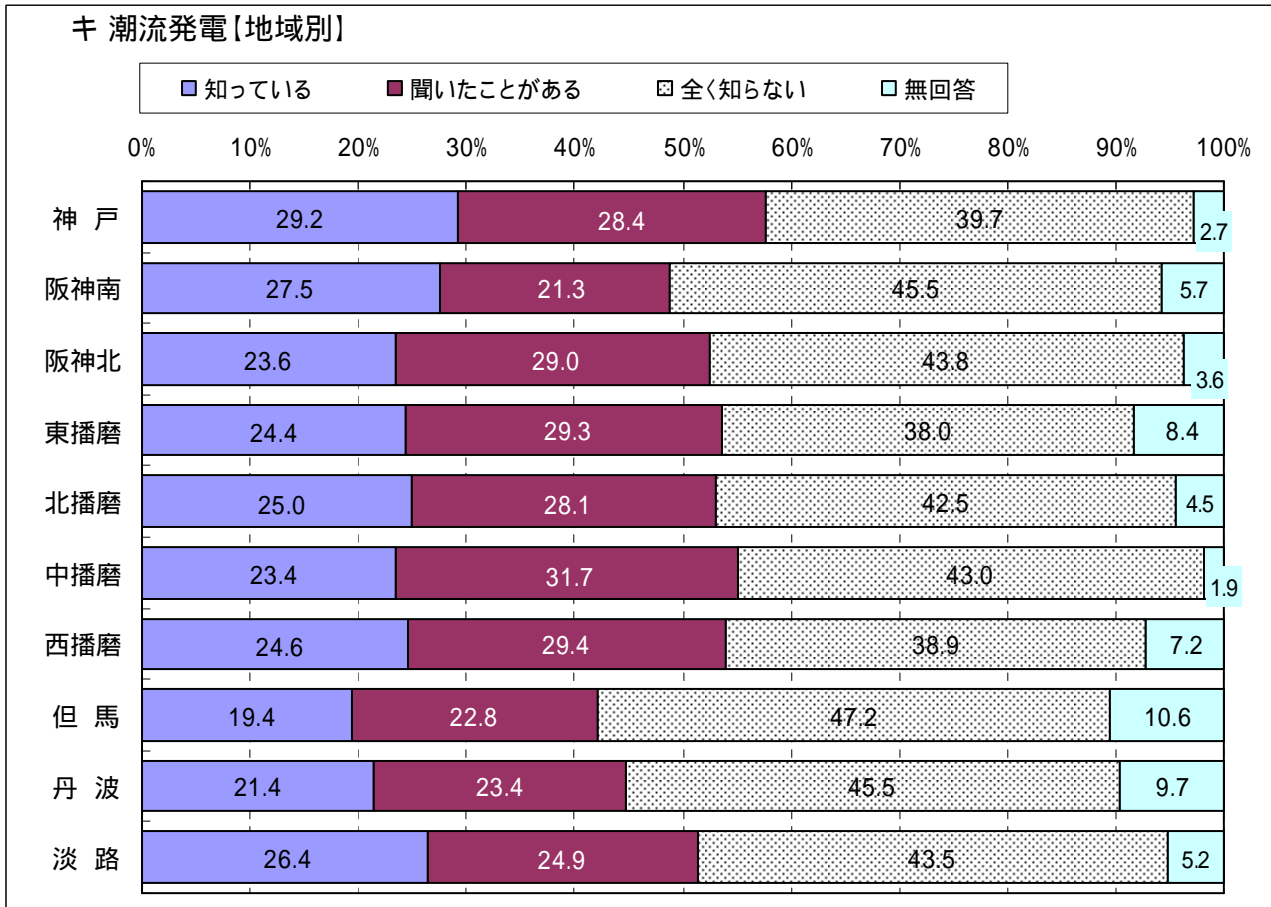
性・年代別でみると、男性の40～60代で「知っている」が6割を上回っている。また、女性は年代による認知度の差が男性に比べて大きい。



〔キ 潮流発電〕

【地域別】

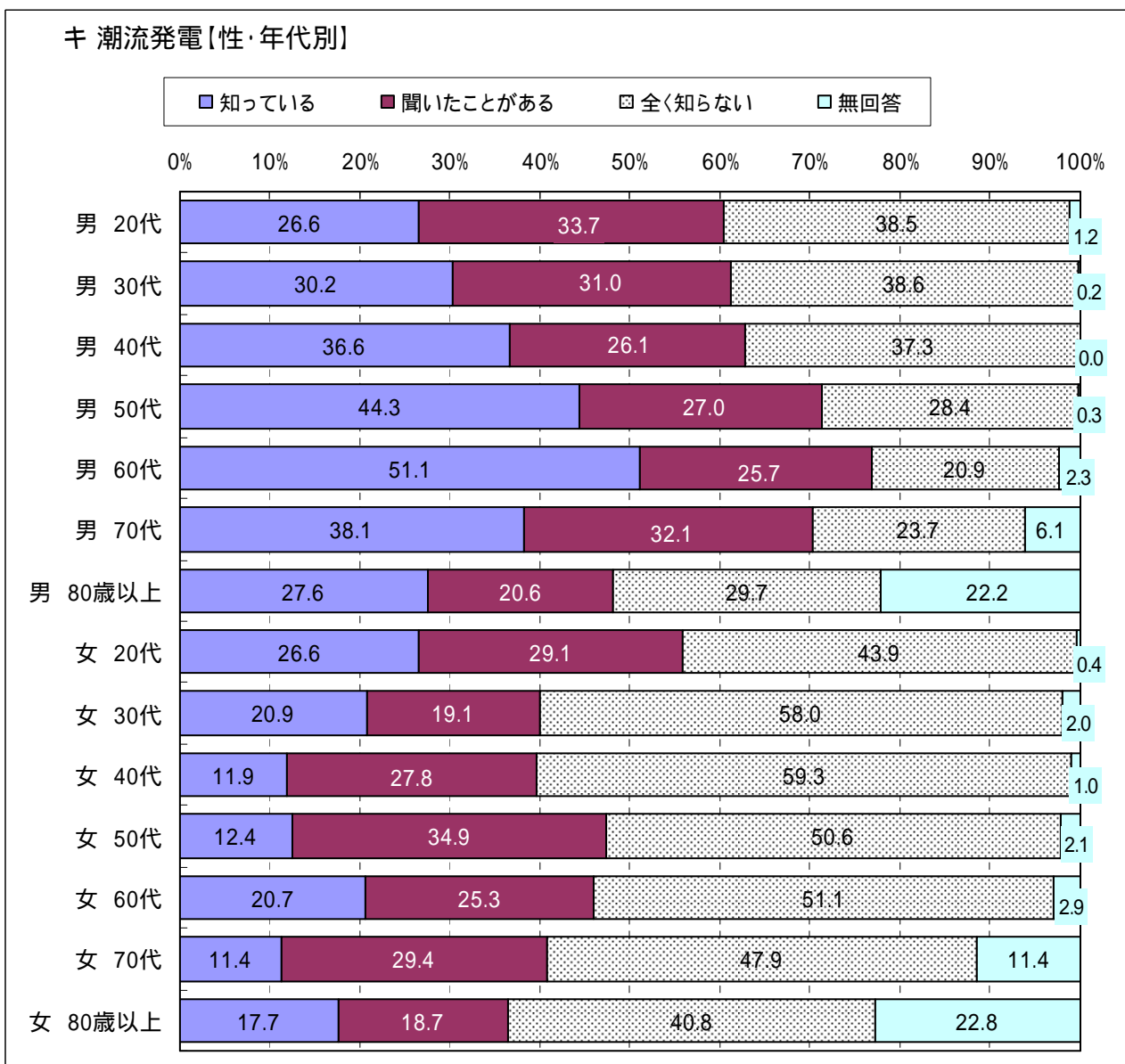
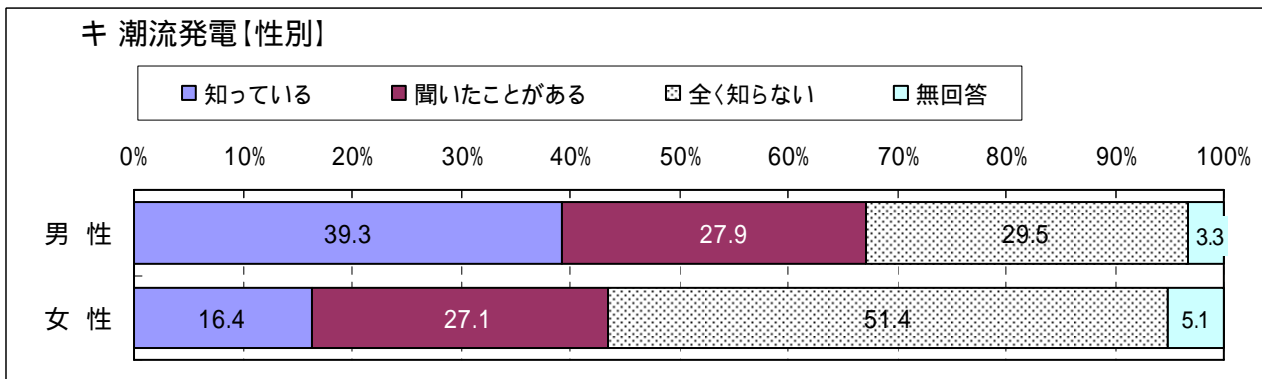
「知っている」では、最も多い神戸でも3割に満たず、「聞いたことがある」を含めても7地域で5割を上回る程度の認知度である。



【性別、性・年代別】

性別で見ると、「知っている」では、男性の認知度は約4割であるが、女性では1割半ばに留まり性別による違いが顕著にみられる。

性・年代別で見ると、男性は、年代が上がるほど認知度も高くなる傾向がみられる。



問8 家庭や地域における再生可能エネルギー等設備の導入状況

問8

あなたのご家庭や地域で利用している電力や熱源で、再生可能エネルギー等の設備の導入状況についてお伺いします。次のア～クについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に印をつけて下さい。

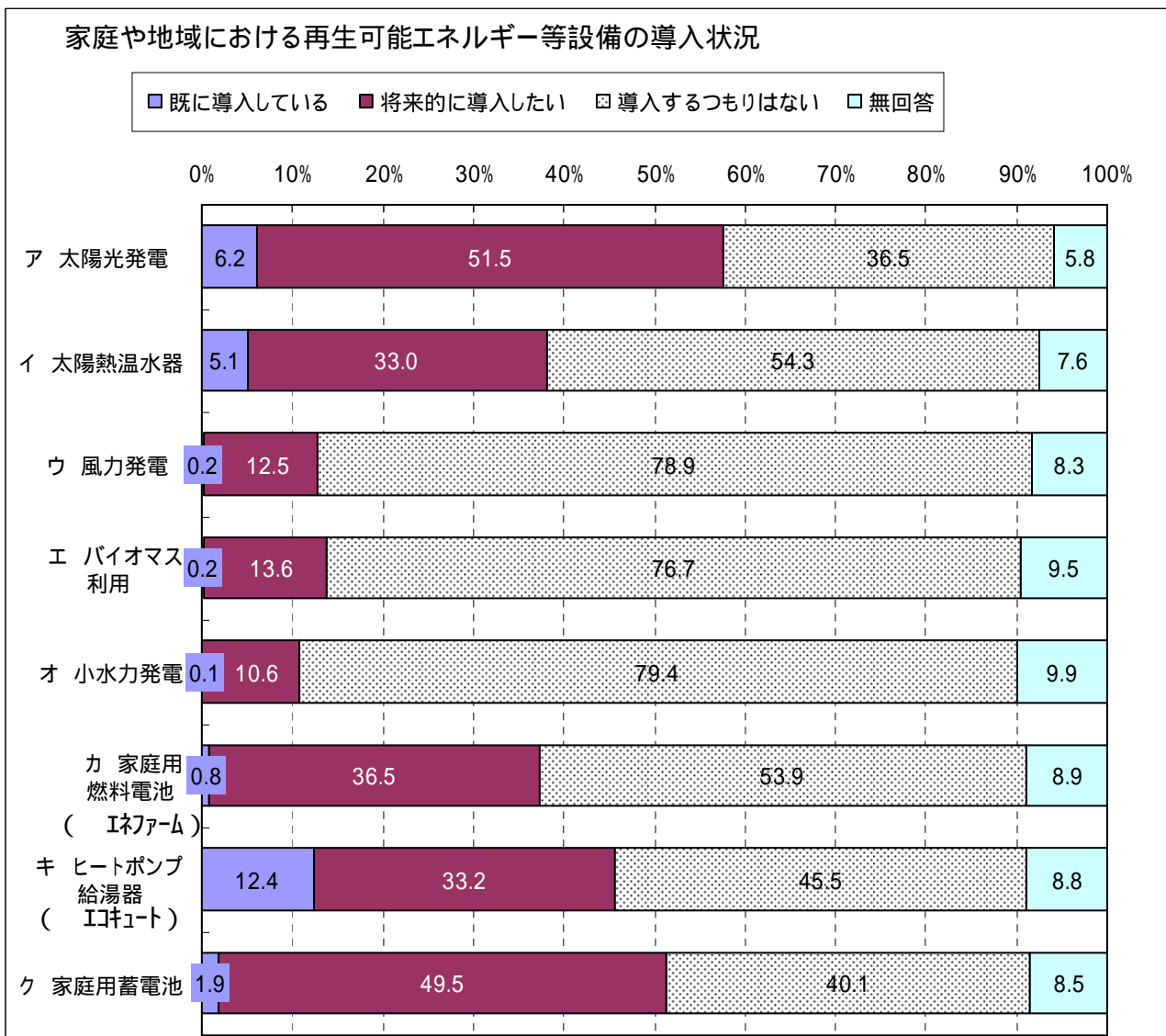
- | | |
|-----------|-------------|
| ア 太陽光発電 | オ 小水力発電 |
| イ 太陽熱温水器 | カ 家庭用燃料電池 |
| ウ 風力発電 | キ ヒートポンプ給湯器 |
| エ バイオマス利用 | ク 家庭用蓄電池 |

- 1 既に導入している 2 将来的に導入したい 3 導入するつもりはない

【全 県】

「既に導入している」再生可能エネルギー等設備は、〔ヒートポンプ給湯器〕が最も多く、次いで〔太陽光発電〕〔太陽熱温水器〕となっている。

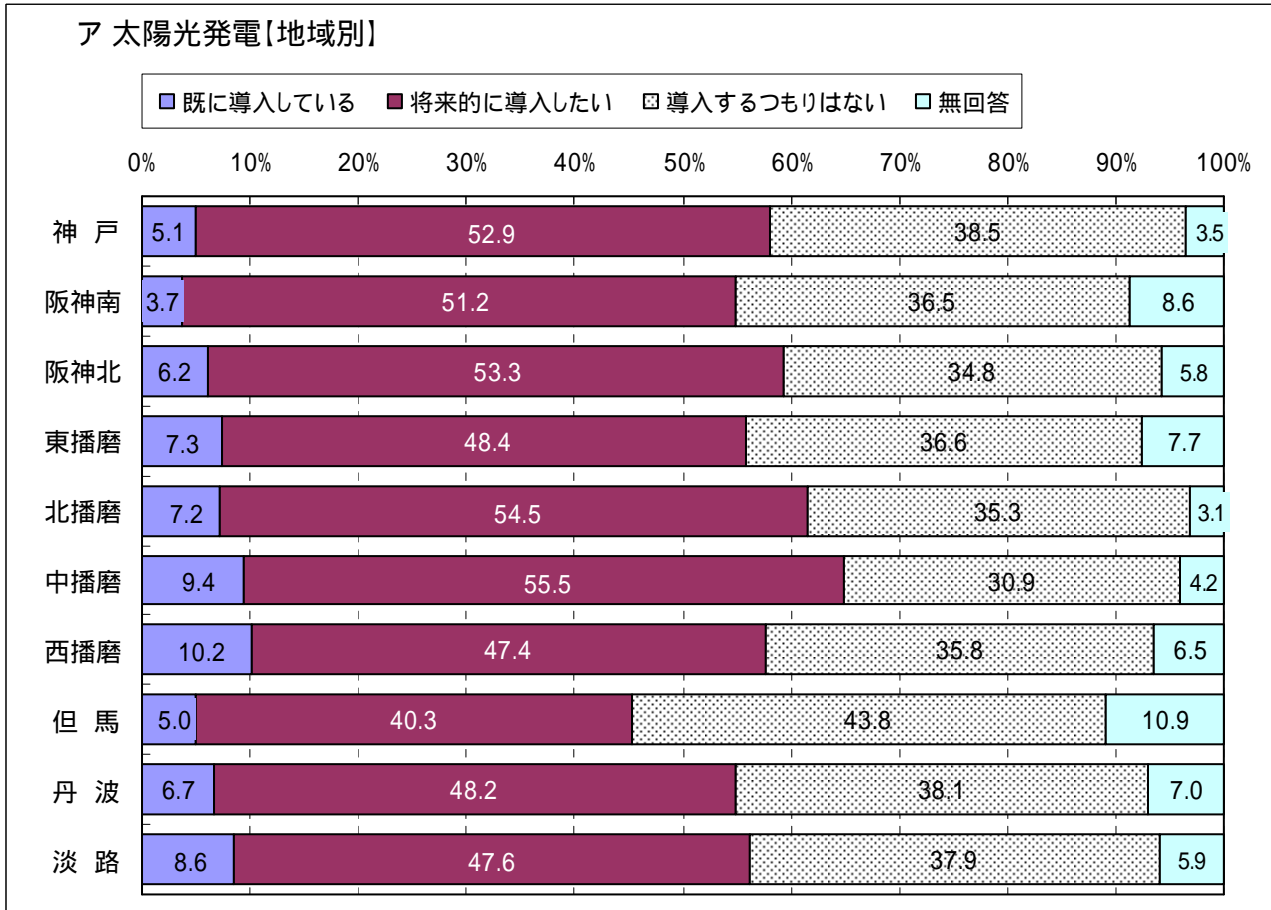
「将来的に導入したい」とする設備では、〔太陽光発電〕が最も多く、次いで、〔家庭用蓄電池〕〔家庭用燃料電池〕〔ヒートポンプ給湯器〕〔太陽熱温水器〕となっている。



〔ア 太陽光発電〕

【地域別】

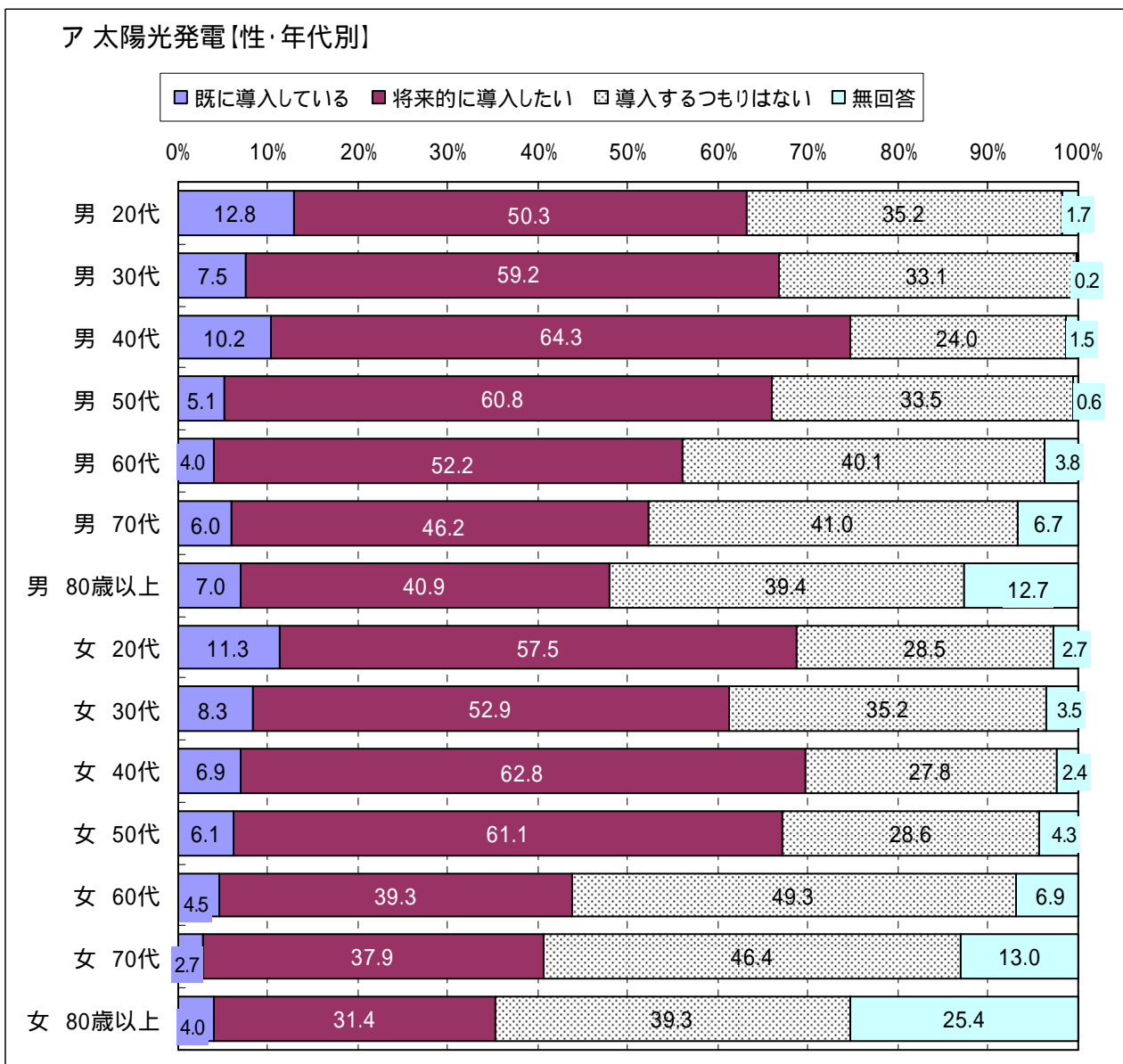
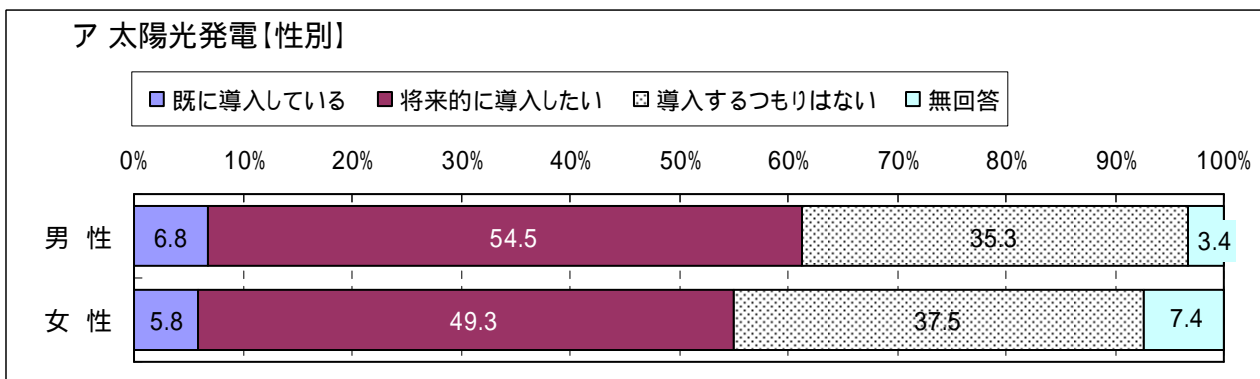
全体的に「既に導入している」割合は低いが、西播磨と中播磨では1割前後と比較的高くなっている。



【性別、性・年代別】

性別による違いはあまりみられない。

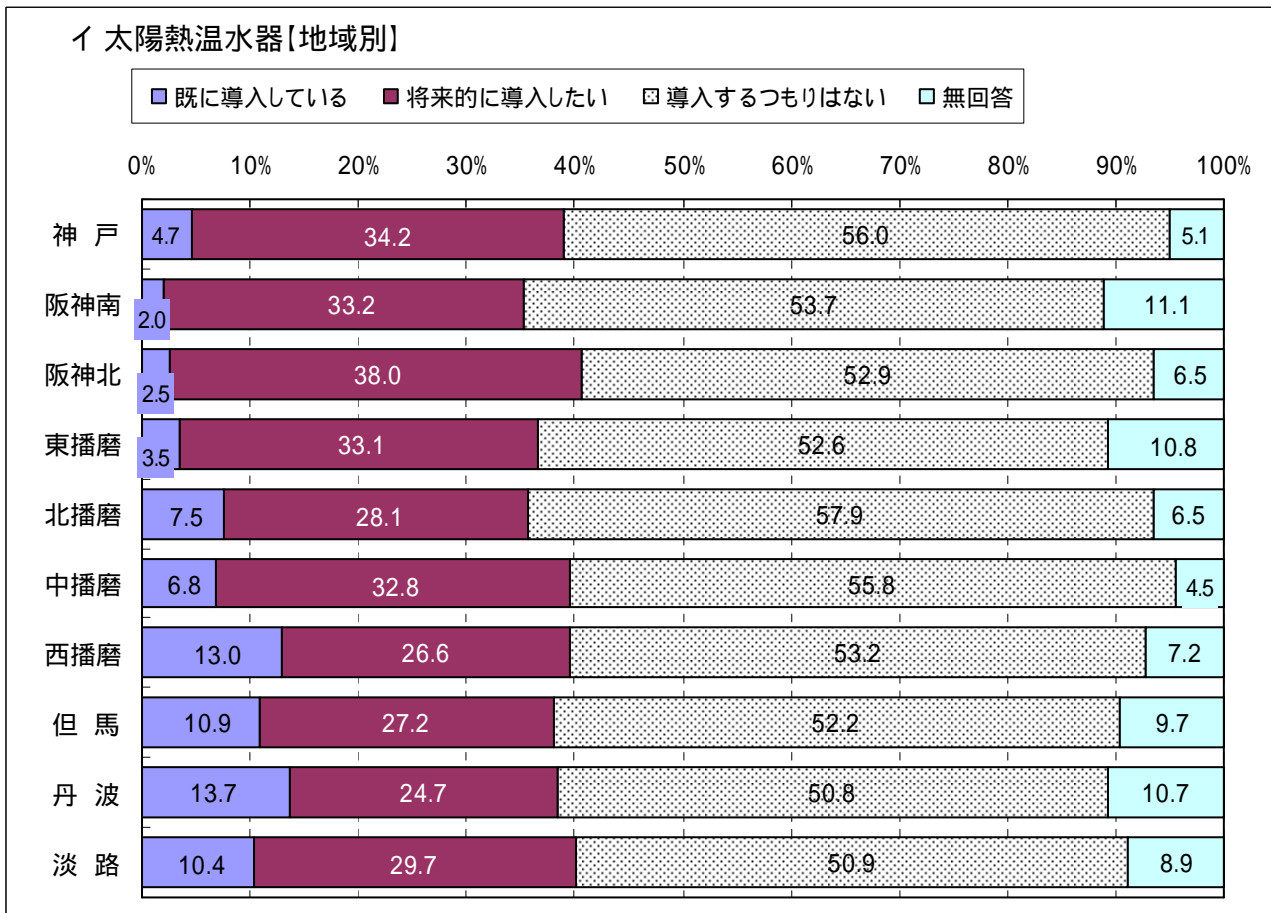
性・年代別でみると、男女ともに60代以上で急激に低くなる傾向がみられる。



〔イ 太陽熱温水器〕

【地域別】

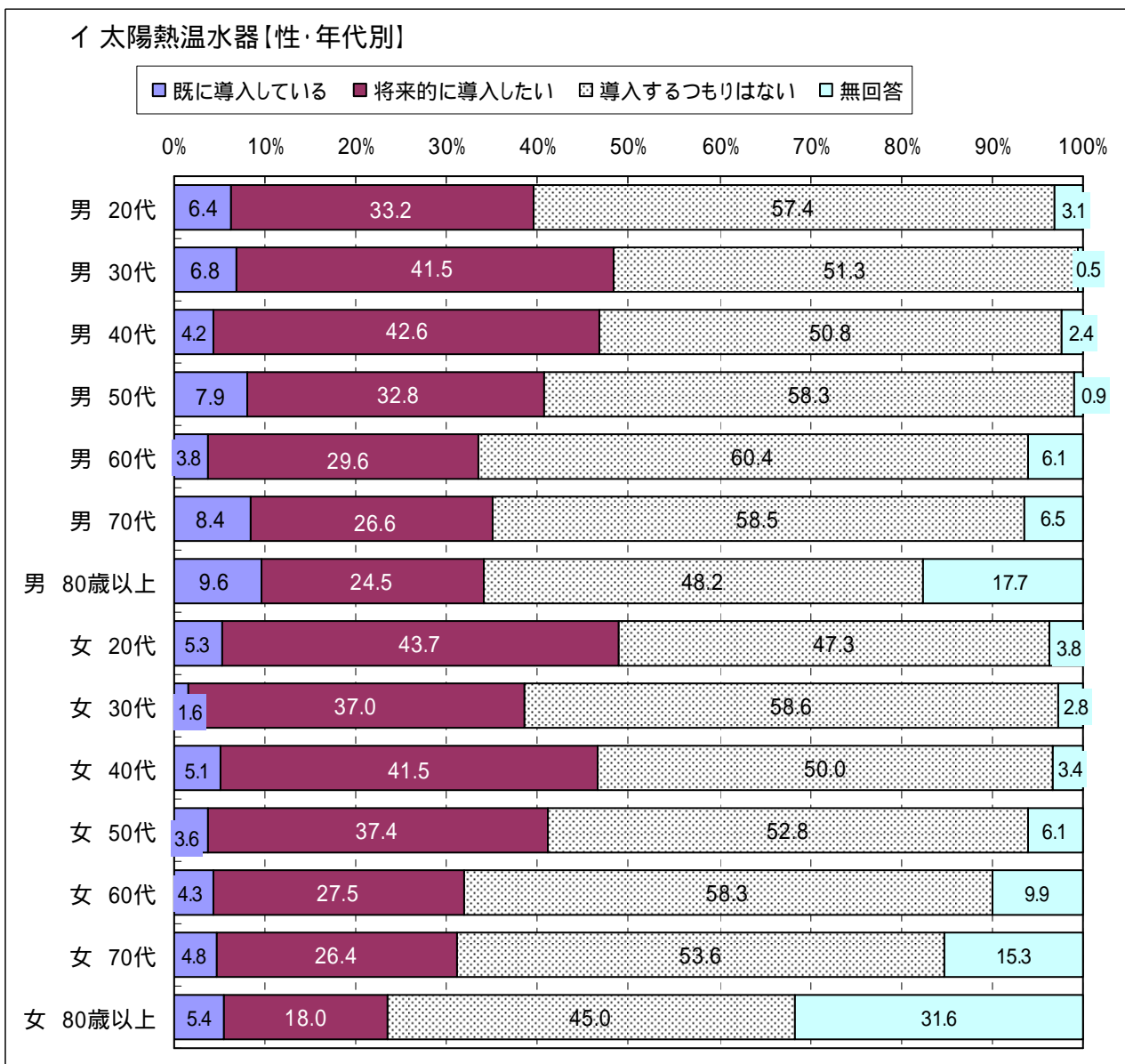
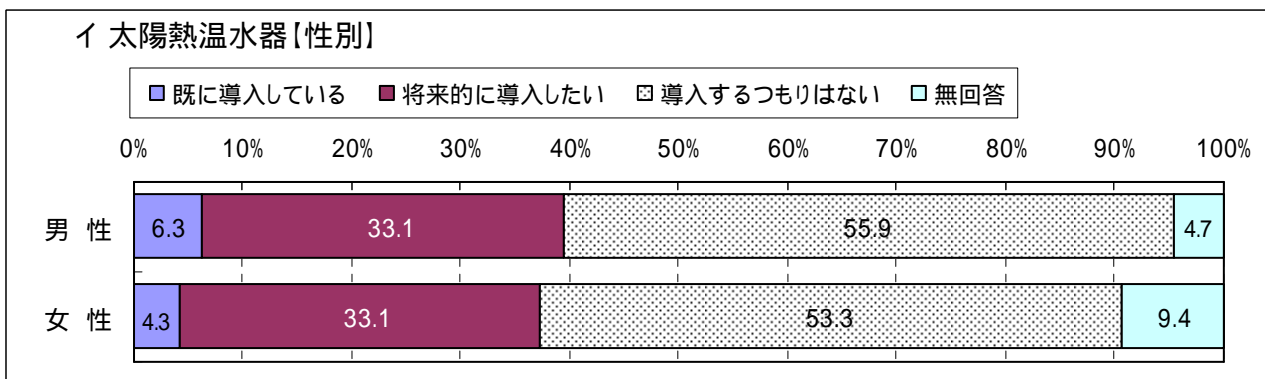
丹波、西播磨、但馬、淡路の導入率が高く1割を超えており、都市部よりも農村部で高い傾向がみられる。



【性別、性・年代別】

性別による違いはあまりみられない。

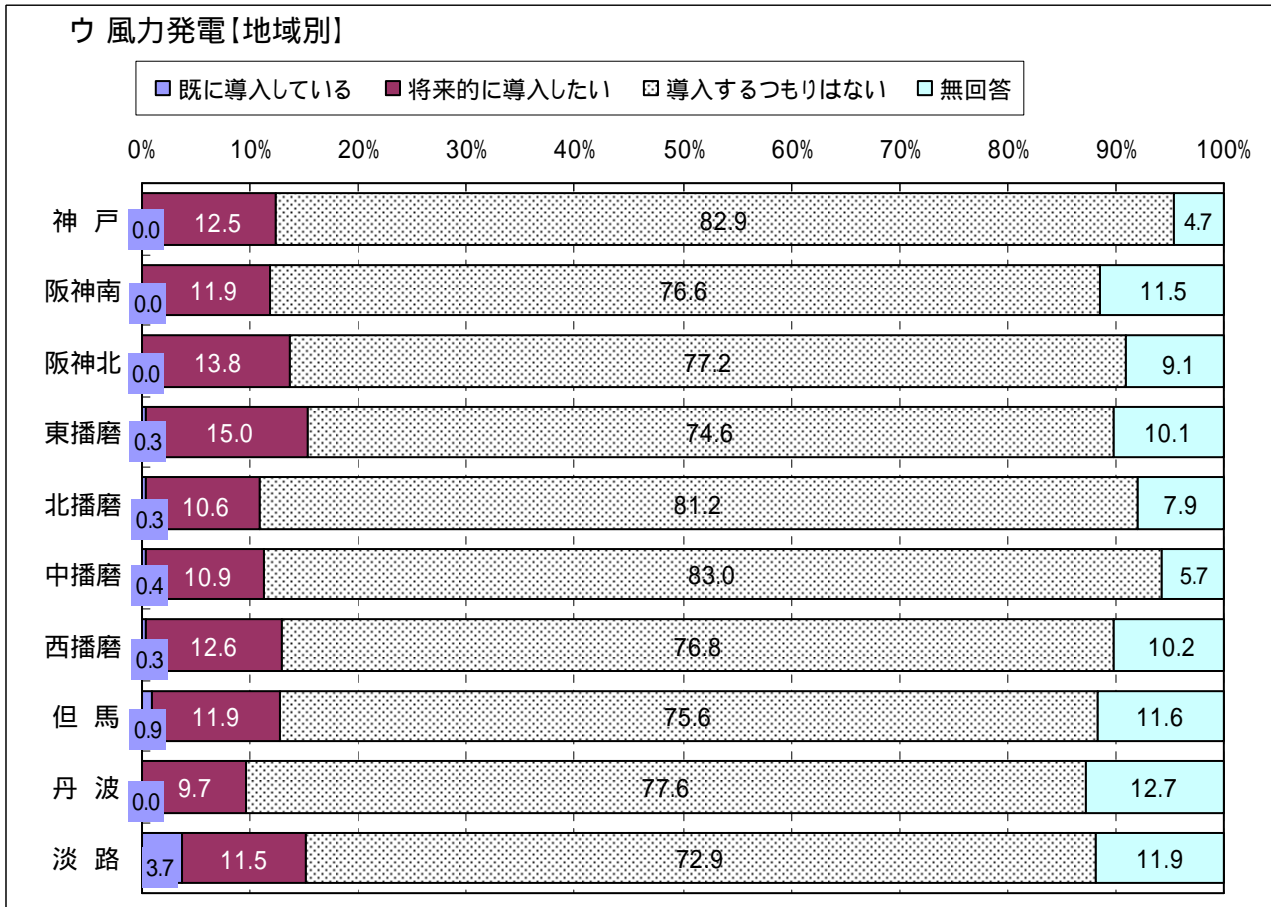
性・年代別で見ると、「将来的に導入したい」の割合が男女とも20～50代で3割を超えている。



〔ウ 風力発電〕

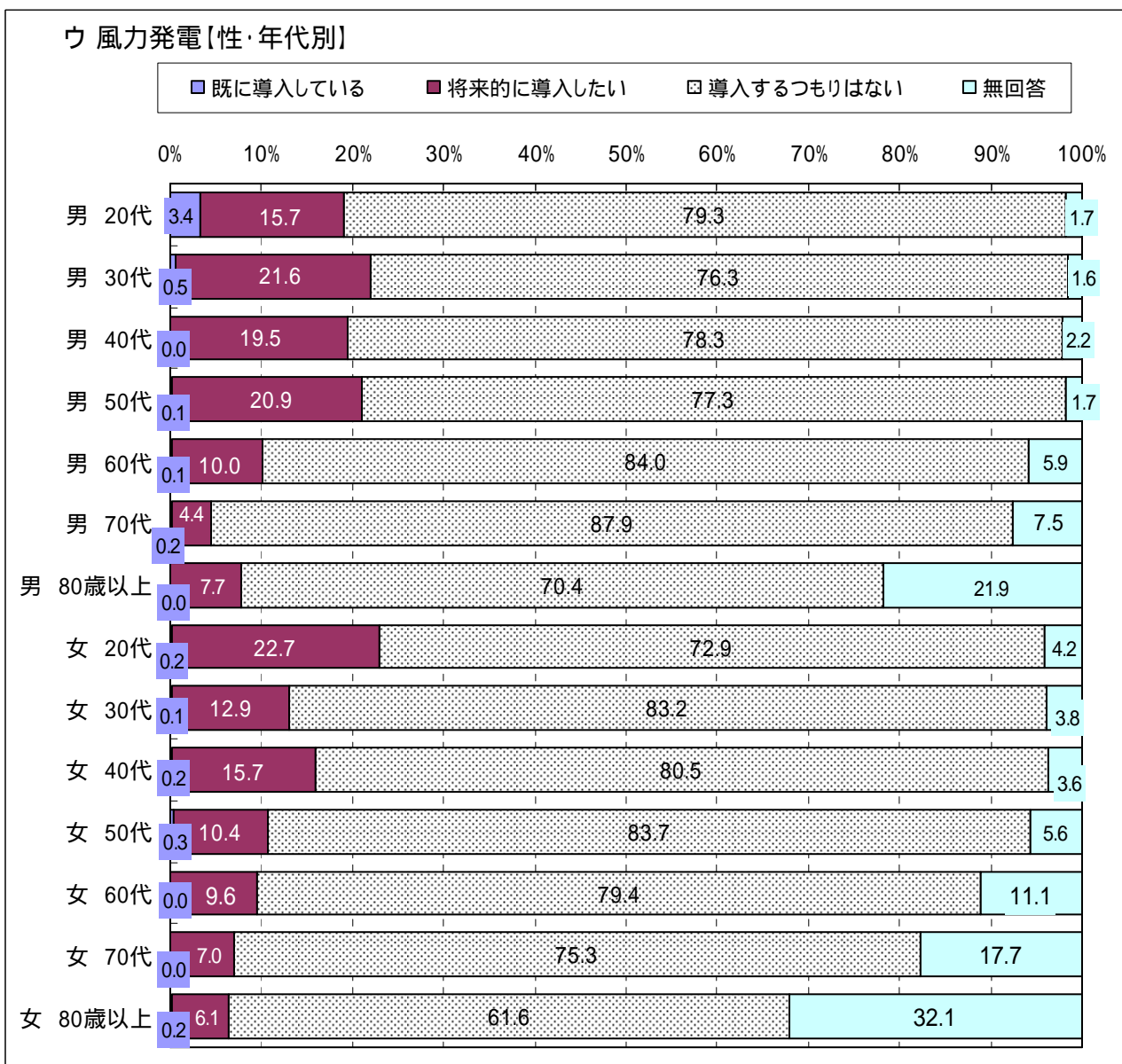
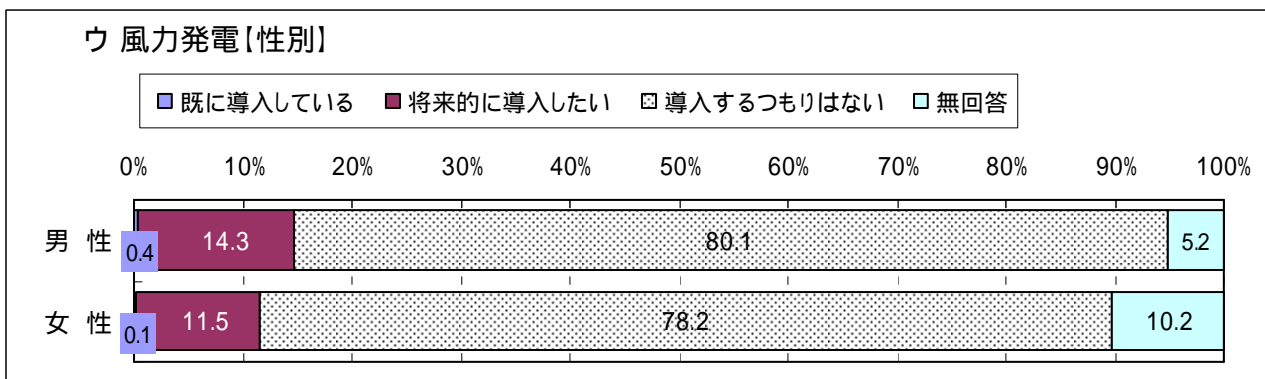
【地域別】

いずれの地域も導入率は非常に低く、「導入するつもりはない」が7～8割前後と非常に高くなっており、個人や地域レベルでの導入は困難である状況が窺える。



【性別、性・年代別】

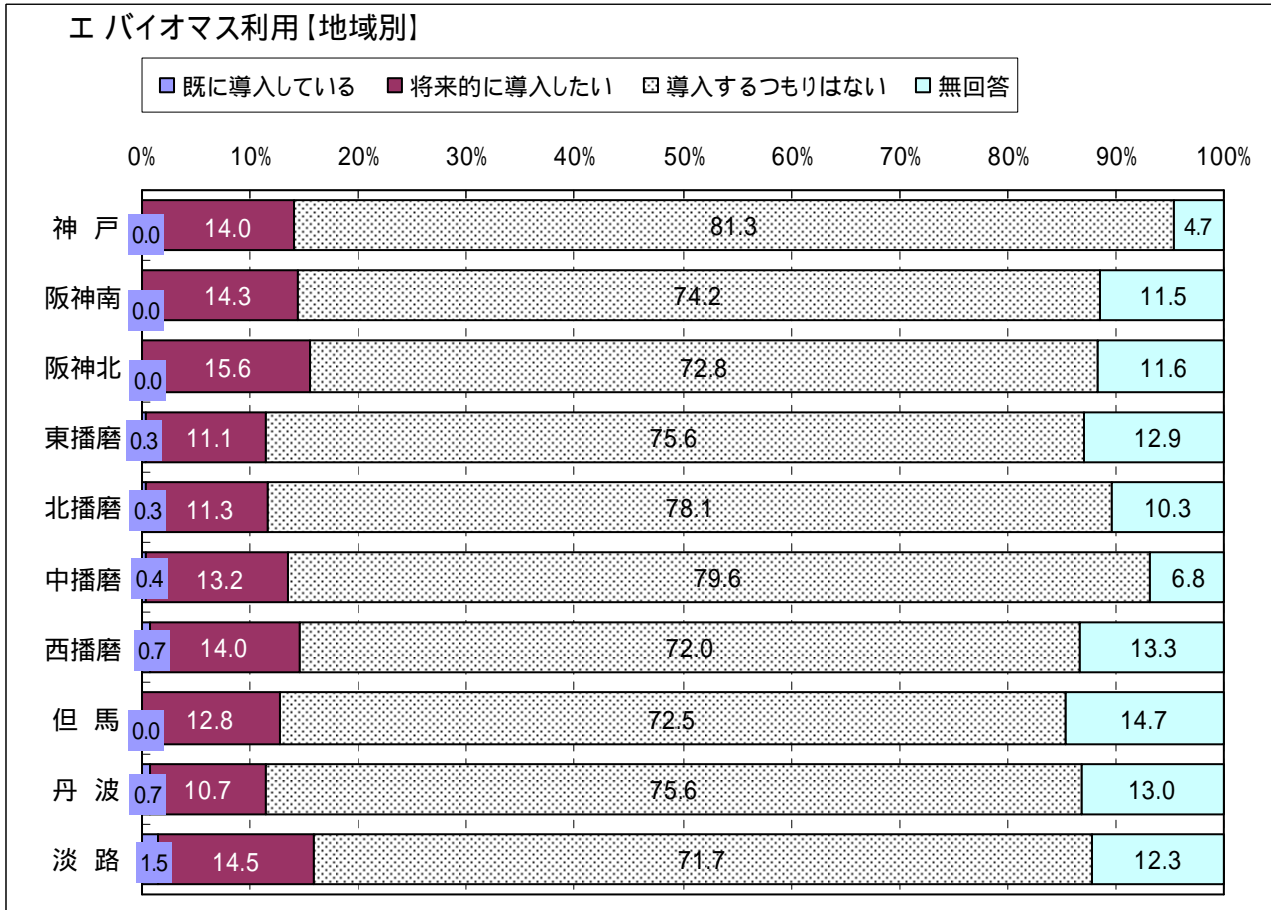
性別による違いはあまりみられず、またいずれの年代でも「導入するつもりはない」が多くなっている。



〔エ バイオマス利用〕

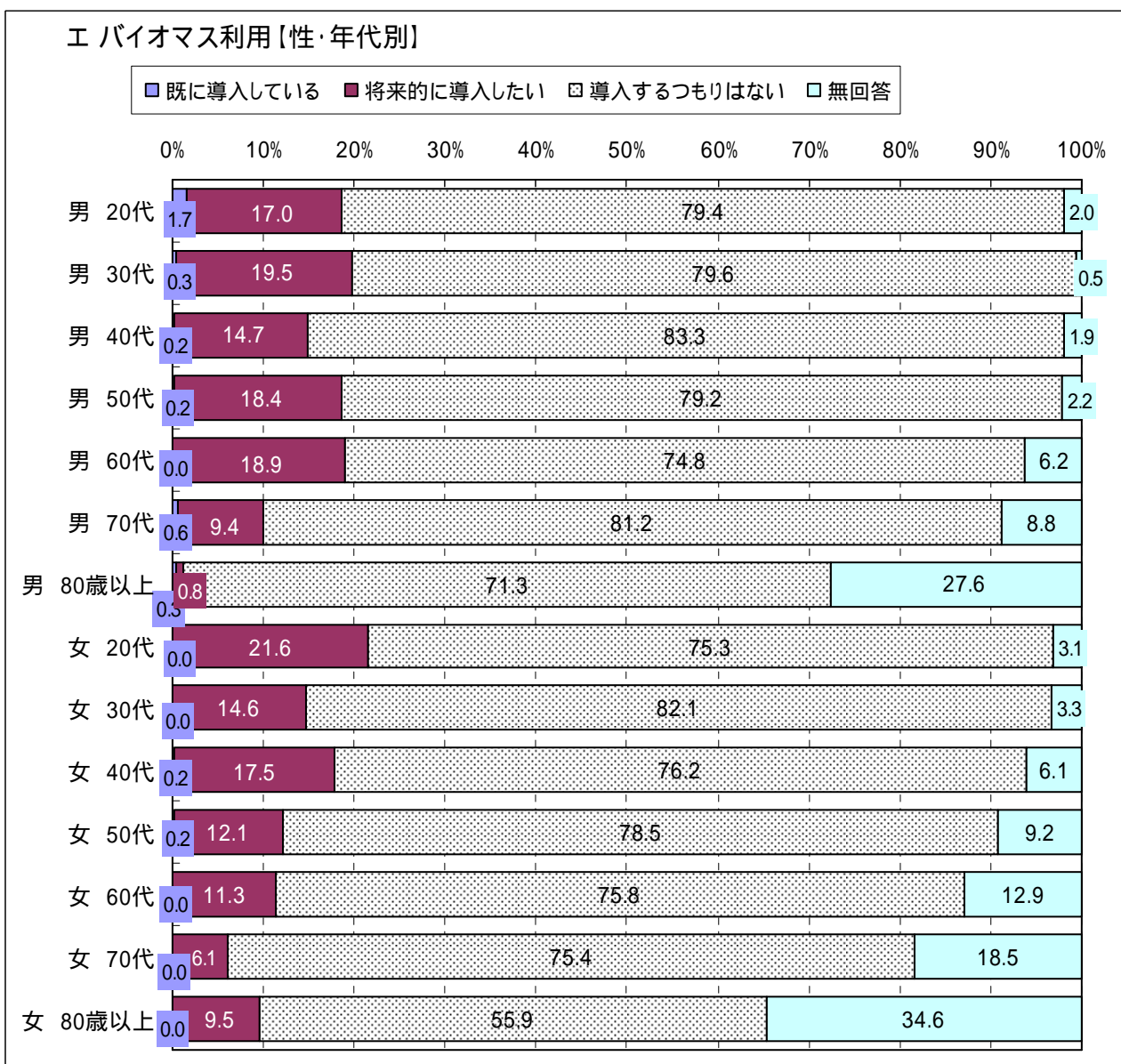
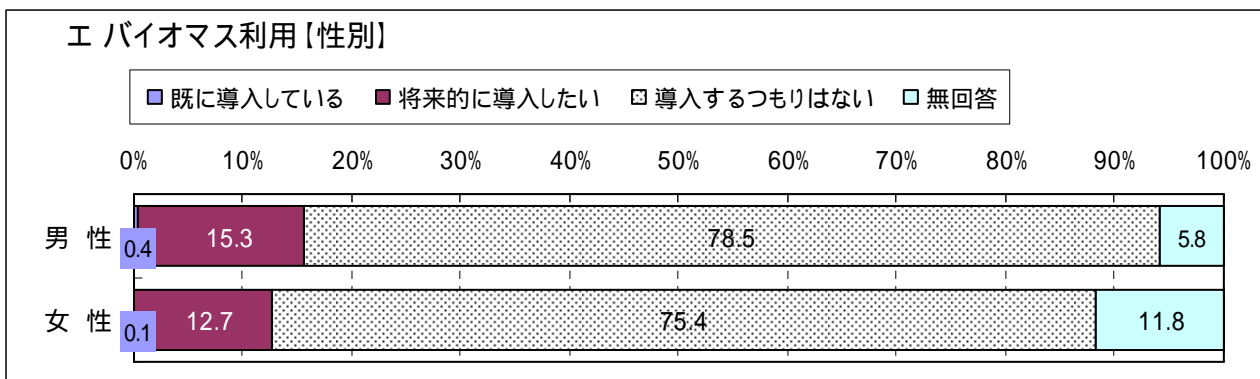
【地域別】

いずれの地域も導入率は非常に低く、「導入するつもりはない」が7～8割前後と非常に高くなっており、個人や地域レベルでの導入は困難である状況が窺える。



【性別、性・年代別】

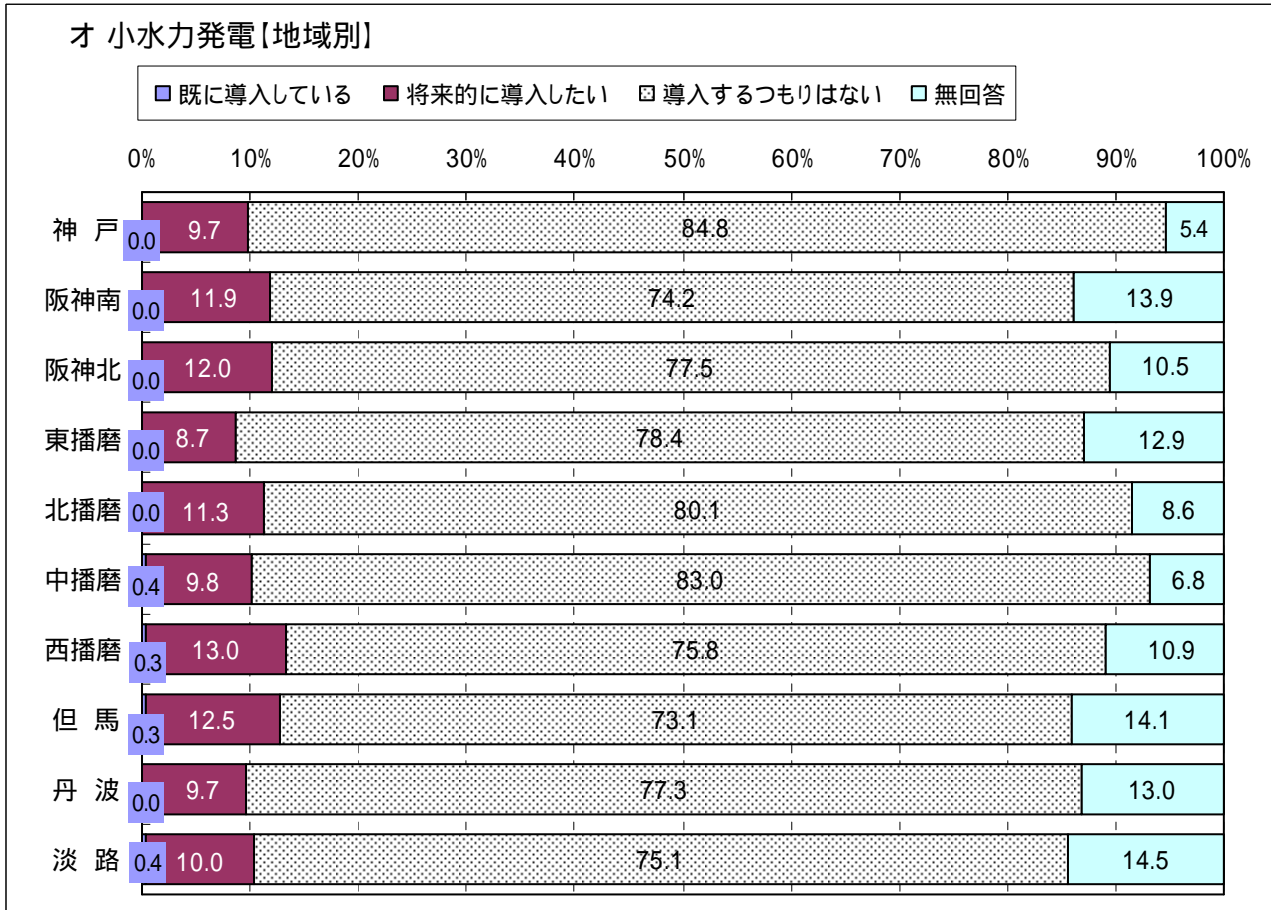
性別による違いはあまりみられず、またいずれの年代でも「導入するつもりはない」が多くなっている。



〔オ 小水力発電〕

【地域別】

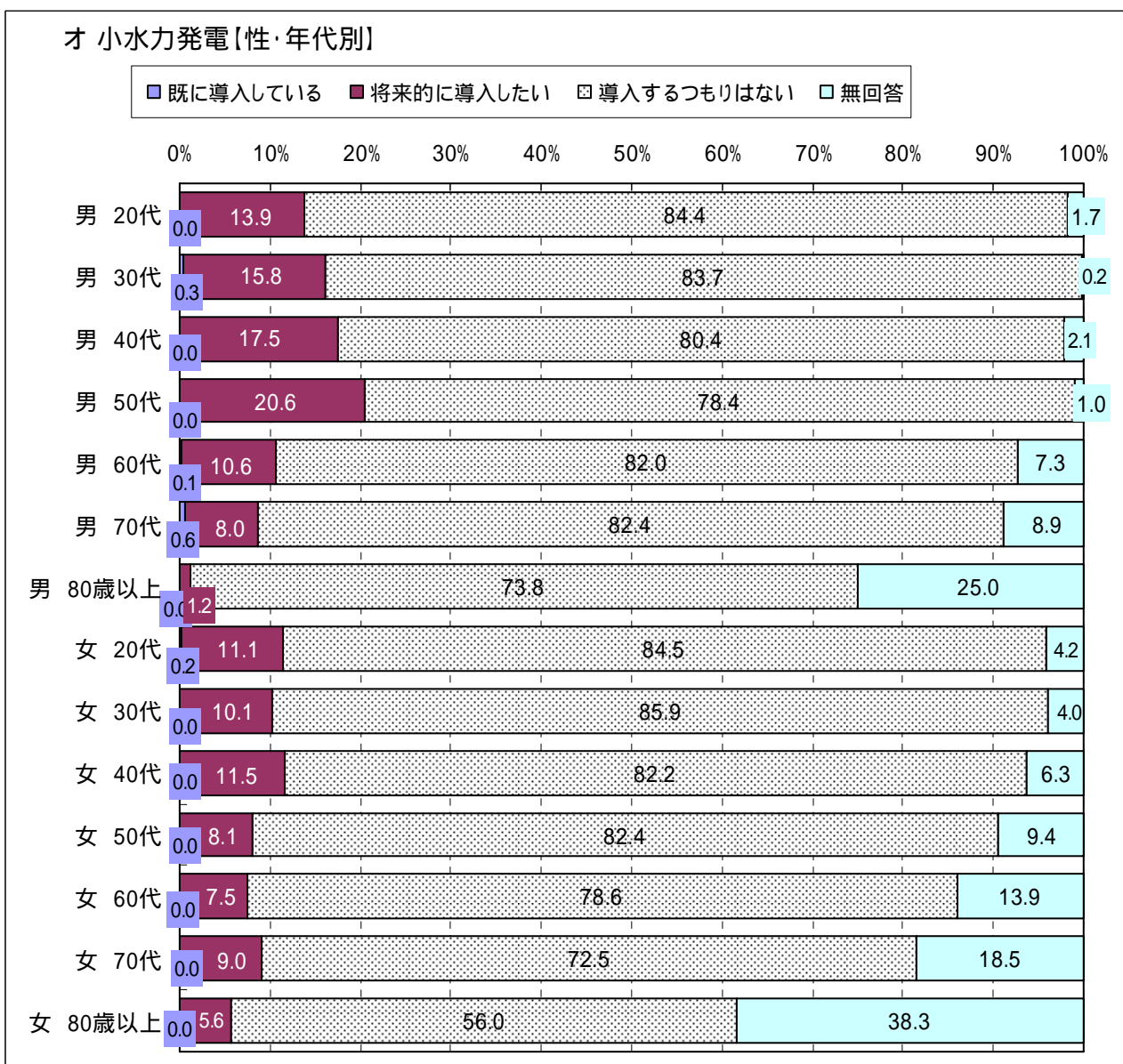
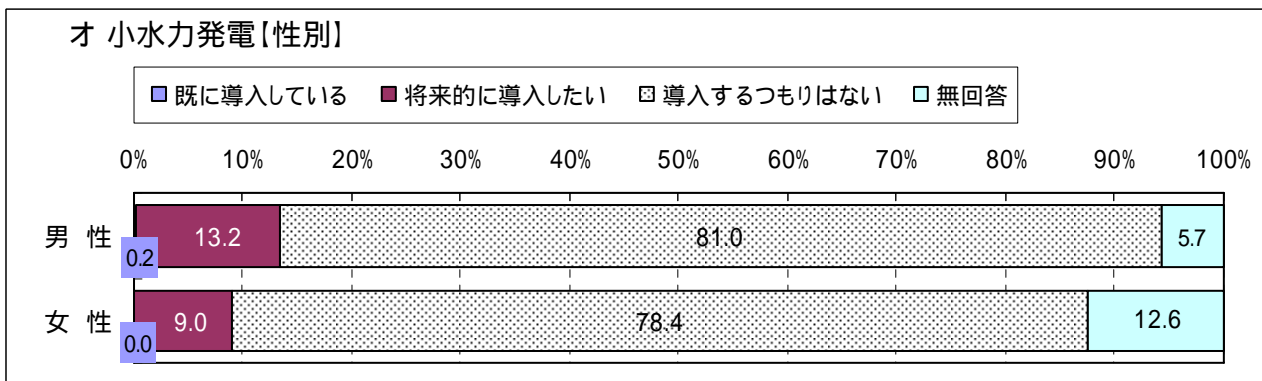
都市部ではほぼ導入されておらず、いずれの地域も「導入するつもりはない」が8割前後と高くなっている。



【性別、性・年代別】

性別で見ると、男女ともに「導入するつもりはない」が8割前後となっている。

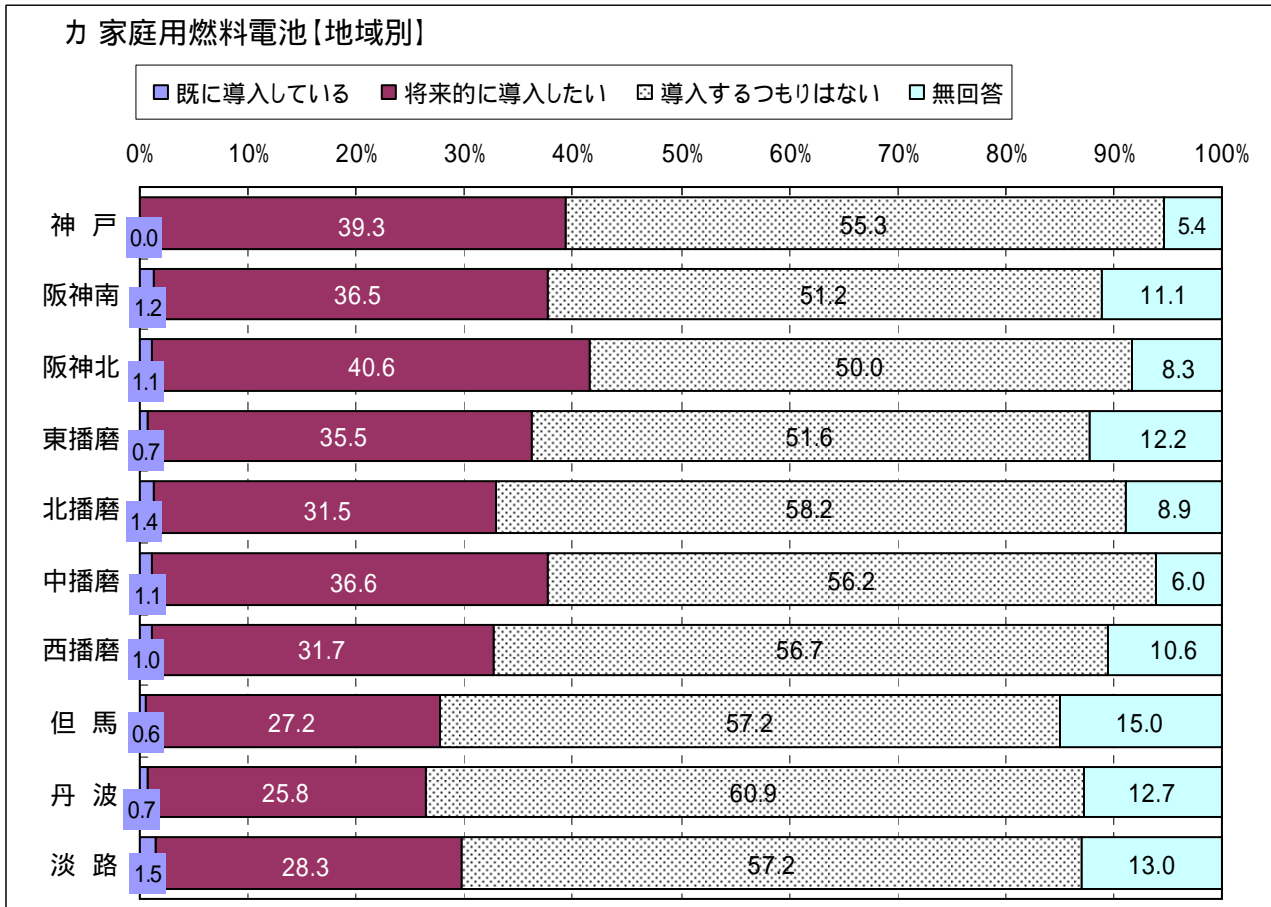
性・年代別で見ると、男女ともに30～50代を中心に「将来的に導入したい」とする割合も1～2割程度であるが一定数みられる。



〔カ 家庭用燃料電池（エネファーム）〕

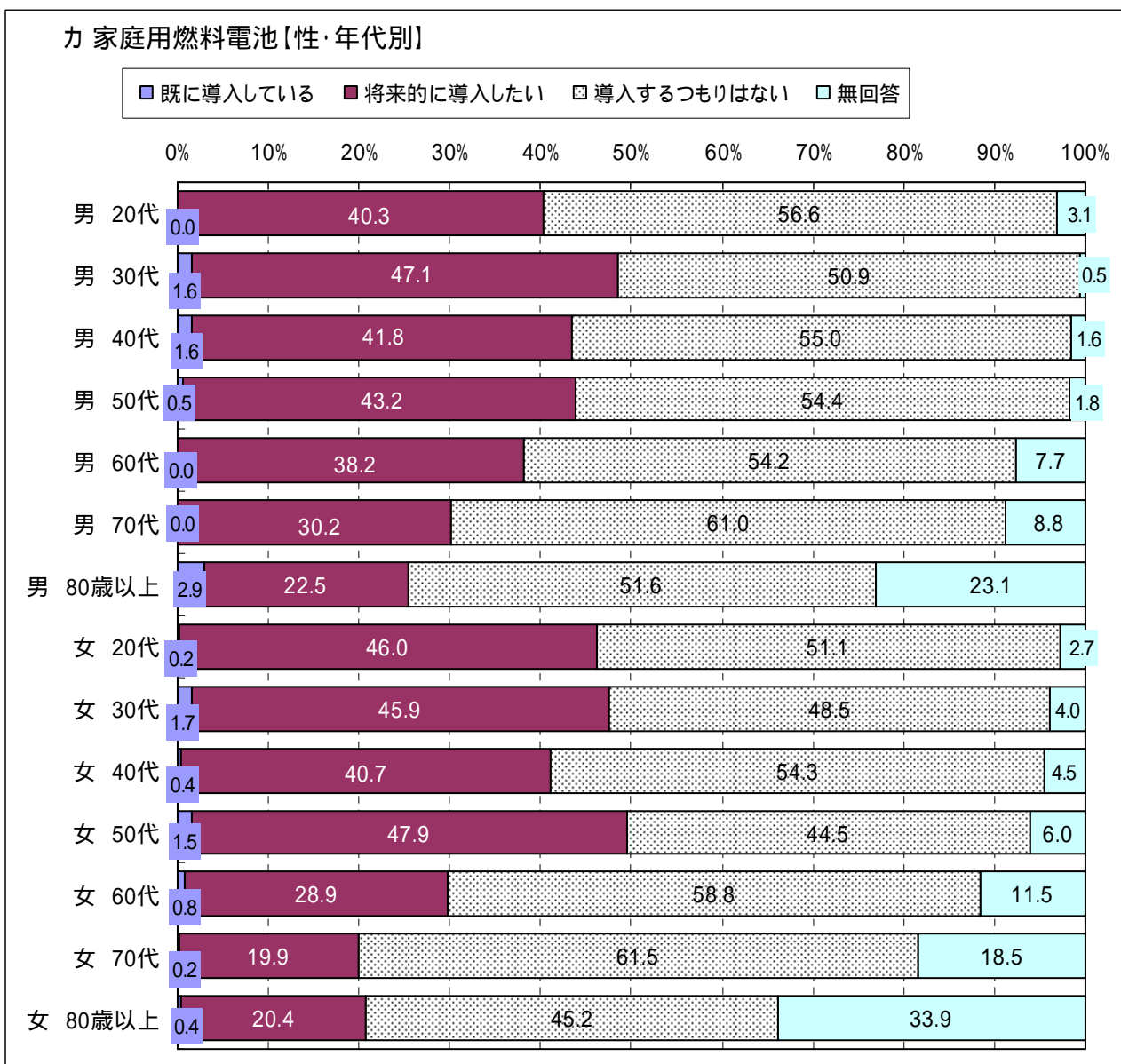
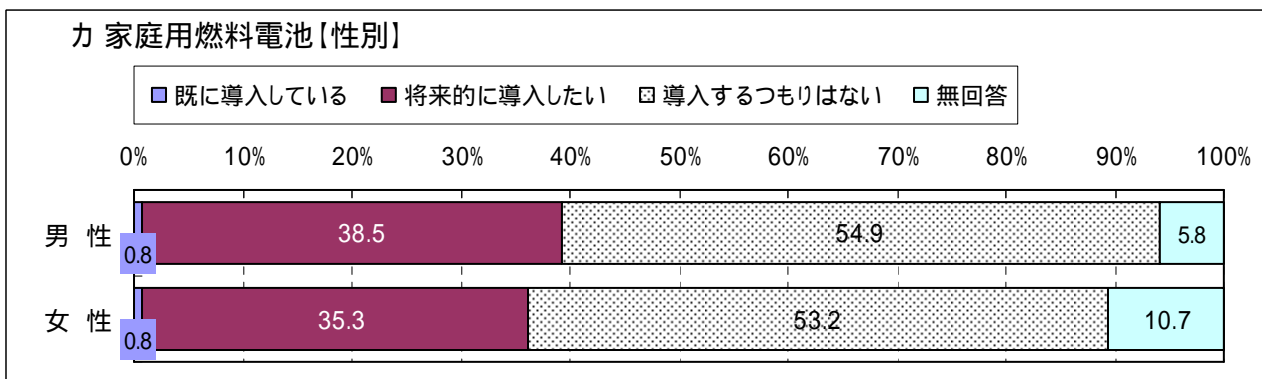
【地域別】

都市部では、「将来的に導入したい」の割合が3～4割と高くなっている一方で、全ての地域で「導入するつもりはない」が5割を超えている。



【性別、性・年代別】

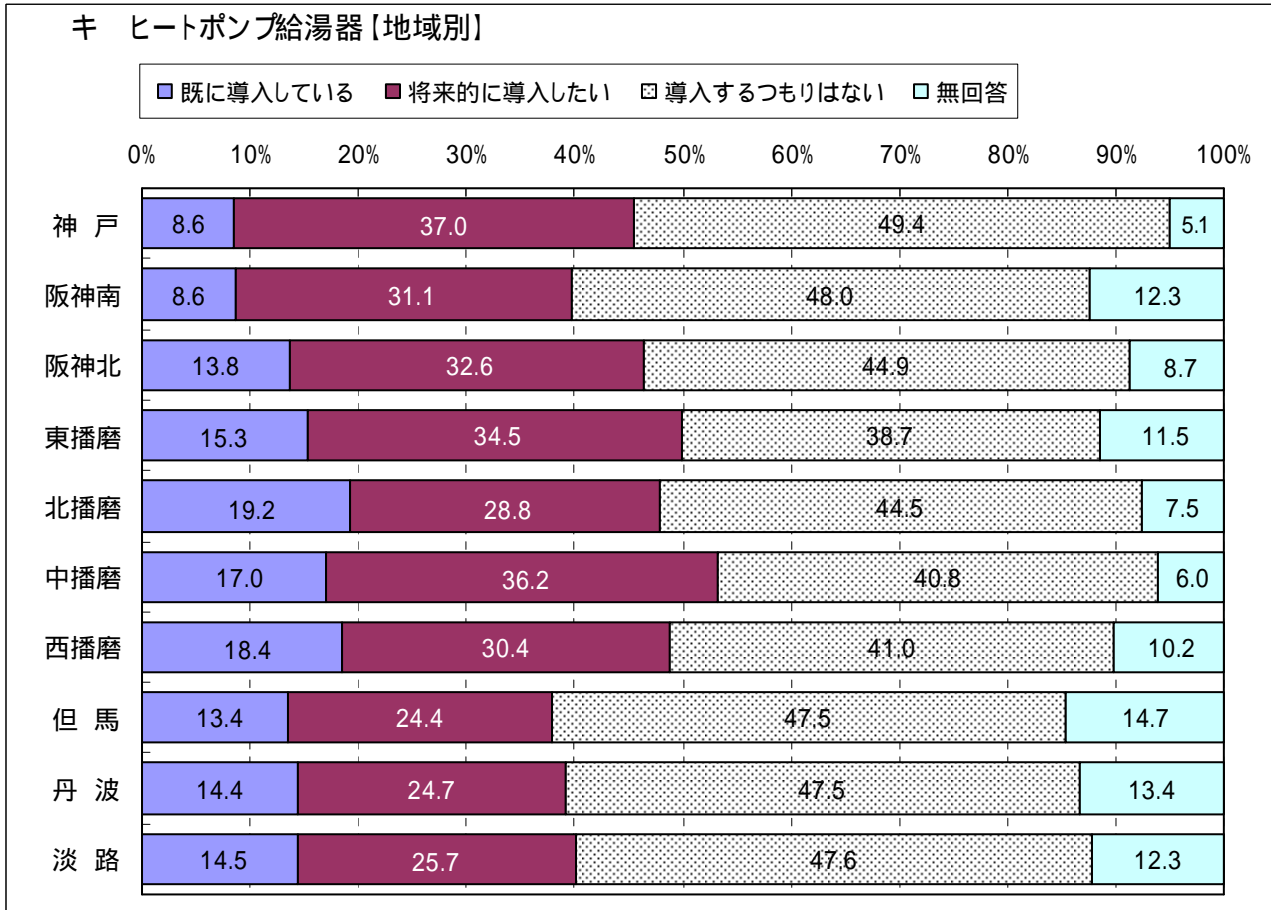
性別による違いはあまりみられないが、性・年代別では、「将来的に導入したい」とする割合が男女ともに20～50代で4割を超えており、60代以上で徐々に低下している。



〔キ ヒートポンプ給湯器（エコキュート）〕

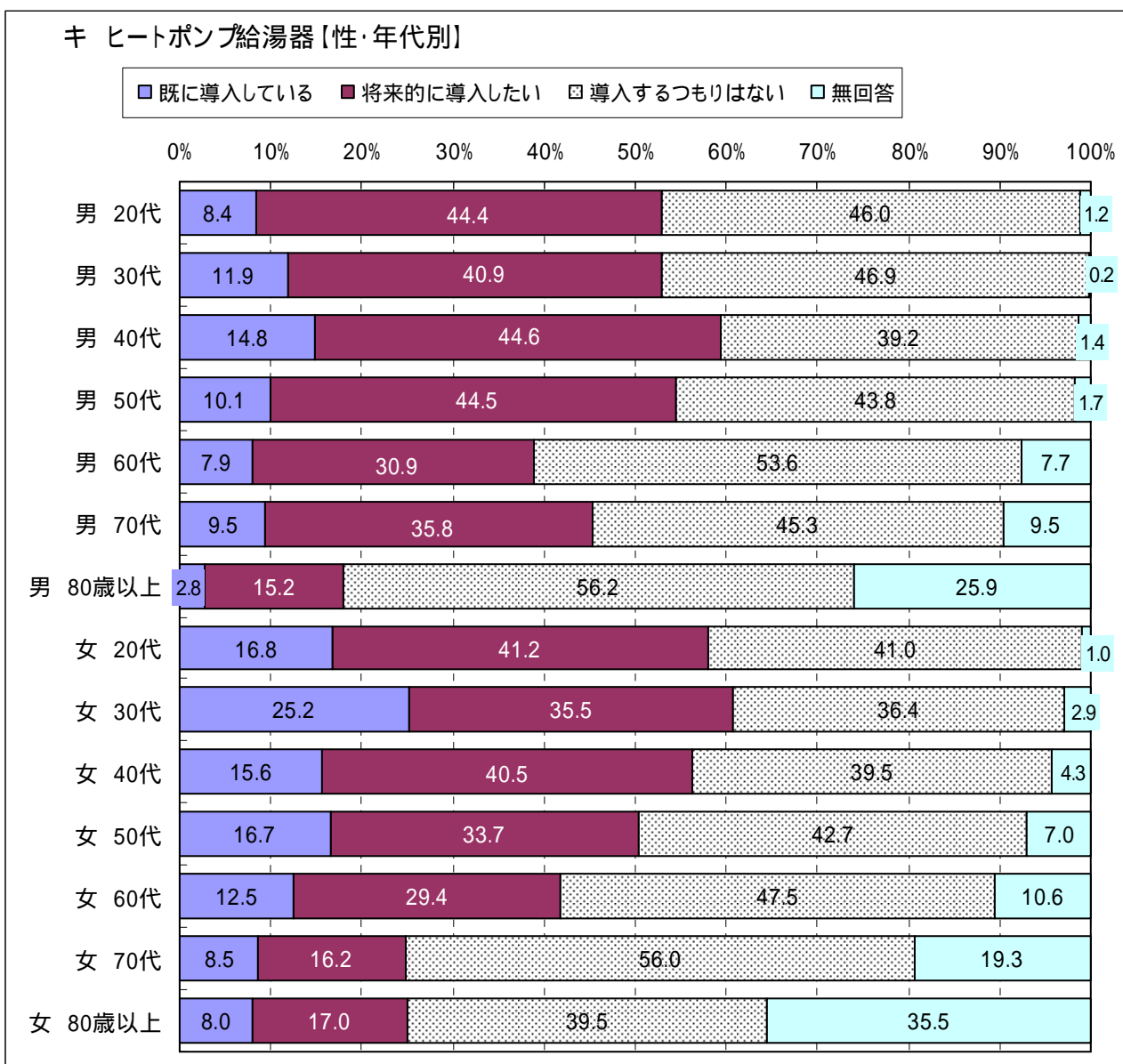
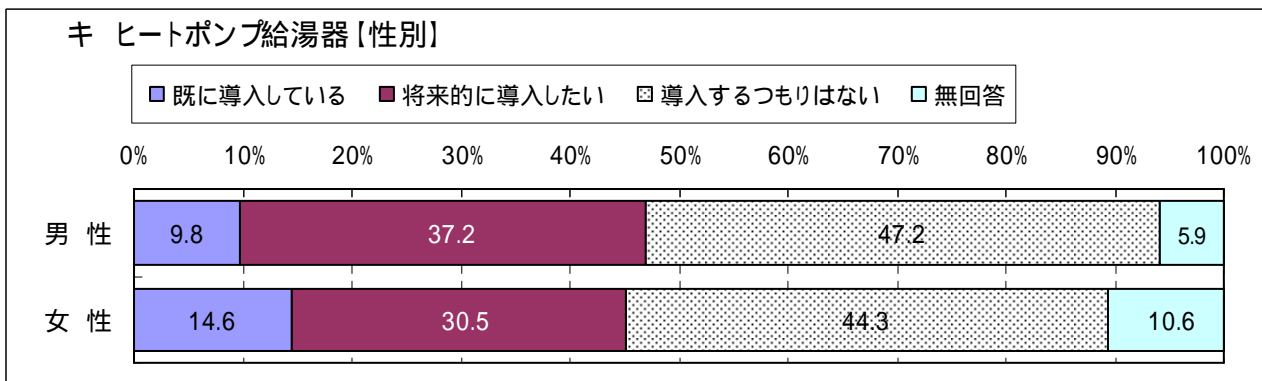
【地域別】

神戸、阪神南を除く8地域で1割半ば～2割が「既に導入している」となっているほか、「将来的に導入したい」を合わせるといずれの地域も4～5割となっており、関心の高さが窺える。



【性別、性・年代別】

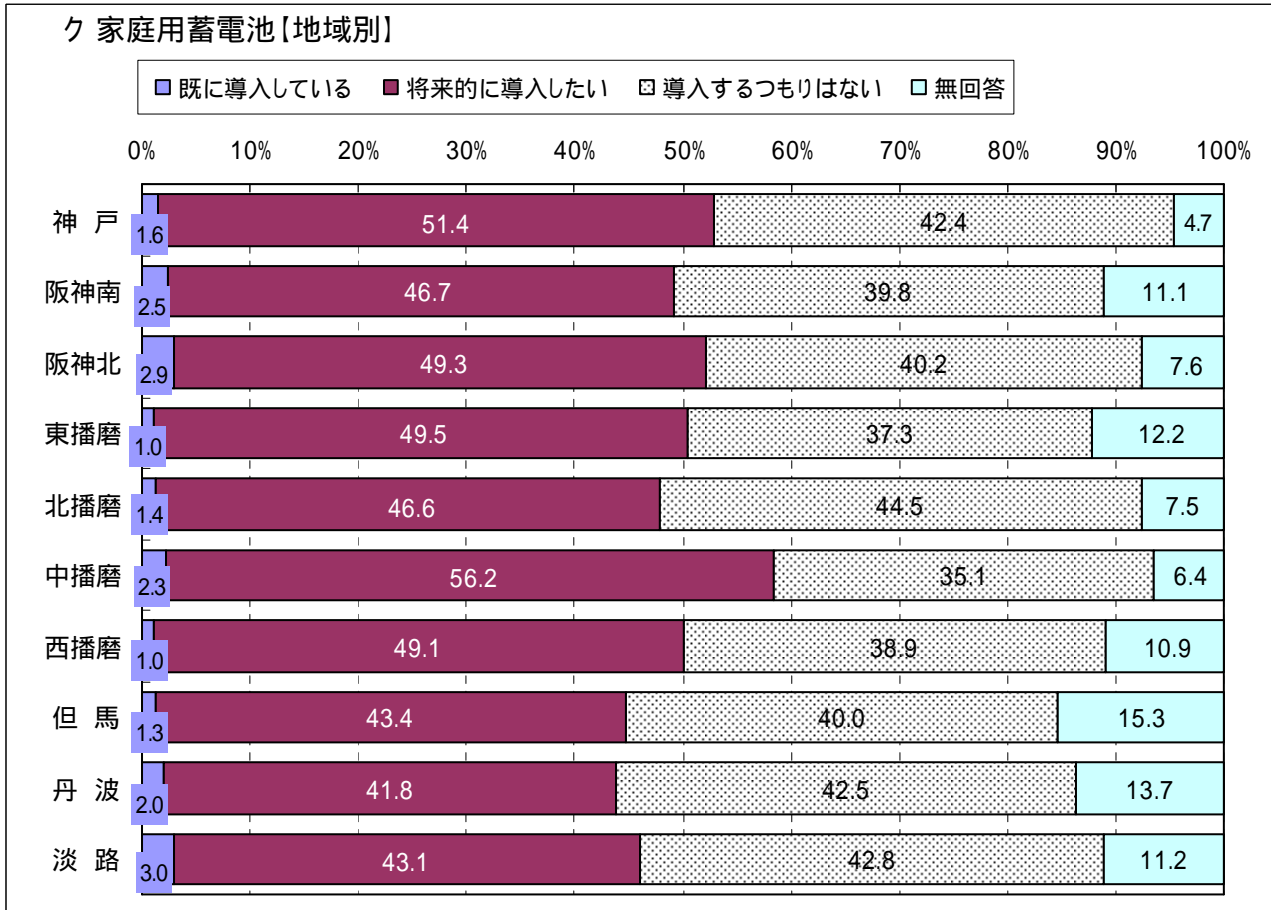
性別では大きな差はみられないが、性・年代別で見ると男女ともに20～50代では、「既に導入している」に「将来的に導入したい」を合わせると5割を超え、〔ヒートポンプ給湯器〕への関心の高さがうかがえる。



〔ク 家庭用蓄電池〕

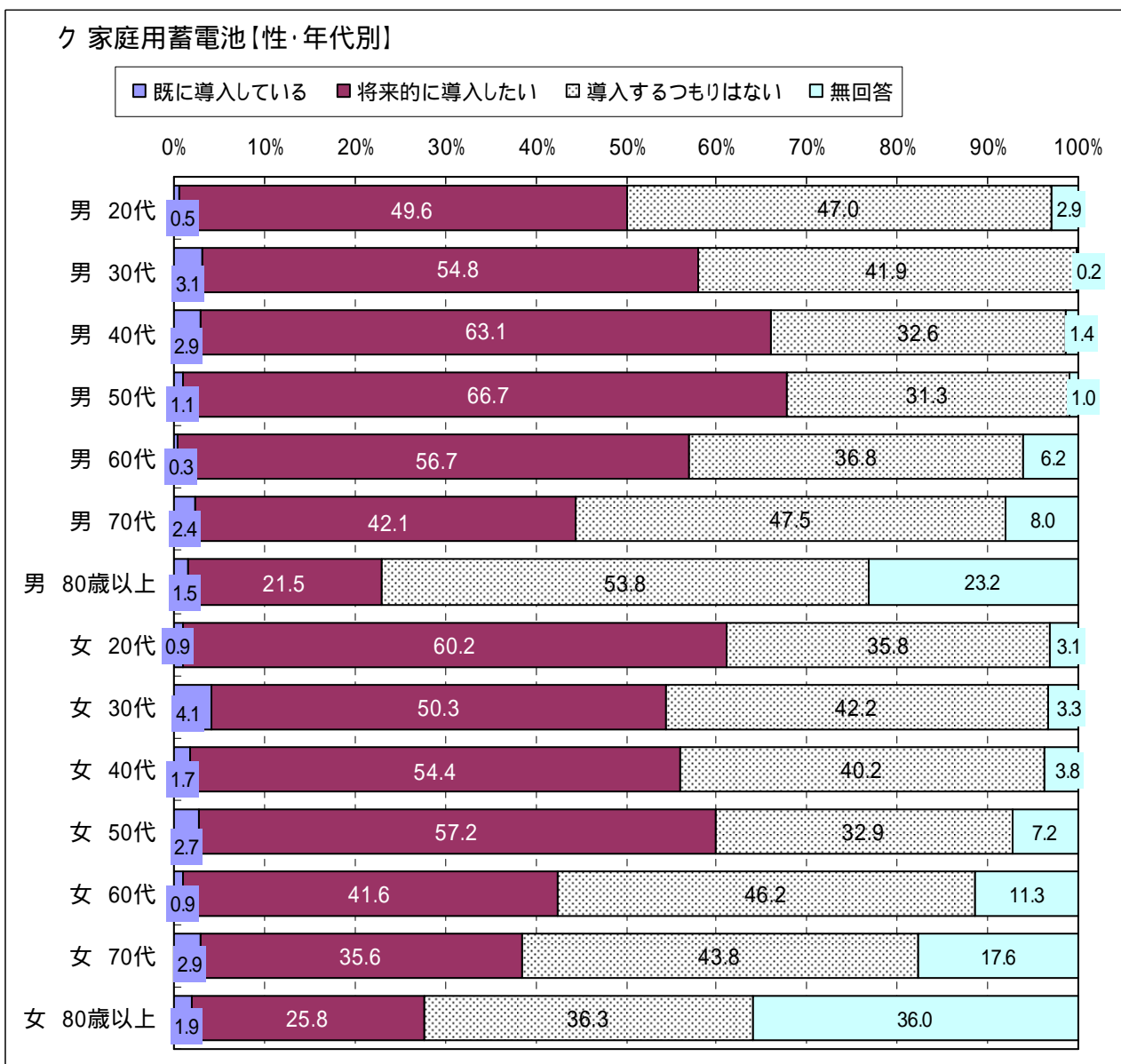
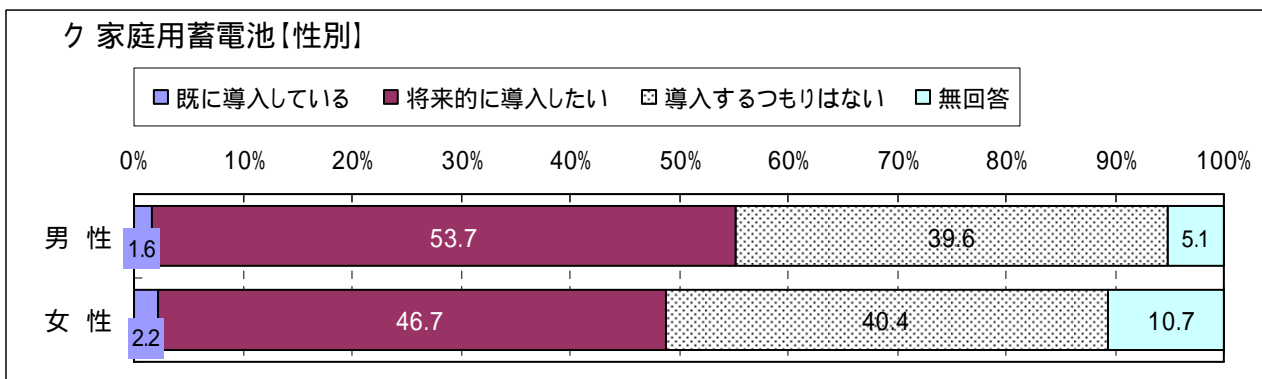
【地域別】

いずれの地域も「既に導入している」は低いが、「将来的に導入したい」が4～5割で〔家庭用蓄電池〕に対する関心は非常に高い。



【性別、性・年代別】

性別による違いはあまりみられないが、性、年代別では、男女ともに高齢者を除き「将来的に導入したい」とする割合が高く、特に男性の40代、50代では6割半ばに達している。



問9 家庭で再生可能エネルギー等を導入する際の課題や問題点

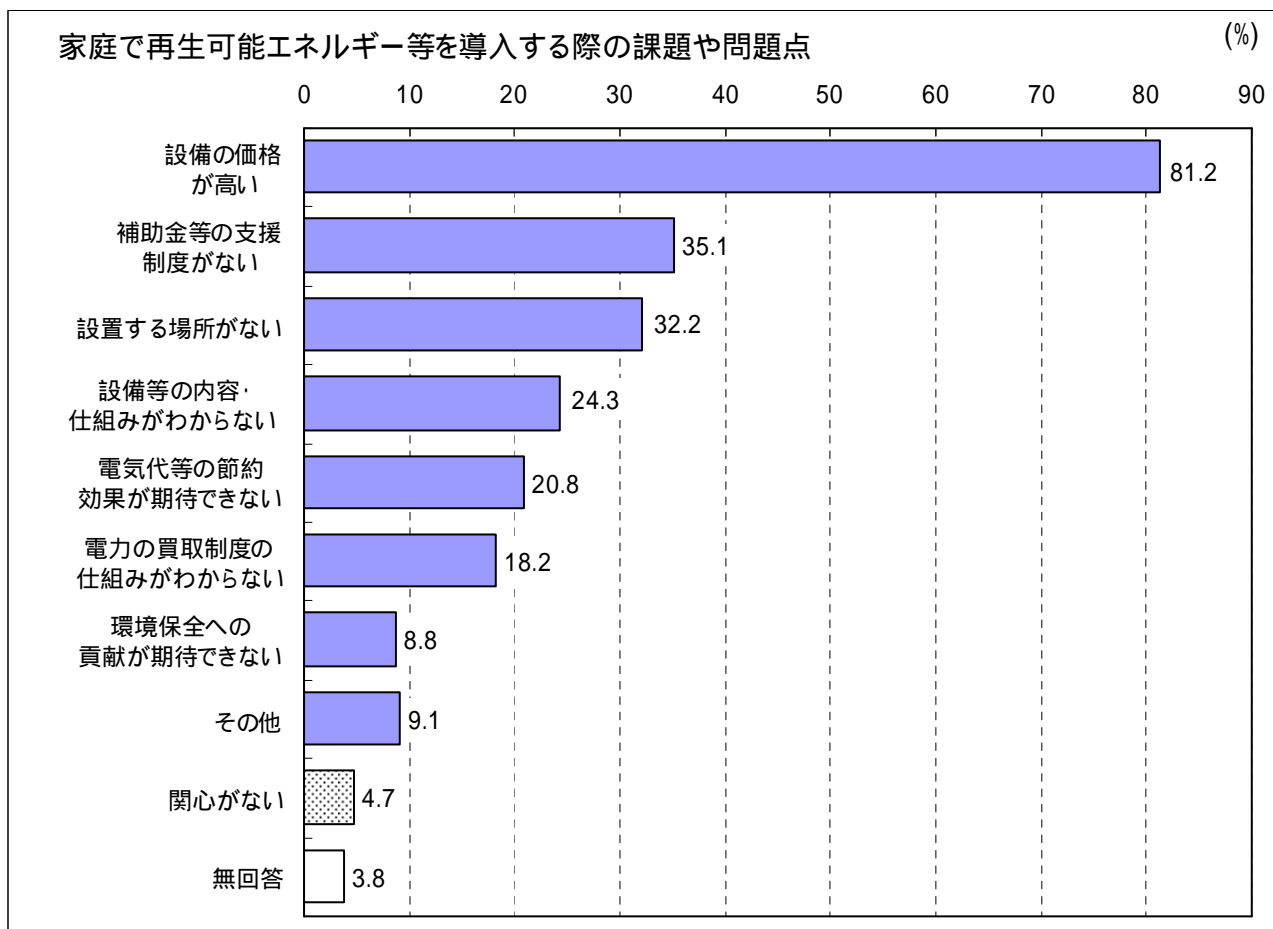
問9

あなたのご家庭で再生可能エネルギー等を導入する際の課題や問題点はどのようなことだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。

- 1 設備の価格が高い
- 2 補助金等の支援制度がない
- 3 設備等の内容・仕組みがわからない
- 4 電力の買取制度の仕組みがわからない
- 5 環境保全への貢献が期待できない
- 6 電気代等の節約効果が期待できない
- 7 設置する場所がない
- 8 その他
- 9 関心がない

【全 県】

「設備の価格が高い」が8割を超え、突出して多くなっている。次いで「補助金等の支援制度がない」「設置する場所がない」が3割台となっている。



【地域別】

地域による差が最も大きいのは「設置する場所がない」で、阪神南や神戸など、マンション等集合住宅居住者が多いであろう都市部で多くなっている。

家庭で再生可能エネルギー等を導入する際の課題や問題点【地域別】

	最大値							最小値			(%)
	設備の価格が高い	補助金等の支援制 度がない	設備等の内容・仕 組みがわからない	電力の買取制度の 仕組みがわからない	環境保全への貢献 が期待できない	電気代等の節約効 果が期待できない	設置する場所がな い	その他	関心がない	無回答	
全 県	81.2	35.1	24.3	18.2	8.8	20.8	32.2	9.1	4.7	3.8	
地域別											
神 戸	79.8	35.4	25.3	18.3	10.9	16.7	36.2	10.9	4.7	4.3	
阪神南	78.7	33.6	24.6	15.6	6.1	19.7	43.0	9.4	4.1	3.7	
阪神北	83.3	37.7	26.8	20.3	9.1	20.7	29.3	7.2	3.6	2.9	
東播磨	81.9	34.5	22.0	16.7	8.0	20.6	31.0	11.1	4.9	5.2	
北播磨	83.9	36.0	23.6	22.9	9.2	25.3	15.1	7.2	8.2	0.3	
中播磨	85.7	38.1	20.8	18.9	8.3	26.0	26.8	6.4	3.0	3.4	
西播磨	83.6	33.4	23.2	18.4	9.6	27.0	22.2	7.2	7.2	3.4	
但 馬	75.6	31.6	29.1	17.5	6.9	24.7	27.2	8.1	6.3	5.6	
丹 波	85.6	35.8	23.4	20.7	10.0	26.1	15.7	7.4	7.0	3.7	
淡 路	76.6	25.7	23.0	20.4	10.0	24.9	23.8	8.2	4.8	4.8	
地域間の差	10.0	12.5	8.3	7.4	4.7	10.2	28.0	4.7	5.2	5.3	

【性別、性・年代別】

性別による大きな差はみられないが、性・年代別では、女性20代の設備の価格や補助金に対する関心の高さがうかがえるほか、「設置する場所がない」では男性20代が5割を上回っている。

家庭で再生可能エネルギー等を導入する際の課題や問題点【性別】

(%)

	設備の価格が高い	補助金等の支援制度がない	設備等の内容・仕組みがわからない	電力の買取制度の仕組みがわからない	環境保全への貢献が期待できない	電気代等の節約効果が期待できない	設置する場所がない	その他	関心がない	無回答
全 県	81.2	35.1	24.3	18.2	8.8	20.8	32.2	9.1	4.7	3.8
性別										
男 性	83.8	37.7	21.8	18.5	10.7	20.8	34.7	7.4	3.8	2.8
女 性	79.7	32.9	26.2	17.9	7.5	21.1	30.6	10.4	5.3	4.4
性別間の差	4.1	4.8	4.4	0.6	3.2	0.2	4.1	3.0	1.5	1.6

家庭で再生可能エネルギー等を導入する際の課題や問題点【性・年代別】

最大値

最小値

(%)

	設備の価格が高い	補助金等の支援制度がない	設備等の内容・仕組みがわからない	電力の買取制度の仕組みがわからない	環境保全への貢献が期待できない	電気代等の節約効果が期待できない	設置する場所がない	その他	関心がない	無回答
全 県	81.2	35.1	24.3	18.2	8.8	20.8	32.2	9.1	4.7	3.8
性・年代別										
男 性										
20代	81.0	48.1	14.9	17.3	12.9	9.8	53.8	7.1	5.3	1.2
30代	90.1	41.2	20.4	21.1	11.3	17.7	39.6	4.4	2.6	0.3
40代	94.2	49.5	19.6	12.8	4.8	16.4	34.0	8.4	4.6	0.0
50代	89.1	36.2	21.6	18.3	10.3	26.5	30.6	6.4	0.7	1.8
60代	81.0	31.0	18.5	20.2	15.3	21.1	36.1	9.3	3.8	3.6
70代	81.1	35.3	29.9	19.7	10.7	25.5	30.6	5.1	4.4	3.1
80歳以上	57.5	25.6	30.7	20.1	6.5	23.9	21.7	11.4	8.0	12.6
年代間の差	36.7	23.9	15.8	8.3	10.5	16.7	32.1	7.0	7.4	12.6
女 性										
20代	92.6	57.8	35.5	18.3	4.4	12.0	32.7	5.8	2.7	0.2
30代	89.7	41.9	26.5	14.4	5.9	21.7	32.7	10.4	0.4	0.8
40代	88.2	39.6	24.4	14.6	7.5	18.5	28.3	10.3	5.4	1.1
50代	84.8	41.8	27.6	16.6	3.8	21.0	32.5	8.5	3.3	2.5
60代	78.3	20.0	28.6	18.3	13.5	23.5	28.9	10.3	6.7	4.2
70代	66.8	21.2	22.1	22.3	6.7	22.5	32.3	14.7	9.2	8.3
80歳以上	53.6	20.7	19.3	23.0	6.6	25.3	27.2	10.5	6.8	17.1
年代間の差	39.0	37.8	16.2	8.6	9.7	13.3	5.5	8.9	8.8	16.9

問10 再生可能エネルギーを普及させるための経済的負担

問10

今後、再生可能エネルギー等を普及させるためのコストを、消費者が負担することとした場合、ご家庭の電気料金のうち、月額あたり何割までなら負担が増えてもよいと思われませんか。次の中から1つ選んで をつけてください。

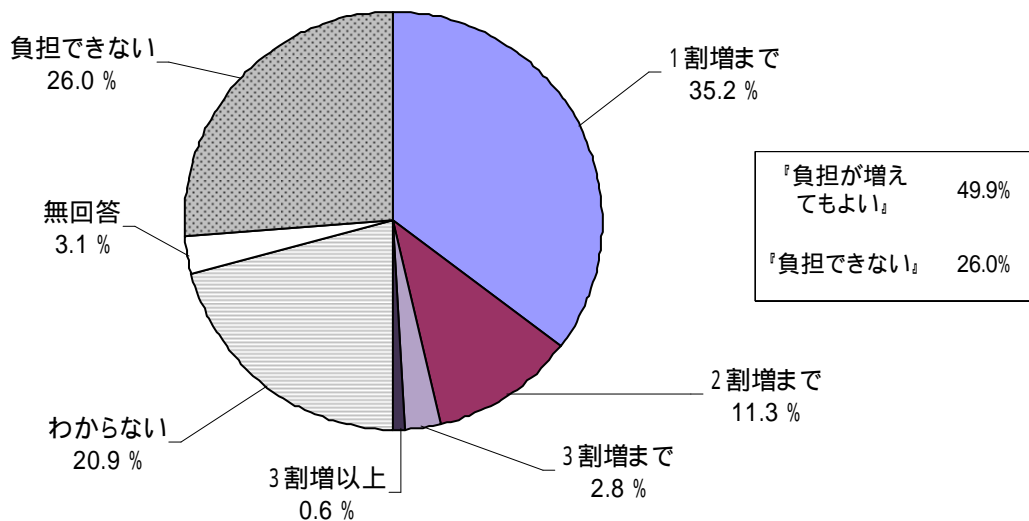
- | | |
|---------|----------|
| 1 1割増まで | 4 3割増以上 |
| 2 2割増まで | 5 わからない |
| 3 3割増まで | 6 負担できない |

【全 県】

再生可能エネルギー等の普及のため、約半数の人が電気料金の『負担が増えてもよい』とする一方、約1/4の人が『負担できない』としている。

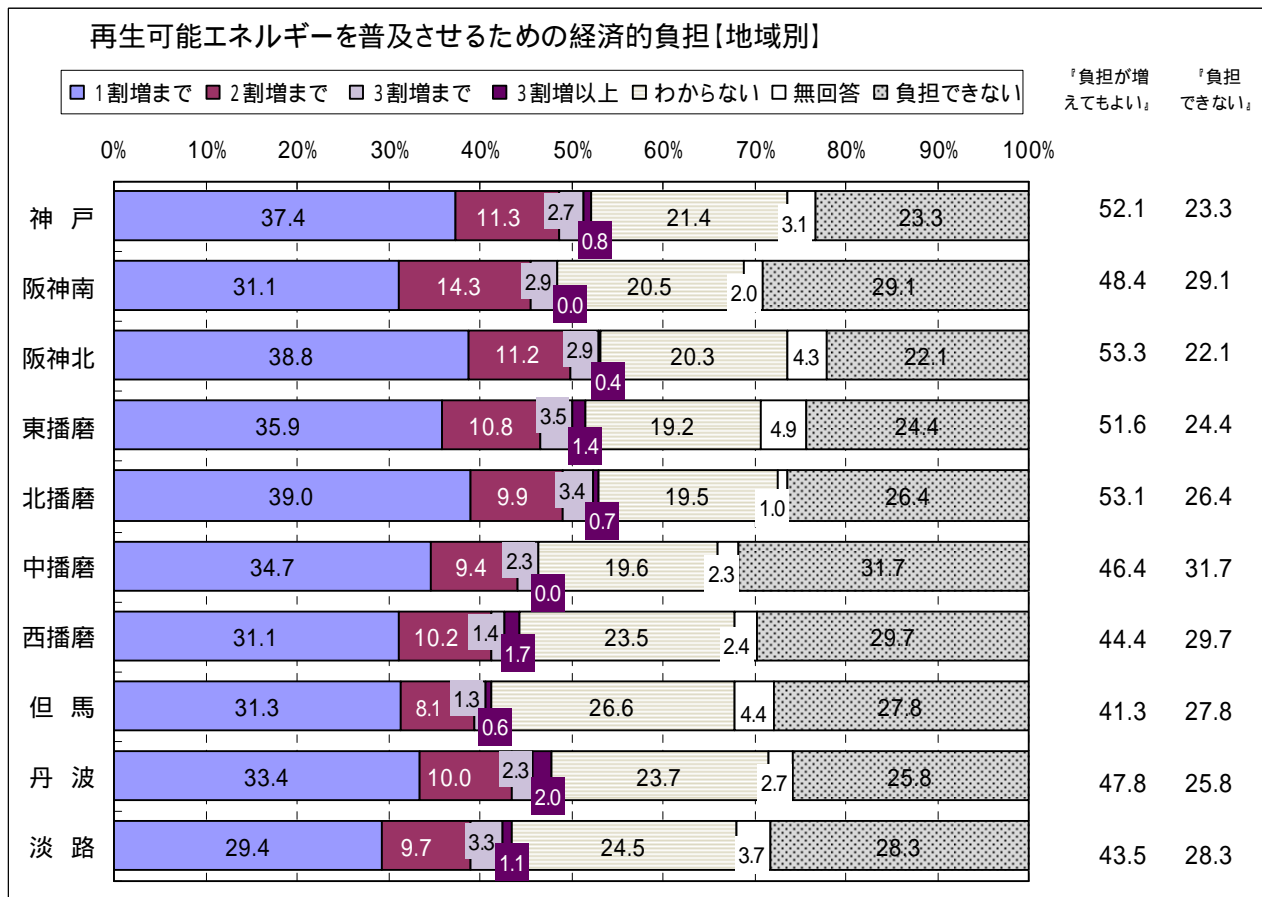
電気料金月額あたり「1割増まで」負担してもよいとする割合が最も高くなっている。

再生可能エネルギーを普及させるための経済的負担



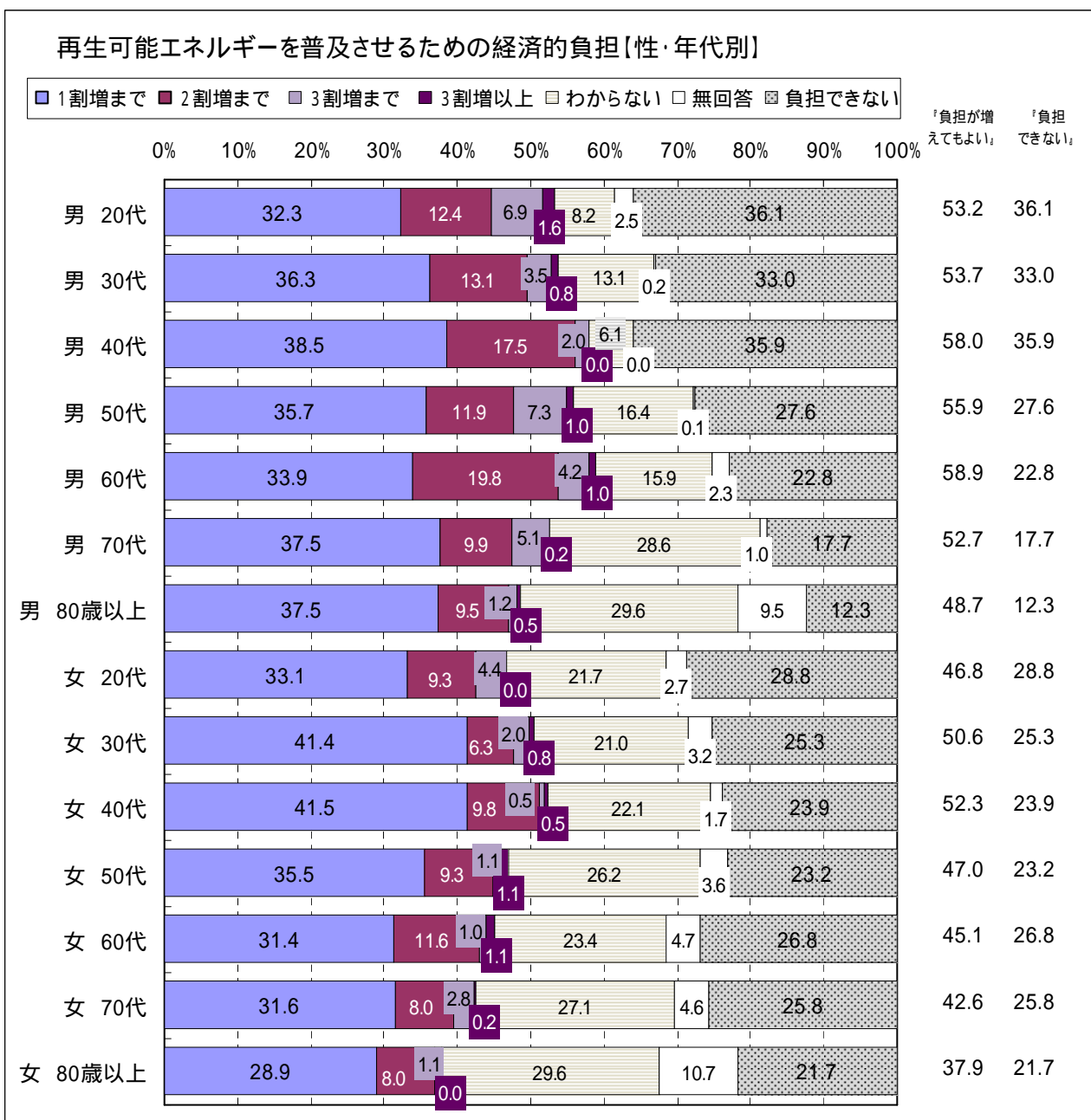
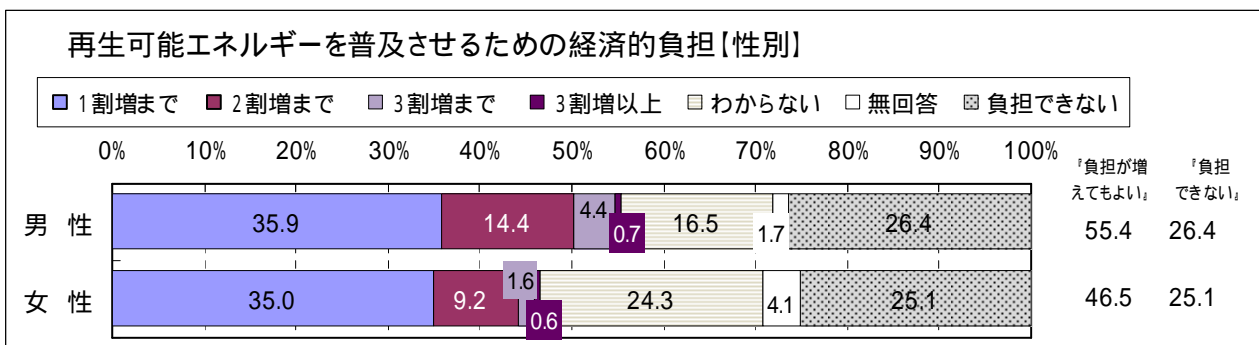
【地域別】

『負担が増えてもよい』では、都市部の方が農村部に比べてわずかながら多くなっている。



【性別、性・年代別】

性別では、『負担が増えてもよい』と考える割合は女性よりも男性が多いが、性・年代別で見ると、男性20～40代では負担できないも3割を超えている。



問 1 1 再生可能エネルギーの普及促進等を図るために県が進めるべき取り組み

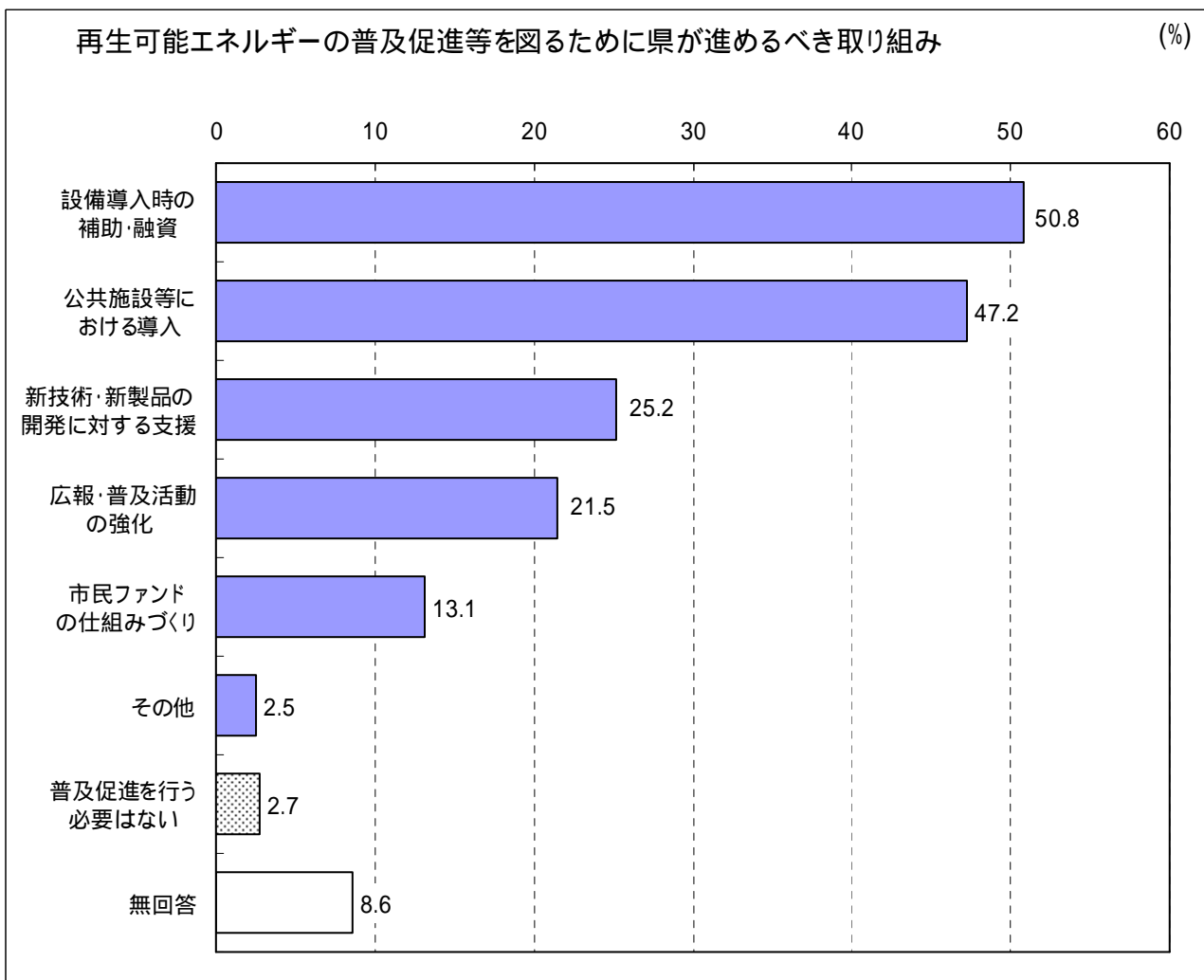
問 1 1

再生可能エネルギーの普及促進、蓄電池等の利用によるエネルギーの効率化を図るため、県としてどのような取り組みを進めるべきだと思いますか。次の中から2つまで選んで をつけてください。

- 1 再生可能エネルギー等に関する設備導入時の補助・融資
- 2 公共施設等における再生可能エネルギー等の導入
- 3 再生可能エネルギー等についての広報・普及活動の強化
- 4 新技術・新製品の開発に対する支援
- 5 太陽光発電等へ出資する市民ファンド（発電事業に地域住民自らが出資）の仕組みづくり
- 6 その他
- 7 再生可能エネルギー等の普及促進を行う必要はない

【全 県】

「設備導入時の補助・融資」が最も多く、次いで「公共施設等における導入」、「新技術・新製品の開発に対する支援」となっている。



【地域別】

最も地域差が大きいのは「公共施設等における再生可能エネルギー等の導入」で、都市部が5割前後であるのに対し、農村部は4割前後と都市部の割合が高くなっている。

再生可能エネルギーの普及促進等を図るために県が進めるべき取り組み【地域別】

	最大値					最小値		(%)	
	融資 導入 補助 ・ 設	再生 可能 エネ ル	公共 施設 等 に お け る 再 生 可 能 エ ネ ル	広 報 ・ 普 及 活 動 の 強 化	再 生 可 能 エ ネ ル に 関 する 新 技 術 ・ 新 製 品 の 開 発 に 対 する 支 援	太 陽 光 発 電 等 へ 出 資 す る 市 民 フ ァ ン ド の 仕 組 み づ くり	そ の 他	再 生 可 能 エ ネ ル の 普 及 促 進 に 関 する 必 要 な 措 施	無 回 答
全 県	50.8	47.2	21.5	25.2	13.1	2.5	2.7	8.6	
地域別									
神 戸	52.1	45.5	20.2	28.0	16.3	1.9	1.6	8.2	
阪神南	44.7	54.9	23.8	23.8	12.7	2.5	2.0	8.2	
阪神北	52.5	53.6	21.7	25.0	12.0	3.3	2.9	8.0	
東播磨	53.3	43.2	20.6	23.7	11.1	3.5	3.1	8.7	
北播磨	54.5	40.4	23.6	26.4	8.9	3.1	5.8	5.1	
中播磨	50.9	47.9	20.8	23.8	11.3	1.5	3.8	9.1	
西播磨	53.6	41.6	20.1	23.5	12.6	1.7	3.8	9.9	
但 馬	50.3	35.9	22.5	21.3	11.6	3.1	3.1	14.1	
丹 波	49.8	41.8	20.1	24.7	16.1	2.3	2.7	11.4	
淡 路	46.5	38.7	22.7	23.8	12.6	4.1	4.5	12.6	
地域間の差	9.8	19.0	3.7	6.8	7.4	2.6	4.3	8.9	

【性別、性・年代別】

男女で差が大きいのは「新技術・新製品の開発に対する支援」で、男性が3割を超える一方、女性は2割強に留まっている。

再生可能エネルギーの普及促進等を図るために県が進めるべき取り組み【性別】 (%)

	融資・補助・導入に関する設	再生可能エネルギーの普及促進等における導入	再生可能エネルギーの普及活動の強化	新技術・新製品の開発に対する支援	太陽光発電等への投資の仕組みづくり	その他	再生可能エネルギーの普及促進を行う必要はない	無回答
全 県	50.8	47.2	21.5	25.2	13.1	2.5	2.7	8.6
性別								
男 性	53.0	45.8	22.0	30.3	15.7	2.8	3.2	4.3
女 性	49.2	48.8	21.1	21.8	11.5	2.1	2.4	11.6
性別間の差	3.8	3.0	0.9	8.5	4.1	0.6	0.9	7.3

再生可能エネルギーの普及促進等を図るために県が進めるべき取り組み【性・年代別】

	最大値				最小値			(%)
	融資・補助・導入に関する設	再生可能エネルギーの普及促進等における導入	再生可能エネルギーの普及活動の強化	新技術・新製品の開発に対する支援	太陽光発電等への投資の仕組みづくり	その他	再生可能エネルギーの普及促進を行う必要はない	無回答
全 県	50.8	47.2	21.5	25.2	13.1	2.5	2.7	8.6
性・年代別								
男 性								
20代	61.1	43.8	18.4	39.6	15.1	2.3	0.5	1.2
30代	65.7	46.6	12.6	28.0	16.3	1.0	3.9	1.1
40代	66.1	47.8	17.2	23.9	15.2	0.1	3.4	2.2
50代	57.6	53.8	20.6	33.8	13.2	3.4	3.2	0.4
60代	46.3	46.1	24.9	35.5	18.0	0.5	2.6	5.4
70代	41.1	39.3	32.7	28.8	18.5	5.8	4.4	4.9
80歳以上	31.0	36.1	24.7	15.9	9.4	11.1	4.3	20.8
年代間の差	35.1	17.7	20.1	23.7	9.2	11.0	3.9	20.4
女 性								
20代	70.3	61.7	20.0	18.1	15.7	0.0	1.4	0.5
30代	56.2	66.8	21.3	20.9	7.6	0.0	0.9	3.6
40代	62.2	57.0	19.2	20.1	11.3	2.6	3.1	2.4
50代	60.5	52.8	22.5	21.9	14.0	0.6	0.5	4.8
60代	37.7	42.3	21.5	24.2	13.0	4.3	3.7	13.4
70代	33.3	35.5	20.0	26.1	10.1	2.8	2.8	25.1
80歳以上	29.9	27.6	24.3	14.1	7.9	2.4	3.3	35.6
年代間の差	40.4	39.2	5.1	12.0	8.1	4.3	3.3	35.1

3 毎年調査項目

問12 今の生活全般での生活満足度

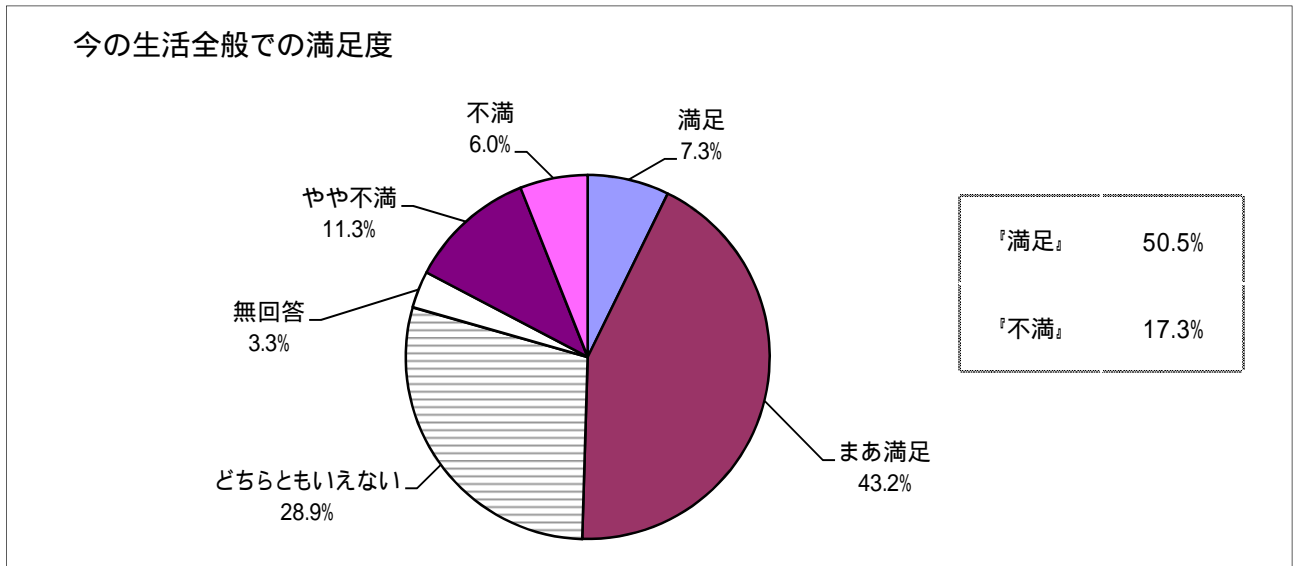
問12

あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号をつけてください。

- | | |
|-------------|--------|
| 1 満足 | 4 やや不満 |
| 2 まあ満足 | 5 不満 |
| 3 どちらともいえない | |

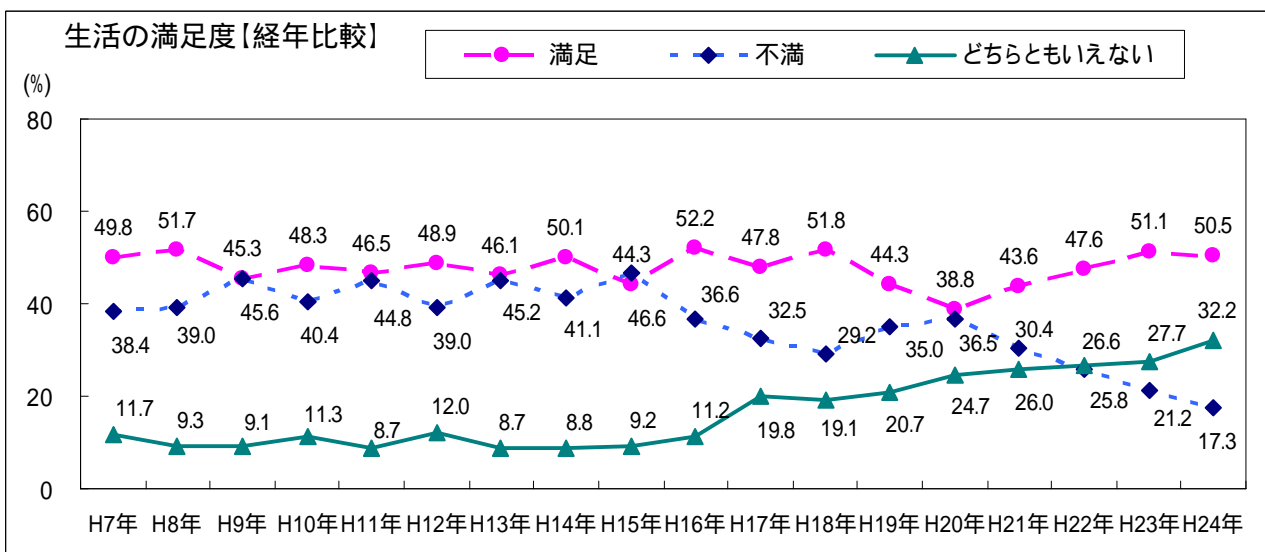
【全 県】

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』を33.2ポイント上回っている。

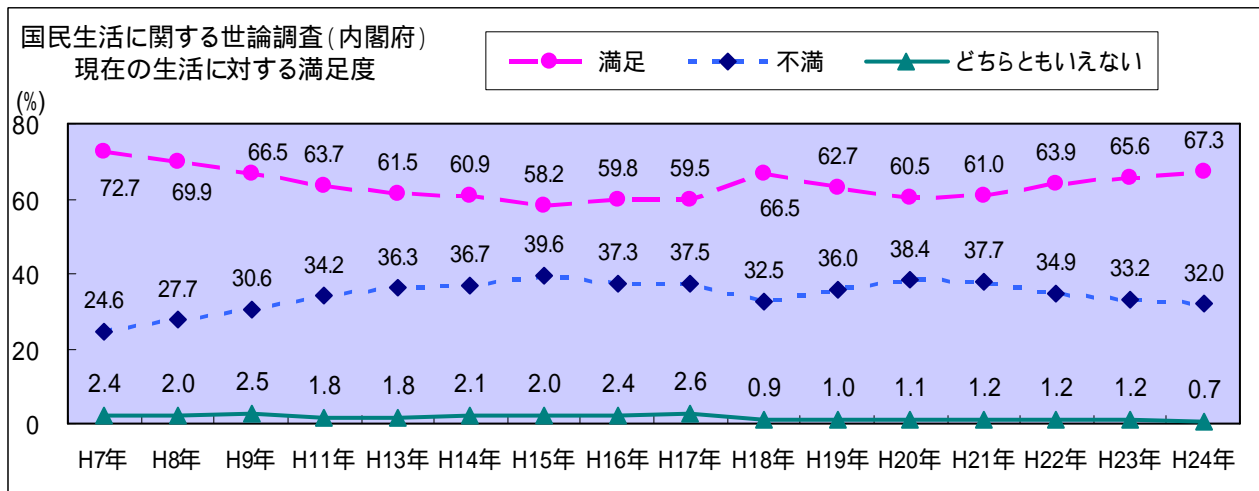


【経年比較】

『満足』は3年連続増加傾向であったが、今回、前年から0.6ポイント減少した。『不満』については前年より3.9ポイント減少し、3年連続で過去最低を更新している。

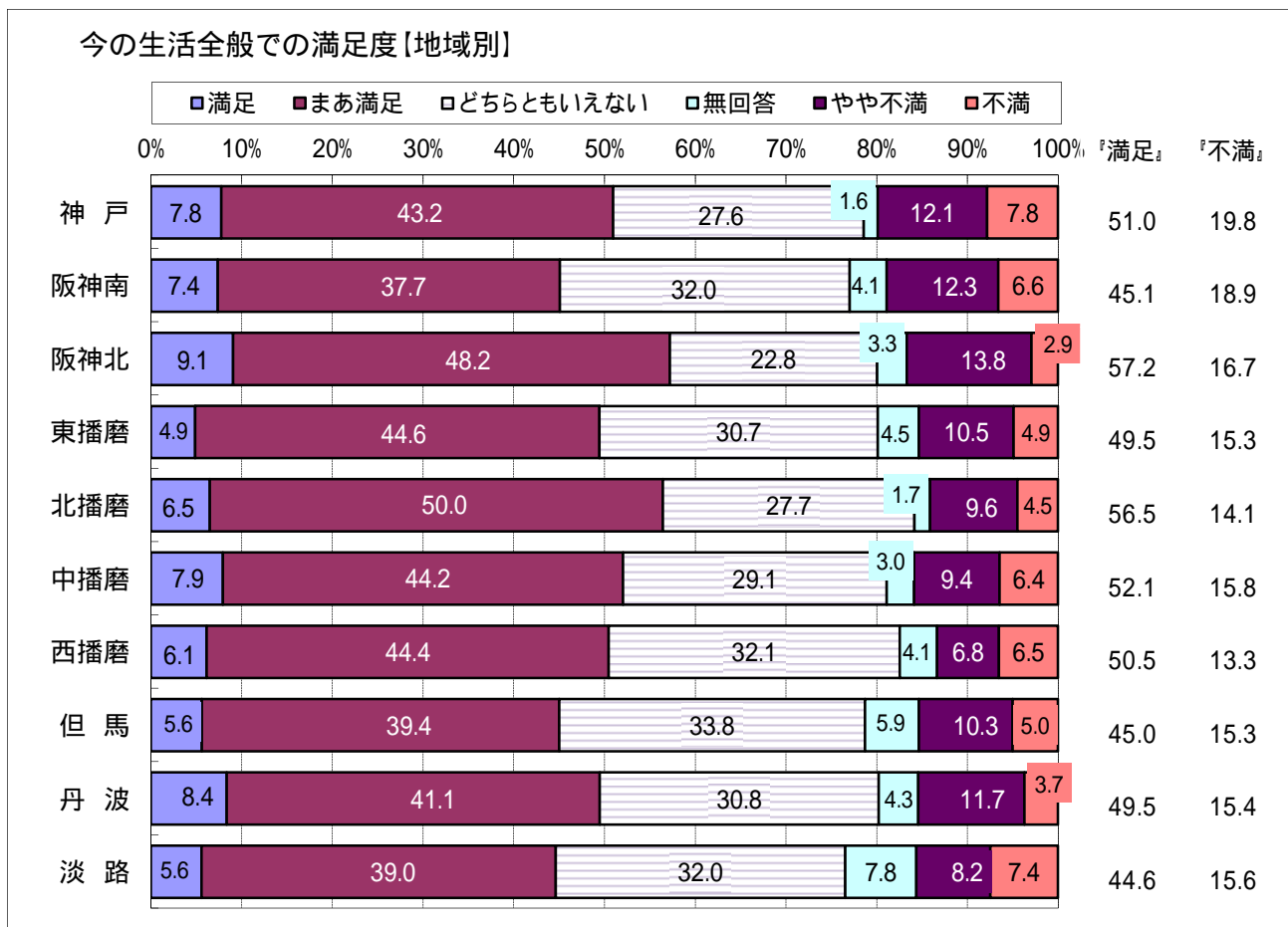


(参考)



【地域別】

阪神北、北播磨、中播磨など5地域で『満足』が5割を上回っている。

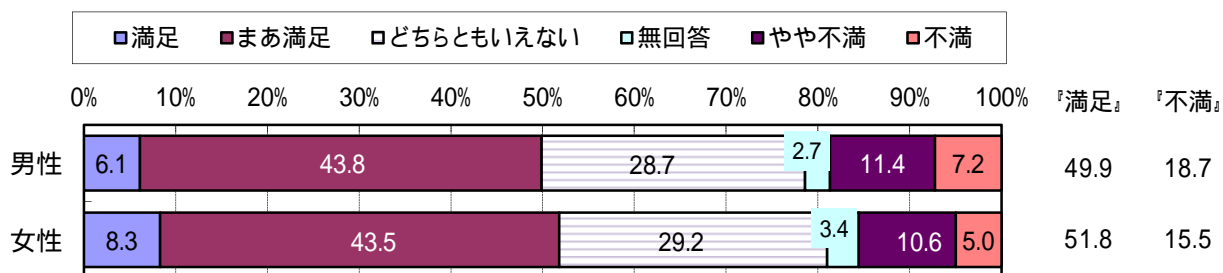


【性別、性・年代別】

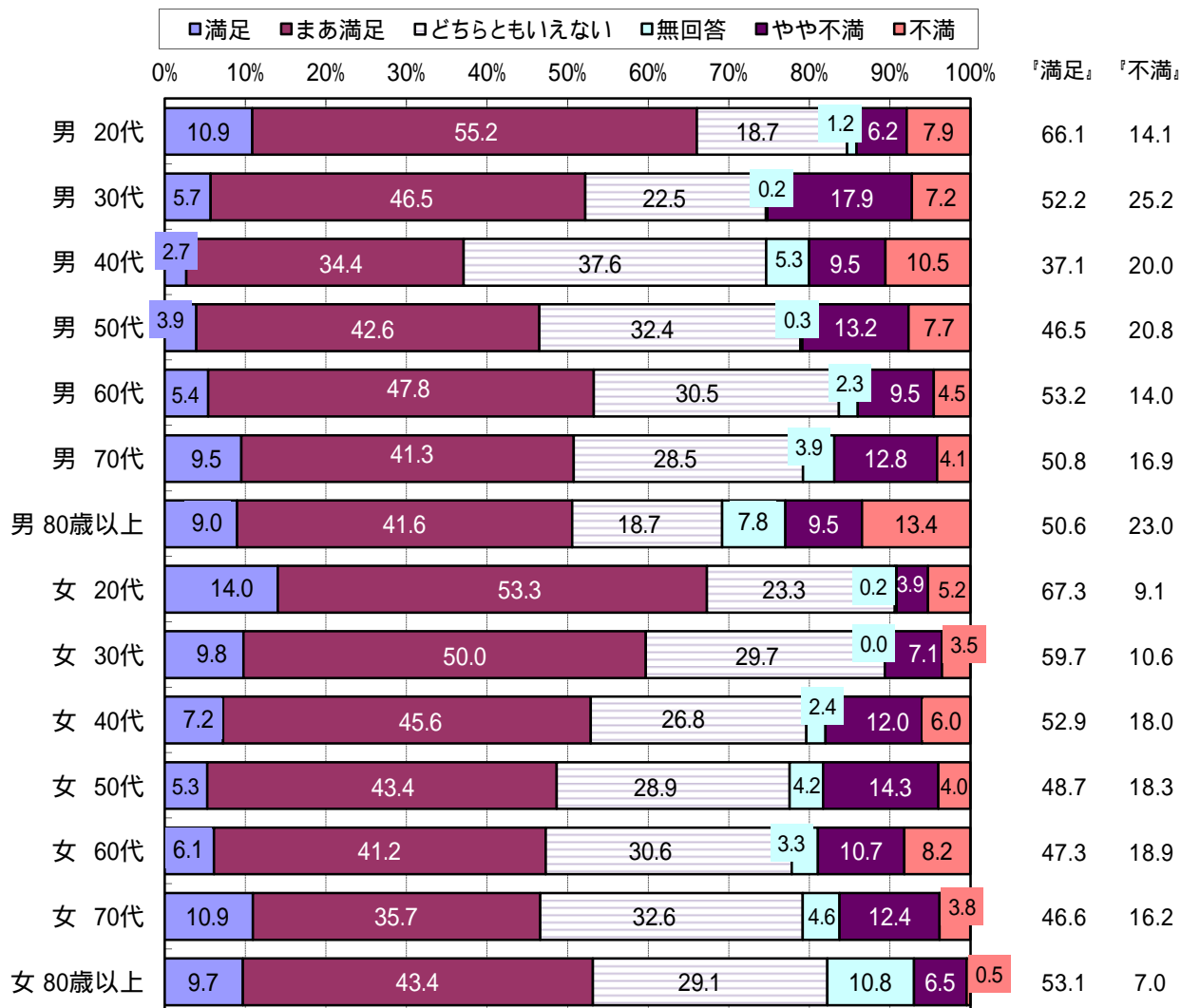
性別では、女性の方が男性よりわずかながら満足度が高い。

性・年代別では、男女ともに、全ての年代で『満足』が『不満』を上回っており、最も『満足』の割合が多いのは男女ともに20代でいずれも6割半ばに達している。

今の生活全般での満足度【性別】

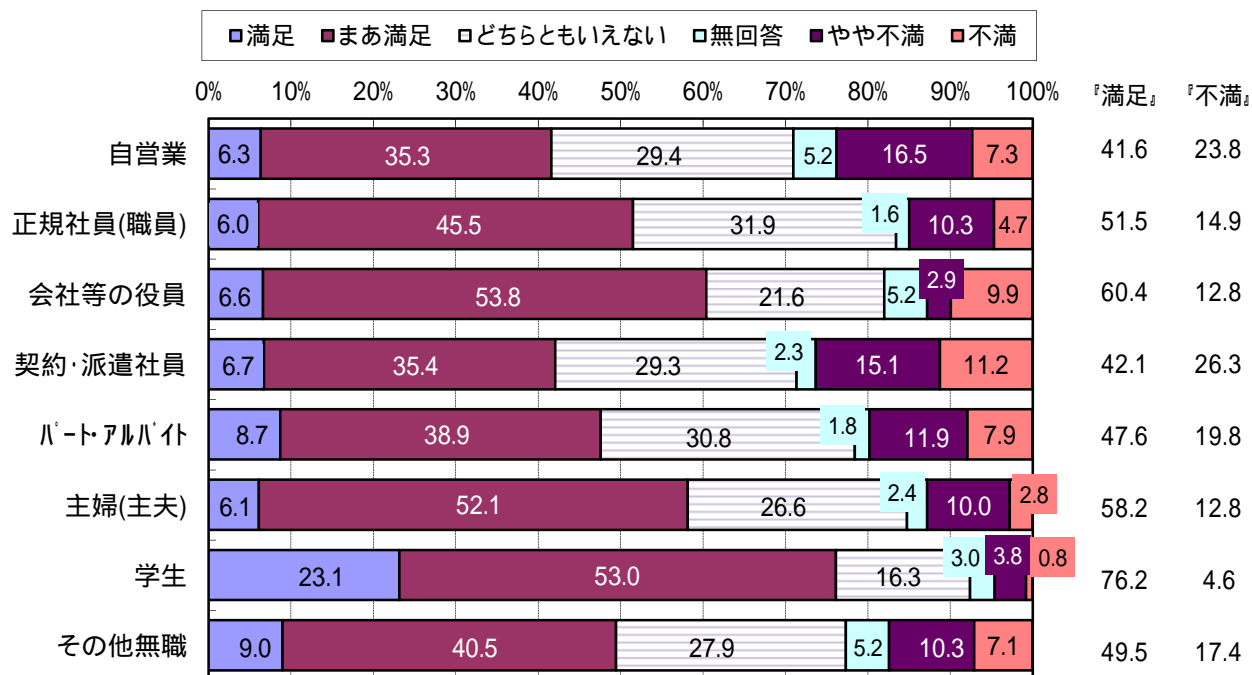


今の生活全般での満足度【性・年代別】



【職業別】

今の生活全般での満足度【職業別】



問 1 3 今の生活の個別側面での満足度

問 1 3

あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に をつけてください。

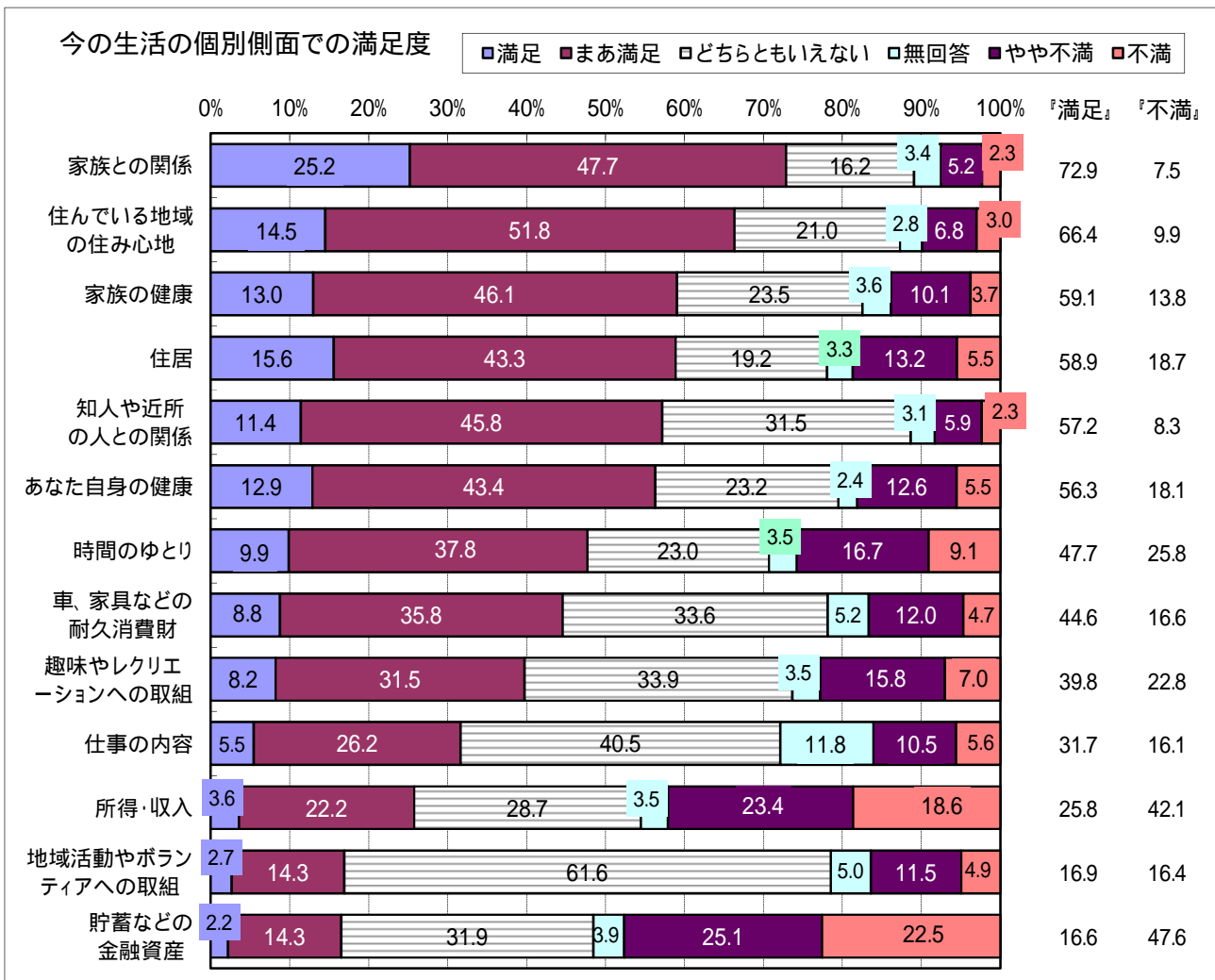
- | | |
|-------------------|----------------|
| ア 所得・収入 | ク 仕事の内容 |
| イ 貯蓄などの金融資産 | ケ 家族との関係 |
| ウ 住居 | コ 知人や近所の人との関係 |
| エ 車、家具などの耐久消費財 | サ 住んでいる地域の住み心地 |
| オ 時間のゆとり | シ あなた自身の健康 |
| カ 趣味やレクリエーションへの取組 | ス 家族の健康 |
| キ 地域活動やボランティアへの取組 | |

1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

【全 県】

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』では、〔家族との関係〕が7割を超え最も多く、〔地域の住み心地〕、〔家族の健康〕、〔住居〕の順で続いており、13項目中6項目で『満足』が5割を超えている。

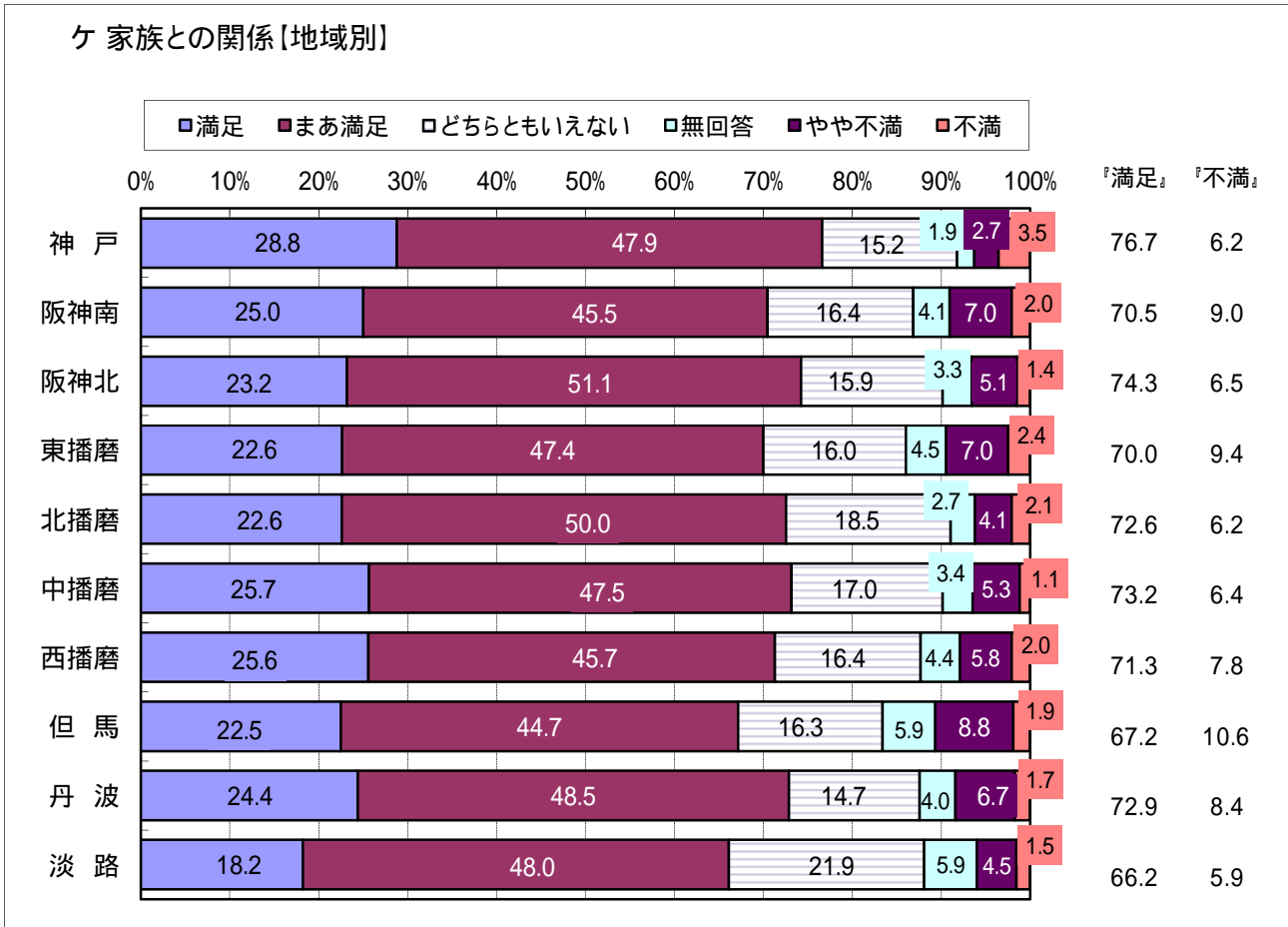
「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』では、〔貯蓄などの金融資産〕、〔所得・収入〕が4割台で多く、いずれも『満足』を上回っている。



〔家族との関係〕

【地域別】

〔家族との関係〕では、神戸の満足度が最も高くなっているが、いずれの地域も『満足』は7割前後となっている。

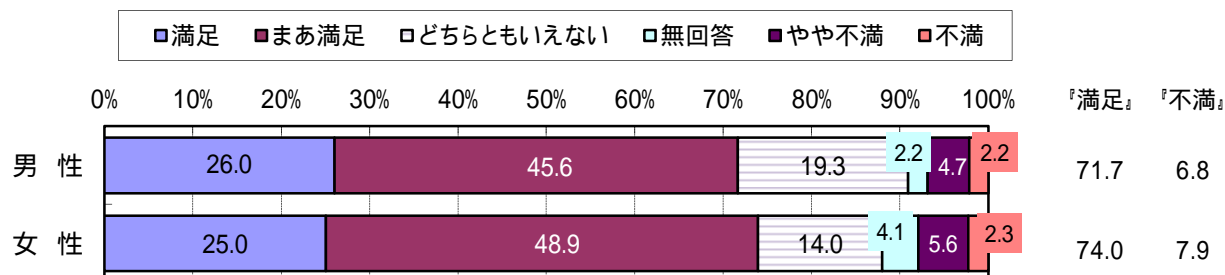


【性別、性・年代別】

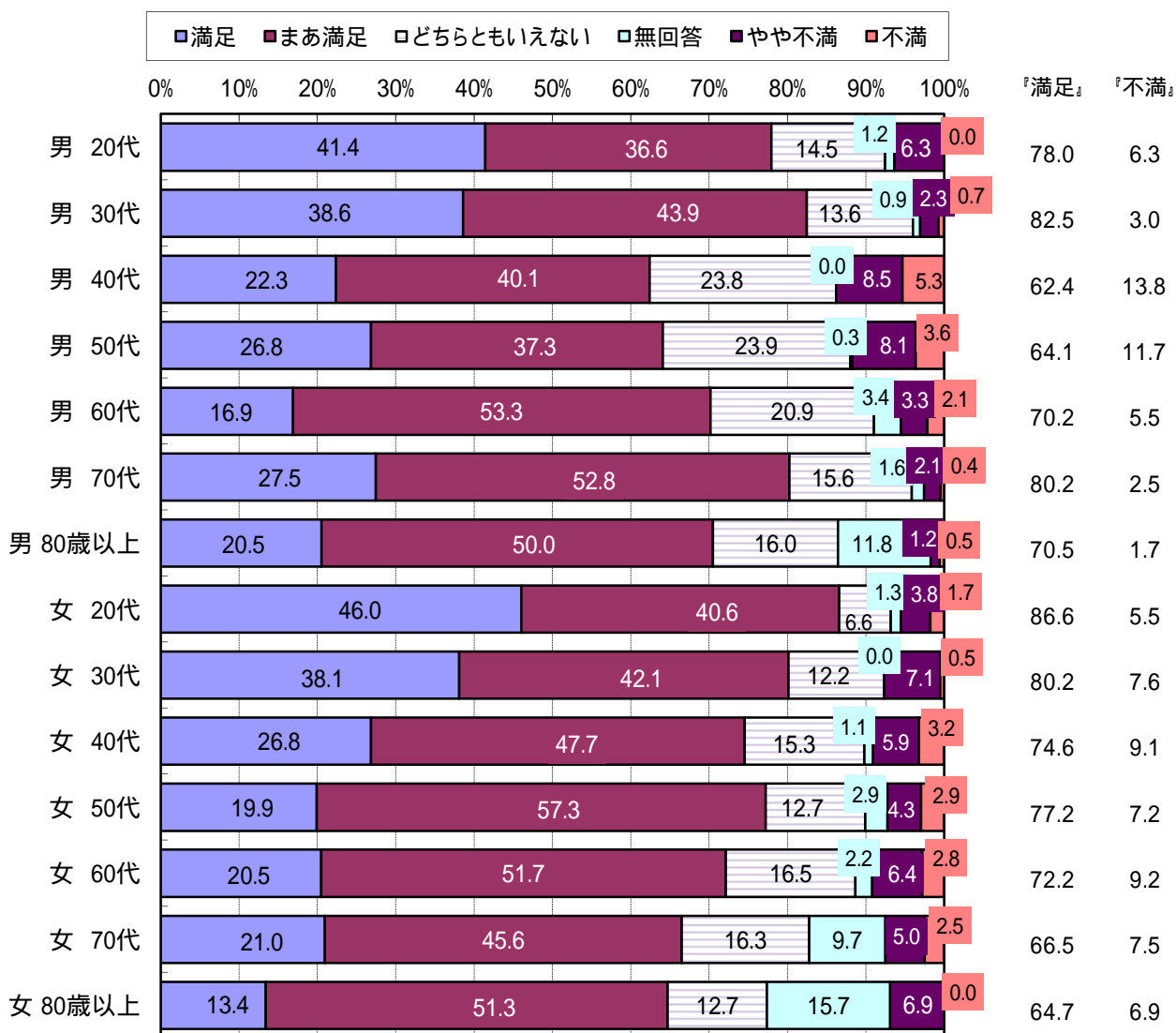
性別では、女性の方が男性より満足度が高い。

性・年代別では、男女ともに20～30代の満足度が高くなっている。

ケ 家族との関係【性別】

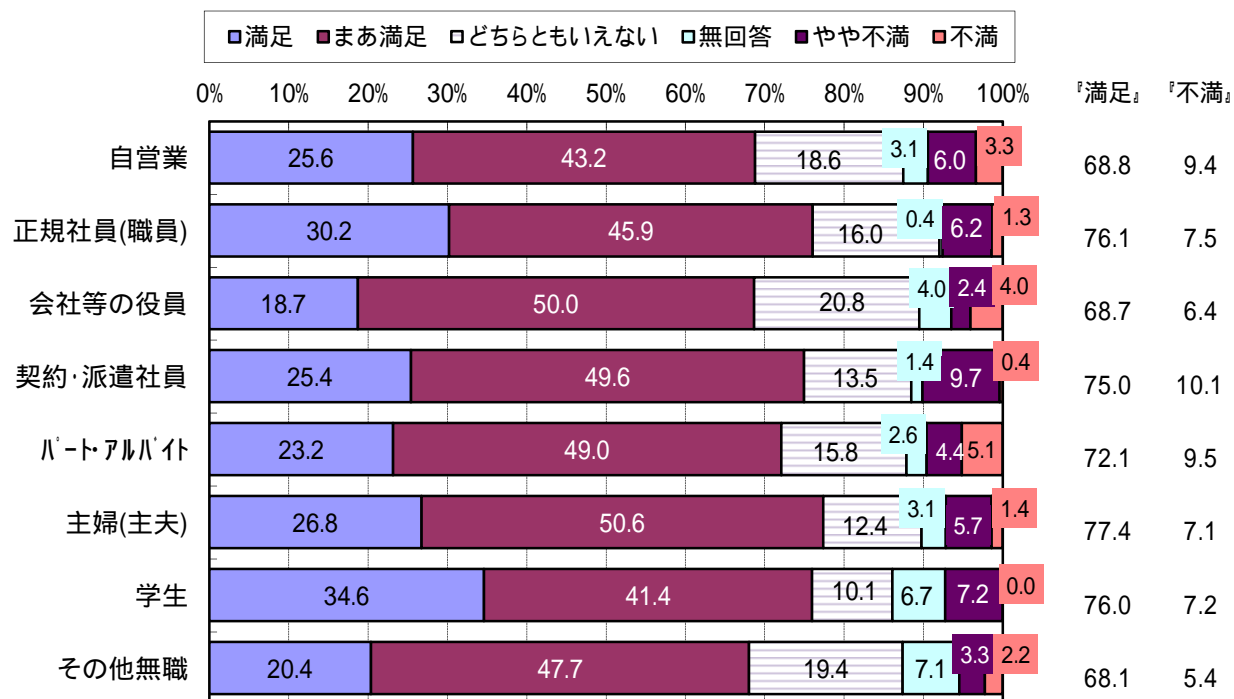


ケ 家族との関係【性・年代別】



【職業別】

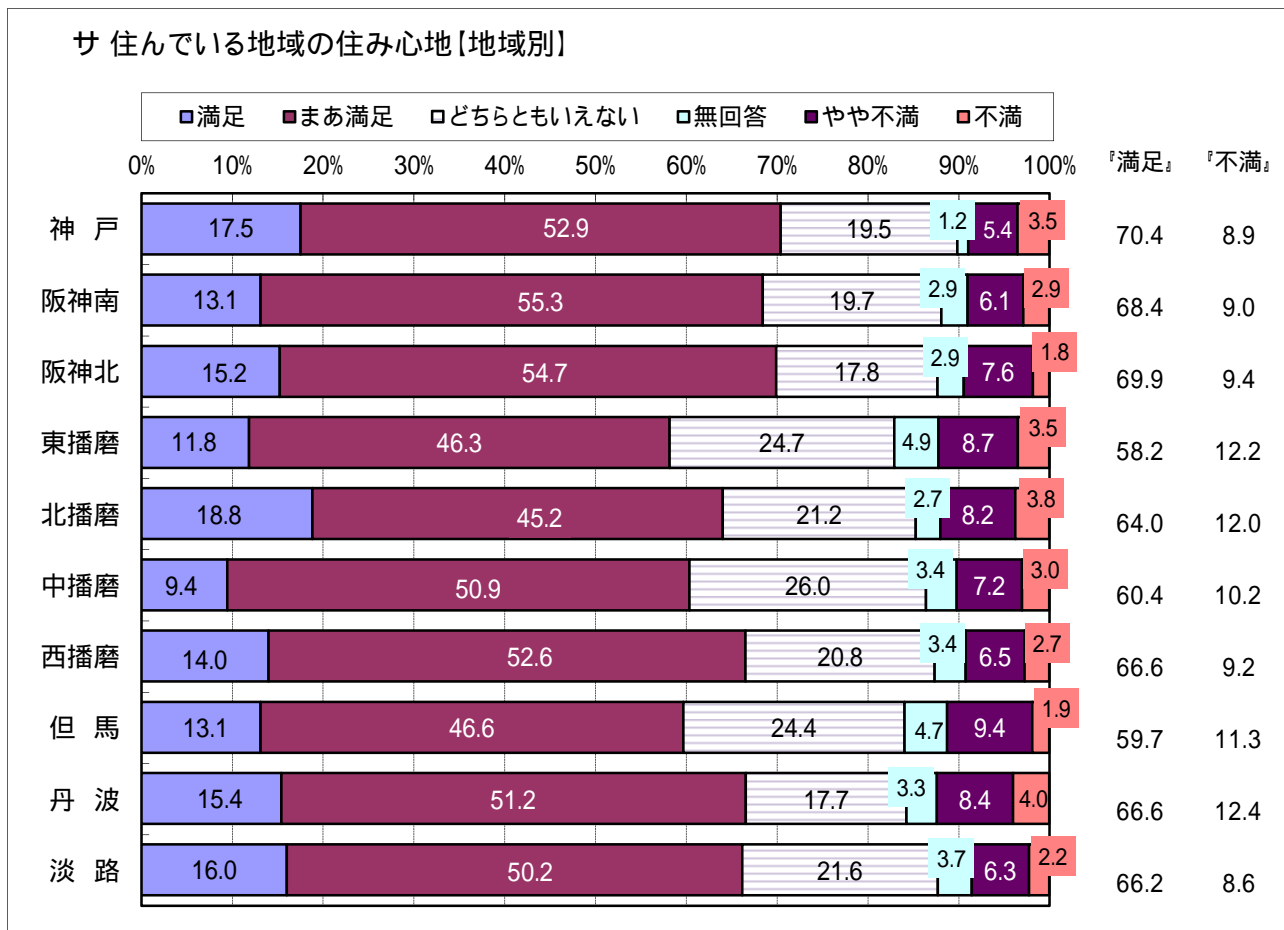
ケ 家族との関係【職業別】



〔住んでいる地域の住み心地〕

【地域別】

阪神間では満足度が高く、いずれも『満足』約7割となっている。

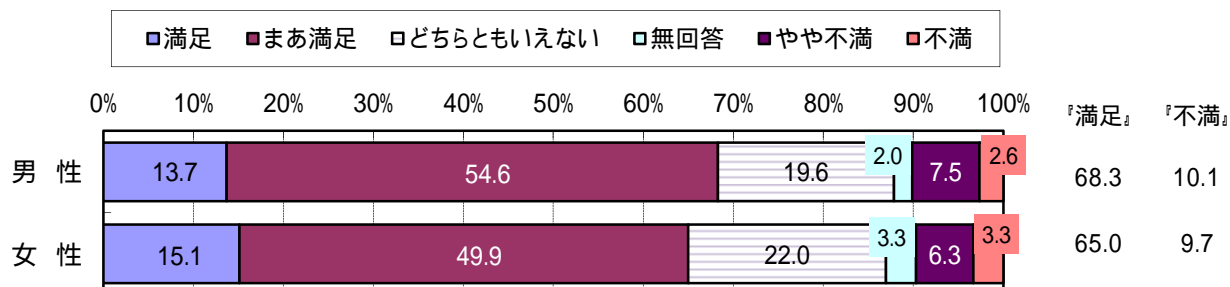


【性別、性・年代別】

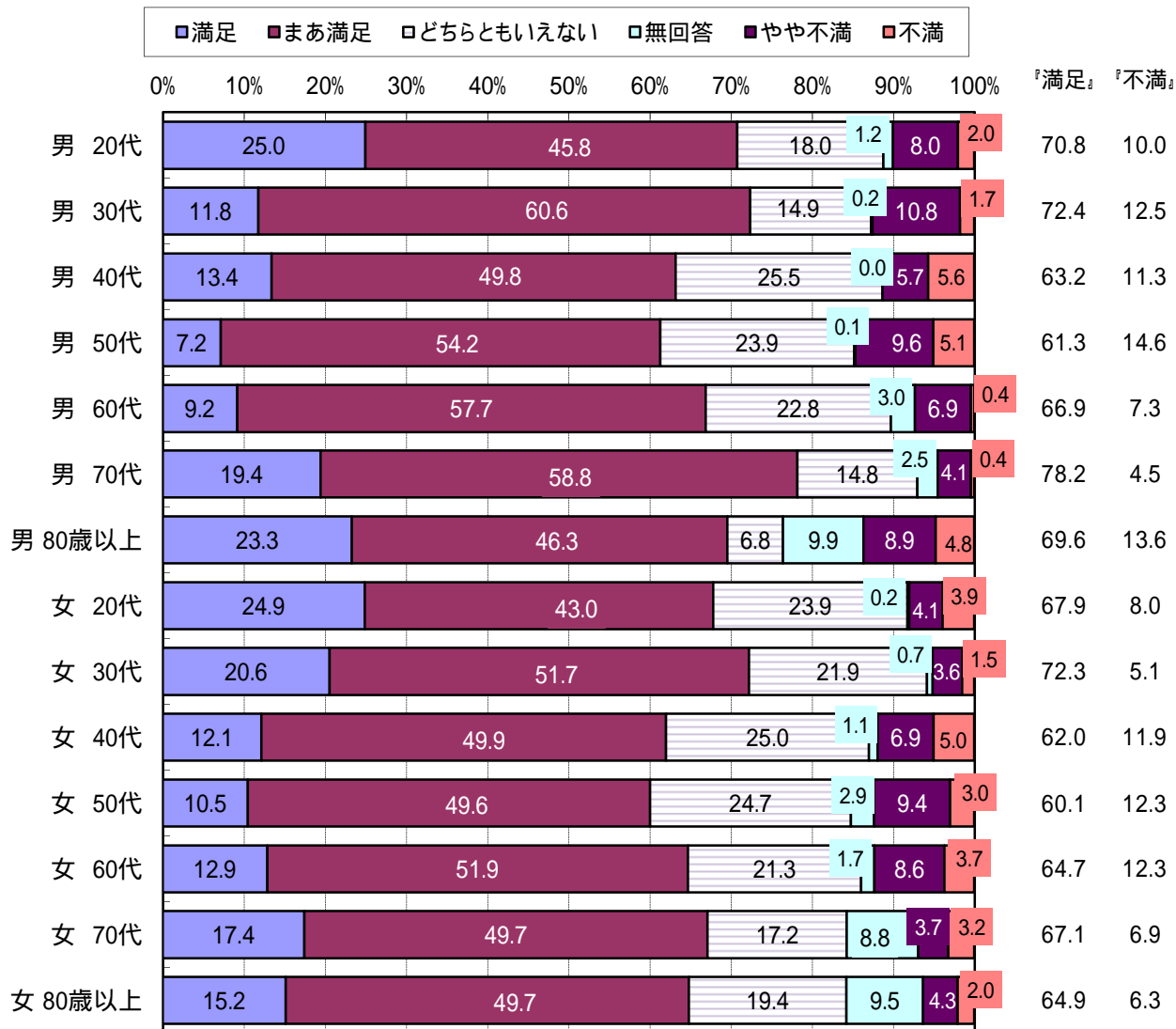
性別では、男性の方が女性より満足度が高い。

性・年代別では、男女とも40～60代で満足度が低くなっている。

サ 住んでいる地域の住み心地【性別】

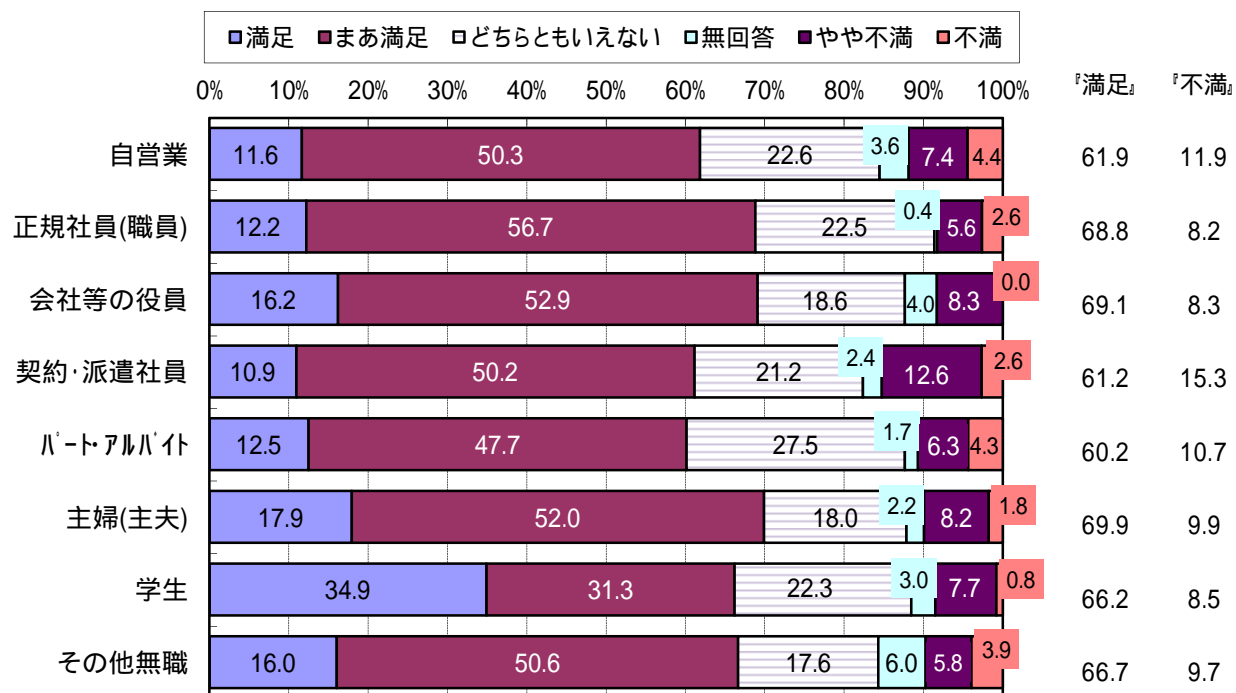


サ 住んでいる地域の住み心地【性・年代別】



【職業別】

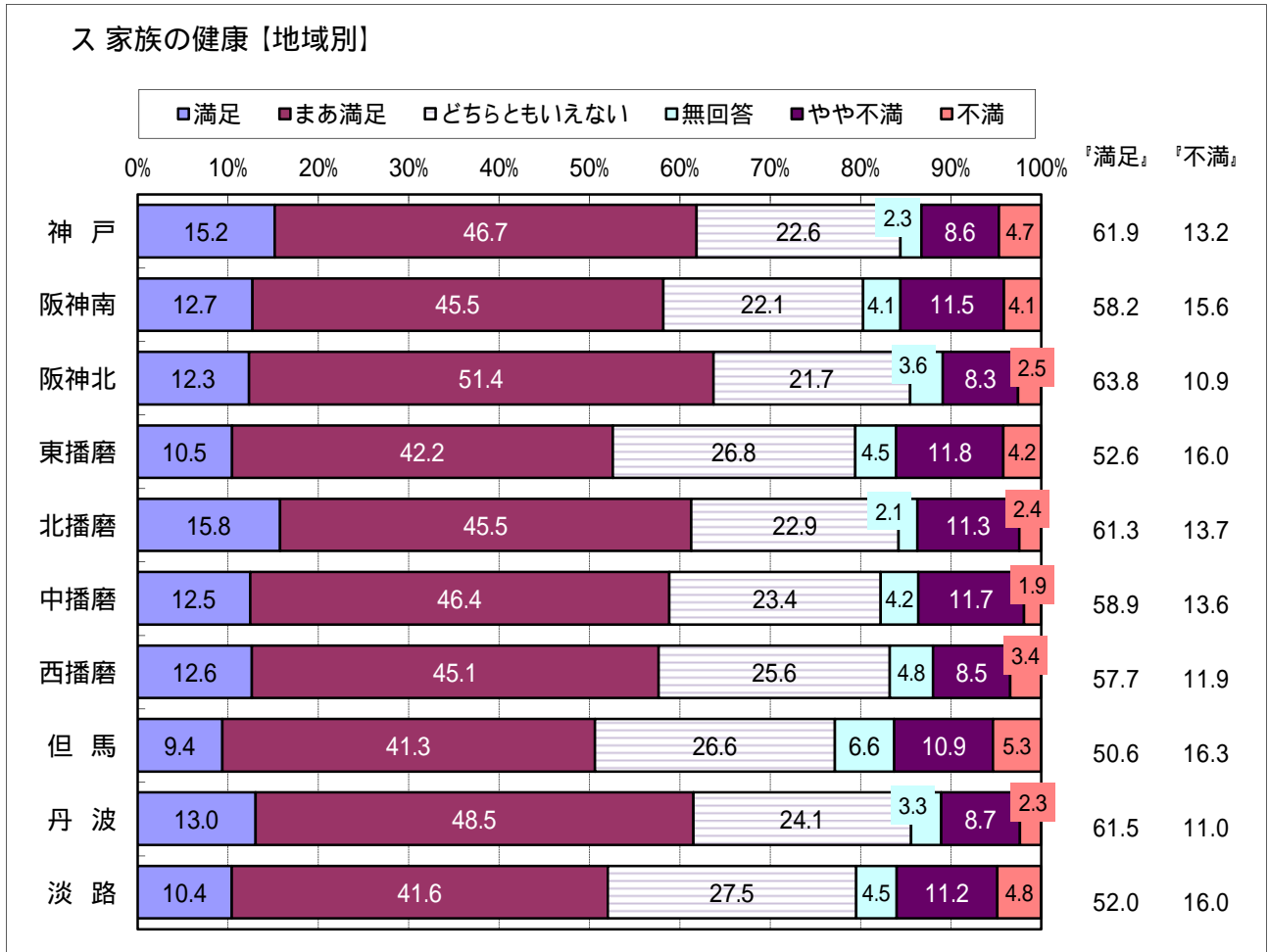
サ 住んでいる地域の住み心地【職業別】



〔家族の健康〕

【地域別】

阪神北、神戸、丹波、北播磨では満足度が高く6割を超え、最も低い但馬でも5割を超える。

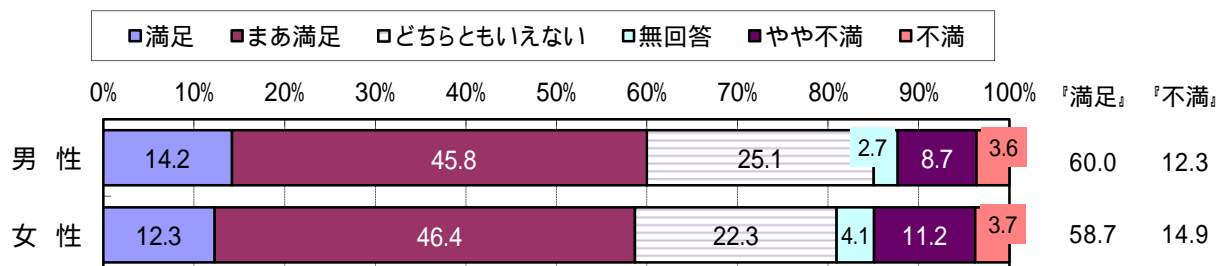


【性別、性・年代別】

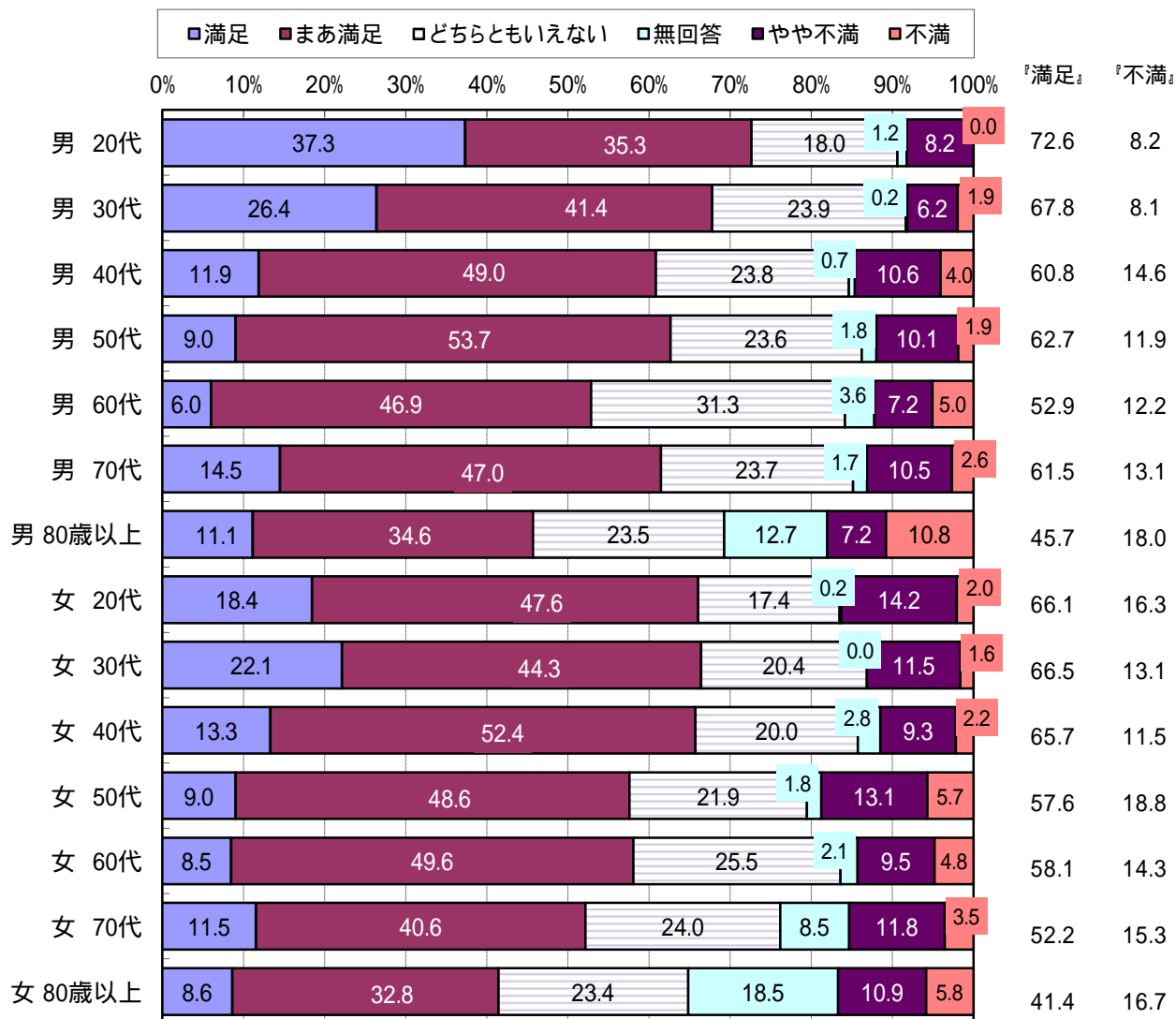
性別では、男性の方が女性よりわずかに満足度が高い。

性・年代別では、男女ともに年齢が上がるにつれ満足度が低くなっている。

ス 家族の健康【性別】

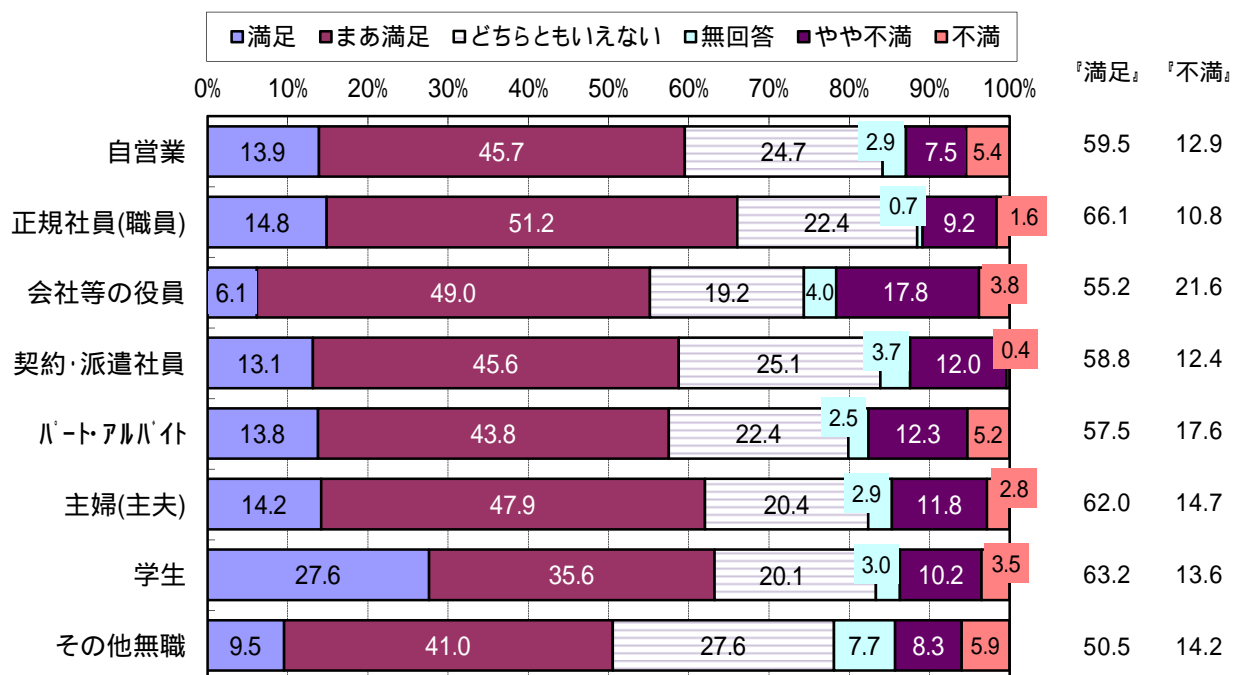


ス 家族の健康【性・年代別】



【職業別】

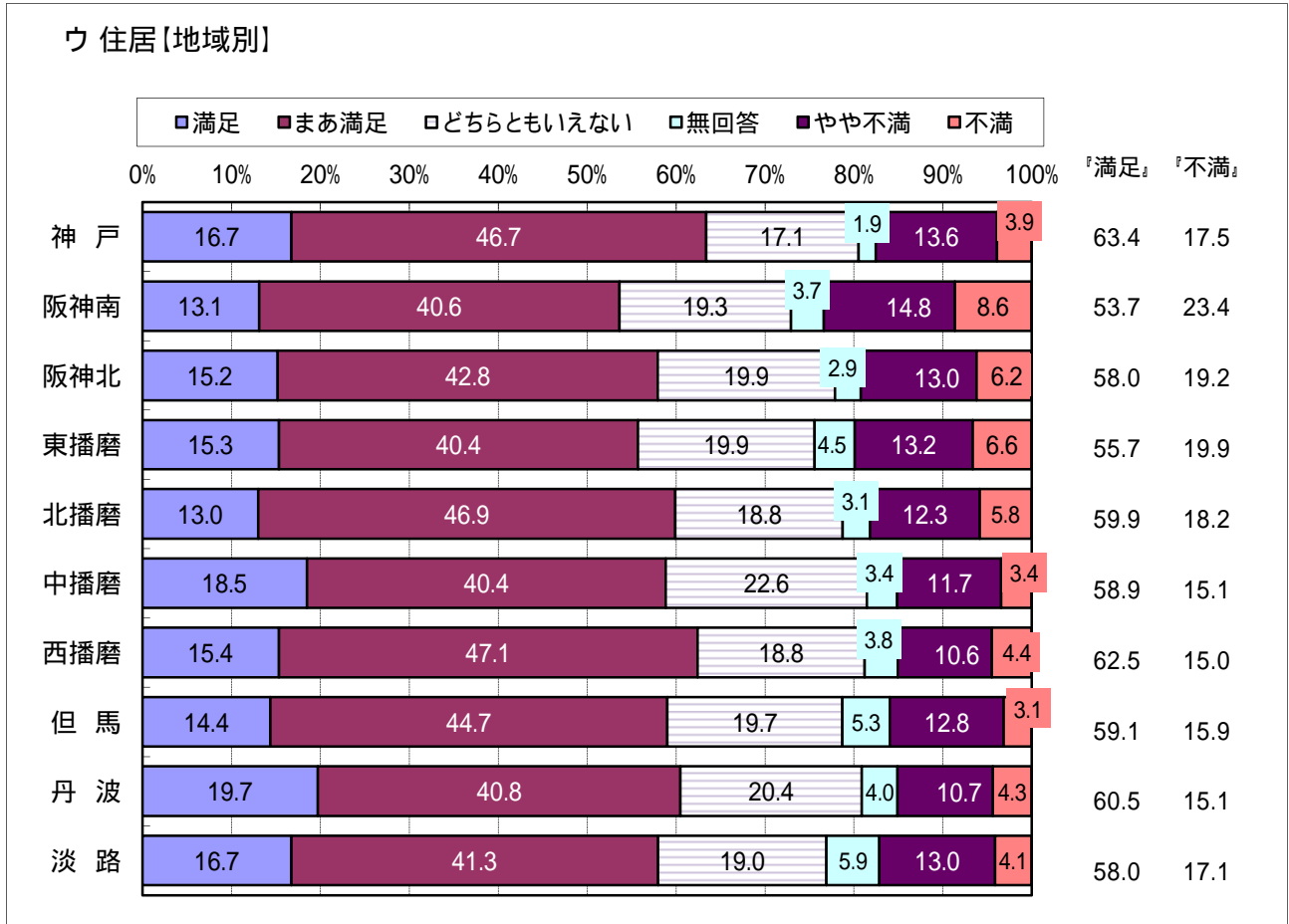
ス 家族の健康【職業別】



〔住 居〕

【地域別】

地域別では、概ね6割前後の満足度であるが、阪神南のみ若干満足度が低い傾向。

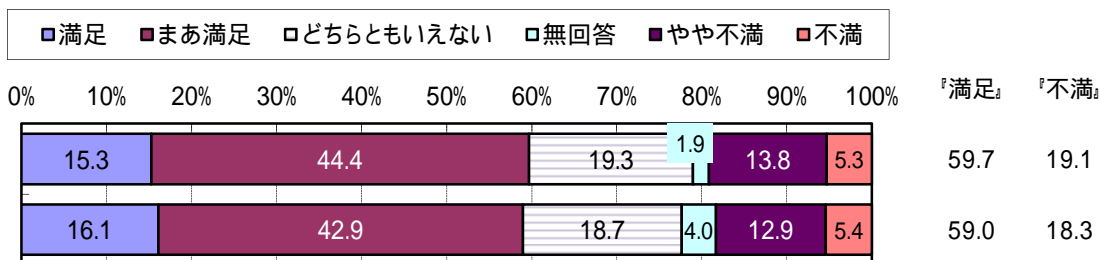


【性別、性・年代別】

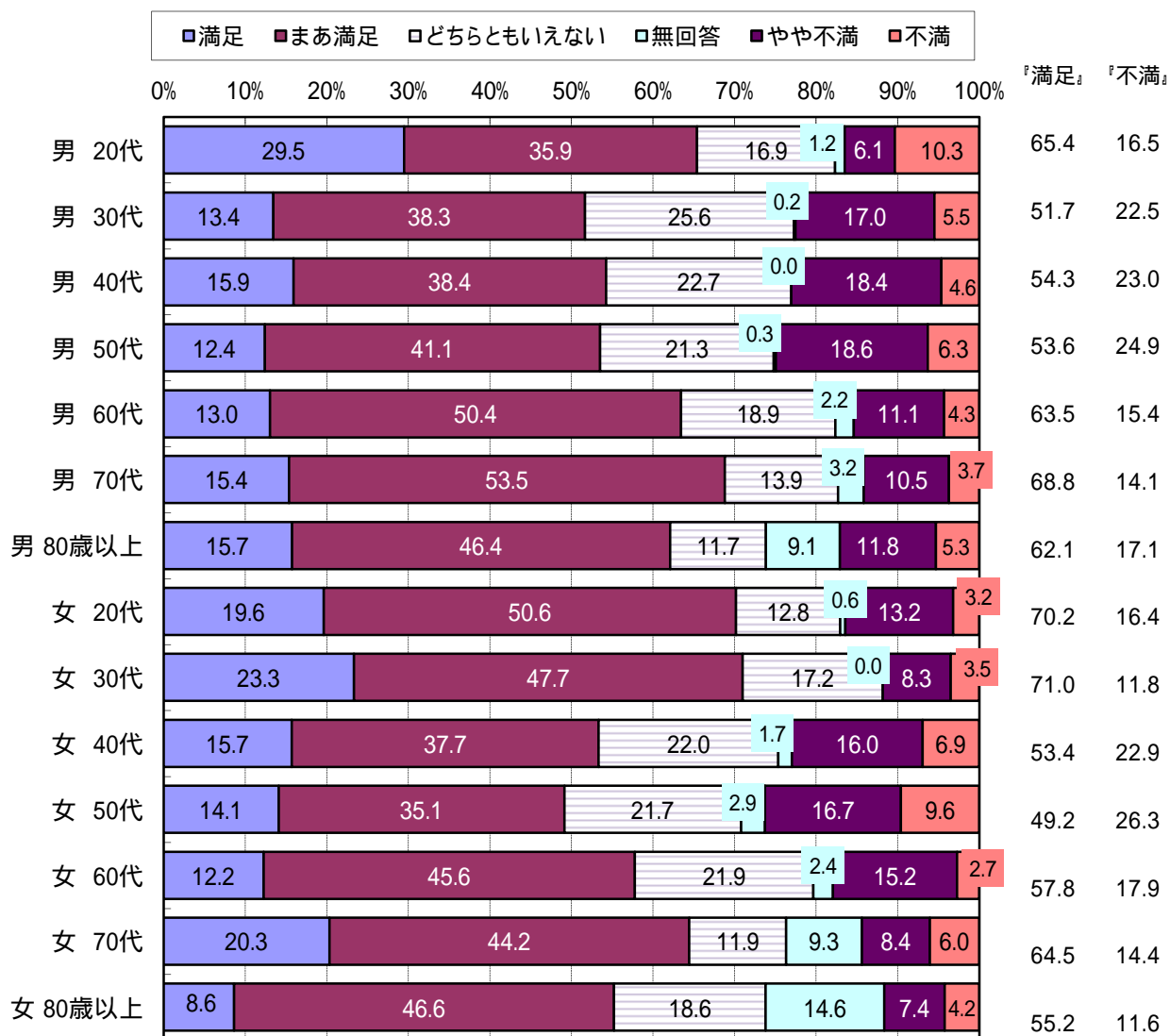
性別による違いはあまりみられない。

性・年代別では、男女とも20代と60代以上の満足度が高くなっている。一方で、男性の30代は女性と異なり満足度が低くなっている。

ウ 住居【性別】

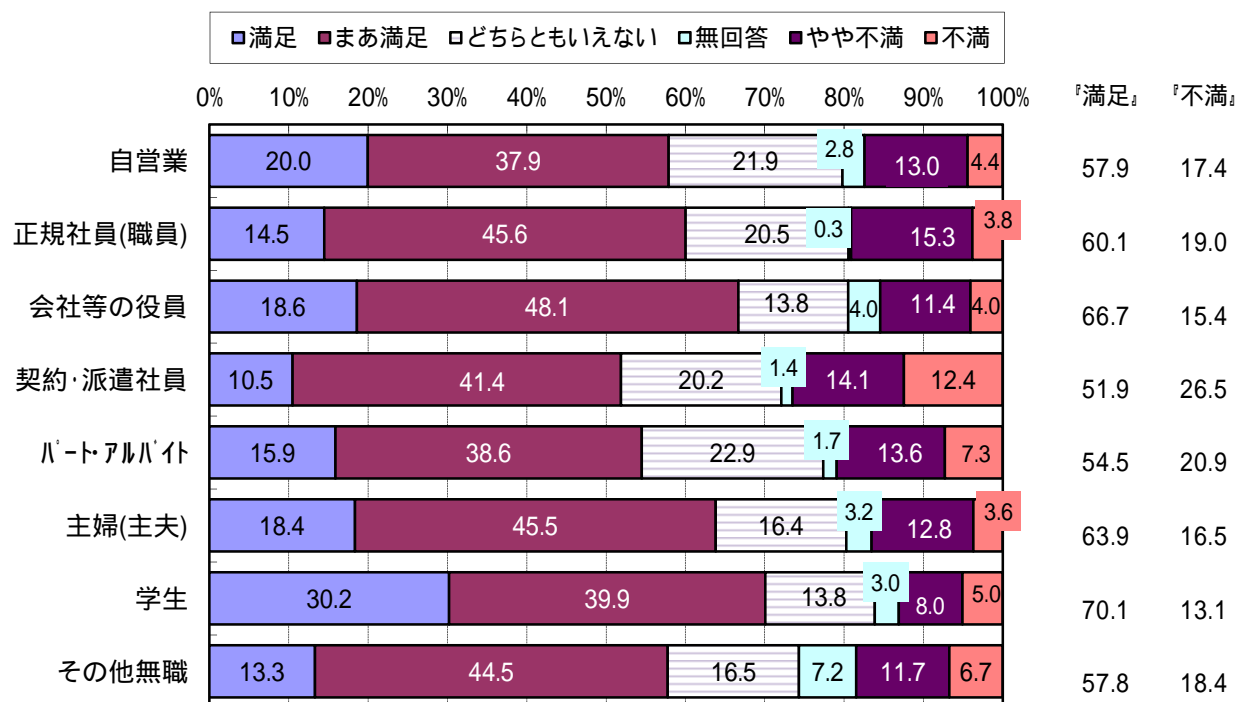


ウ 住居【性・年代別】



【職業別】

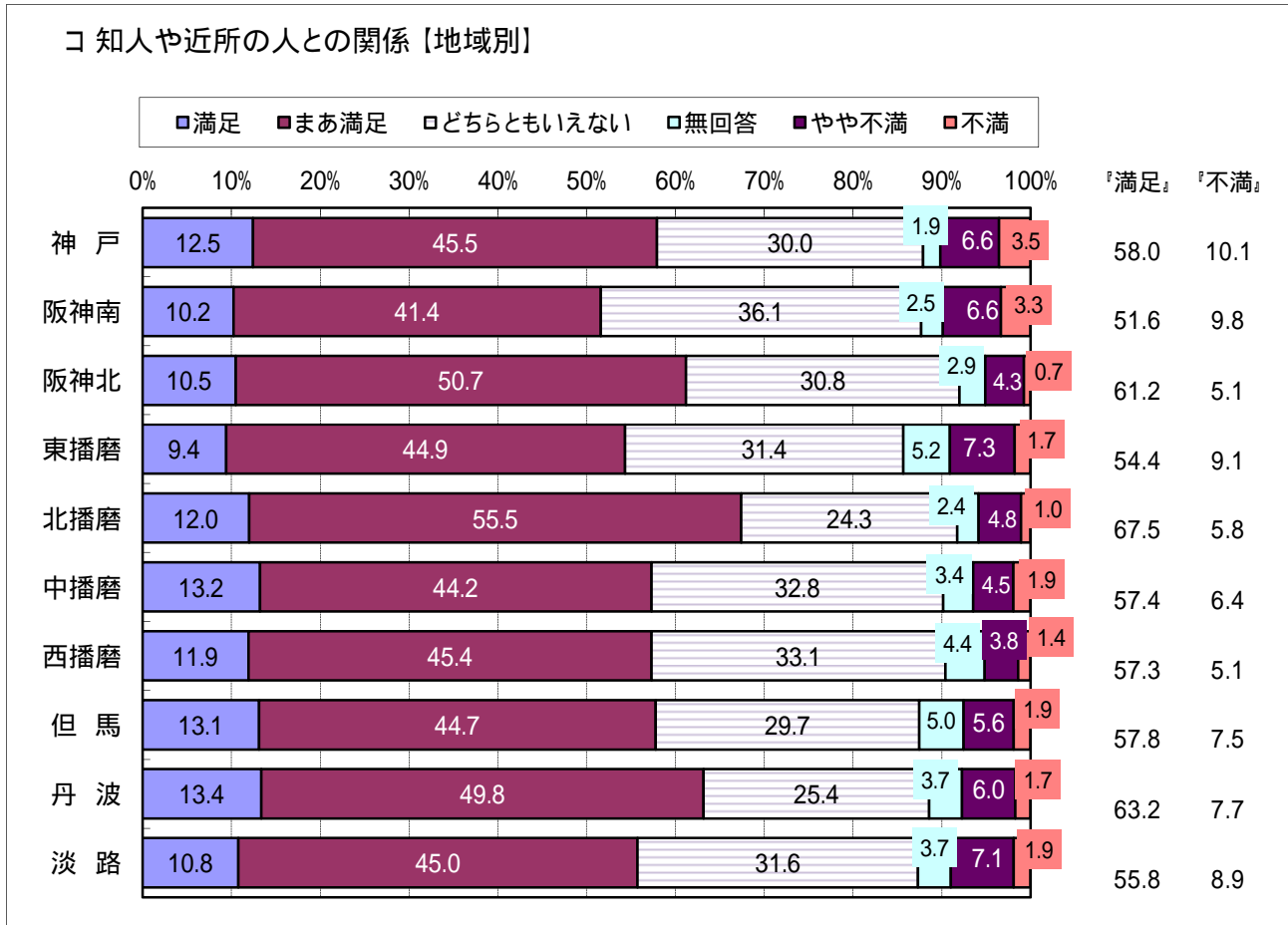
ウ 住居【職業別】



〔知人や近所の人との関係〕

【地域別】

北播磨が最も満足度が高く6割後半に達するほか、丹波、阪神北も6割を超える一方、神戸のみ『不満』が1割を超えている。

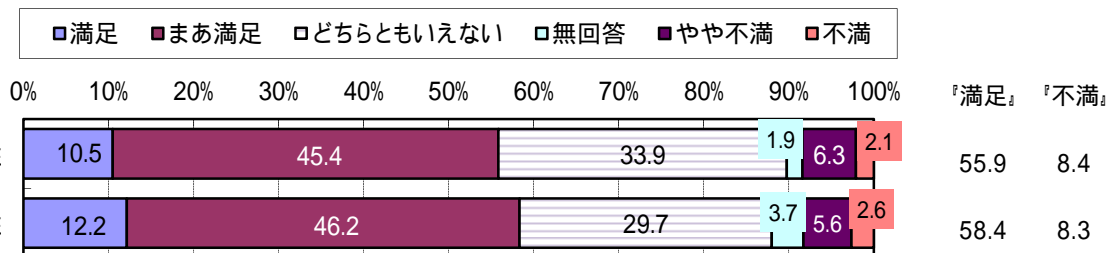


【性別、性・年代別】

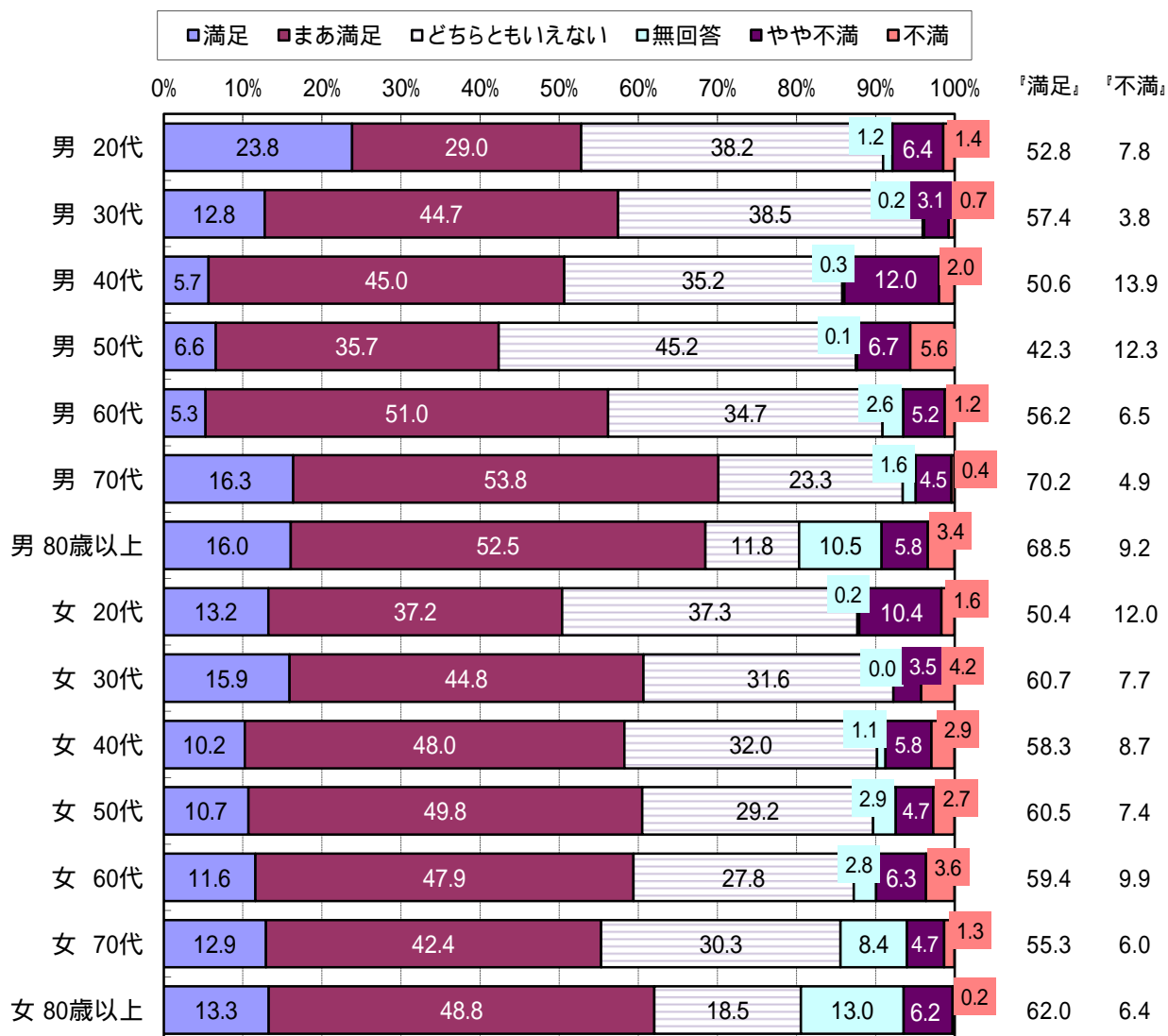
性別では、女性の方が男性より満足度が高い。

性・年代別では、女性の満足度は5～6割程度で年代間の差が少ないが、男性の満足度は年代間の差が大きく、70代で7割に達する一方、50代は4割強に留まっている。

コ 知人や近所の人との関係【性別】

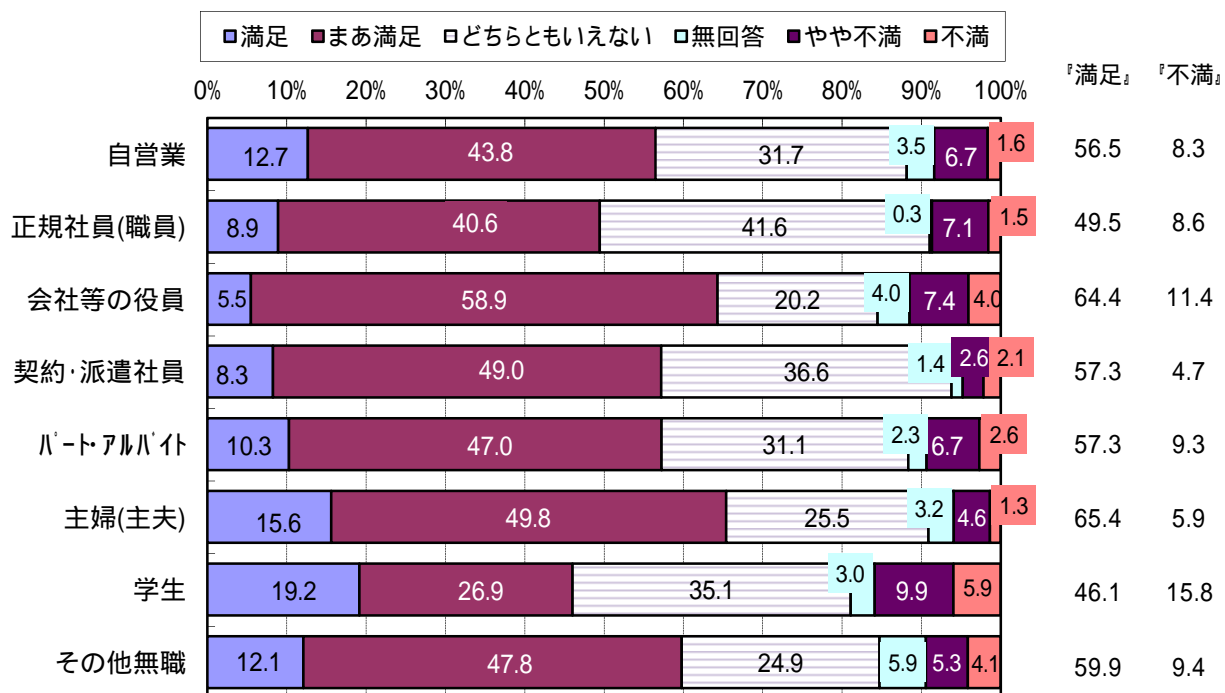


コ 知人や近所の人との関係【性・年代別】



【職業別】

コ 知人や近所の人との関係【職業別】

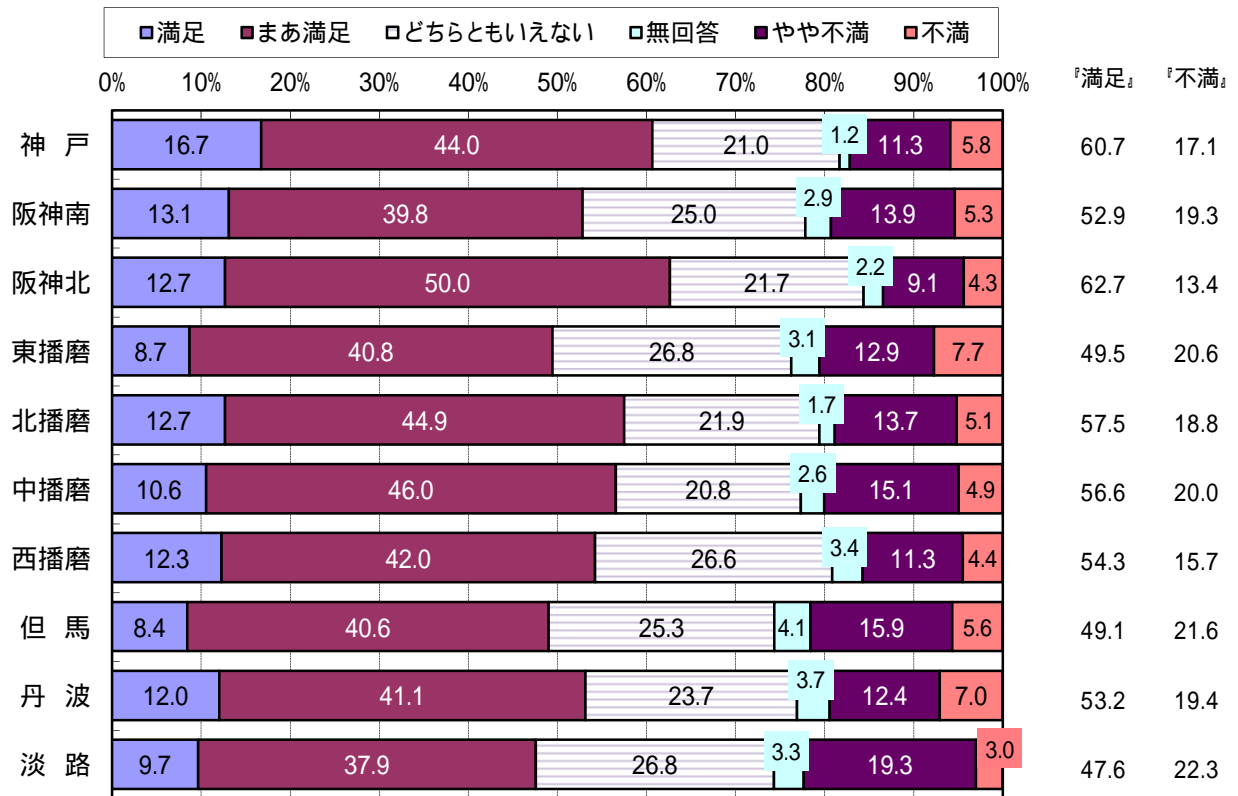


〔あなた自身の健康〕

【地域別】

概ね都市部の方が農村部よりも満足度が高い傾向がみられる。

シ あなた自身の健康【地域別】

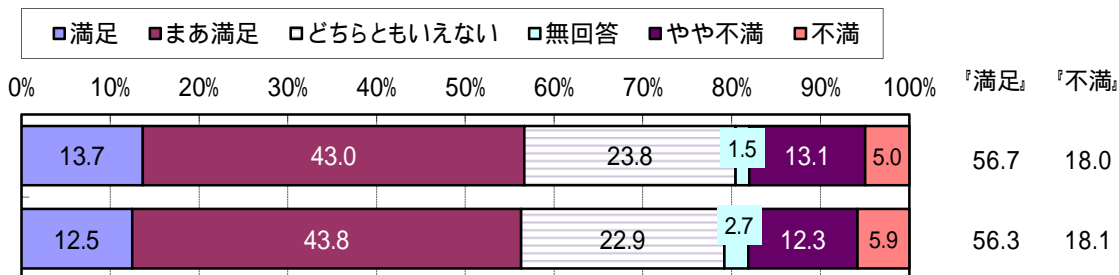


【性別】

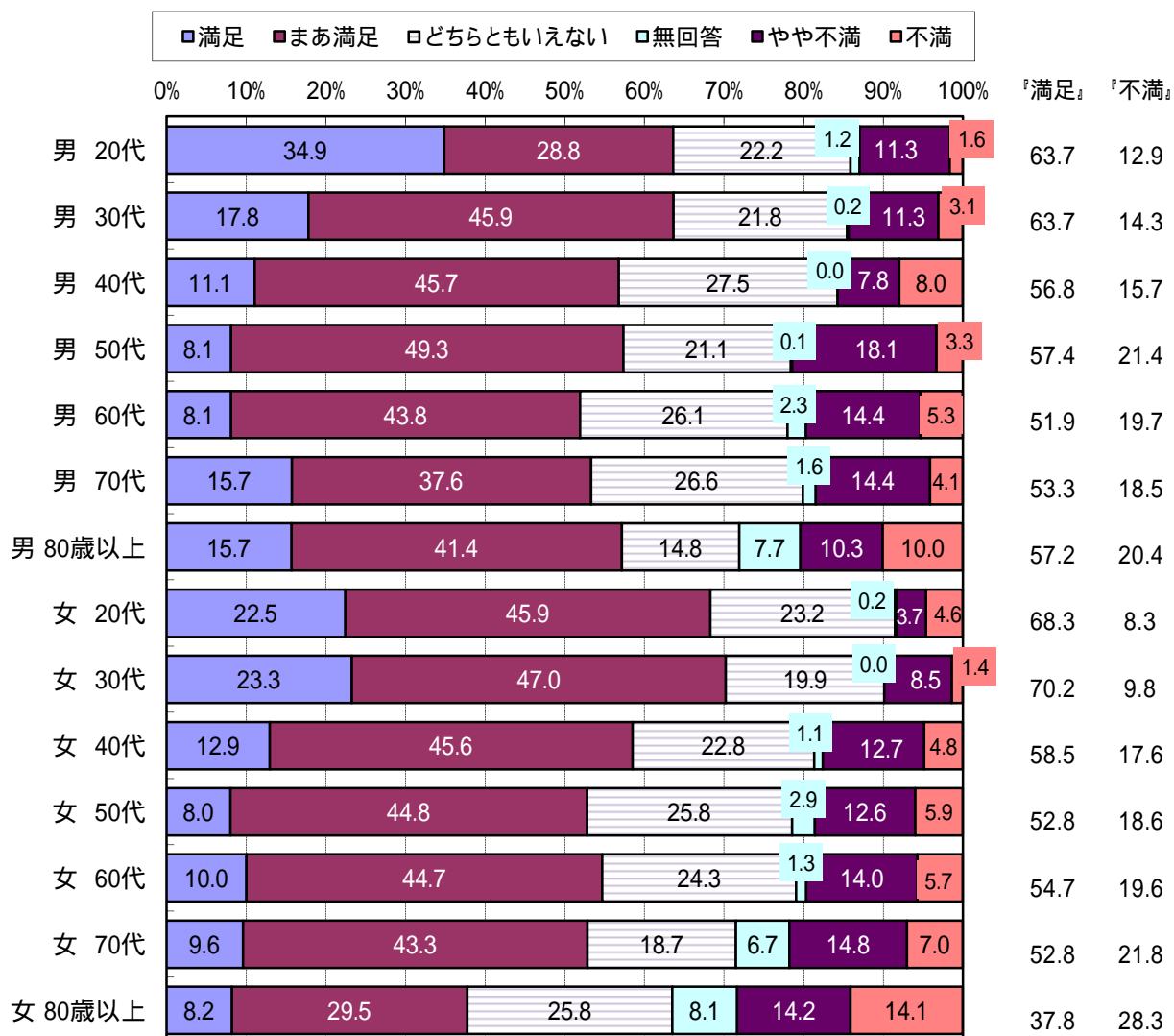
性別による違いはあまりみられない。

性・年代別では、若年層の満足度が高い傾向がみられ、特に女性の20～30代では約7割と、同年代の男性よりも高くなっている。

シ あなた自身の健康【性別】

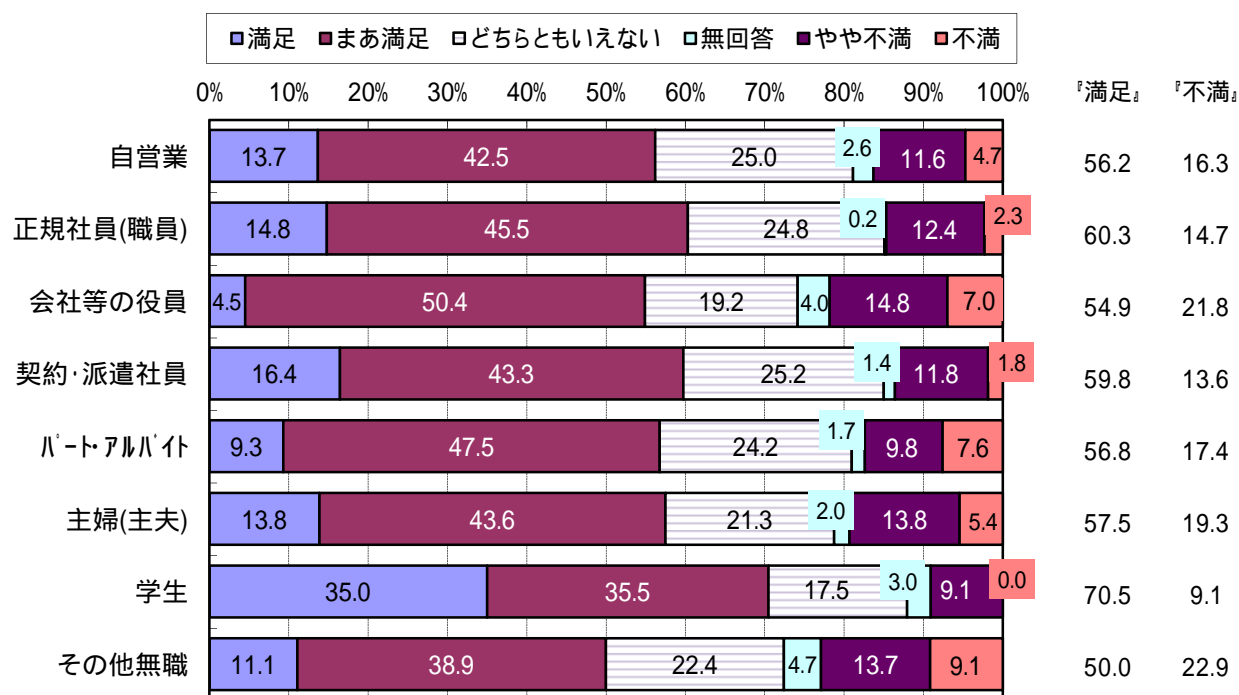


シ あなた自身の健康【性・年代別】



【職業別】

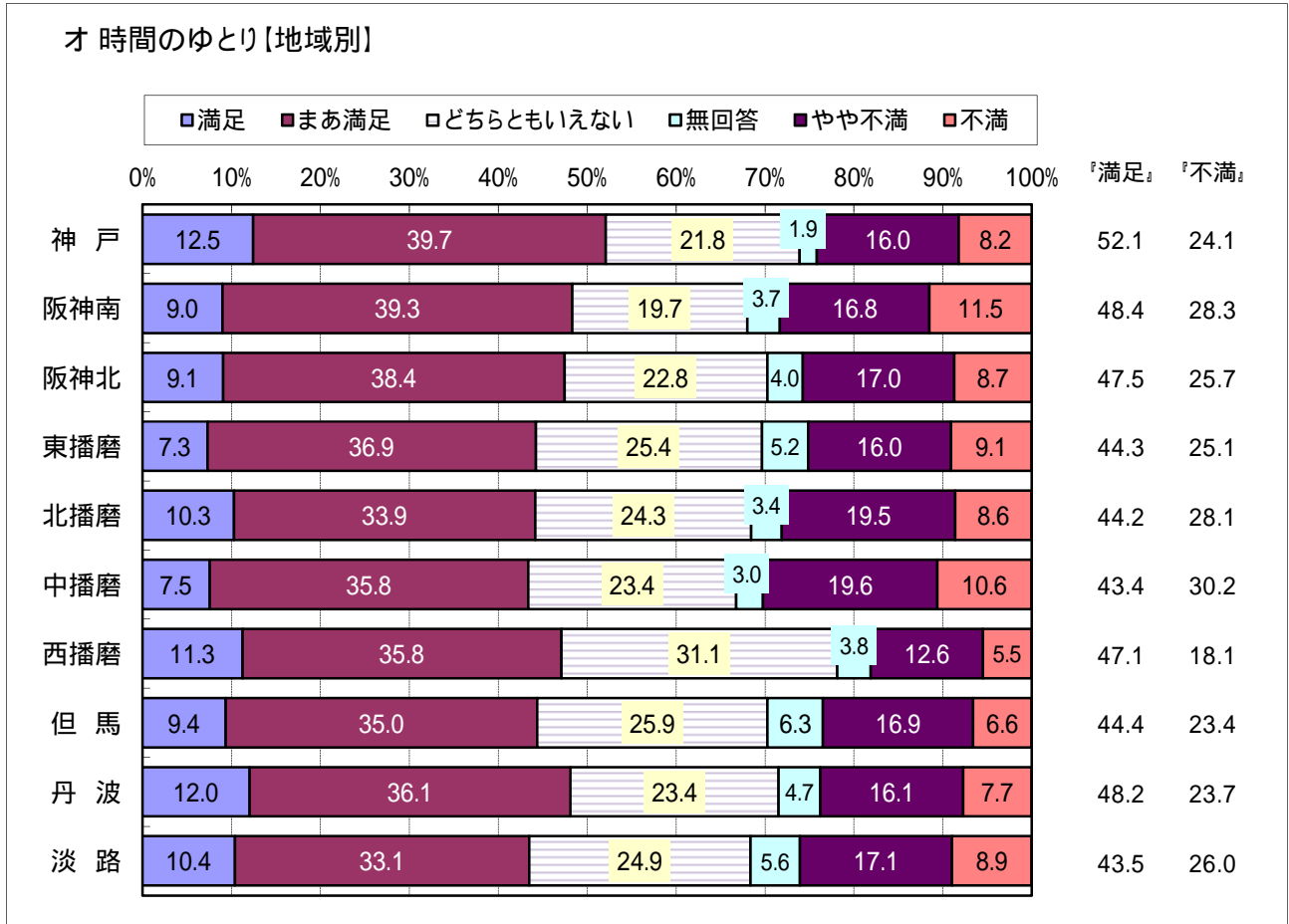
シ あなた自身の健康【職業別】



〔時間のゆとり〕

【地域別】

阪神間と西播磨、丹波の満足度が高く 5 割前後となっている。

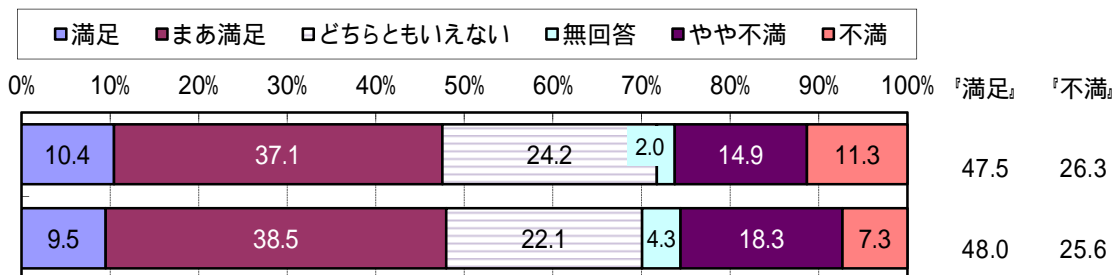


【性別、性・年代別】

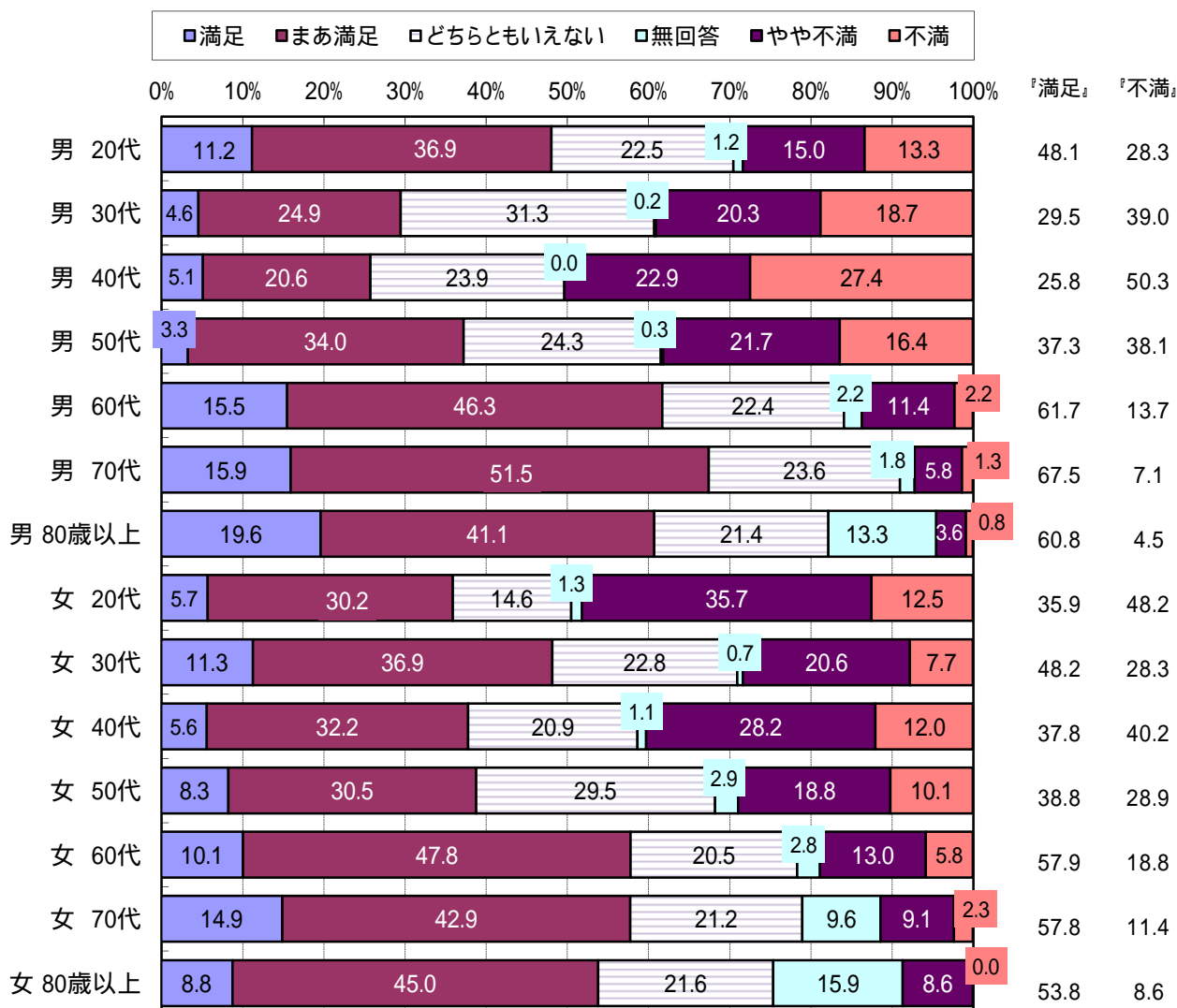
性別による違いはあまりみられない。

性・年代別でみると、男女ともに高齢者の満足度が高く、特に男性60～80代では6割を超えている。

オ 時間のゆとり【性別】

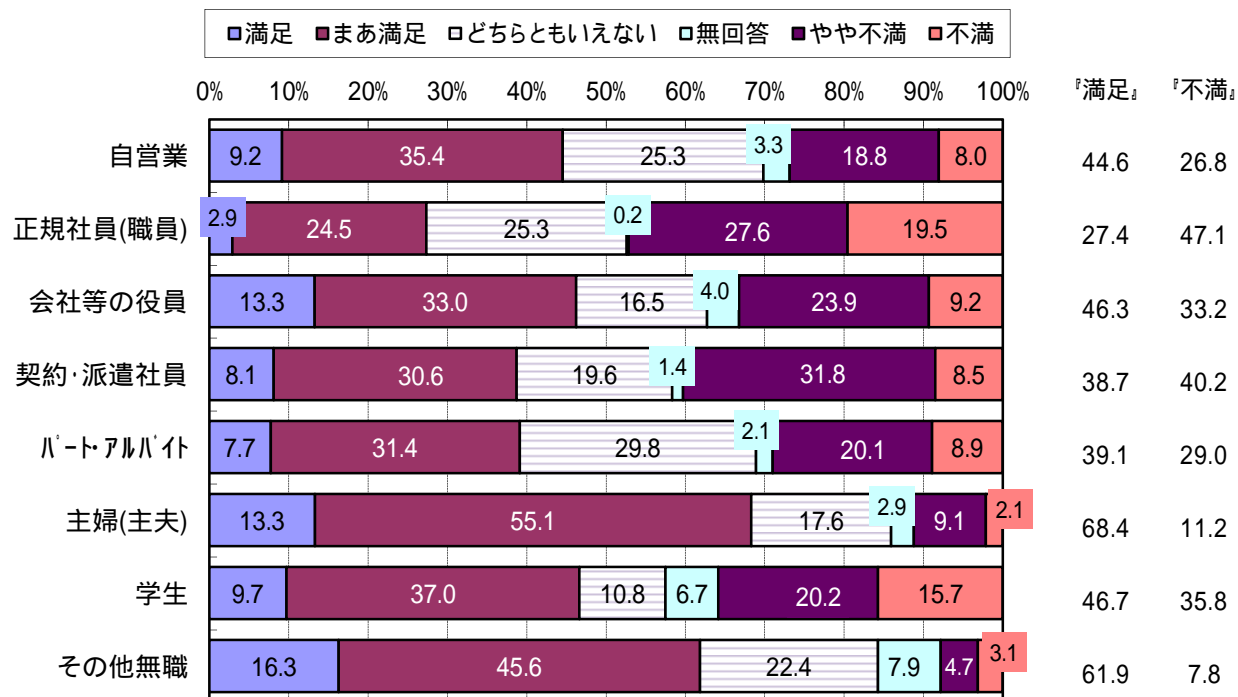


オ 時間のゆとり【性・年代別】



【職業別】

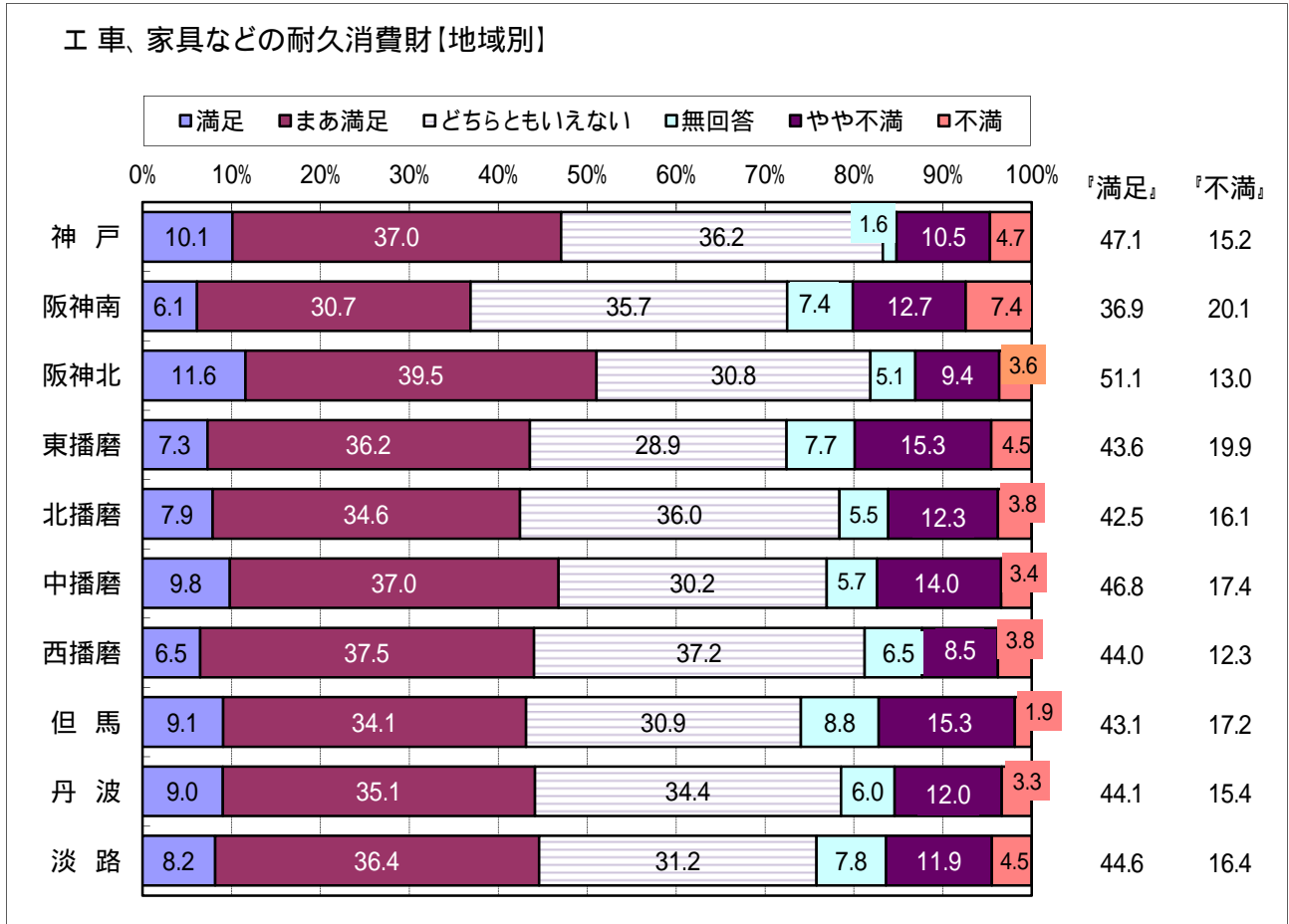
才時間のゆとり【職業別】



〔車、家具などの耐久消費財〕

【地域別】

概ね満足度が4割半ば～5割程度である中、阪神南のみ『満足』が4割を下回っている。

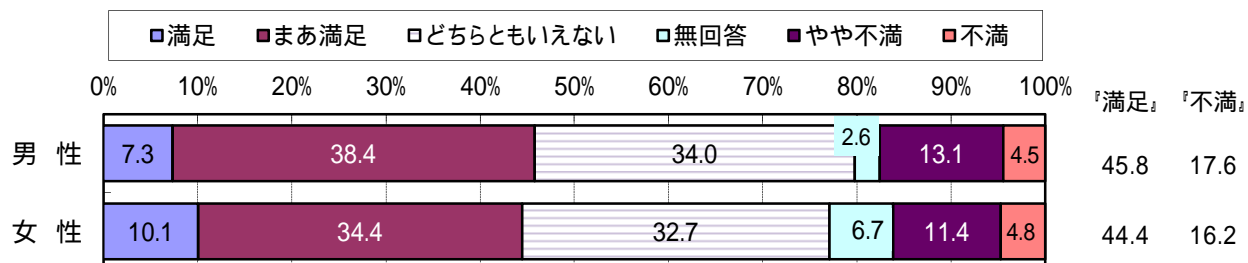


【性別、性・年代別】

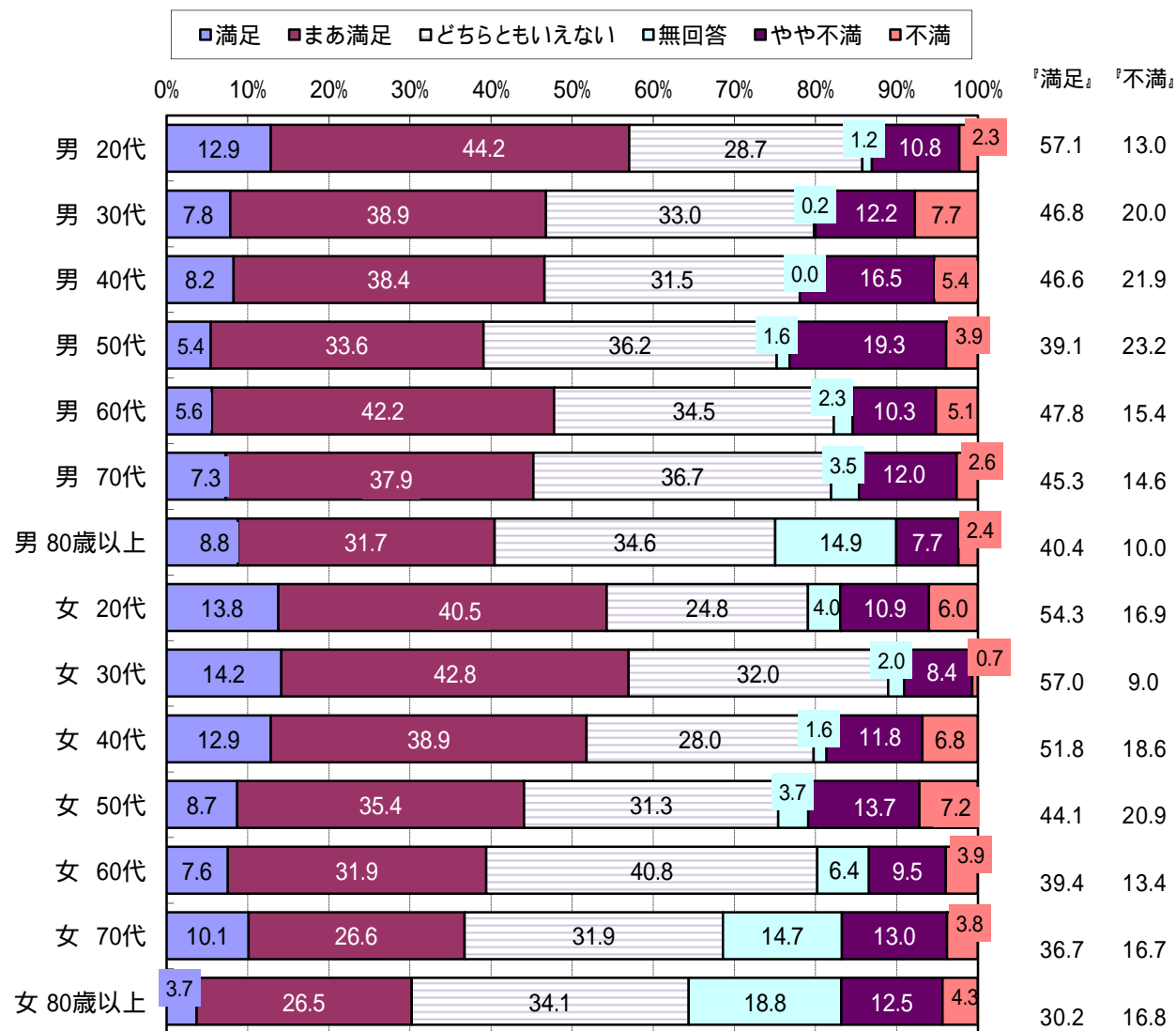
性別では、男性の方が女性より満足度がわずかながら高い。

性・年代別では、男女ともに概ね20～40代の満足度が高くなっている。

工車、家具などの耐久消費財【性別】

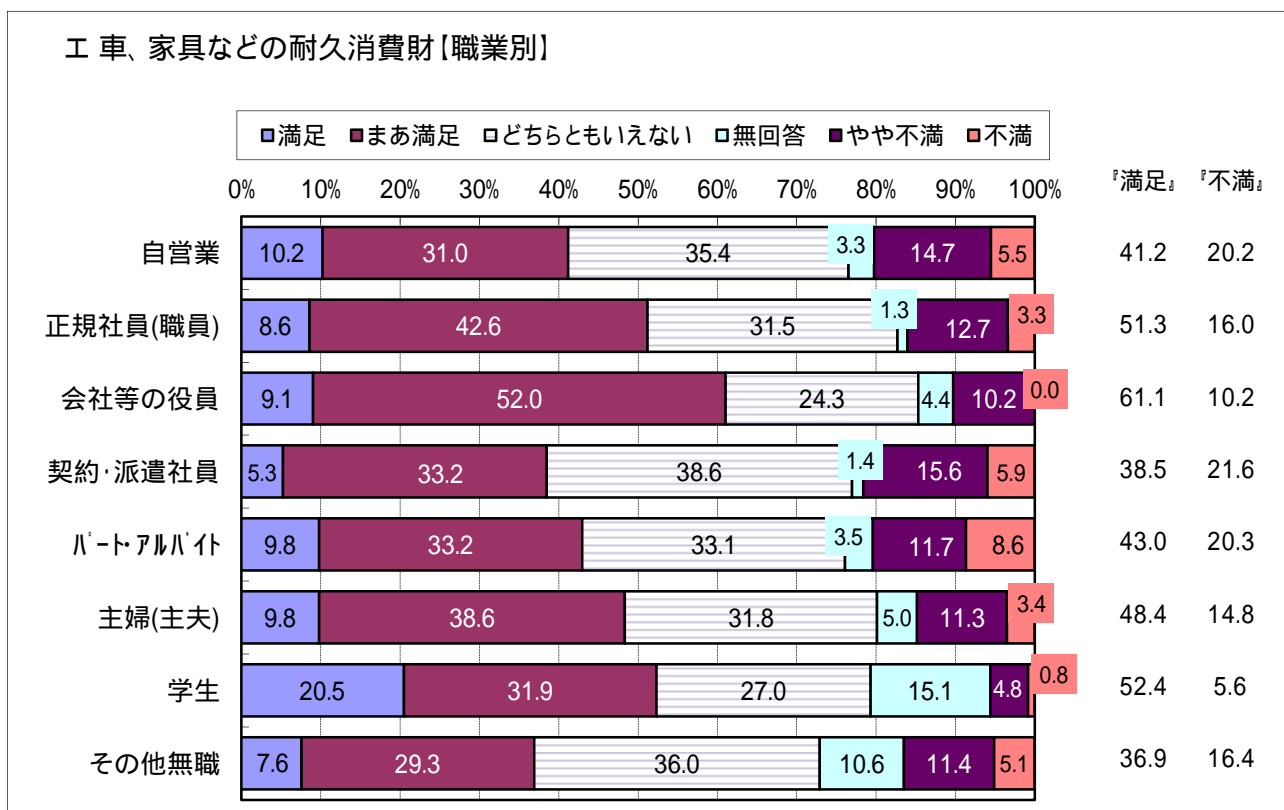


工車、家具などの耐久消費財【性・年代別】



【職業別】

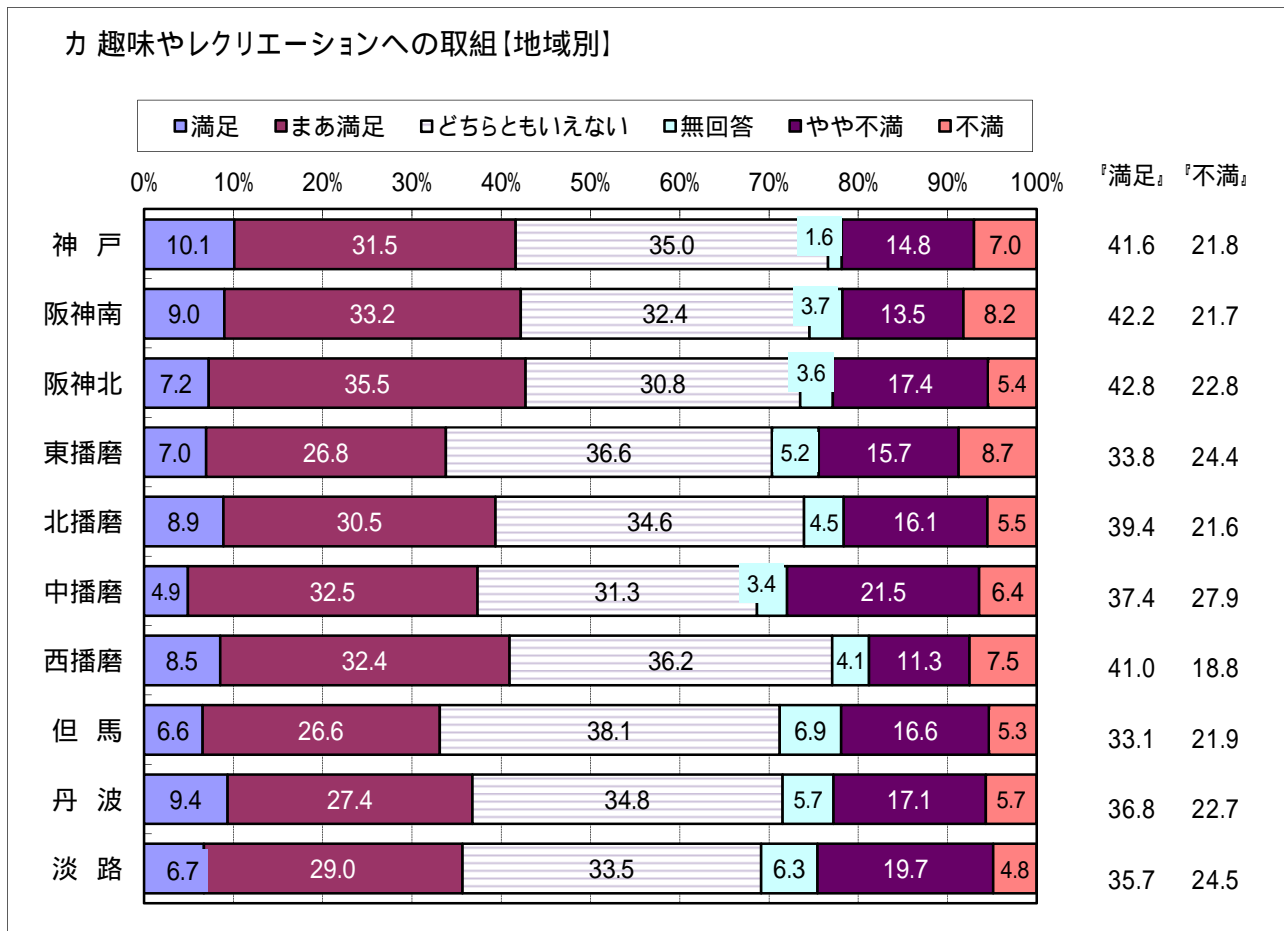
工車、家具などの耐久消費財【職業別】



〔趣味やレクリエーションへの取組〕

【地域別】

東播磨と但馬の満足度が若干低くなっているが、他の地域は概ね3割後半から4割程度の満足度である。

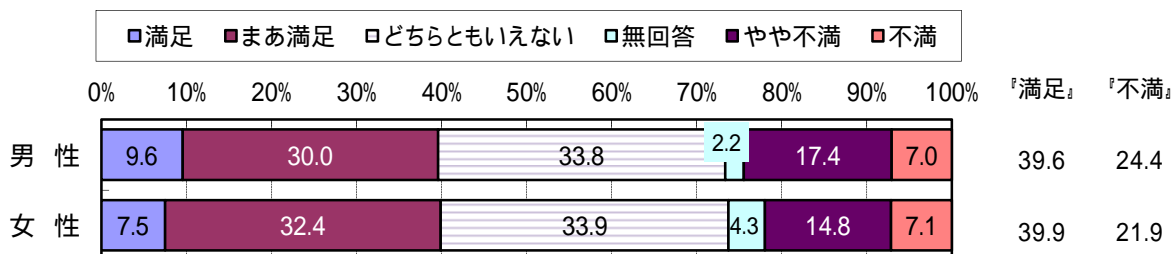


【性別、性・年代別】

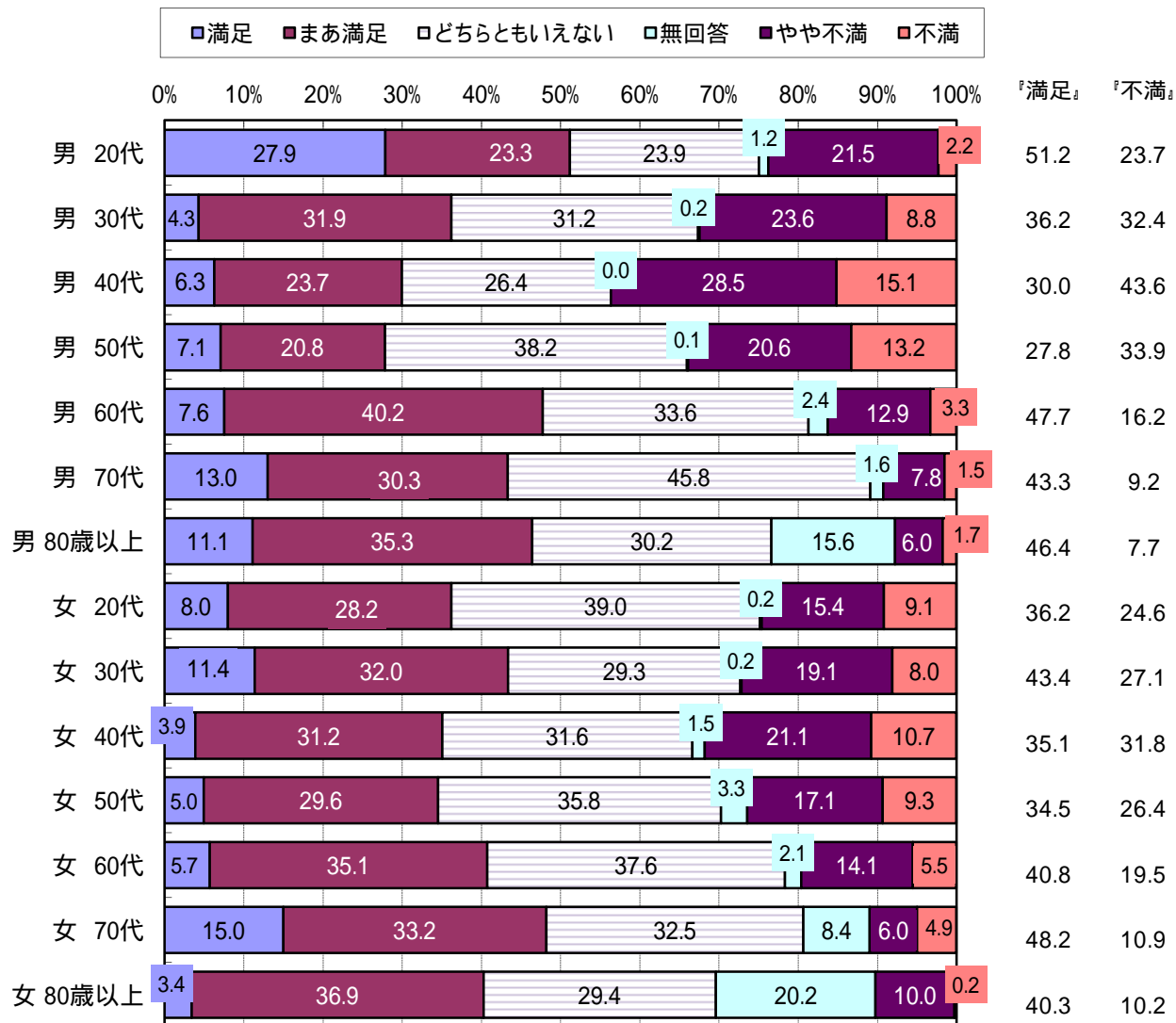
性別による違いはみられない。

性・年代別では、男性20代の満足度が非常に高い。

カ 趣味やレクリエーションへの取組【性別】

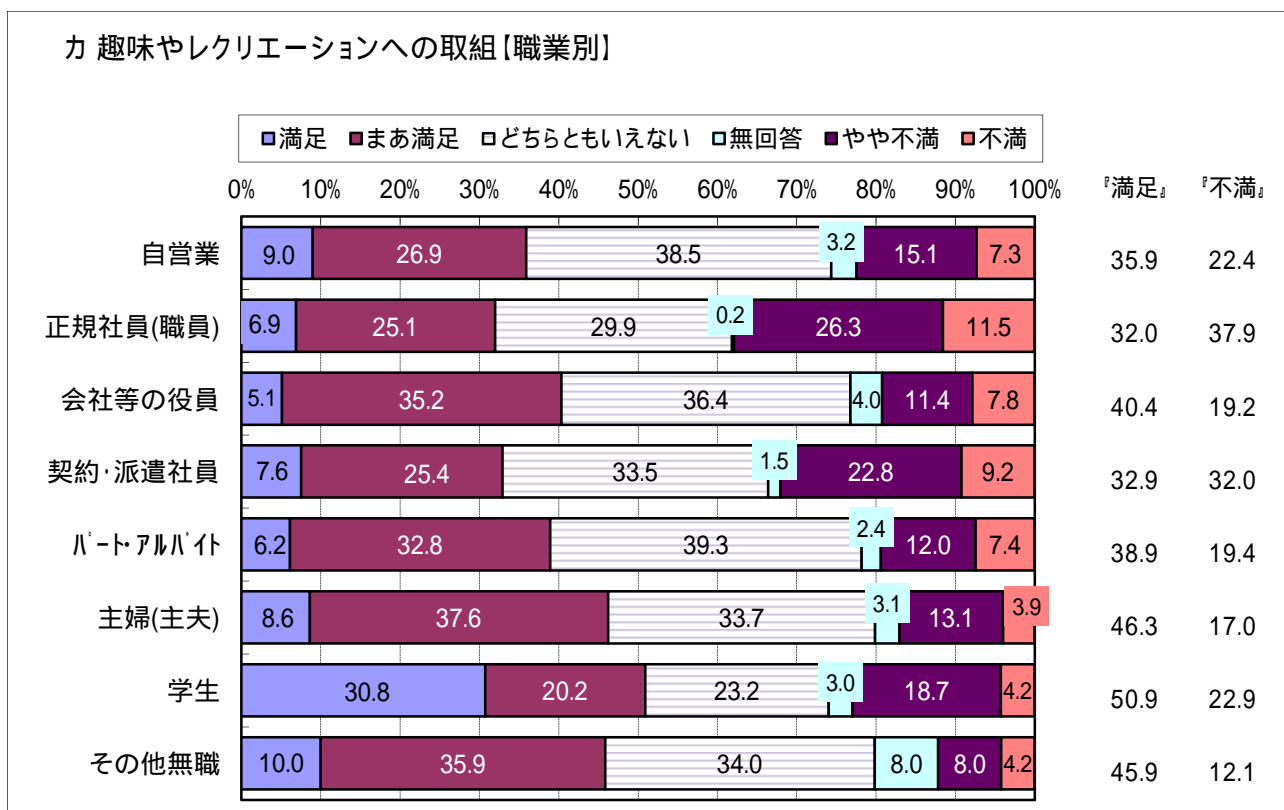


カ 趣味やレクリエーションへの取組【性・年代別】



【職業別】

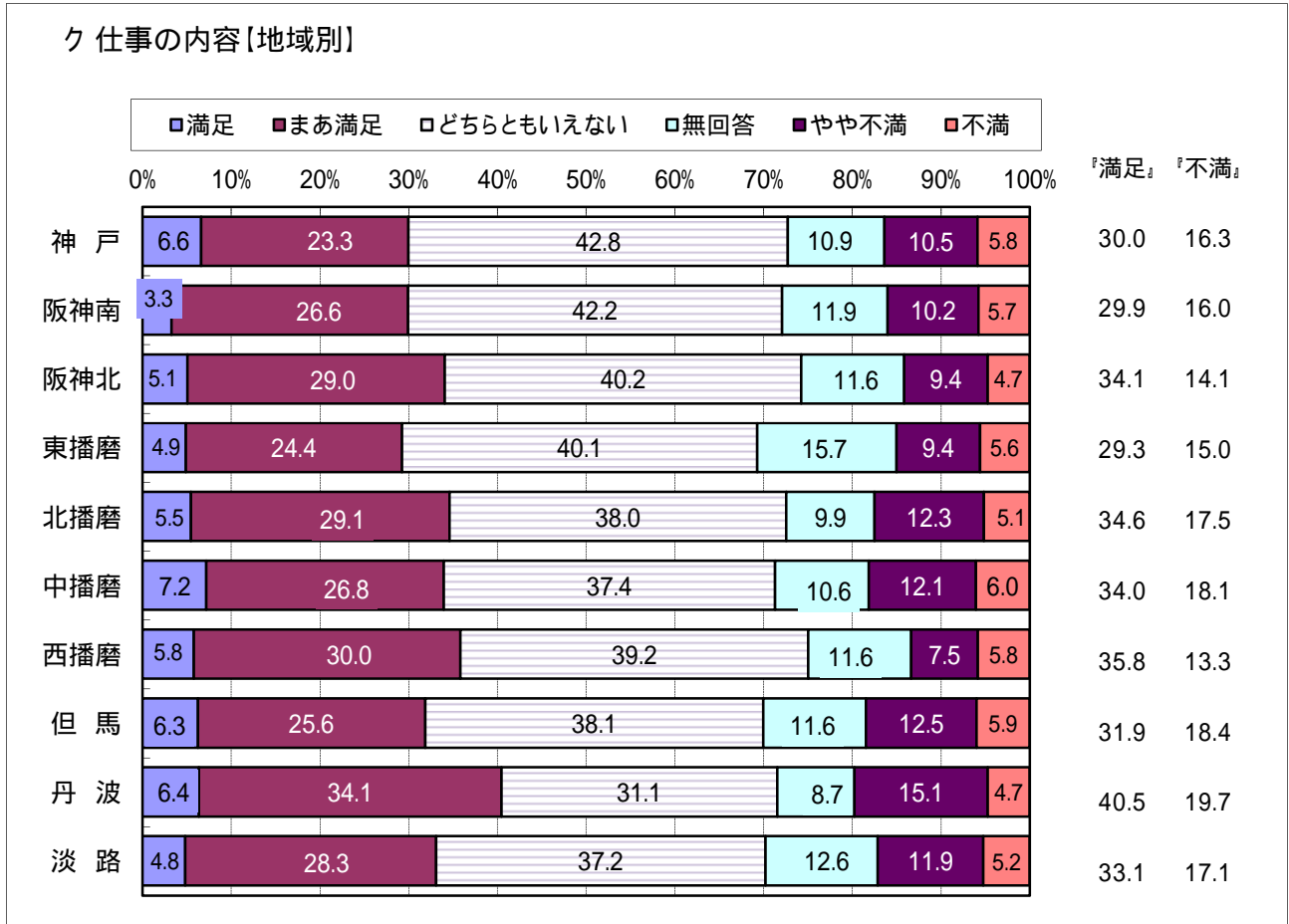
カ 趣味やレクリエーションへの取組【職業別】



〔仕事の内容〕

【地域別】

いずれの地域も3割前後の満足度であるが、丹波のみ『満足』が4割を上回っている。

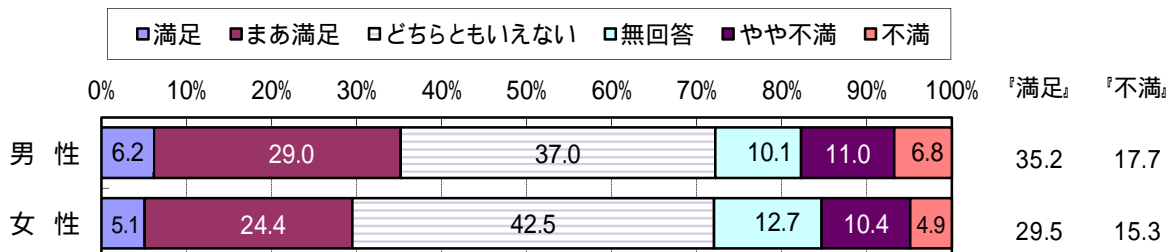


【性別、性・年代別】

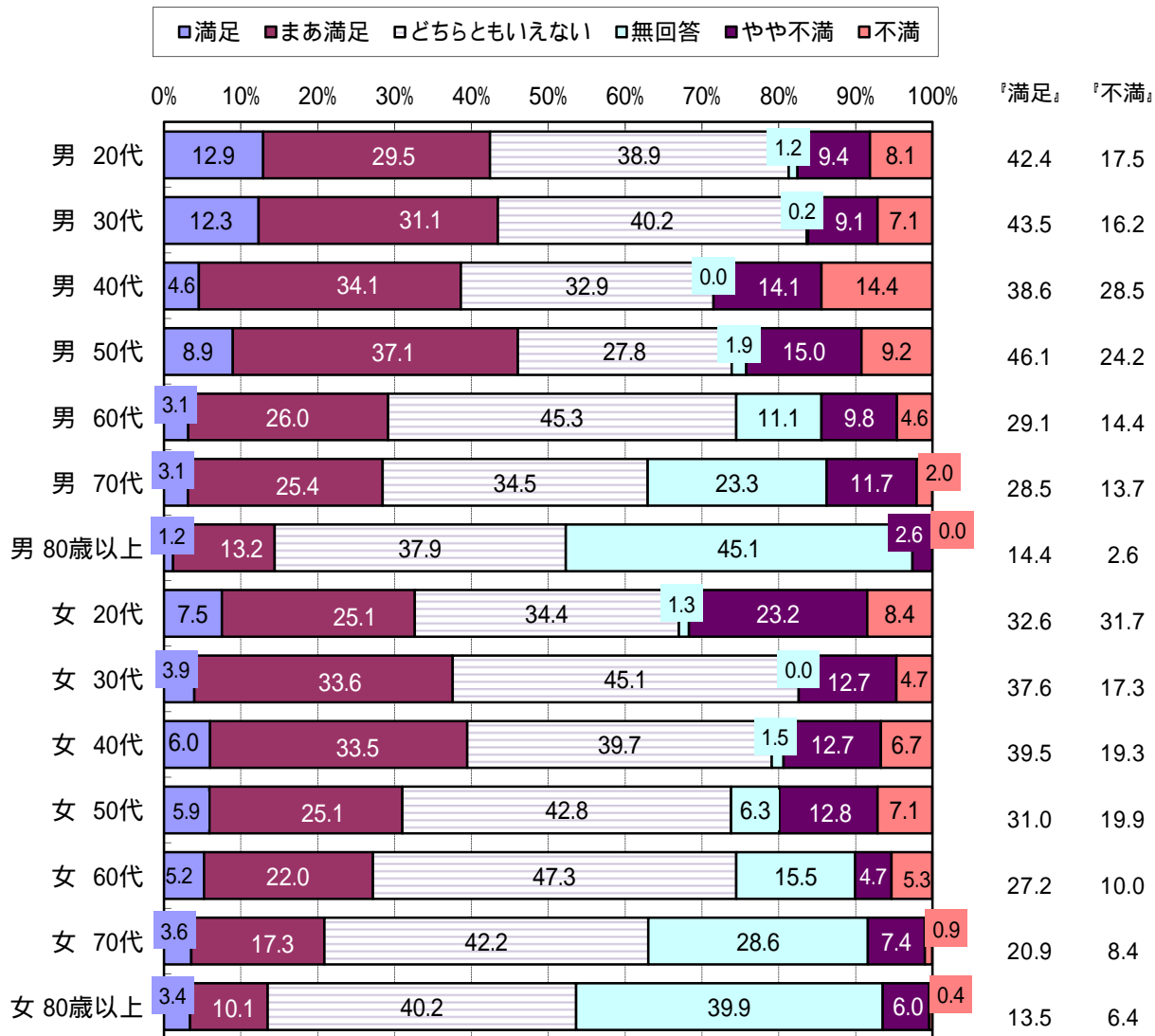
性別では、男性の方が女性より満足度が高い。

性・年代別でみると、『満足』は男性で50代、女性は40代で最も高くなっている。

ク 仕事の内容【性別】

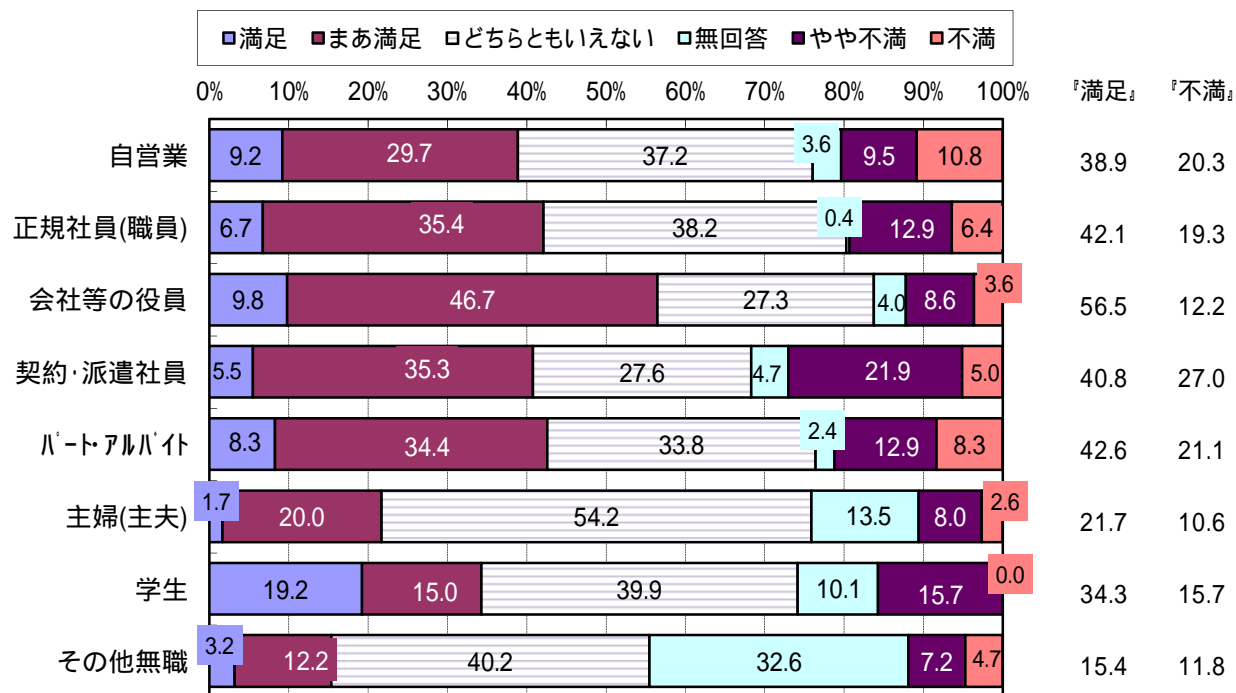


ク 仕事の内容【性・年代別】



【職業別】

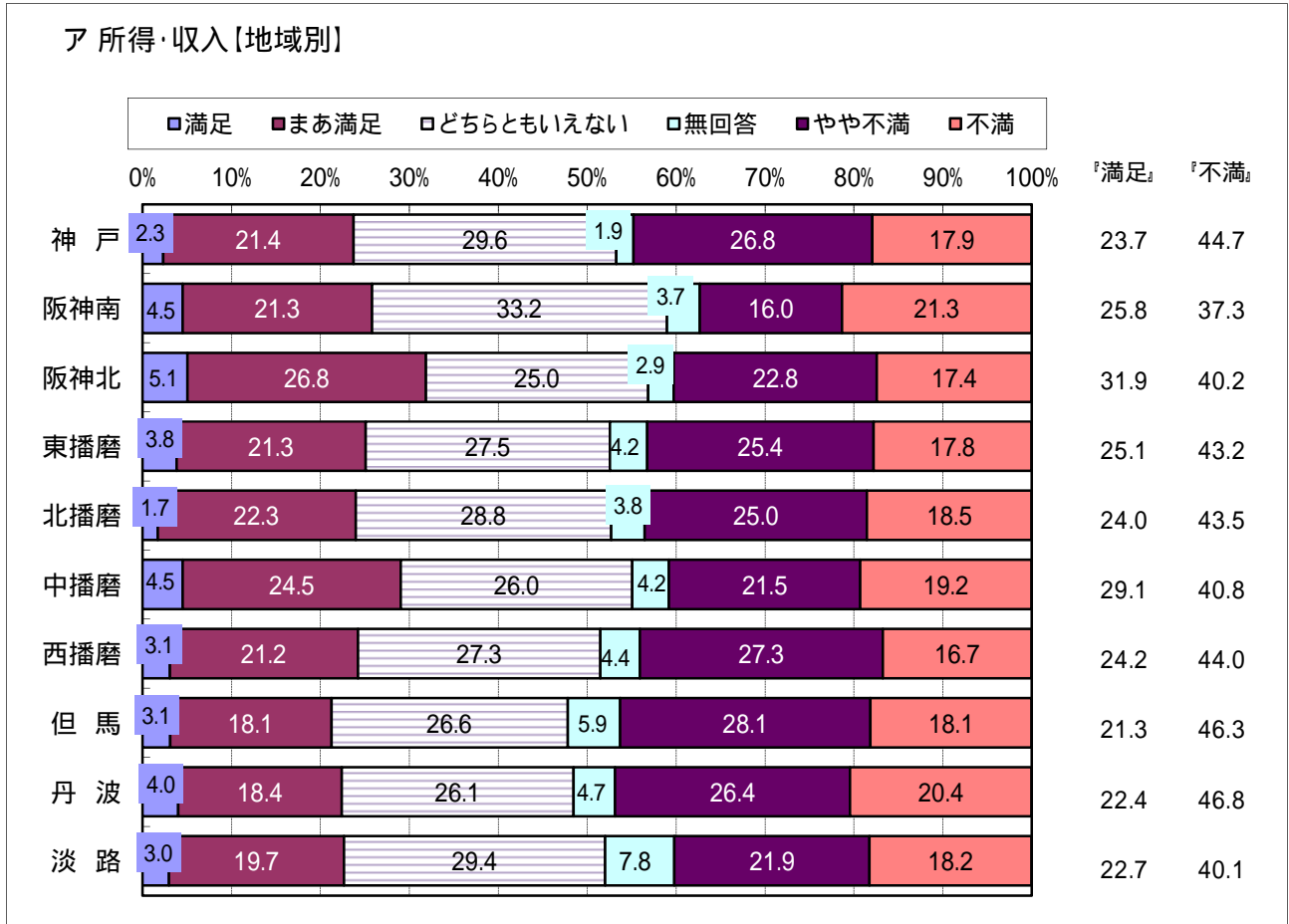
ク 仕事の内容【職業別】



〔所得・収入〕

【地域別】

阪神北と中播磨の満足度が3割前後で比較的高いが、他の地域はいずれも2割程度となっている。

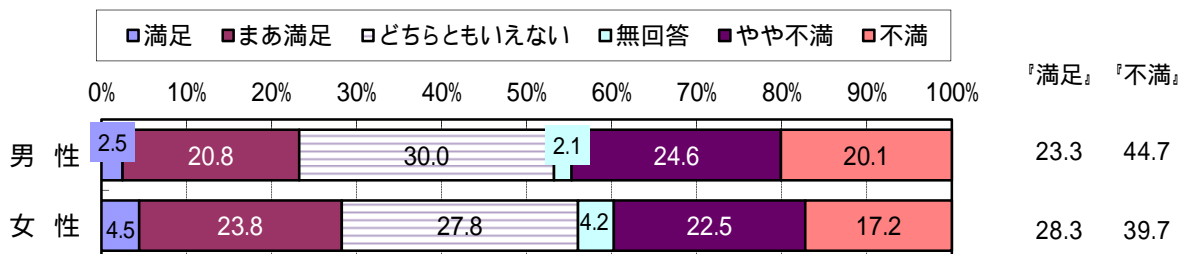


【性別】

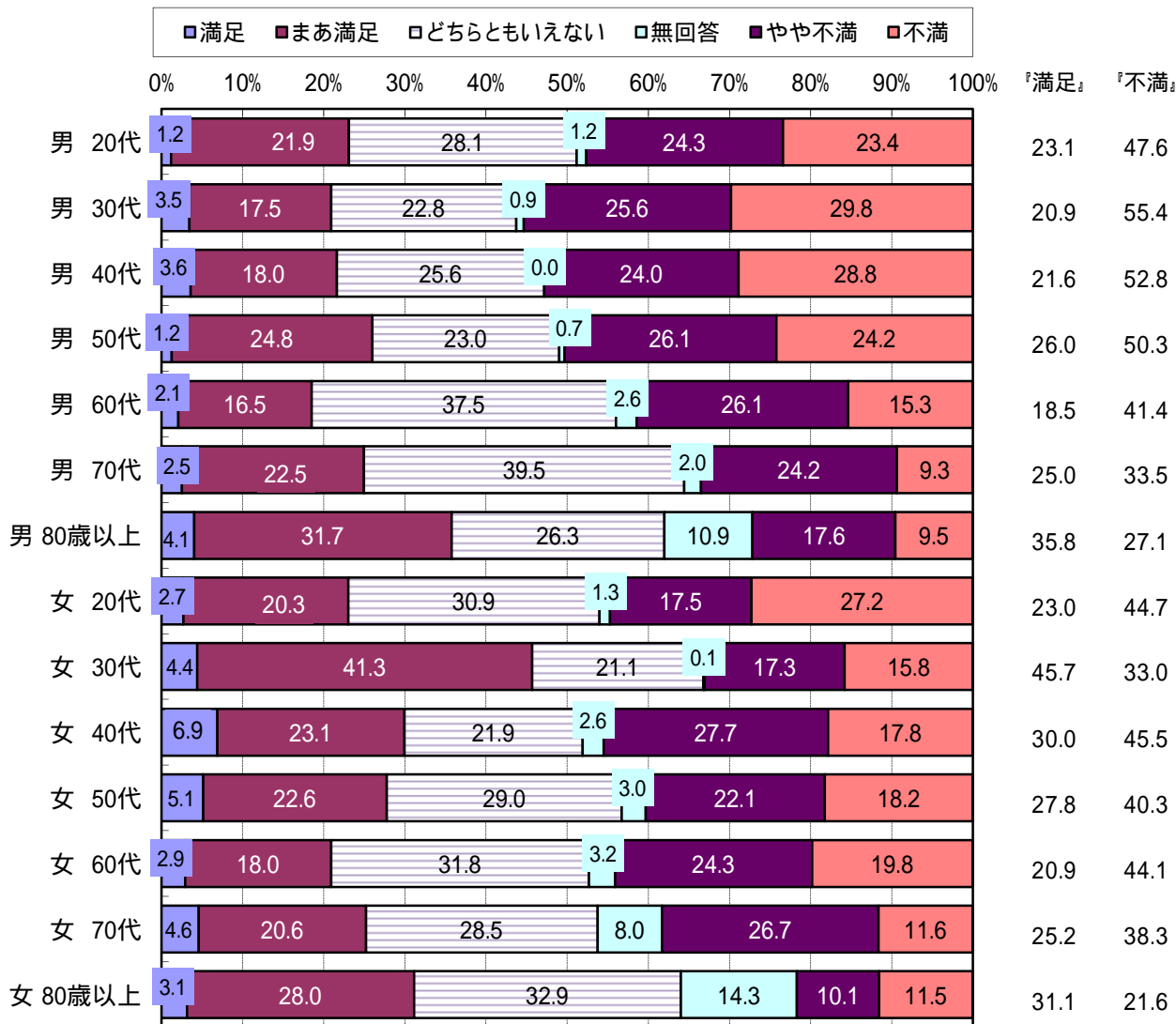
性別では、女性の方が男性より満足度が高い。

性・年代別では、女性の30代の満足度が突出して高くなっている。

ア 所得・収入【性別】

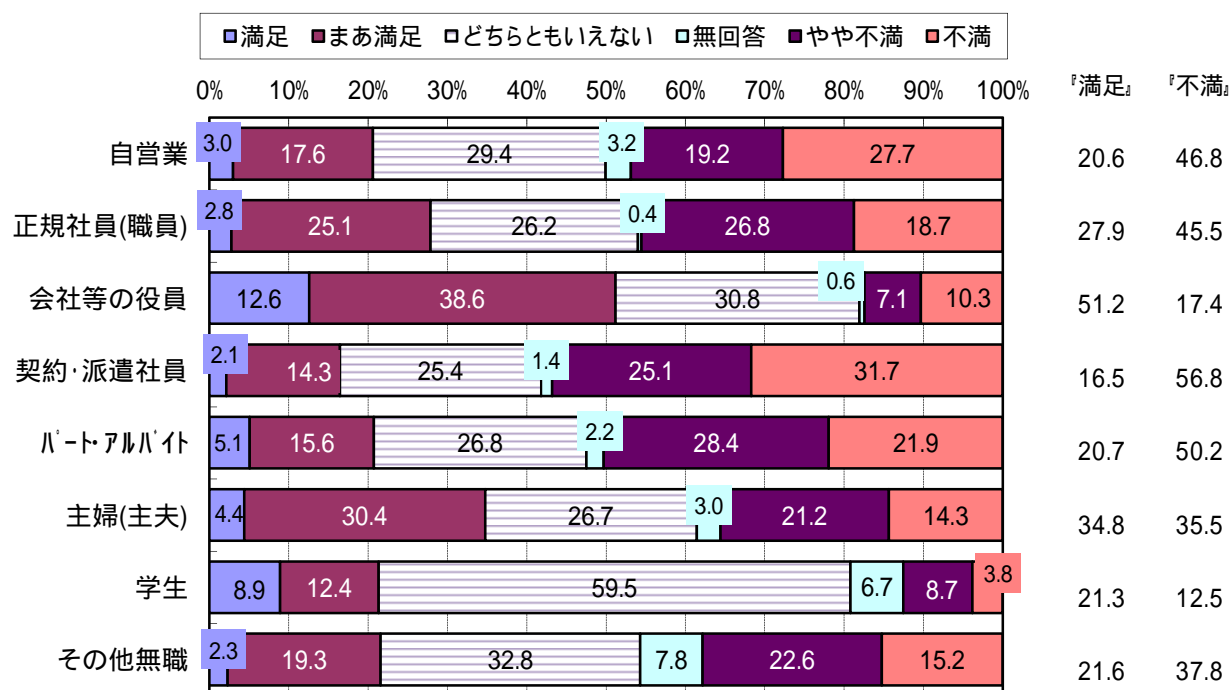


ア 所得・収入【性・年代別】



【職業別】

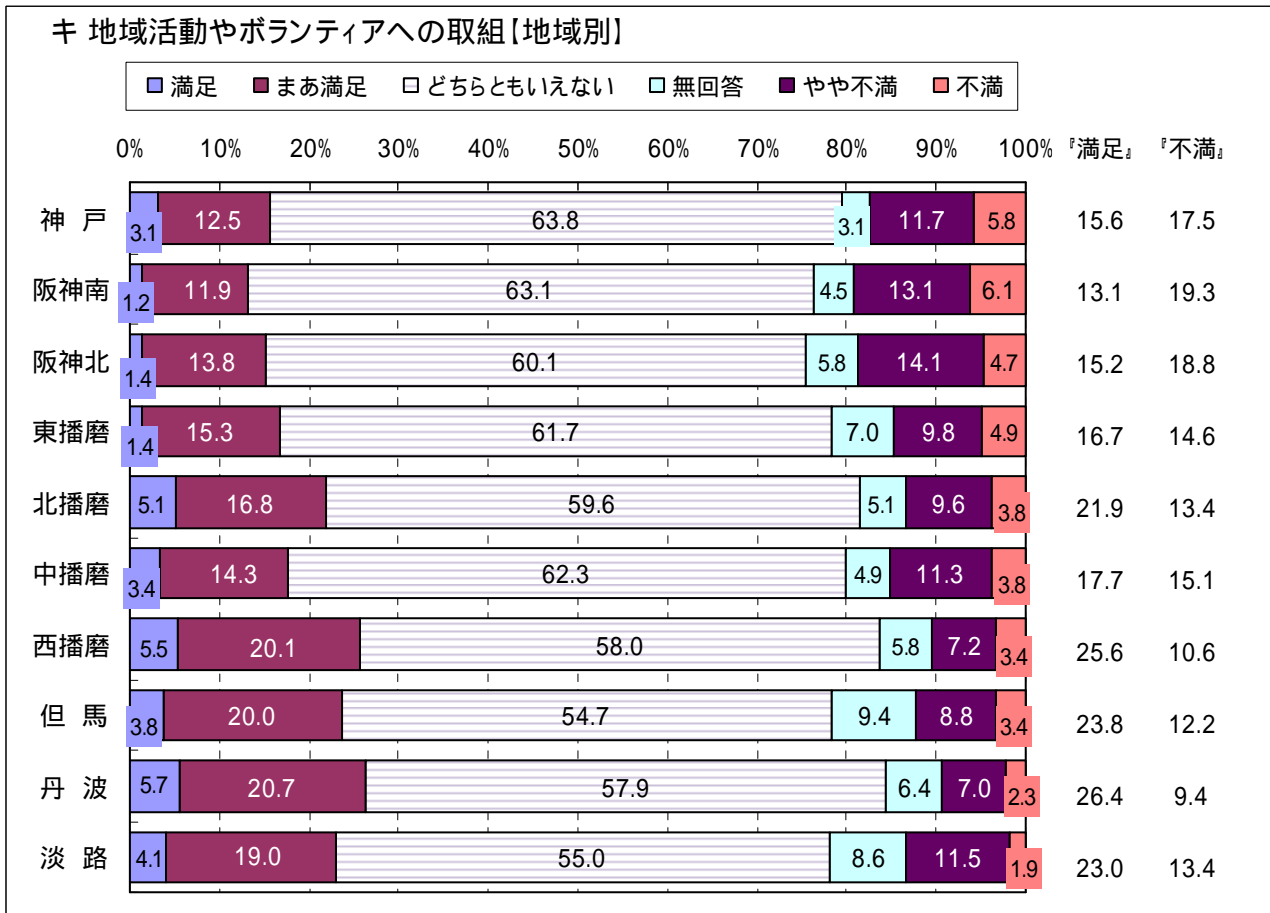
ア 所得・収入【職業別】



〔地域活動やボランティアへの取組〕

【地域別】

地域別では、農村部の方が都市部よりも満足度が高い傾向がみられる。

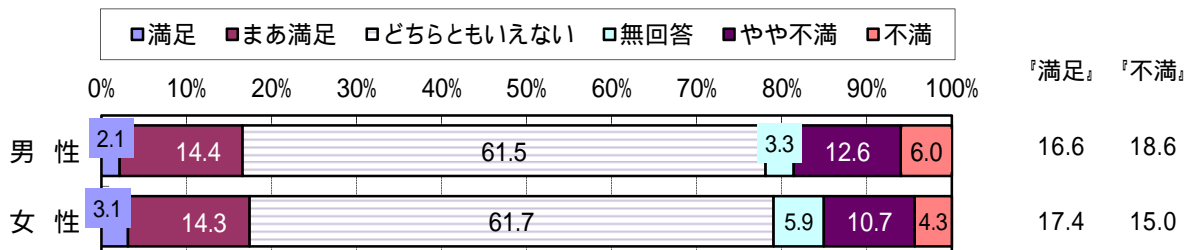


【性別、性・年代別】

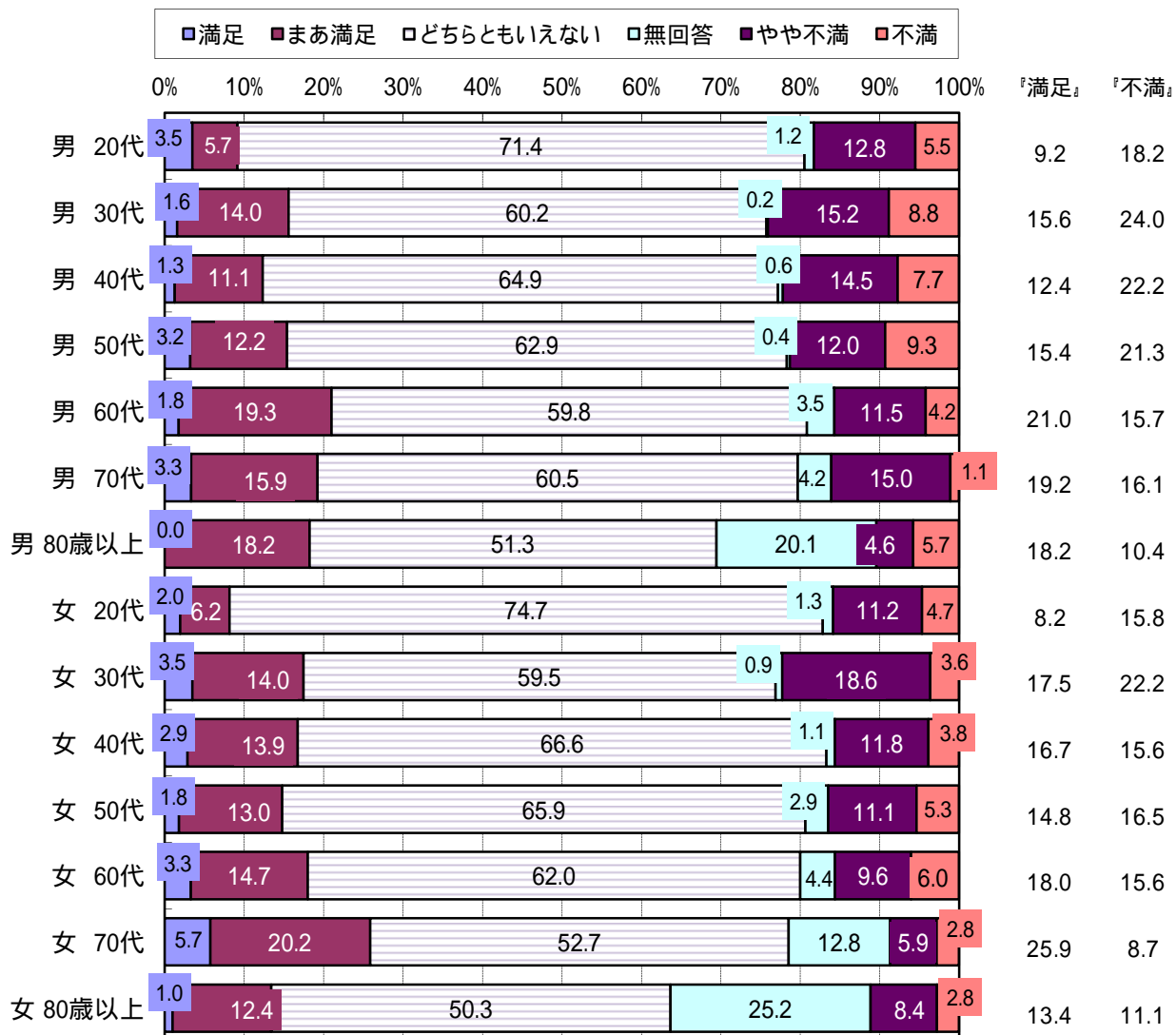
性別では、女性の方が男性よりわずかに満足度が高い。

性・年代別では、男女ともに20代の満足度が低く1割に満たない。

キ 地域活動やボランティアへの取組【性別】

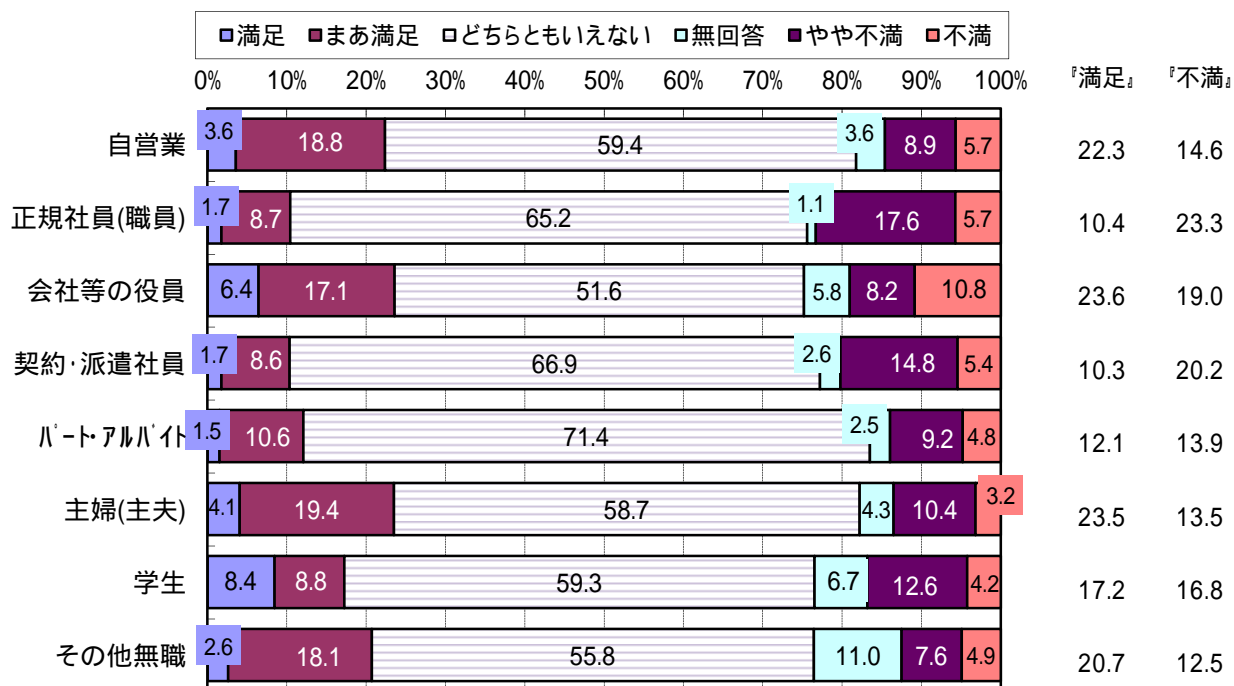


キ 地域活動やボランティアへの取組【性・年代別】



【職業別】

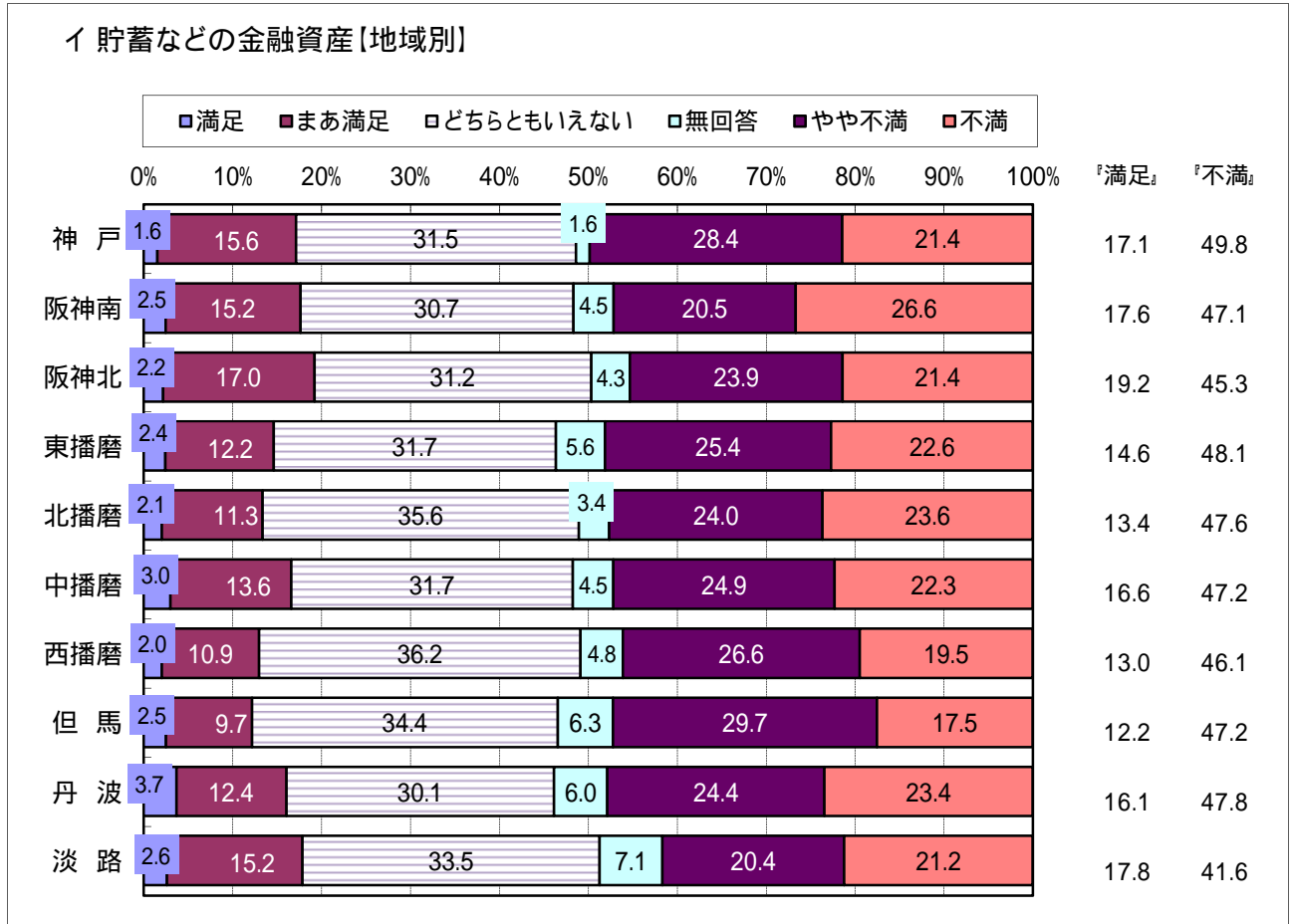
キ 地域活動やボランティアへの取組【職業別】



〔貯蓄などの金融資産〕

【地域別】

いずれの地域も不満度が4割半ば～5割近く、最も少ない淡路でも4割を超えている。

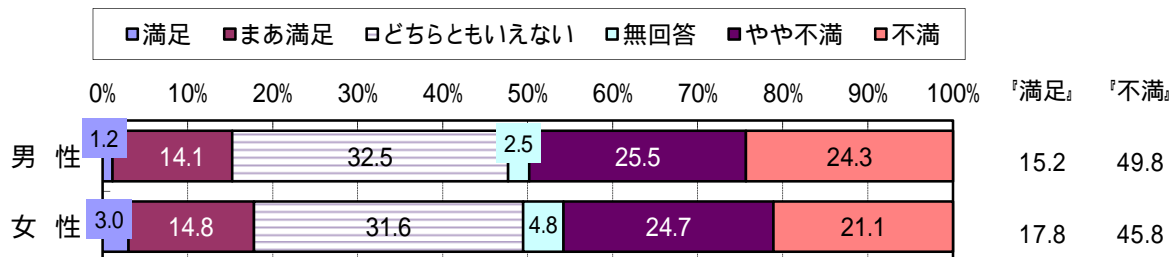


【性別、性・年代別】

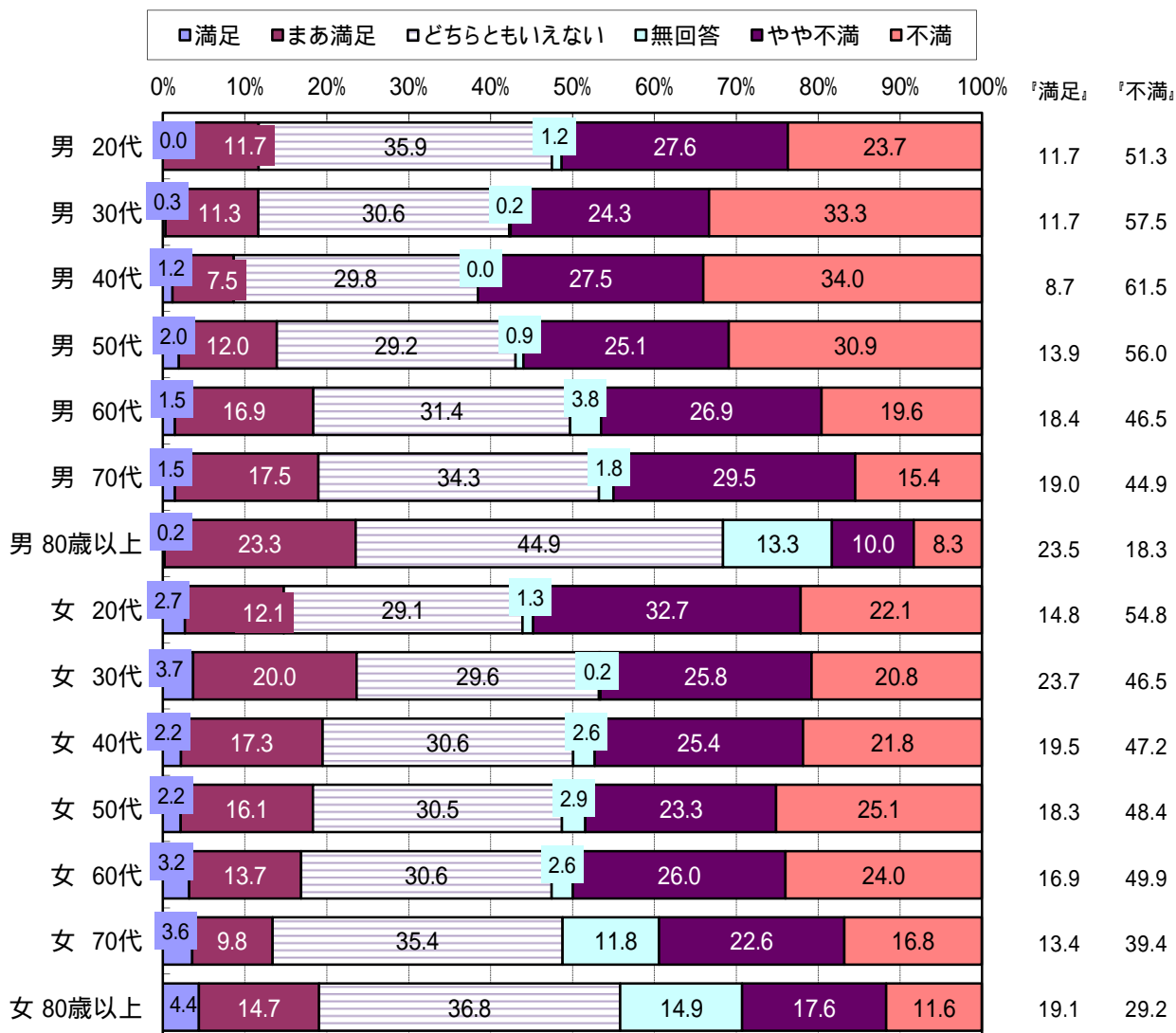
性別では、女性の方が男性より満足度が高い。

性・年代別では、男性は年齢が高くなるほど満足度が高くなっているが、女性は反対に年齢が高くなるほど満足度が低くなる傾向がみられる。

イ 貯蓄などの金融資産【性別】

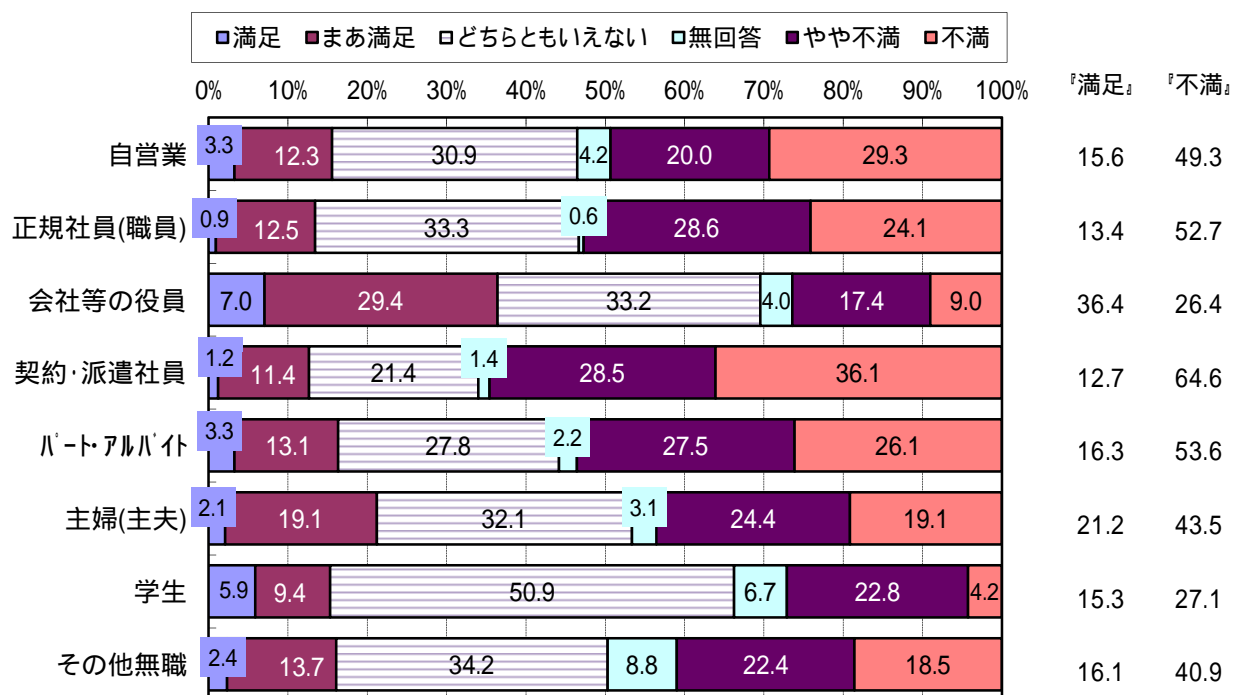


イ 貯蓄などの金融資産【性・年代別】



【職業別】

イ 貯蓄などの金融資産【職業別】



問14 去年と比べた生活の向上感

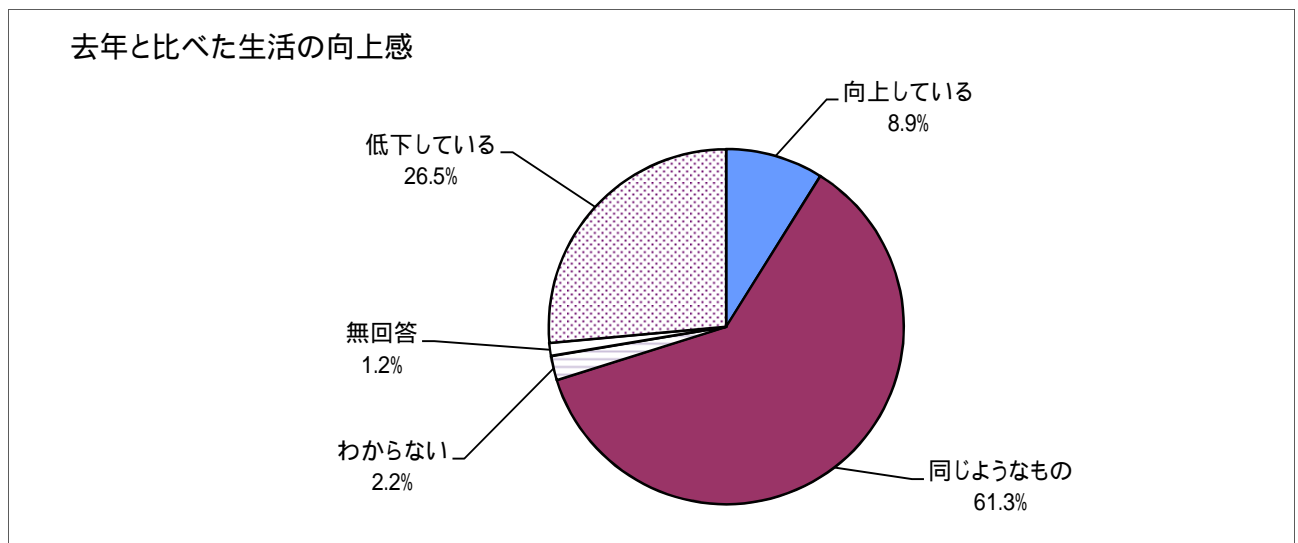
問14

あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号にをつけてください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1 向上している | 3 低下している |
| 2 同じようなもの | 4 わからない |

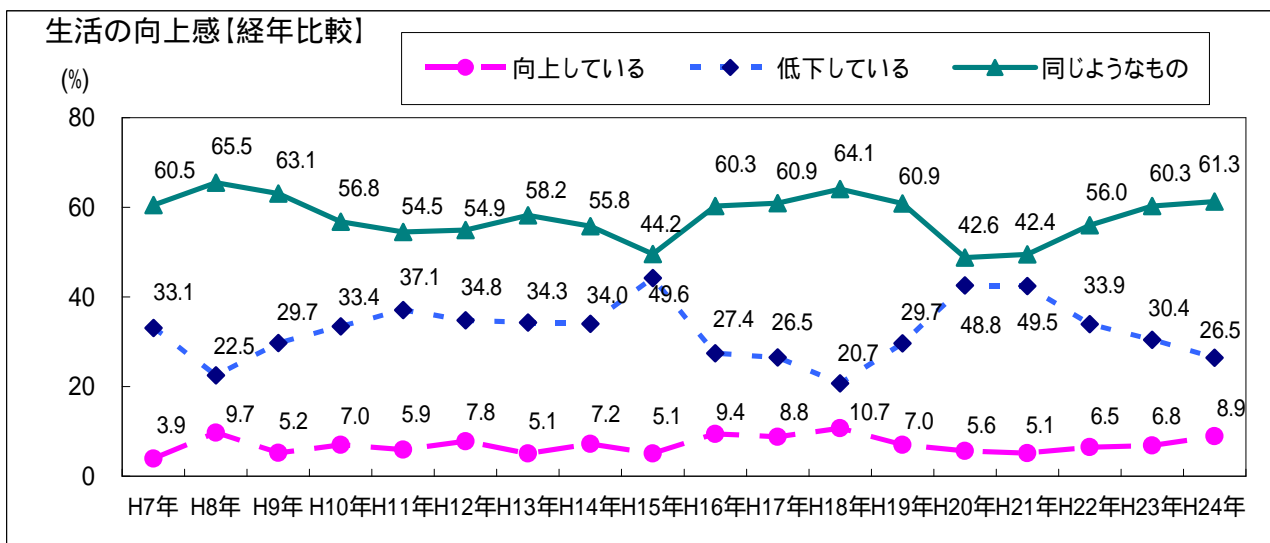
【全 県】

「同じようなもの」が6割と最も多く、「低下している」は2割半ば、「向上している」は1割を下回る。

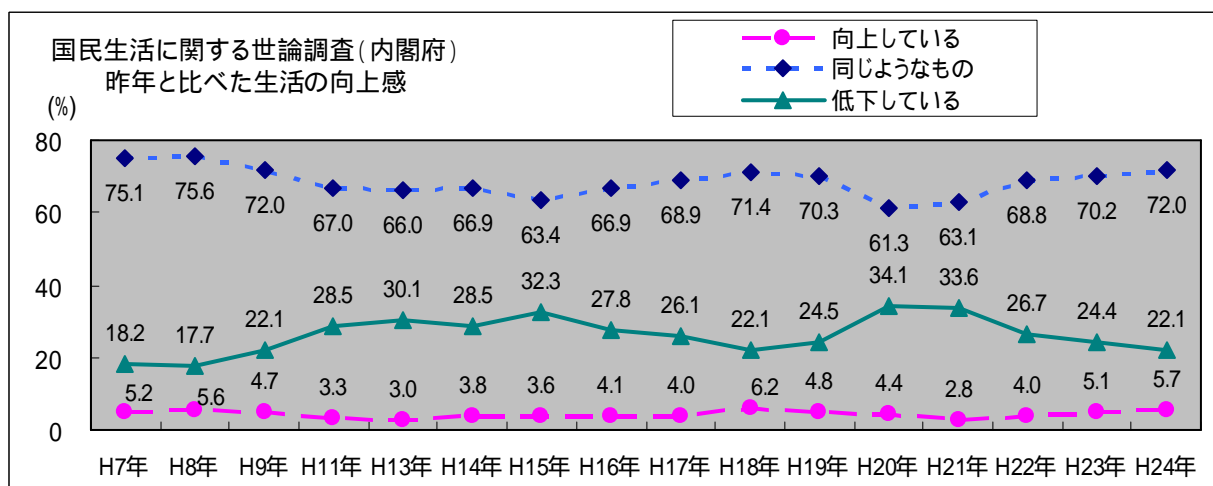


【経年比較】

前年度調査と比較すると、「向上している」は2.1ポイント増加し、「低下している」は3.9ポイント減少している。



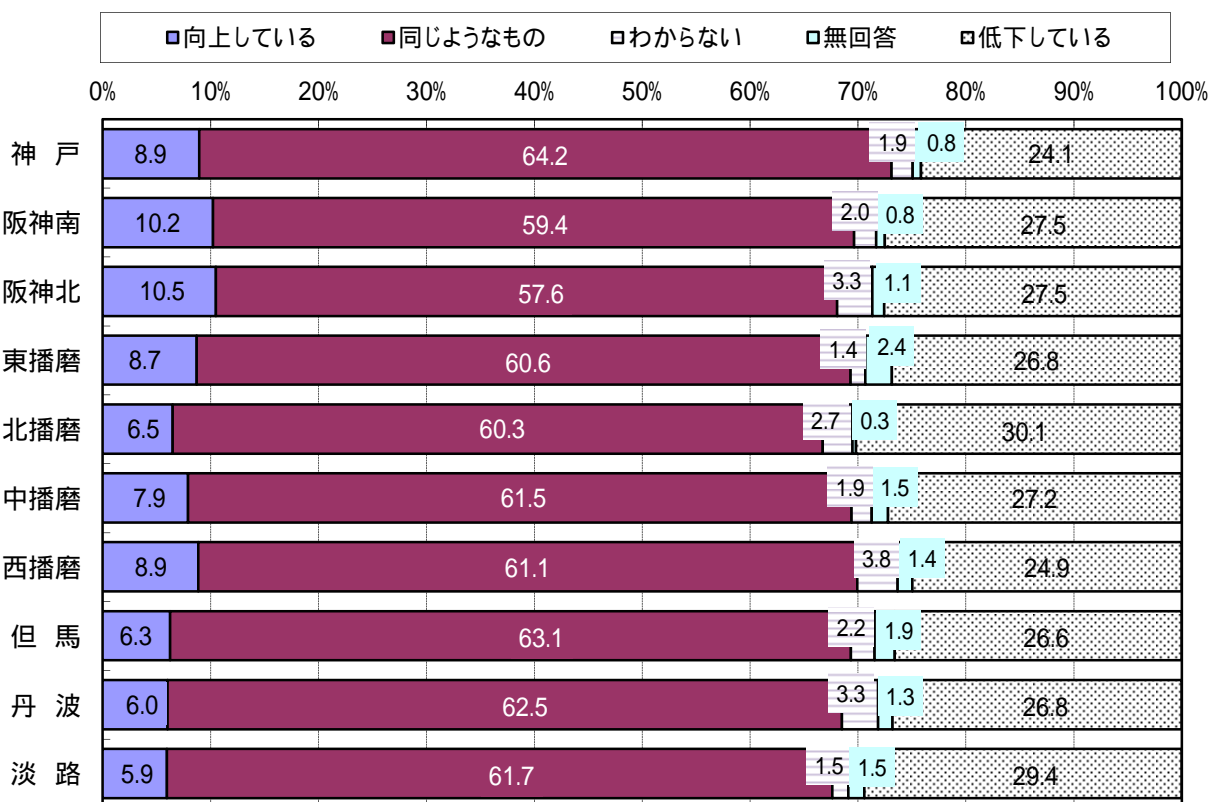
(参考)



【地域別】

地域別の違いはあまり見られず、いずれも「同じようなもの」が多く6割前後となっている。

去年と比べた生活の向上感【地域別】

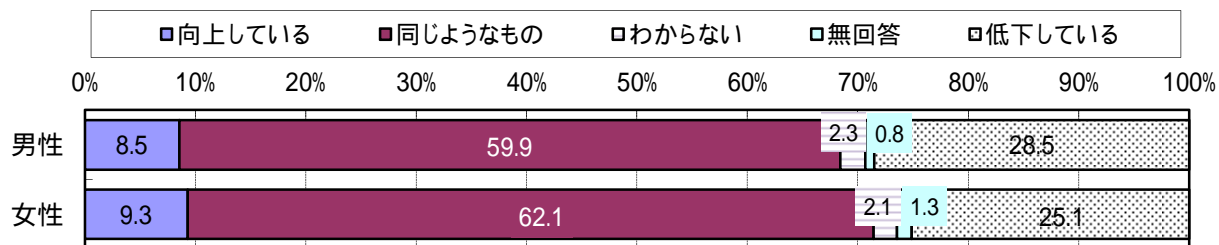


【性別、性・年代別】

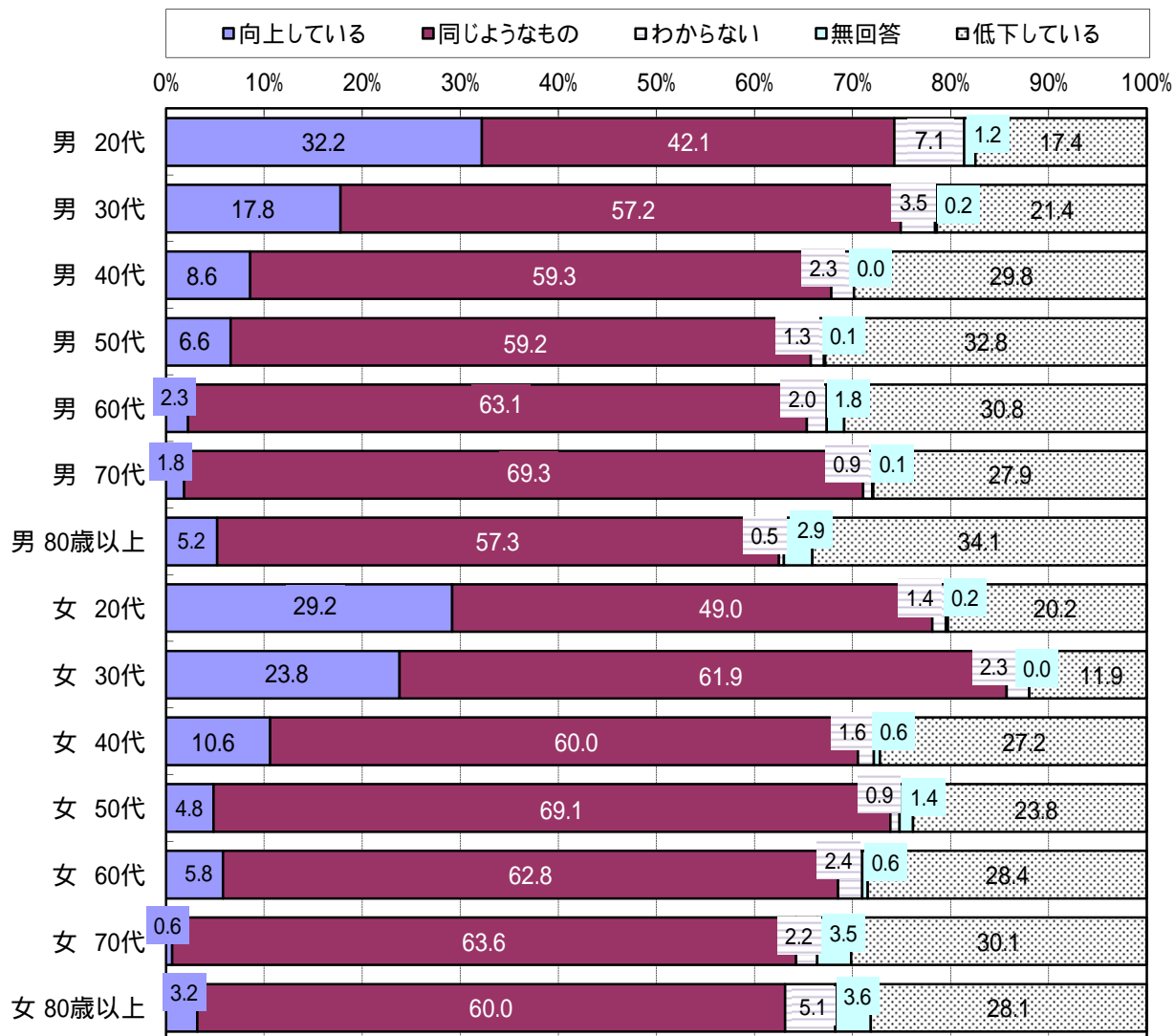
性別では、男性の方が女性より「低下している」が多い。

性・年代別では、男女とも20～30代の「向上している」が大変多くなっている。

去年と比べた生活の向上感【性別】

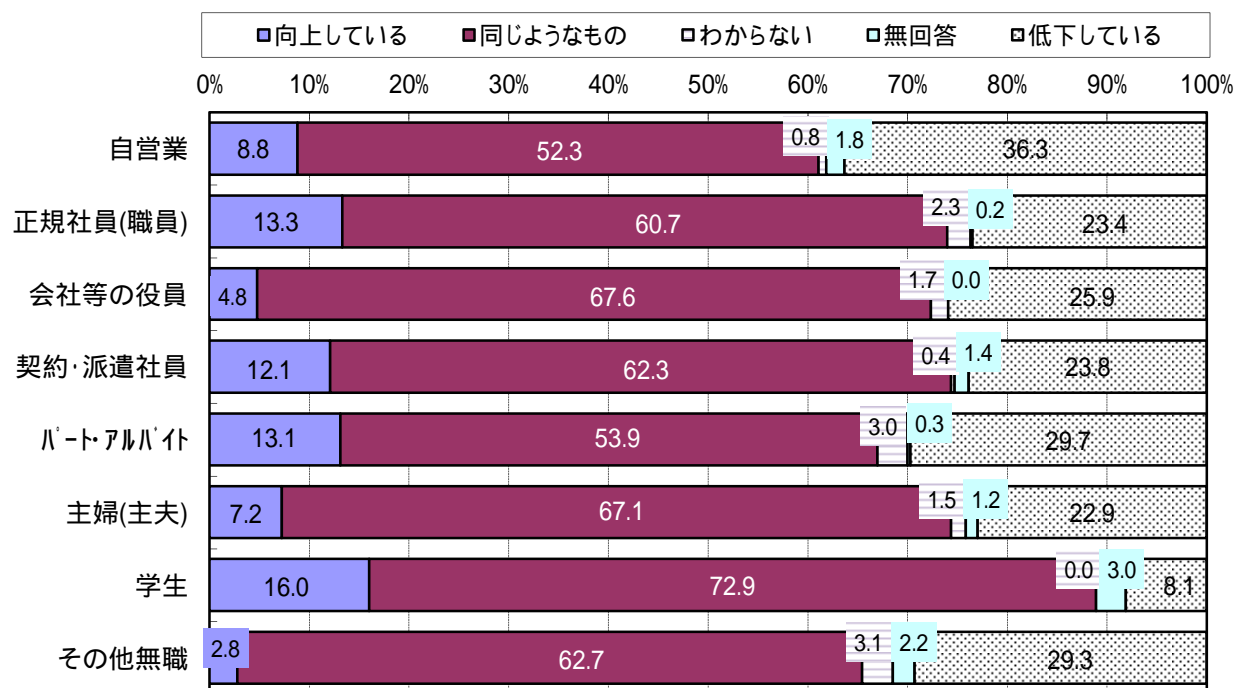


去年と比べた生活の向上感【性・年代別】



【職業別】

去年と比べた生活の向上感【職業別】



問15 大地震発生の可能性

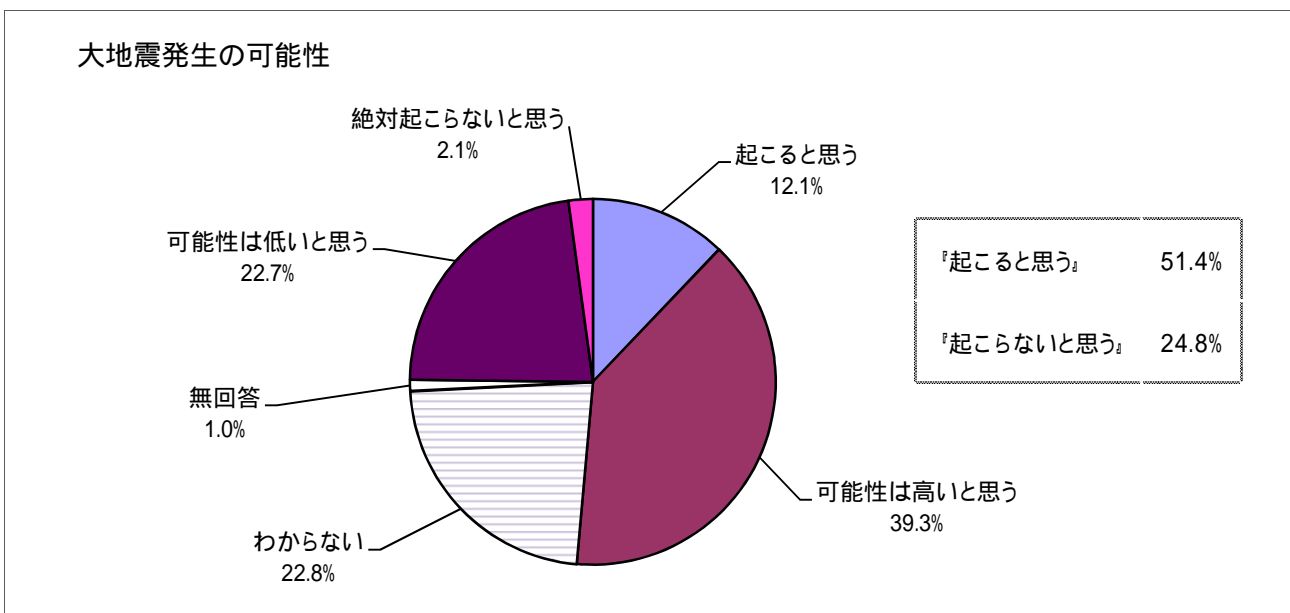
問15

あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 起こると思う | 4 絶対起こらないと思う |
| 2 可能性は高いと思う | 5 わからない |
| 3 可能性は低いと思う | |

【全 県】

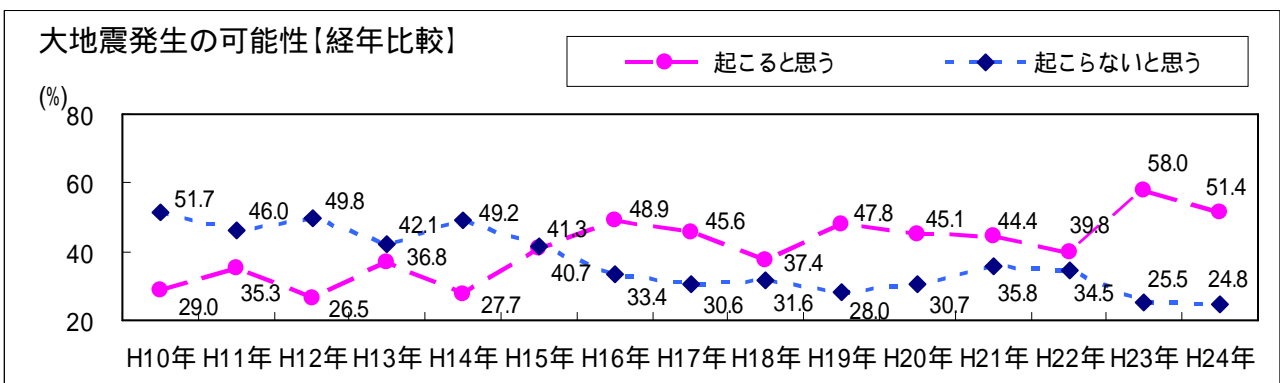
「起こると思う」、「可能性は高いと思う」を合わせた『起こると思う』は5割強で、「絶対起こらないと思う」、「可能性は低いと思う」を合わせた『起こらないと思う』は2割台半ばとなっている。



【経年比較】

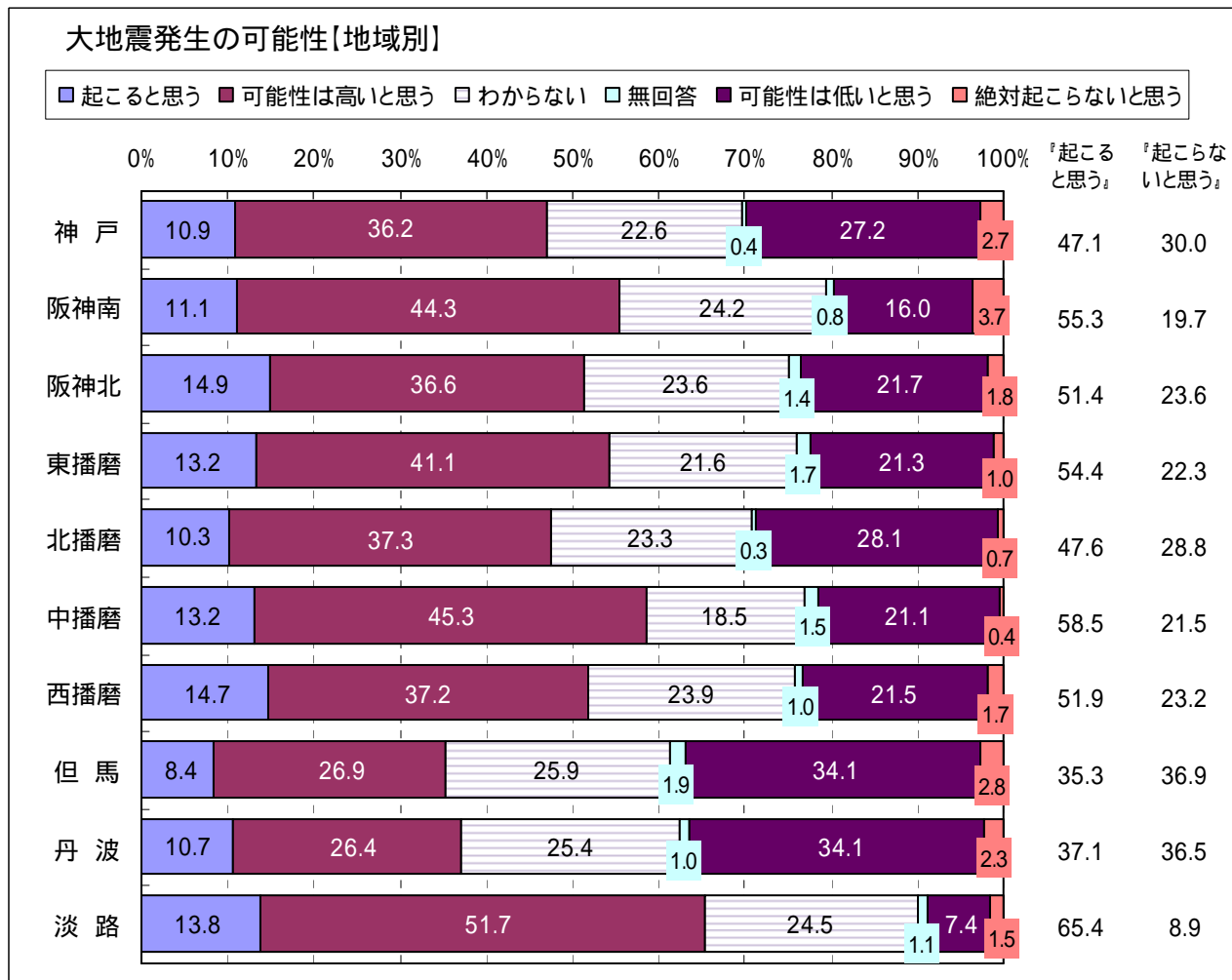
昨年は、東日本大震災の発生を受け、減少傾向から一転して『起こると思う』が6割弱に達したが、今回は、前年より6.6ポイント減少した。

一方で、『起こらないと思う』は、前年より0.7ポイント減少している。



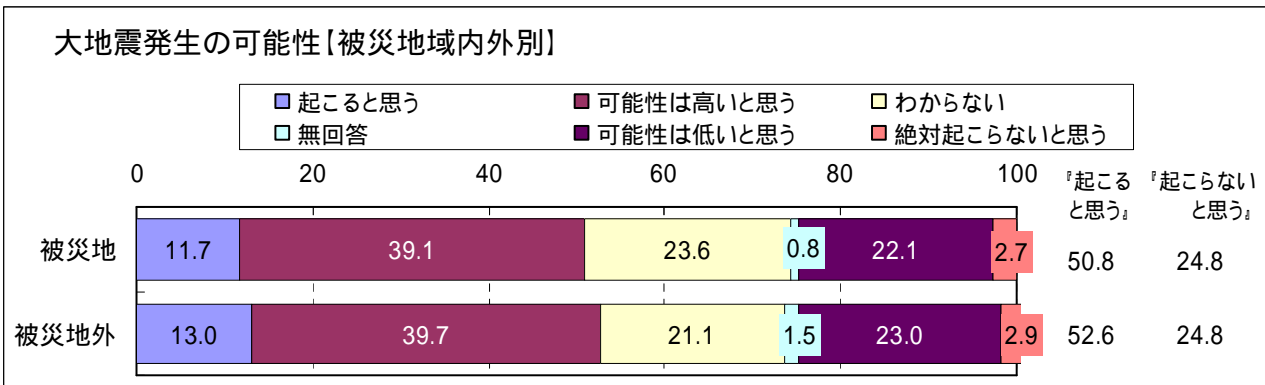
【地域別】

『起こると思う』でみると、淡路地域が6割半ばで最も高い一方で、但馬、丹波では、3割半ばと低くなっている。



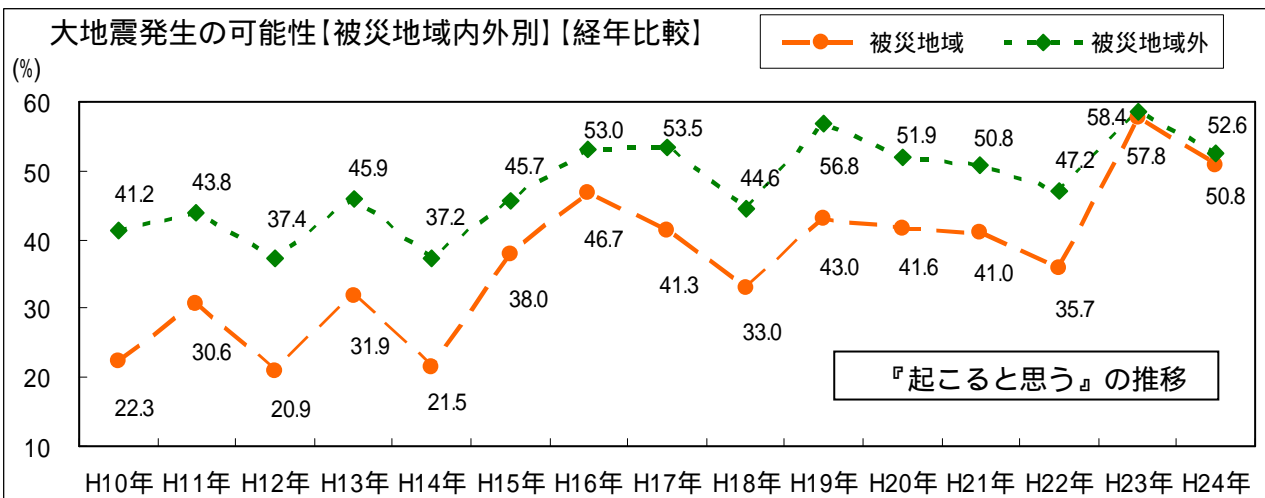
【被災地域内外別】

被災地内外の違いをみると、被災地内よりも被災地外の方がわずかながら『起こると思う』の割合が高くなっている。



【被災地域内外別『起こると思う』(経年比較)】

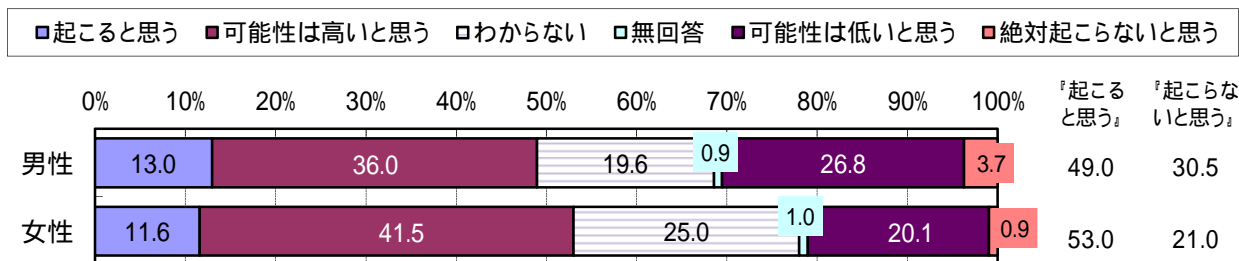
前回は、東日本大震災の影響で、被災地内外ともに『起こると思う』が5割後半に増加したが、今回はいずれも減少した。また、H22以前に見られたような被災地内外の差はほとんどない。



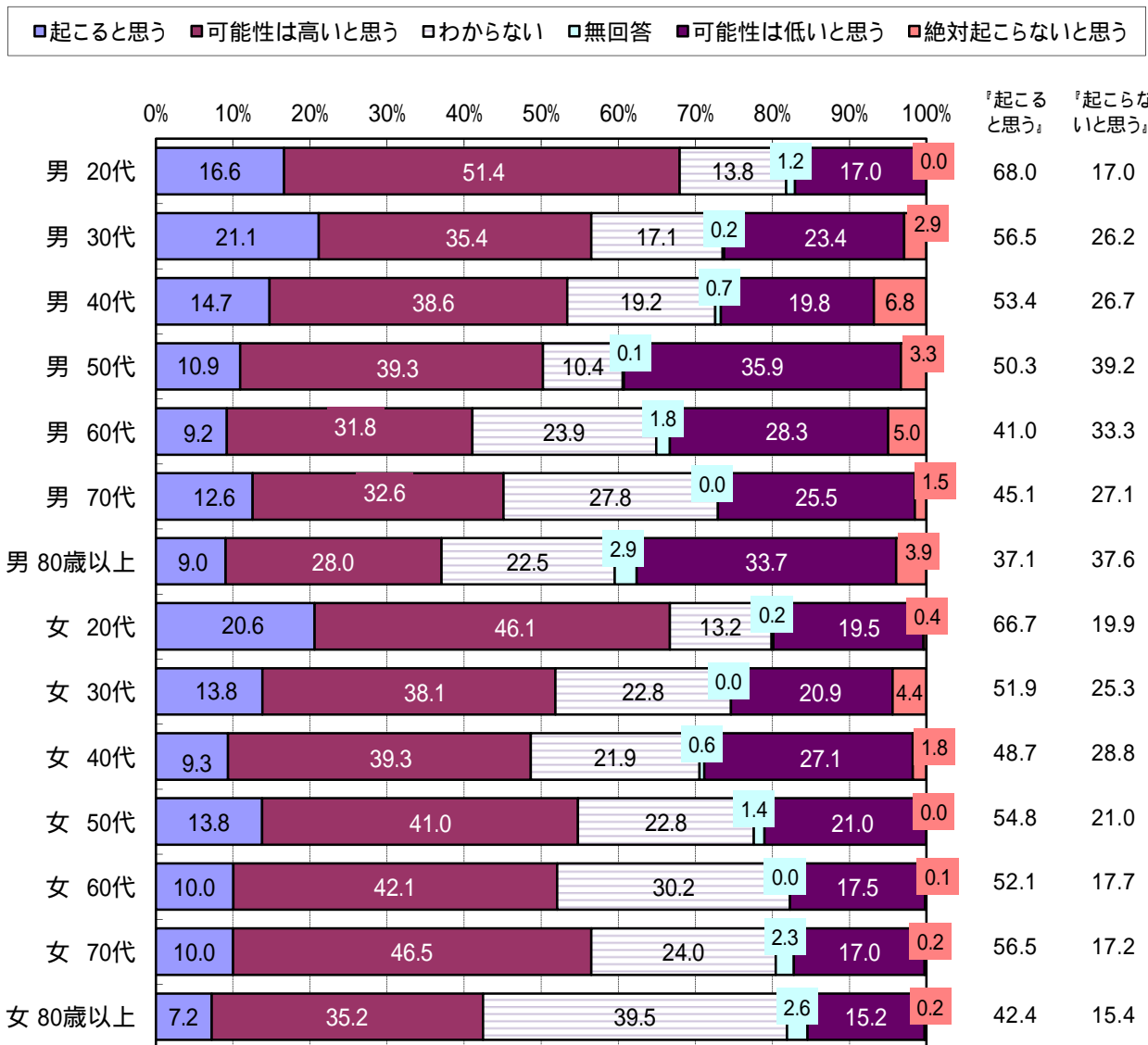
【性別、性・年代別】

性別で見ると、男性の方が女性より『起こると思う』割合が低く、特に年代が高くなるほどその傾向がみられる。

大地震発生の可能性【性別】



大地震発生の可能性【性・年代別】



問16 地域活動への参加

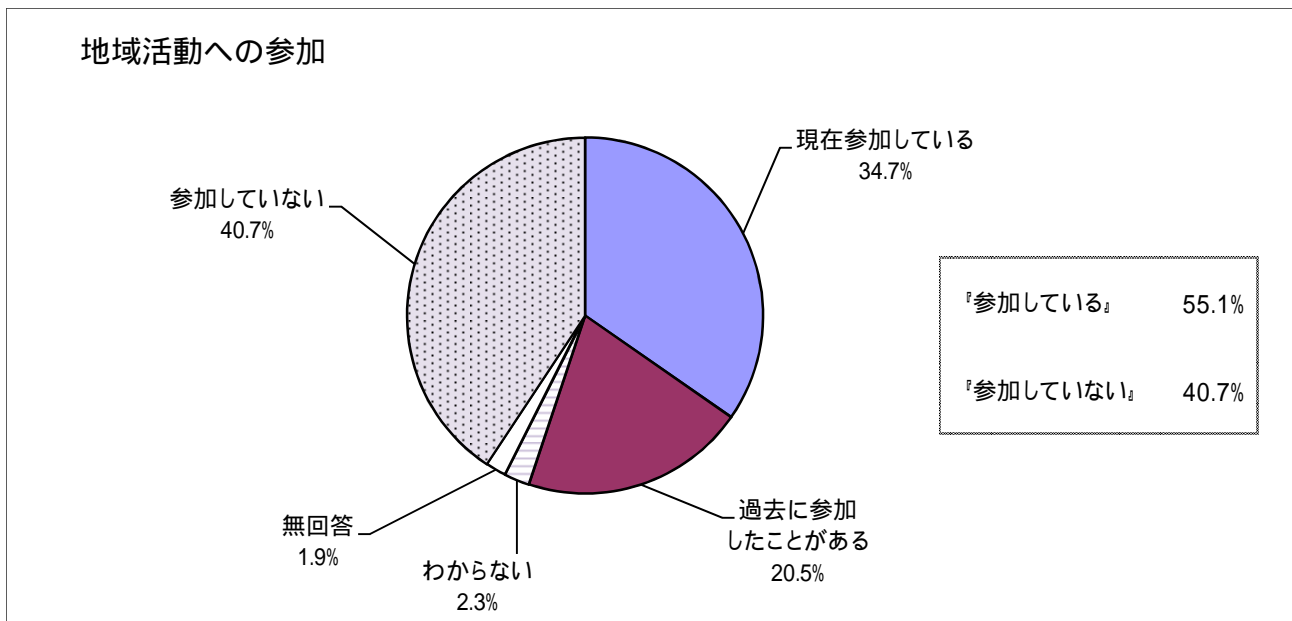
問16

あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 現在参加している | 3 参加していない |
| 2 過去に参加したことがある | 4 わからない |

【全 県】

「現在参加している」と「過去に参加したことがある」を合わせた『参加している』が5割半ばとなり、半数以上の人は何らかの地域活動に参加している。

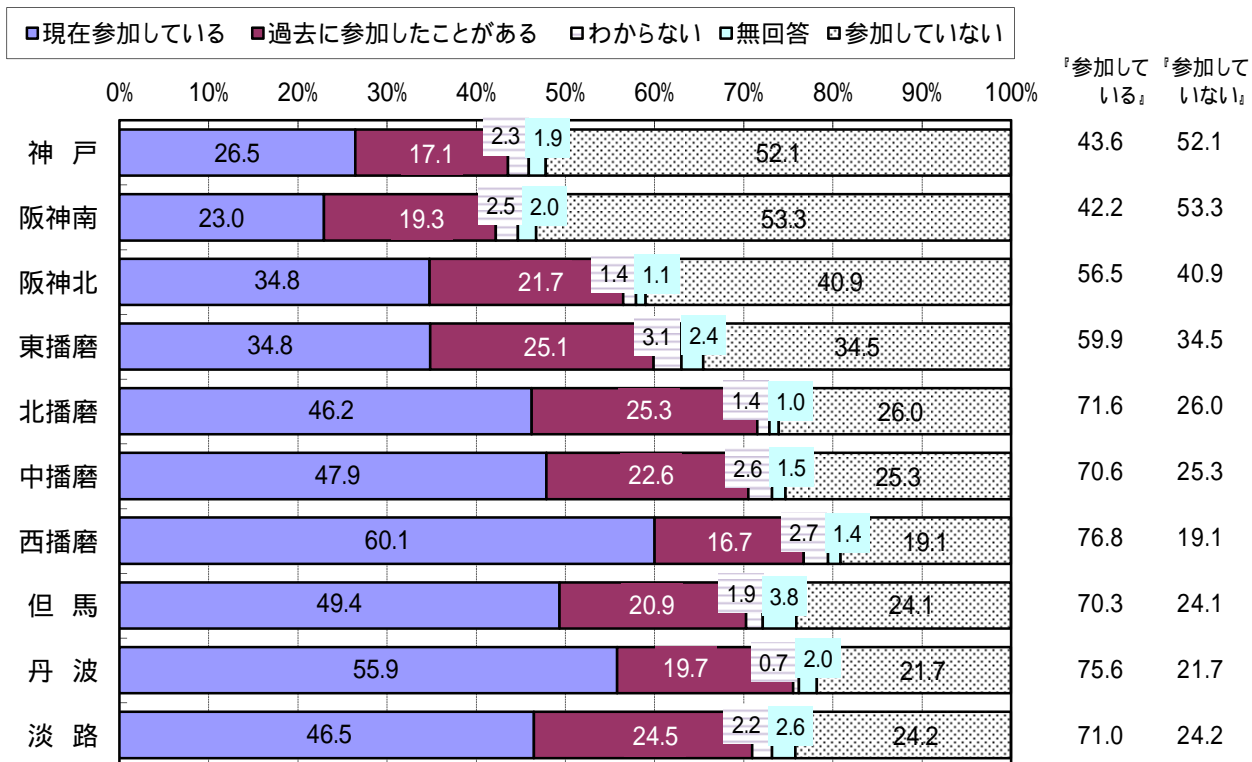


【地域別】

『参加している』が最も多いのは西播磨、次いで丹波となっており7割半ばに達している。なお、10地域中6地域で7割を上回っている。

『参加していない』が最も多いのは阪神南で、神戸とともに5割を超える。

地域活動への参加【地域別】

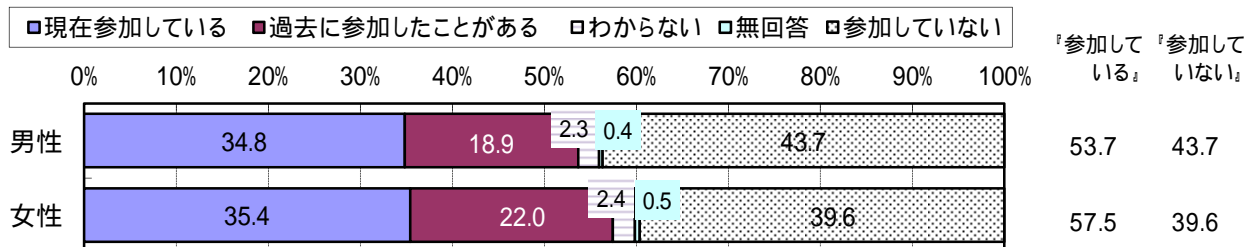


【性別、性・年代別】

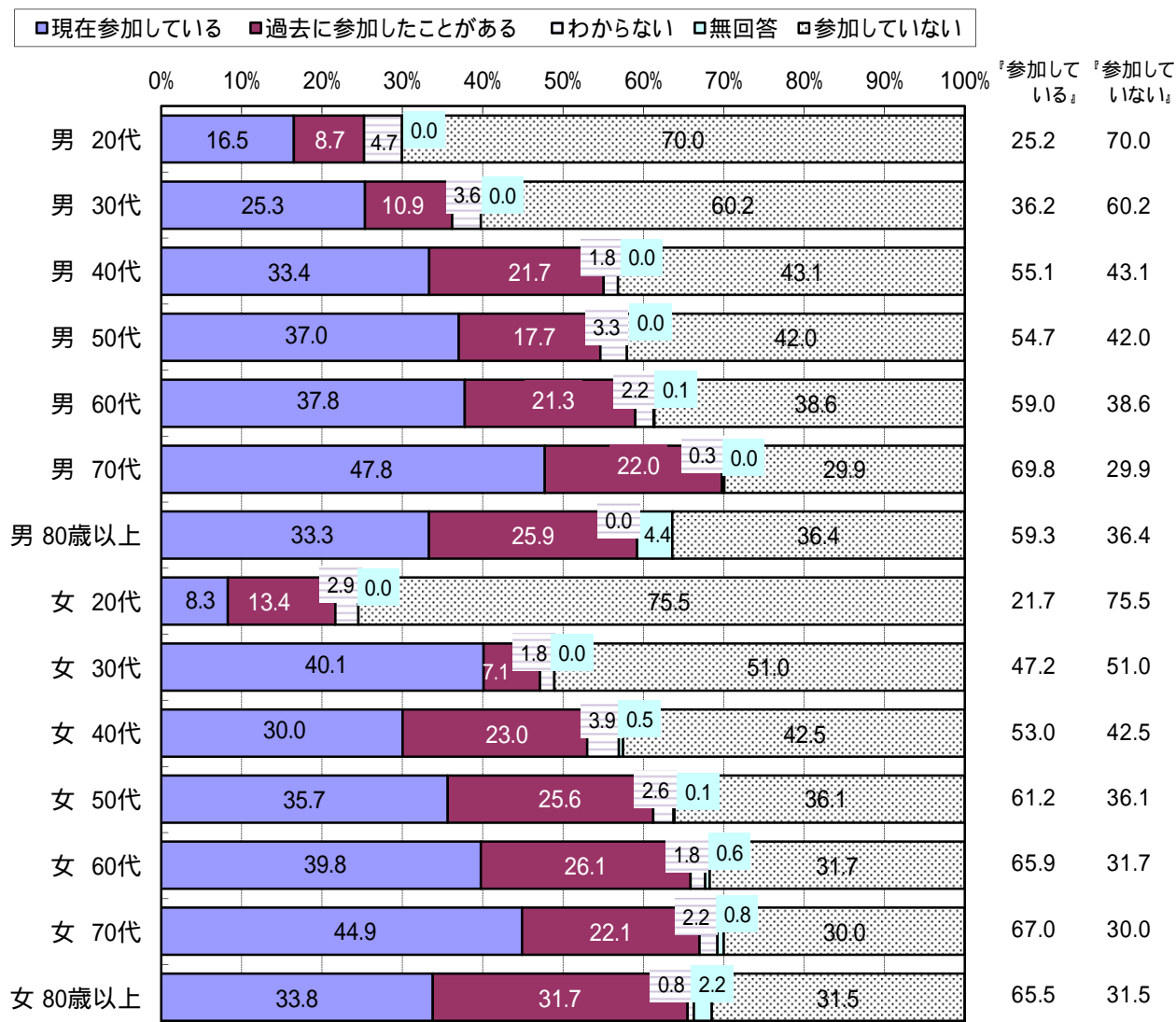
性別では、女性の『参加している』割合がわずかに男性を上回っているが、大きな差は見られない。

性・年代別では、男女ともに高齢層ほど『参加している』割合が高い。一方、20代では男女とも2割台となっている。

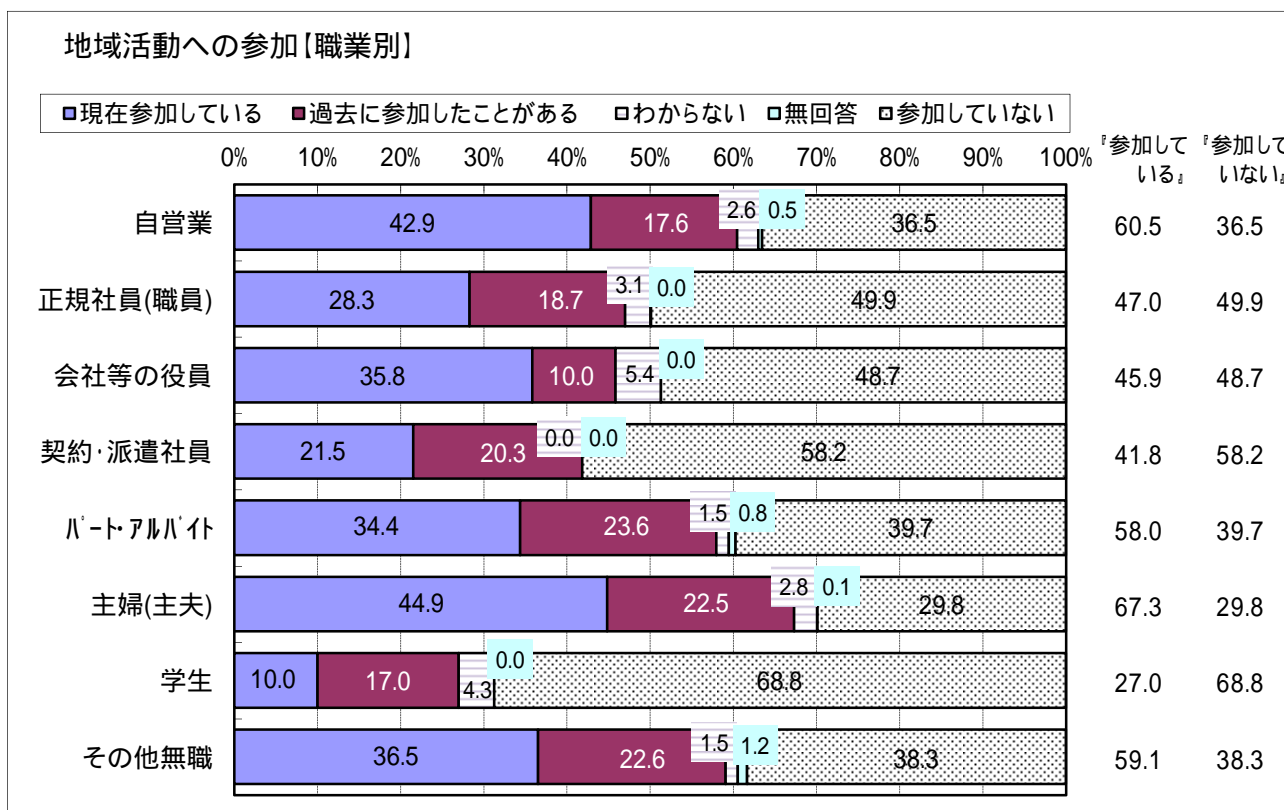
地域活動への参加【性別】



地域活動への参加【性・年代別】



【職業別】



問17 県政への関心

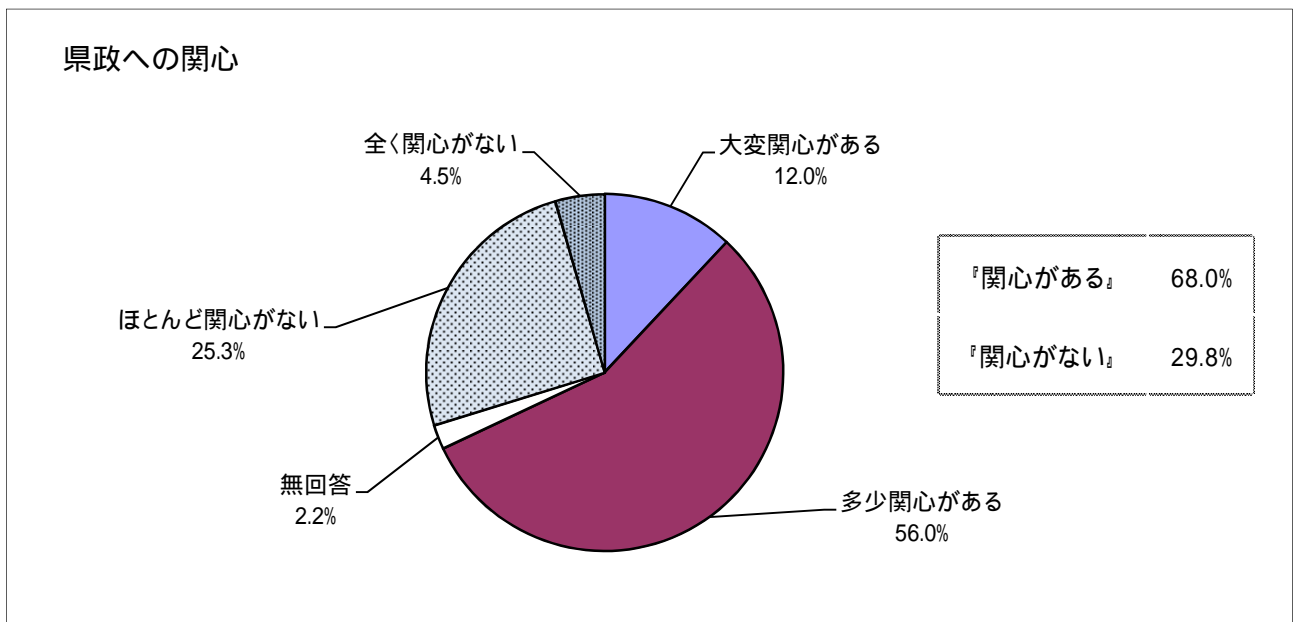
問17

あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 大変関心がある | 3 ほとんど関心がない |
| 2 多少関心がある | 4 全く関心がない |

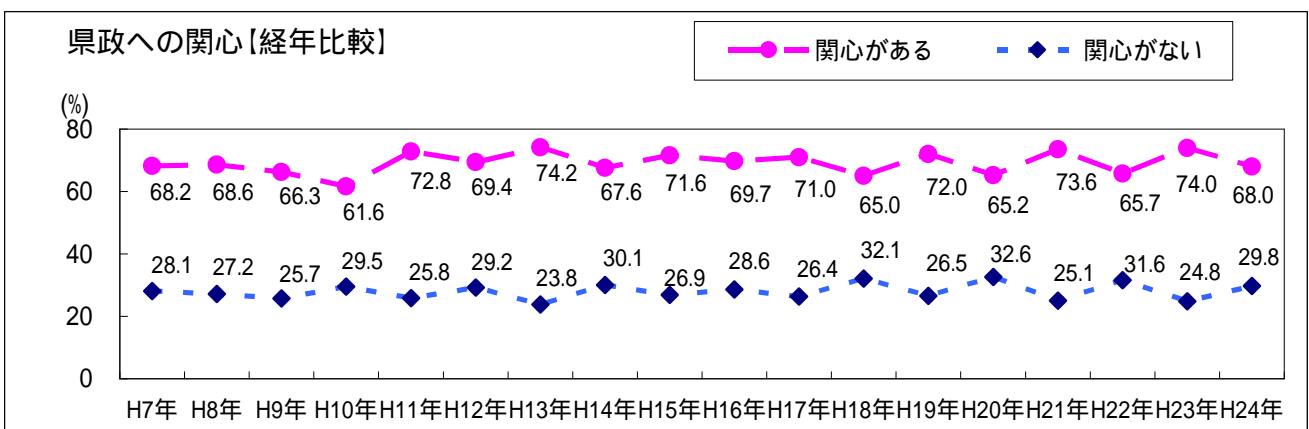
【全 県】

「大変関心がある」と「多少関心がある」を合わせた『関心がある』が約7割となっている。



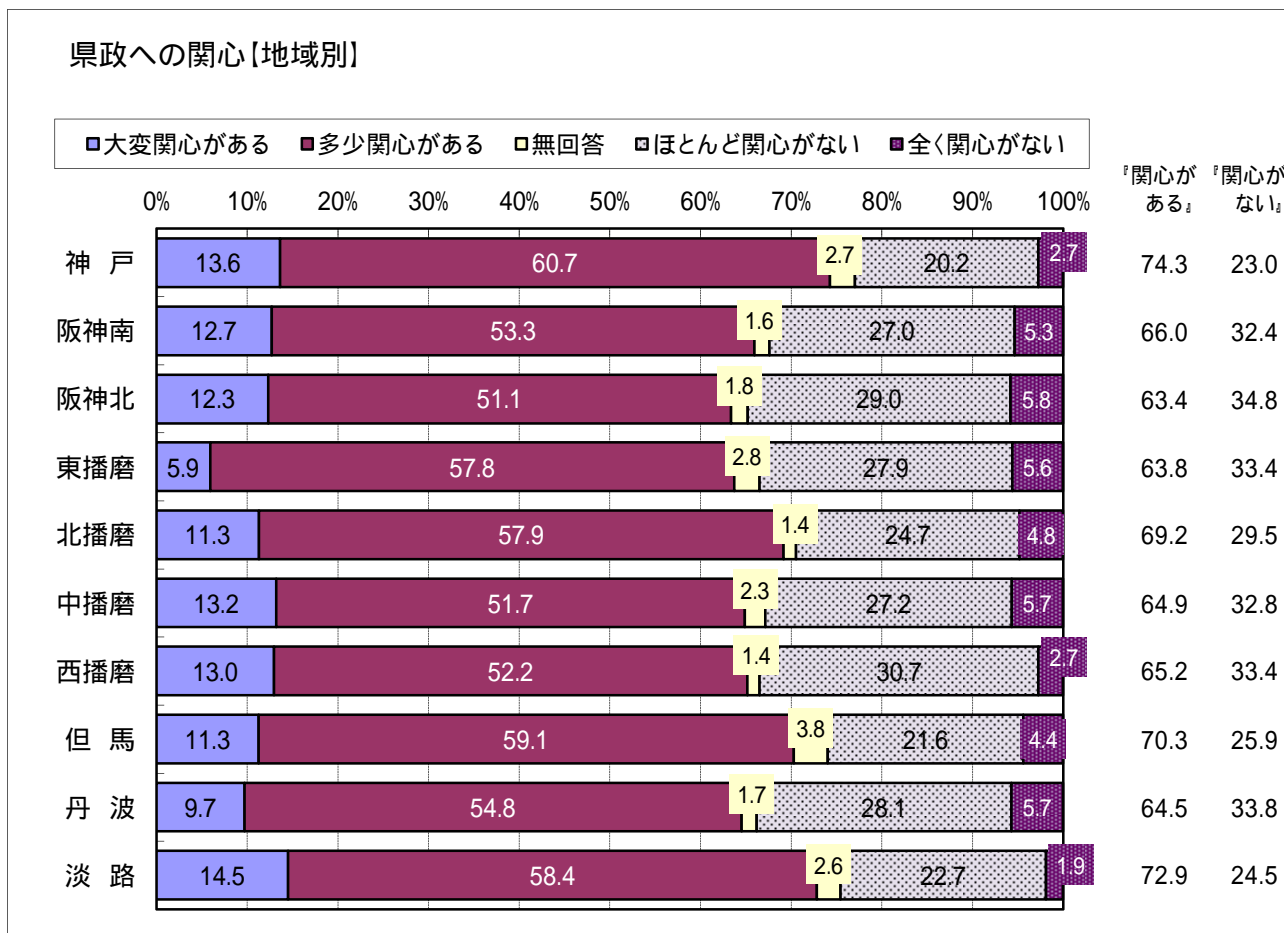
【経年比較】

『関心がある』は過去2番目に高い割合であった前年より6.0ポイント減少、一方の『関心がない』は前年より5.0ポイント増加している。



【地域別】

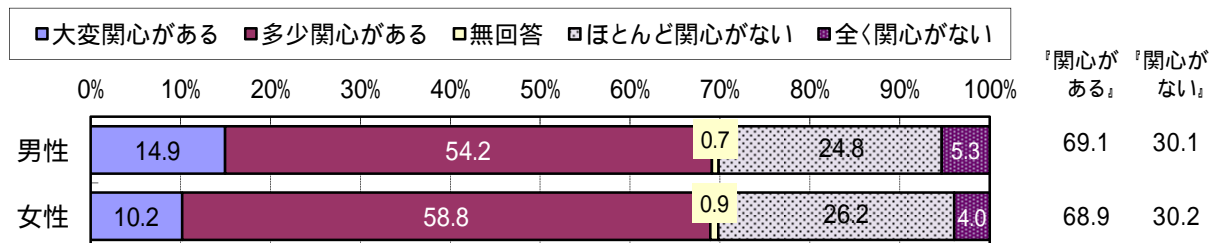
神戸が最も関心が高く7割半ば、淡路、但馬も7割前後で続いている。



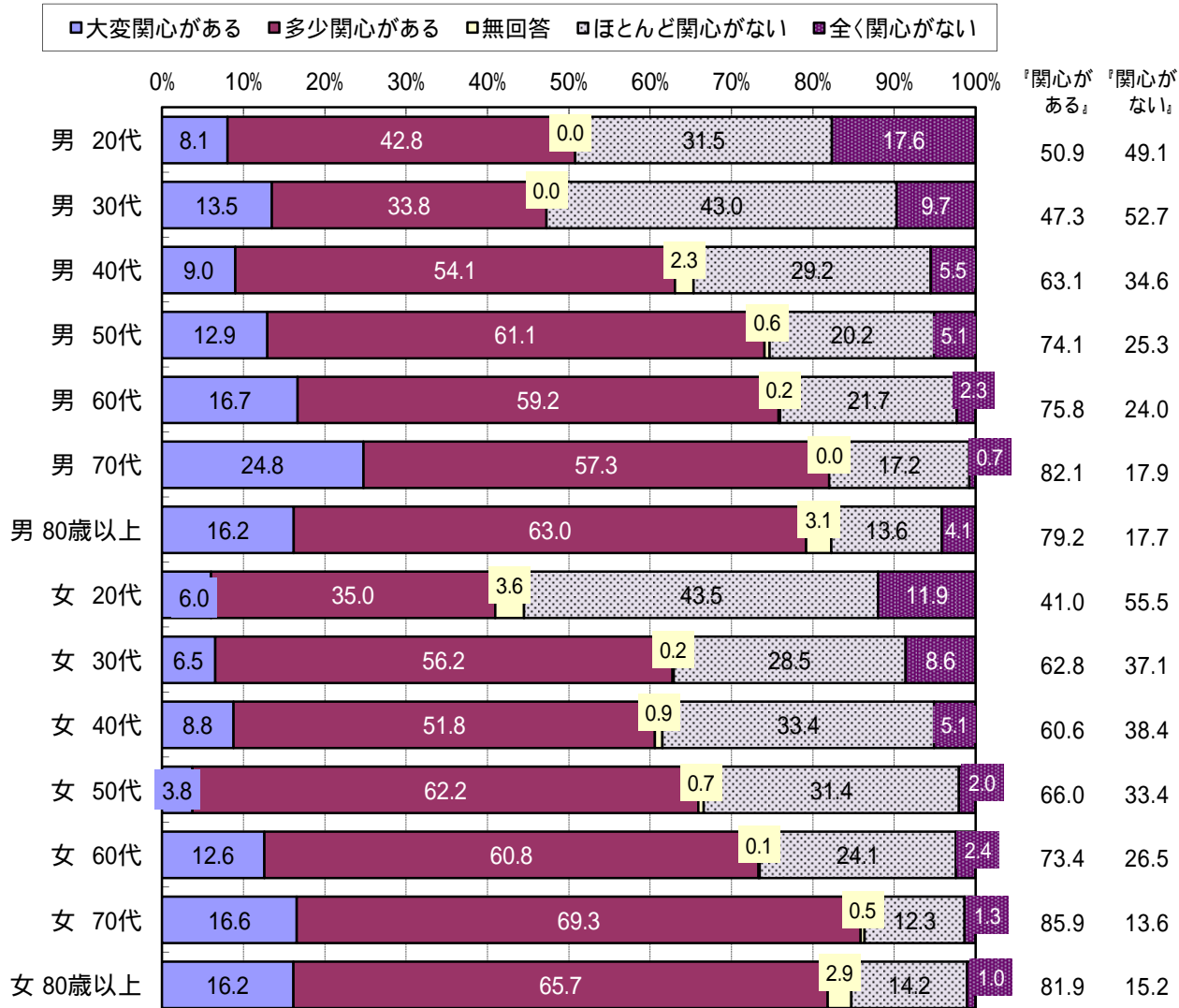
【性別、性・年代別】

性別による違いはみられず、男女ともに、年代が高くなるに連れて関心が高くなる傾向がみられる。

県政への関心【性別】



県政への関心【性・年代別】



問18 県政への評価

問18

県が行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号にをつけてください。

- ア 国際的な交流や協力
- イ 県政の広報・広聴活動
- ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- エ 防災対策の充実
- オ 生涯学習活動への支援
- カ 芸術文化の振興
- キ 環境の保全と創造
- ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- コ 県内中小企業の育成
- サ 雇用の安定と職業能力の開発
- シ 観光の振興
- ス 農林水産業の活性化対策
- セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- ソ 良質な住宅の供給
- タ 学校教育の充実
- チ 交通安全・防犯対策
- ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1 よくやっている | 3 どちらともいえない | 5 もっと努力が必要 |
| 2 まあまあやっている | 4 もう少し努力が必要 | |

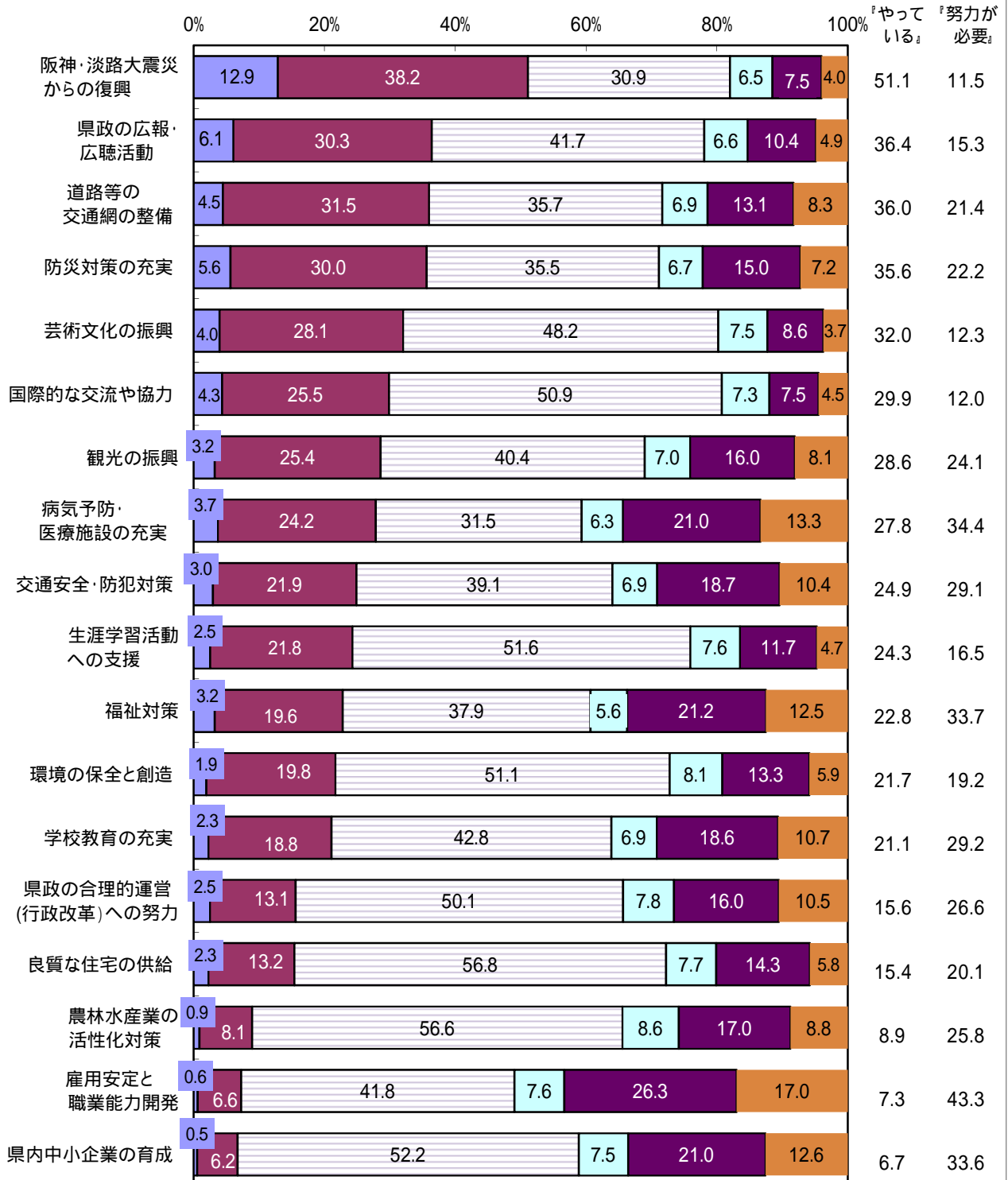
【全 県】

「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』は〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕が最も多く、〔県政の広報・広聴活動〕、〔交通網の整備〕、〔防災対策の充実〕と続いている。

「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」を合わせた『努力が必要』は、〔雇用の安定と職業能力の開発〕が最も多く、〔病気の予防や病院などの医療施設の充実〕、〔お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕、〔県内中小企業の育成〕と続いているが、前年と比較するといずれも割合は減少している。

県政への評価

■よくやっている
 ■まあまあやっている
 □どちらともいえない
 □無回答
 ■もう少し努力が必要
 ■もっと努力が必要



【前年度比較】

『やっている』では、〔学校教育の充実〕(5.7ポイント増)〔阪神・淡路大震災からの復興〕(5.4ポイント増)〔病気予防・医療施設の充実〕(2.8ポイント増)など、8項目で増加している。

一方、『努力が必要』はいずれの項目でも前年度より減少している。

県政への評価【前年度比較】

よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
タ 学校教育の充実	5.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	5.4
ケ 病気予防・医療施設の充実	2.8
エ 防災対策の充実	2.1
サ 雇用安定と職業能力開発	1.3
ス 農林水産業の活性化対策	1.2
ク 福祉対策	0.8
コ 県内中小企業の育成	0.4
オ 生涯学習活動への支援	-0.5
カ 芸術文化の振興	-0.5
ア 国際的な交流や協力	-0.7
イ 県政の広報・広聴活動	-1.0
ロ 良質な住宅の供給	-1.2
チ 交通安全・防犯対策	-1.7
リ 県政の合理的運営への努力	-2.1
セ 道路等の交通網の整備	-2.6
キ 環境の保全と創造	-9.3

県政への評価【前年度比較】

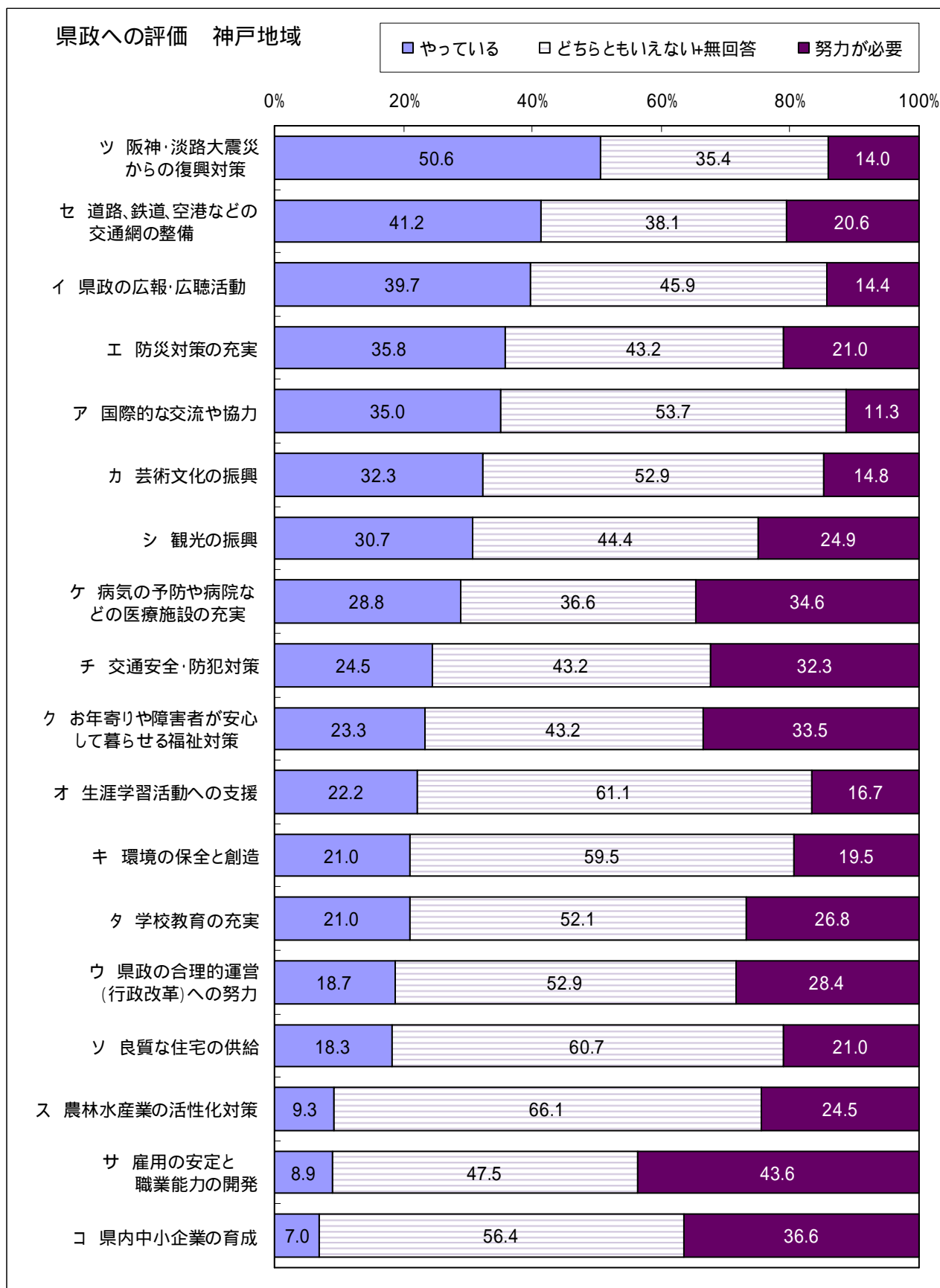
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ア 国際的な交流や協力	-0.3
チ 交通安全・防犯対策	-0.6
ロ 良質な住宅の供給	-0.6
セ 道路等の交通網の整備	-1.3
ク 福祉対策	-2.0
エ 防災対策の充実	-2.2
カ 芸術文化の振興	-2.3
リ 県政の合理的運営への努力	-2.4
タ 学校教育の充実	-2.8
キ 環境の保全と創造	-3.6
ス 農林水産業の活性化対策	-4.2
オ 生涯学習活動への支援	-4.4
イ 県政の広報・広聴活動	-4.7
コ 県内中小企業の育成	-5.5
ケ 病気予防・医療施設の充実	-5.9
サ 雇用安定と職業能力開発	-7.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-7.2

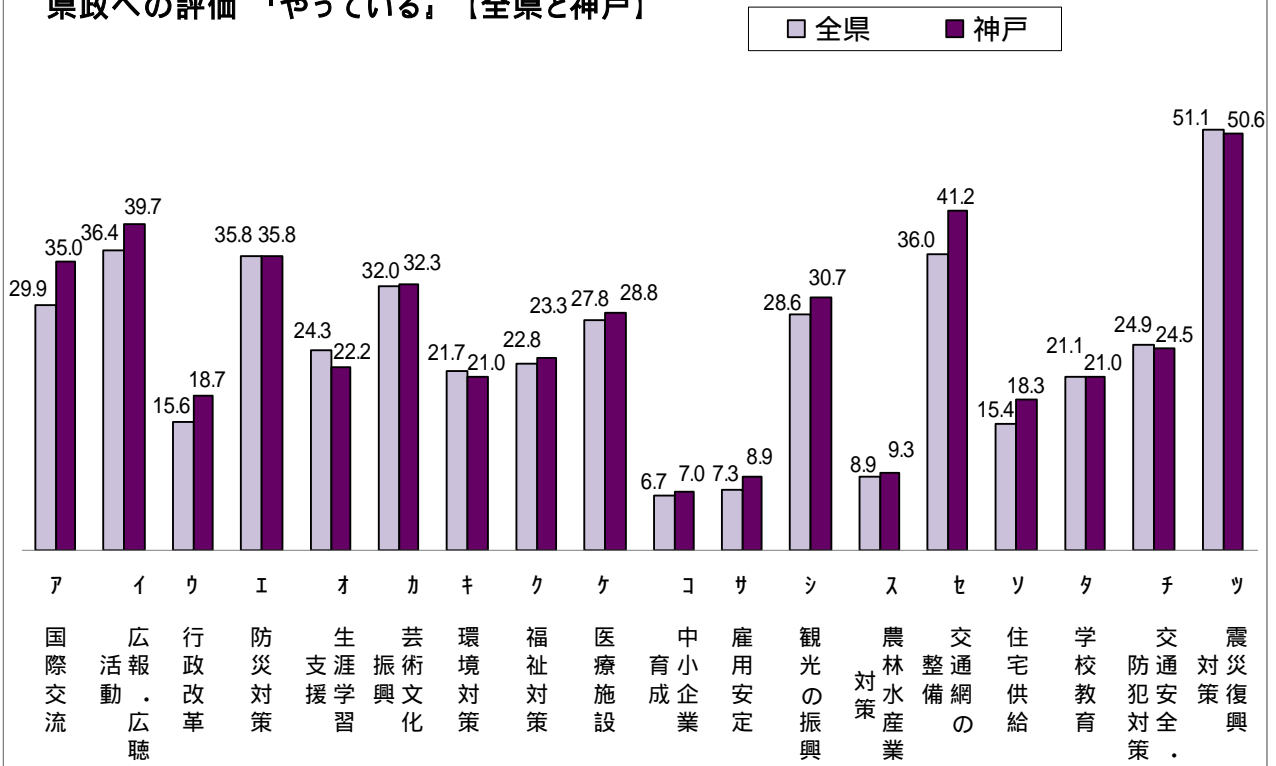
「シ 観光の振興」は新設項目のため前年度比較は記載していない。

《神戸地域》

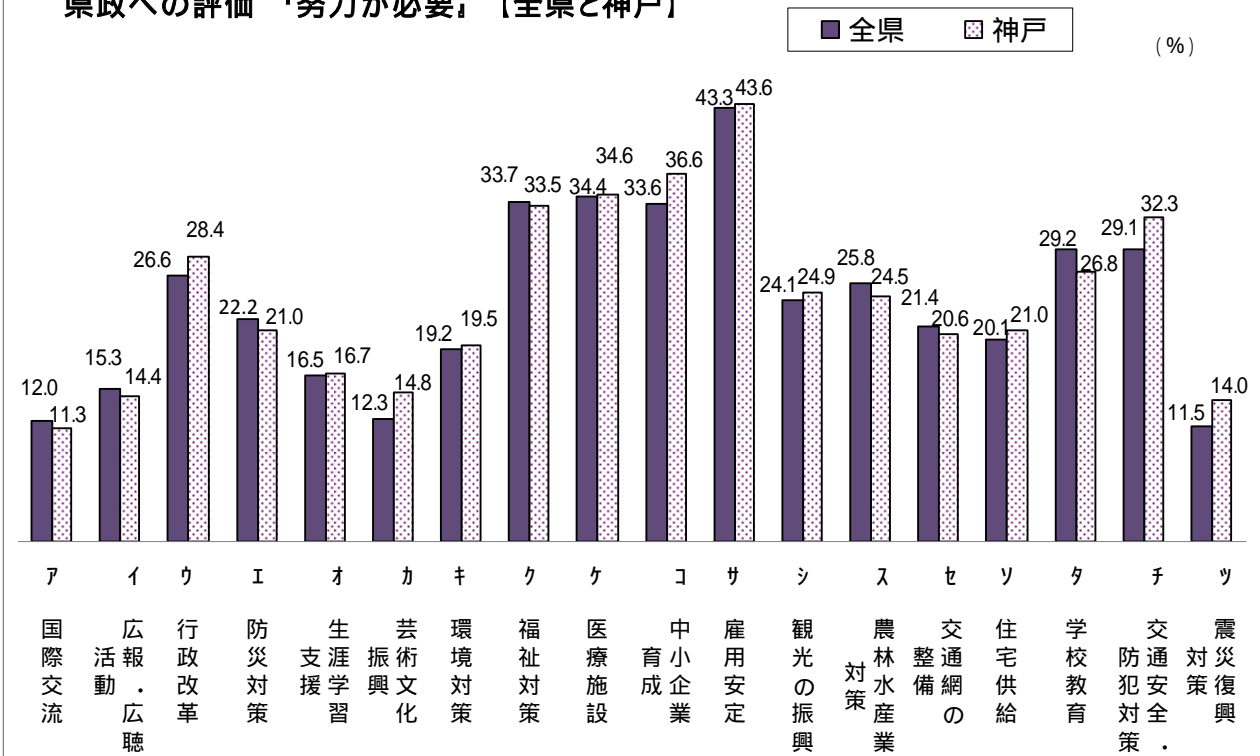
〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



県政への評価 「やっている」【全県と神戸】



県政への評価 「努力が必要」【全県と神戸】



県政への評価〔全県結果との比較〕
よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
セ 道路等の交通網の整備	5.3
ア 国際的な交流や協力	5.2
イ 県政の広報・広聴活動	3.3
ウ 県政の合理的運営への努力	3.1
ソ 良質な住宅の供給	2.9
シ 観光の振興	2.1
サ 雇用安定と職業能力開発	1.7
ケ 病気予防・医療施設の充実	0.9
ク 福祉対策	0.6
ス 農林水産業の活性化対策	0.4
コ 県内中小企業の育成	0.3
カ 芸術文化の振興	0.3
エ 防災対策の充実	0.0
ト 学校教育の充実	-0.1
チ 交通安全・防犯対策	-0.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-0.5
キ 環境の保全と創造	-0.7
オ 生涯学習活動への支援	-2.1

県政への評価〔全県結果との比較〕
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
チ 交通安全・防犯対策	3.2
コ 県内中小企業の育成	3.0
カ 芸術文化の振興	2.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	2.5
ウ 県政の合理的運営への努力	1.8
ソ 良質な住宅の供給	0.9
シ 観光の振興	0.8
キ 環境の保全と創造	0.3
オ 生涯学習活動への支援	0.3
ケ 病気予防・医療施設の充実	0.3
サ 雇用安定と職業能力開発	0.3
ク 福祉対策	-0.3
ア 国際的な交流や協力	-0.7
セ 道路等の交通網の整備	-0.8
イ 県政の広報・広聴活動	-0.9
エ 防災対策の充実	-1.2
ス 農林水産業の活性化対策	-1.3
ト 学校教育の充実	-2.4

県政への評価〔前年結果との比較〕
よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ト 学校教育の充実	6.6
ス 農林水産業の活性化対策	2.7
サ 雇用安定と職業能力開発	2.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	1.5
イ 県政の広報・広聴活動	1.1
ア 国際的な交流や協力	1.0
ク 福祉対策	0.9
ケ 病気予防・医療施設の充実	0.7
コ 県内中小企業の育成	0.7
セ 道路等の交通網の整備	0.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-0.3
エ 防災対策の充実	-0.3
チ 交通安全・防犯対策	-0.7
ソ 良質な住宅の供給	-1.0
オ 生涯学習活動への支援	-4.8
カ 芸術文化の振興	-4.9
キ 環境の保全と創造	-14.1

県政への評価〔前年結果との比較〕
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
チ 交通安全・防犯対策	3.9
ソ 良質な住宅の供給	0.7
セ 道路等の交通網の整備	0.6
カ 芸術文化の振興	0.4
ウ 県政の合理的運営への努力	-0.4
ク 福祉対策	-0.6
ケ 病気予防・医療施設の充実	-1.2
エ 防災対策の充実	-1.4
コ 県内中小企業の育成	-1.7
ア 国際的な交流や協力	-1.7
オ 生涯学習活動への支援	-2.6
キ 環境の保全と創造	-2.7
ス 農林水産業の活性化対策	-2.9
ト 学校教育の充実	-5.1
サ 雇用安定と職業能力開発	-5.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-6.0
イ 県政の広報・広聴活動	-9.1

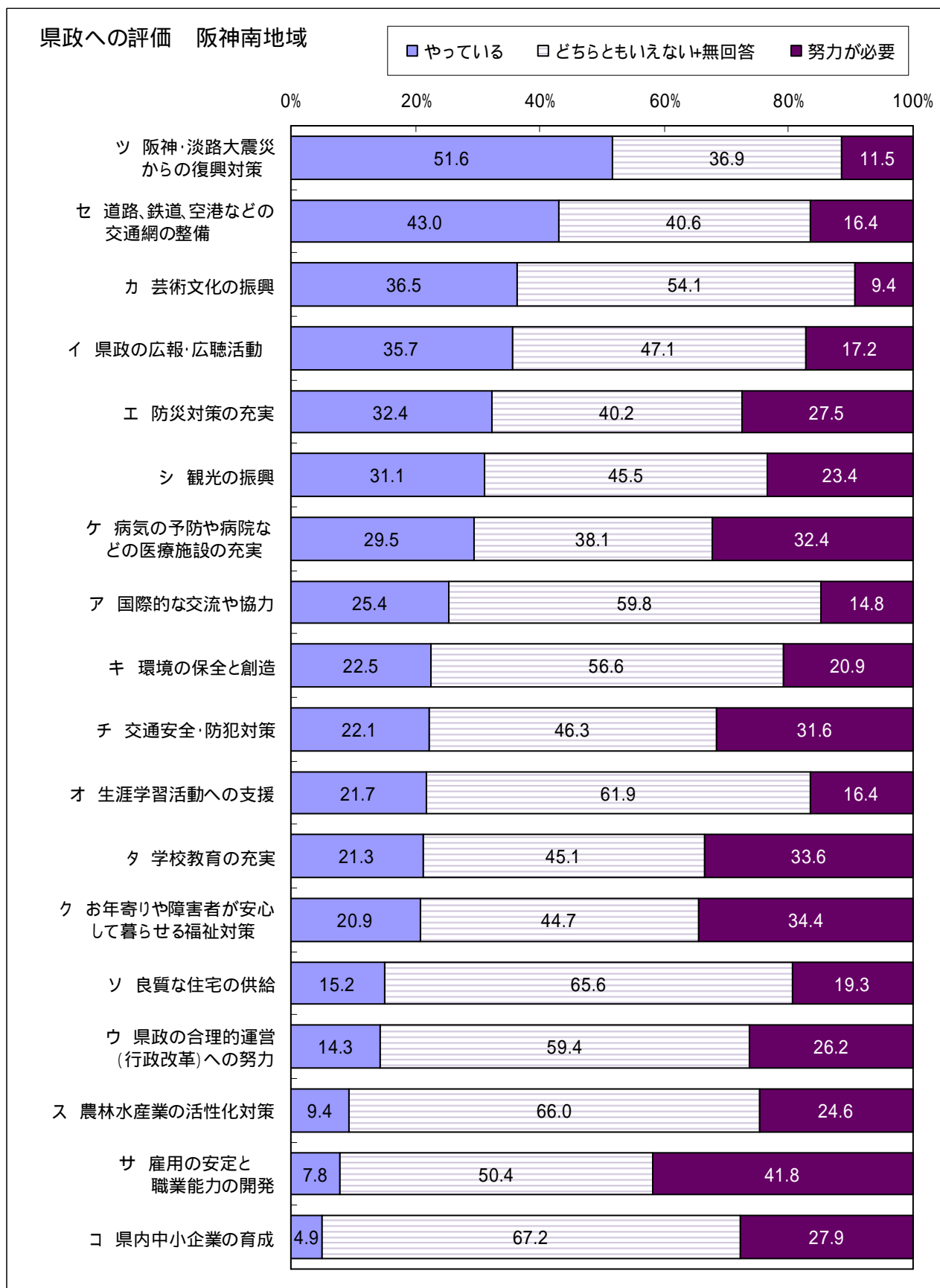
「シ 観光の振興」は新設項目のため前年度比較は記載していない。

全県との比較では、〔道路や交通網の整備〕〔国際的な交流や協力〕等の評価が高く、〔交通安全・防犯対策〕〔県内中小企業の育成〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔学校教育の充実〕等の評価が高く、〔交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。

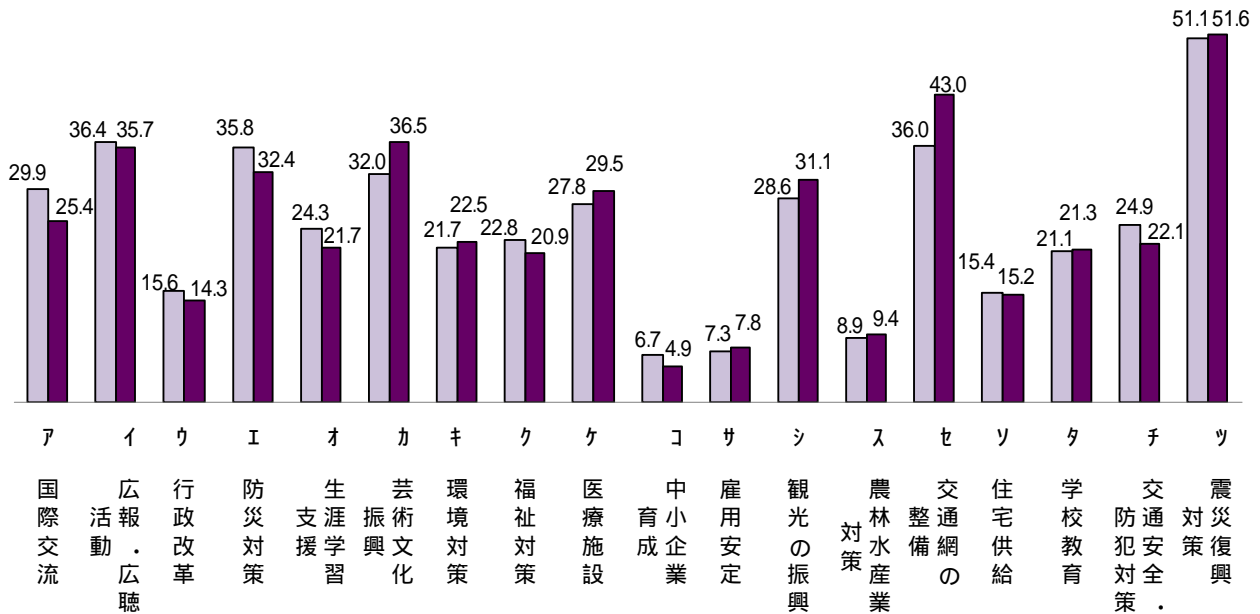
《阪神南地域》

〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



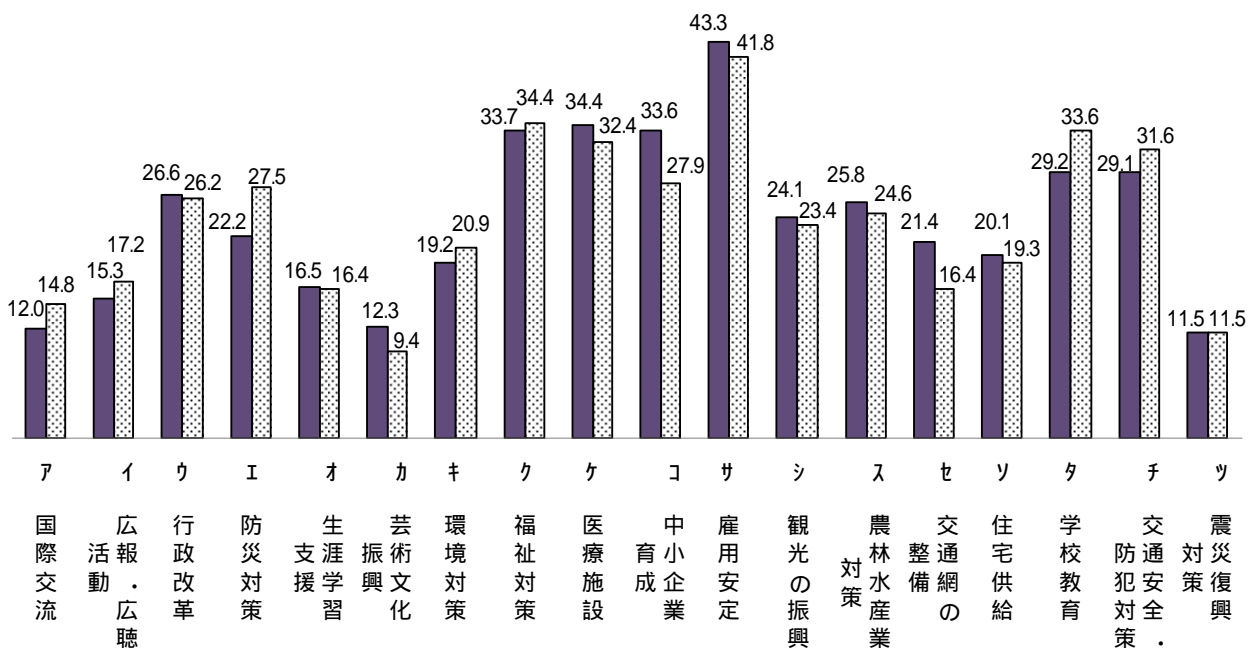
県政への評価 「やっている」【全県と阪神南】

■ 全県 ■ 阪神南 (%)



県政への評価 「努力が必要」【全県と阪神南】

■ 全県 ■ 阪神南 (%)



県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
セ 道路等の交通網の整備	7.0
カ 芸術文化の振興	4.4
シ 観光の振興	2.6
ケ 病気予防・医療施設の充実	1.7
キ 環境の保全と創造	0.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	0.6
サ 雇用安定と職業能力開発	0.5
ス 農林水産業の活性化対策	0.5
タ 学校教育の充実	0.2
ソ 良質な住宅の供給	-0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-0.7
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.3
コ 県内中小企業の育成	-1.8
ク 福祉対策	-1.9
オ 生涯学習活動への支援	-2.6
チ 交通安全・防犯対策	-2.8
イ 防災対策の充実	-3.4
ア 国際的な交流や協力	-4.5

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
イ 防災対策の充実	5.3
タ 学校教育の充実	4.4
ア 国際的な交流や協力	2.8
チ 交通安全・防犯対策	2.4
イ 県政の広報・広聴活動	1.9
キ 環境の保全と創造	1.7
ク 福祉対策	0.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	0.0
オ 生涯学習活動への支援	-0.1
ウ 県政の合理的運営への努力	-0.3
シ 観光の振興	-0.7
ソ 良質な住宅の供給	-0.8
ス 農林水産業の活性化対策	-1.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.5
ケ 病気予防・医療施設の充実	-2.0
カ 芸術文化の振興	-2.9
セ 道路等の交通網の整備	-5.0
コ 県内中小企業の育成	-5.7

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
タ 学校教育の充実	4.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	3.1
サ 雇用安定と職業能力開発	2.1
ク 福祉対策	1.7
ケ 病気予防・医療施設の充実	1.7
ス 農林水産業の活性化対策	1.2
オ 生涯学習活動への支援	1.0
カ 芸術文化の振興	0.8
セ 道路等の交通網の整備	-1.3
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.6
コ 県内中小企業の育成	-2.6
ソ 良質な住宅の供給	-2.9
イ 県政の広報・広聴活動	-3.1
イ 防災対策の充実	-3.3
チ 交通安全・防犯対策	-3.8
ア 国際的な交流や協力	-5.0
キ 環境の保全と創造	-9.8

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
タ 学校教育の充実	7.7
イ 防災対策の充実	5.7
ア 国際的な交流や協力	2.7
ク 福祉対策	1.0
ス 農林水産業の活性化対策	0.9
チ 交通安全・防犯対策	0.4
キ 環境の保全と創造	-0.2
イ 県政の広報・広聴活動	-0.8
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.2
ソ 良質な住宅の供給	-1.4
セ 道路等の交通網の整備	-1.7
サ 雇用安定と職業能力開発	-2.6
コ 県内中小企業の育成	-3.3
カ 芸術文化の振興	-3.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-3.9
ケ 病気予防・医療施設の充実	-5.2
オ 生涯学習活動への支援	-5.8

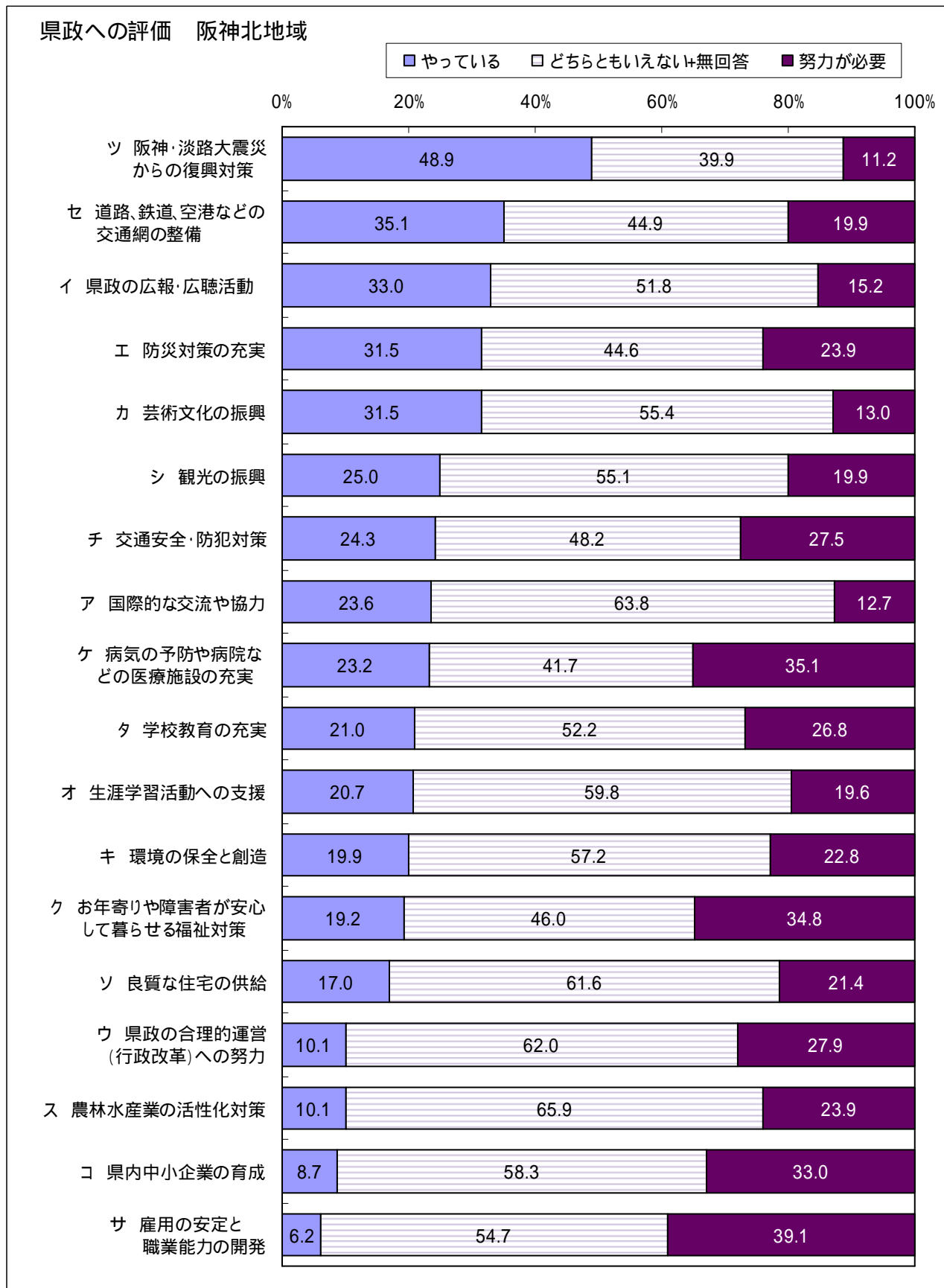
「シ 観光の振興」は新設項目のため前年度比較は記載していない。

全県との比較では、〔道路や交通網の整備〕〔芸術文化の振興〕等の評価が高く、〔防災対策の充実〕〔学校教育の充実〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔学校教育の充実〕〔阪神・淡路大震災からの復興〕等の評価が高いが、同じ〔学校教育の充実〕で努力が求められている。

《阪神北地域》

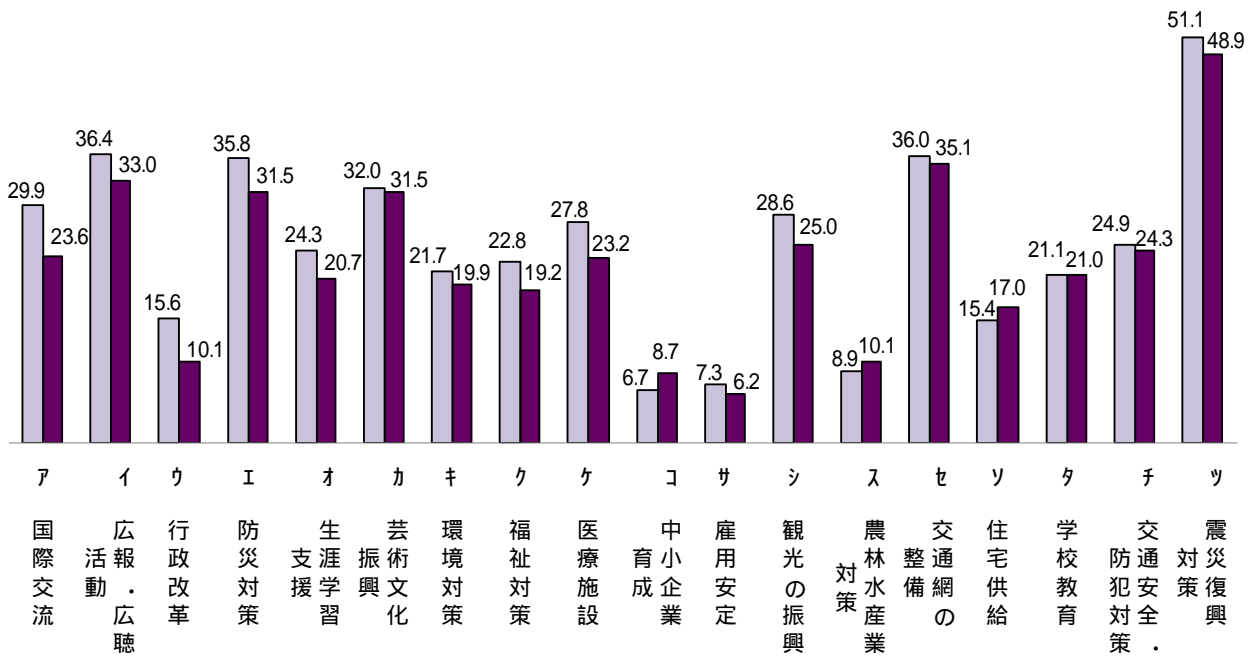
〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



県政への評価 「やっている」【全県と阪神北】

□ 全県 ■ 阪神北

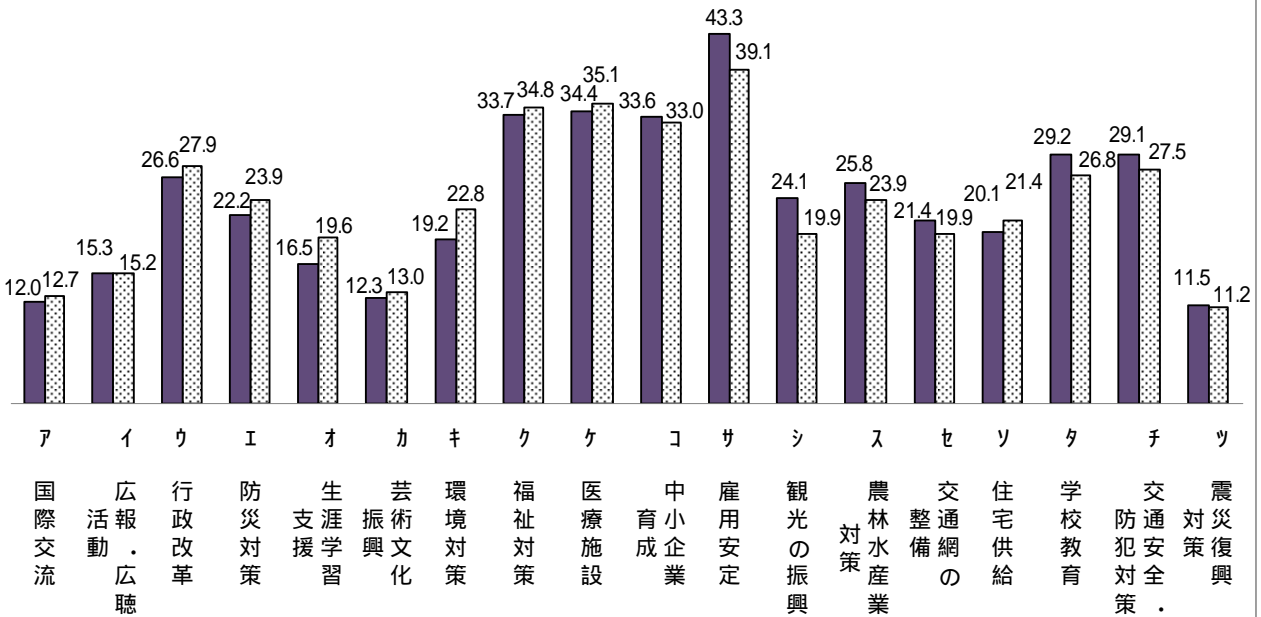
(%)



県政への評価 「努力が必要」【全県と阪神北】

■ 全県 □ 阪神北

(%)



県政への評価【全県結果との比較】

よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
コ 県内中小企業の育成	2.0
ソ 良質な住宅の供給	1.6
ス 農林水産業の活性化対策	1.2
タ 学校教育の充実	-0.1
カ 芸術文化の振興	-0.5
チ 交通安全・防犯対策	-0.6
セ 道路等の交通網の整備	-0.8
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.1
キ 環境の保全と創造	-1.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-2.2
イ 県政の広報・広聴活動	-3.4
ク 福祉対策	-3.6
シ 観光の振興	-3.6
オ 生涯学習活動への支援	-3.6
エ 防災対策の充実	-4.3
ケ 病気予防・医療施設の充実	-4.7
ウ 県政の合理的運営への努力	-5.5
ア 国際的な交流や協力	-6.3

県政への評価【全県結果との比較】

もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
キ 環境の保全と創造	3.6
オ 生涯学習活動への支援	3.1
エ 防災対策の充実	1.7
ウ 県政の合理的運営への努力	1.3
ソ 良質な住宅の供給	1.3
ク 福祉対策	1.0
ケ 病気予防・医療施設の充実	0.8
カ 芸術文化の振興	0.8
ア 国際的な交流や協力	0.7
イ 県政の広報・広聴活動	-0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-0.3
コ 県内中小企業の育成	-0.6
セ 道路等の交通網の整備	-1.5
チ 交通安全・防犯対策	-1.6
ス 農林水産業の活性化対策	-1.9
タ 学校教育の充実	-2.4
シ 観光の振興	-4.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-4.2

県政への評価【前年結果との比較】

よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
タ 学校教育の充実	7.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	4.6
コ 県内中小企業の育成	4.2
エ 防災対策の充実	3.8
ケ 病気予防・医療施設の充実	3.4
ソ 良質な住宅の供給	2.7
ス 農林水産業の活性化対策	1.9
サ 雇用安定と職業能力開発	1.1
カ 芸術文化の振興	0.0
ア 国際的な交流や協力	-1.3
オ 生涯学習活動への支援	-1.3
イ 県政の広報・広聴活動	-1.4
ク 福祉対策	-1.8
チ 交通安全・防犯対策	-2.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.3
セ 道路等の交通網の整備	-4.0
キ 環境の保全と創造	-11.3

県政への評価【前年結果との比較】

もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ア 国際的な交流や協力	1.2
キ 環境の保全と創造	0.9
エ 防災対策の充実	0.7
ソ 良質な住宅の供給	0.4
オ 生涯学習活動への支援	0.1
ク 福祉対策	-0.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.7
イ 県政の広報・広聴活動	-2.3
セ 道路等の交通網の整備	-2.4
チ 交通安全・防犯対策	-2.7
カ 芸術文化の振興	-2.9
ス 農林水産業の活性化対策	-3.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-4.4
コ 県内中小企業の育成	-5.6
タ 学校教育の充実	-6.3
ケ 病気予防・医療施設の充実	-7.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-9.9

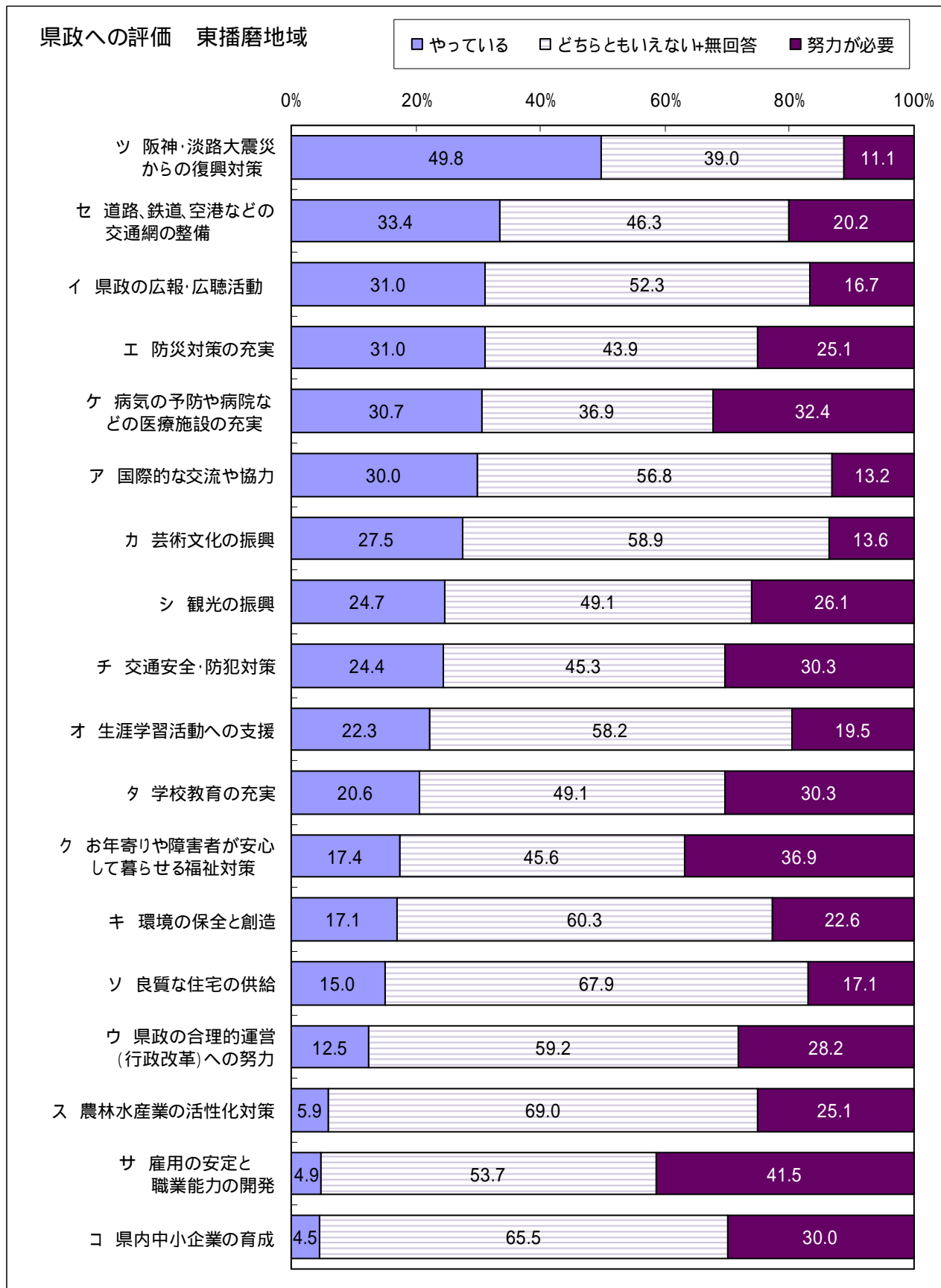
「シ 観光の振興」は新設項目のため前年度比較は記載していない。

全県との比較では、〔県内中小企業の育成〕等で評価が高く、〔環境の保全と創造〕〔生涯学習活動への支援〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔学校教育の充実〕等で評価が高く、〔国際的な交流や協力〕等で努力が求められている。

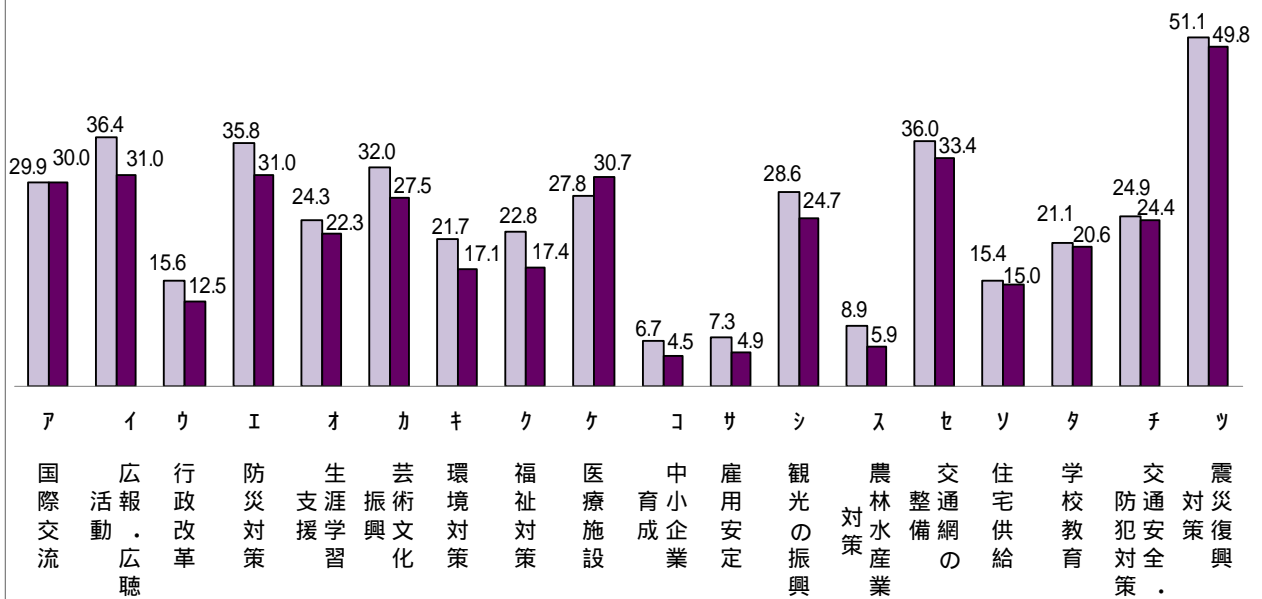
《東播磨地域》

〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



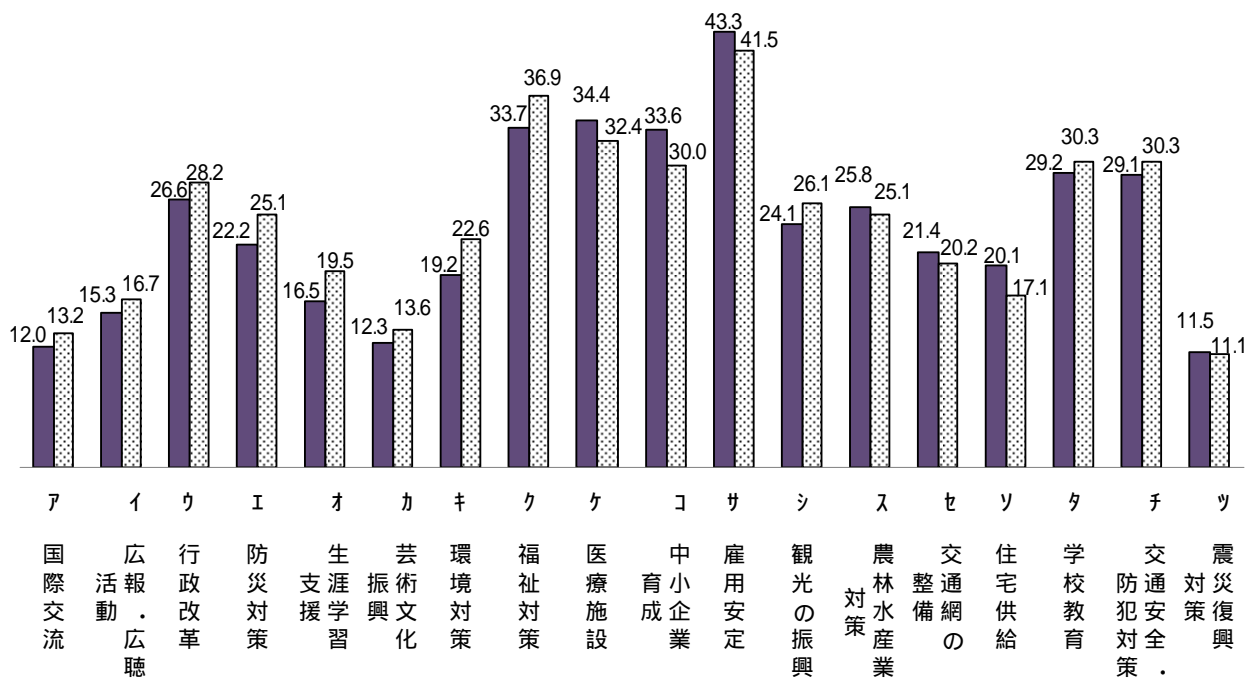
県政への評価 「やっている」【全県と東播磨】

■ 全県 ■ 東播磨 (%)



県政への評価 「努力が必要」【全県と東播磨】

■ 全県 ■ 東播磨 (%)



県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ケ 病気予防・医療施設の充実	2.8
ア 国際的な交流や協力	0.1
ソ 良質な住宅の供給	-0.4
チ 交通安全・防犯対策	-0.5
タ 学校教育の充実	-0.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-1.3
オ 生涯学習活動への支援	-2.0
コ 県内中小企業の育成	-2.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-2.4
セ 道路等の交通網の整備	-2.5
ス 農林水産業の活性化対策	-3.0
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.1
シ 観光の振興	-3.9
カ 芸術文化の振興	-4.5
キ 環境の保全と創造	-4.6
イ 防災対策の充実	-4.8
ク 福祉対策	-5.3
エ 県政の広報・広聴活動	-5.4

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
キ 環境の保全と創造	3.5
ク 福祉対策	3.2
オ 生涯学習活動への支援	3.1
エ 防災対策の充実	2.9
シ 観光の振興	2.0
ウ 県政の合理的運営への努力	1.7
イ 県政の広報・広聴活動	1.4
カ 芸術文化の振興	1.3
ア 国際的な交流や協力	1.3
チ 交通安全・防犯対策	1.2
タ 学校教育の充実	1.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-0.4
ス 農林水産業の活性化対策	-0.7
セ 道路等の交通網の整備	-1.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.9
ケ 病気予防・医療施設の充実	-2.0
ソ 良質な住宅の供給	-3.0
コ 県内中小企業の育成	-3.6

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ケ 病気予防・医療施設の充実	5.7
タ 学校教育の充実	5.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	4.0
エ 防災対策の充実	2.8
カ 芸術文化の振興	0.0
ス 農林水産業の活性化対策	-0.1
チ 交通安全・防犯対策	-0.2
オ 生涯学習活動への支援	-1.0
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.1
ア 国際的な交流や協力	-1.3
ソ 良質な住宅の供給	-1.6
コ 県内中小企業の育成	-1.8
ク 福祉対策	-2.5
ウ 県政の合理的運営への努力	-4.7
イ 県政の広報・広聴活動	-4.9
セ 道路等の交通網の整備	-6.7
キ 環境の保全と創造	-8.8

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ア 国際的な交流や協力	1.9
ク 福祉対策	-1.3
セ 道路等の交通網の整備	-3.0
ソ 良質な住宅の供給	-3.2
キ 環境の保全と創造	-4.3
カ 芸術文化の振興	-4.4
エ 防災対策の充実	-4.8
イ 県政の広報・広聴活動	-4.9
ス 農林水産業の活性化対策	-5.5
タ 学校教育の充実	-6.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-6.3
チ 交通安全・防犯対策	-6.9
オ 生涯学習活動への支援	-7.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-11.4
ケ 病気予防・医療施設の充実	-12.1
コ 県内中小企業の育成	-12.6
サ 雇用安定と職業能力開発	-12.7

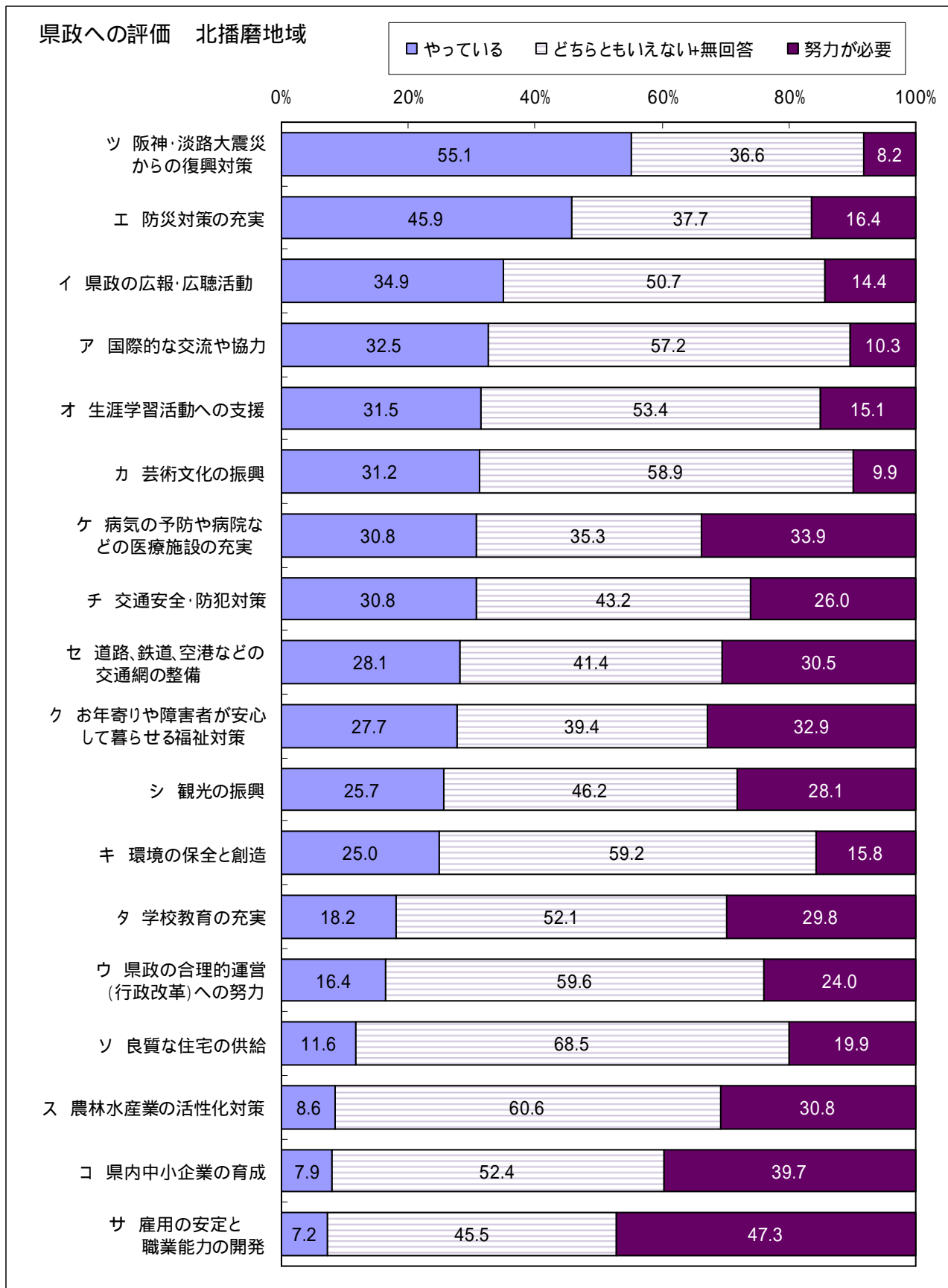
「シ 観光の振興」は新設項目のため前年度比較は記載していない。

全県との比較では、〔病気予防・医療施設の充実〕の評価が高く、〔環境の保全と創造〕〔福祉対策〕〔生涯学習活動への支援〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔病気予防・医療施設の充実〕〔学校教育の充実〕等の評価が高く、〔国際的な交流や協力〕で努力が求められている。

《北播磨地域》

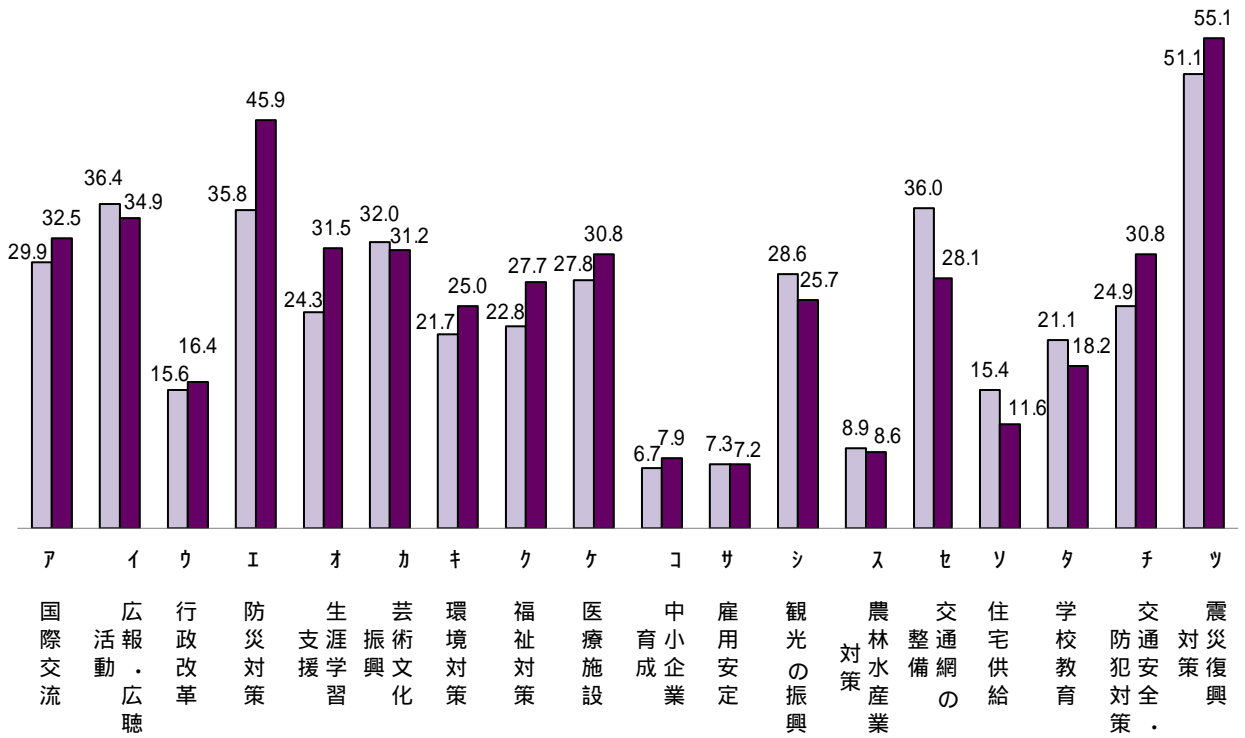
〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔防災対策の充実〕などで評価が高い。



県政への評価「やっている」【全県と北播磨】

□ 全県 ■ 北播磨

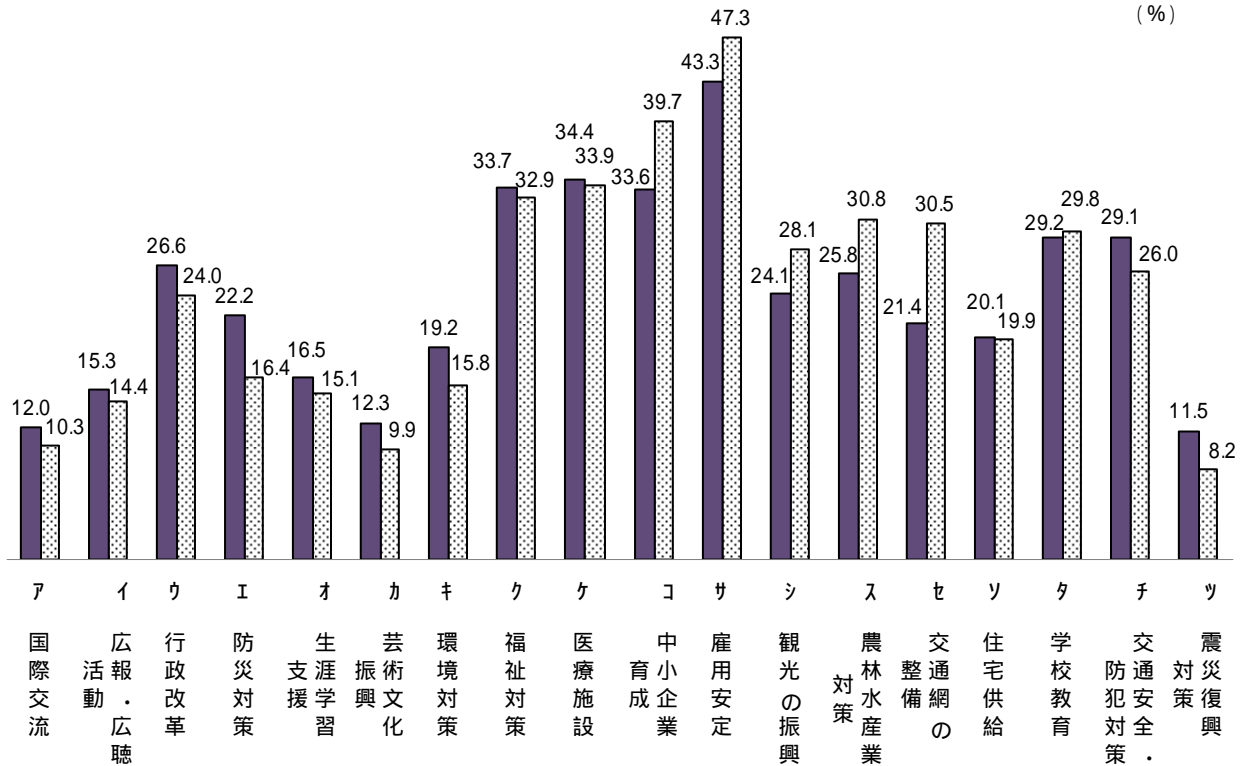
(%)



県政への評価「努力が必要」【全県と北播磨】

■ 全県 □ 北播磨

(%)



県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
イ 防災対策の充実	10.1
オ 生涯学習活動への支援	7.2
チ 交通安全・防犯対策	5.9
ク 福祉対策	5.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	4.1
キ 環境の保全と創造	3.3
ケ 病気予防・医療施設の充実	3.0
ア 国際的な交流や協力	2.7
コ 県内中小企業の育成	1.2
ウ 県政の合理的運営への努力	0.8
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.4
カ 芸術文化の振興	-0.9
イ 県政の広報・広聴活動	-1.5
シ 観光の振興	-2.9
タ 学校教育の充実	-2.9
ソ 良質な住宅の供給	-3.8
セ 道路等の交通網の整備	-7.9

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%/%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路等の交通網の整備	9.1
コ 県内中小企業の育成	6.1
ス 農林水産業の活性化対策	5.0
シ 観光の振興	4.0
サ 雇用安定と職業能力開発	3.9
タ 学校教育の充実	0.6
ソ 良質な住宅の供給	-0.2
ケ 病気予防・医療施設の充実	-0.5
ク 福祉対策	-0.9
イ 県政の広報・広聴活動	-0.9
オ 生涯学習活動への支援	-1.4
ア 国際的な交流や協力	-1.7
カ 芸術文化の振興	-2.4
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.6
チ 交通安全・防犯対策	-3.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-3.3
キ 環境の保全と創造	-3.4
エ 防災対策の充実	-5.7

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	14.7
エ 防災対策の充実	7.0
オ 生涯学習活動への支援	5.4
カ 芸術文化の振興	5.4
ケ 病気予防・医療施設の充実	5.3
ア 国際的な交流や協力	3.6
チ 交通安全・防犯対策	3.1
コ 県内中小企業の育成	3.1
ス 農林水産業の活性化対策	2.5
イ 県政の広報・広聴活動	2.4
ソ 良質な住宅の供給	2.1
セ 道路等の交通網の整備	2.0
タ 学校教育の充実	1.9
サ 雇用安定と職業能力開発	1.8
ク 福祉対策	1.3
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.9
キ 環境の保全と創造	-4.3

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
チ 交通安全・防犯対策	2.1
セ 道路等の交通網の整備	-0.4
タ 学校教育の充実	-0.5
ソ 良質な住宅の供給	-2.1
オ 生涯学習活動への支援	-2.4
イ 県政の広報・広聴活動	-2.5
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.8
カ 芸術文化の振興	-3.8
ク 福祉対策	-4.1
コ 県内中小企業の育成	-4.2
エ 防災対策の充実	-4.6
キ 環境の保全と創造	-4.6
ア 国際的な交流や協力	-4.7
ケ 病気予防・医療施設の充実	-4.9
サ 雇用安定と職業能力開発	-5.0
ス 農林水産業の活性化対策	-6.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-9.6

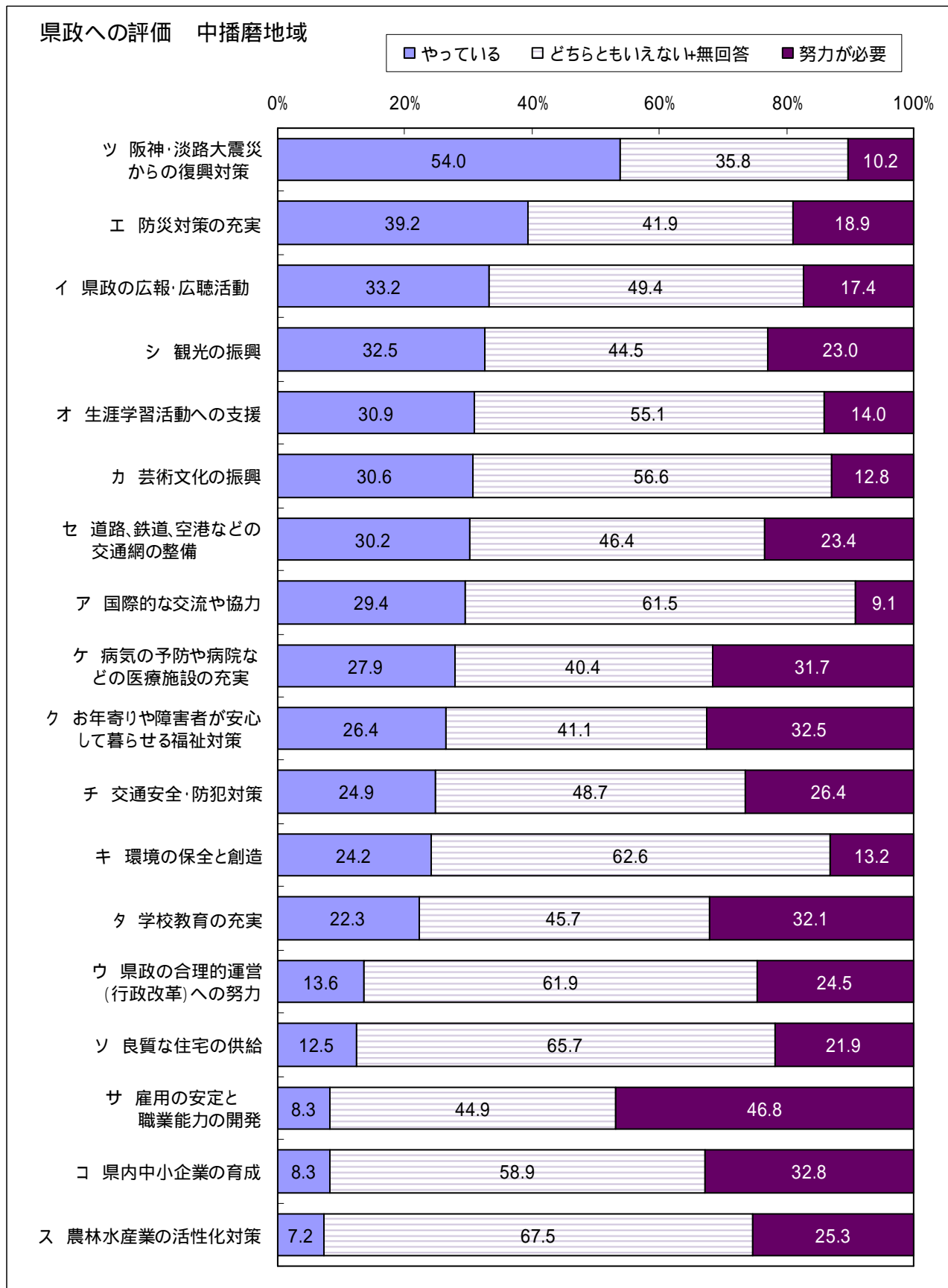
「シ 観光の振興」は新設項目のため前年度比較は記載していない。

全県との比較では、「防災対策の充実」「生涯学習活動への支援」等の評価が高く、「道路等の交通網の整備」等で努力が求められている。

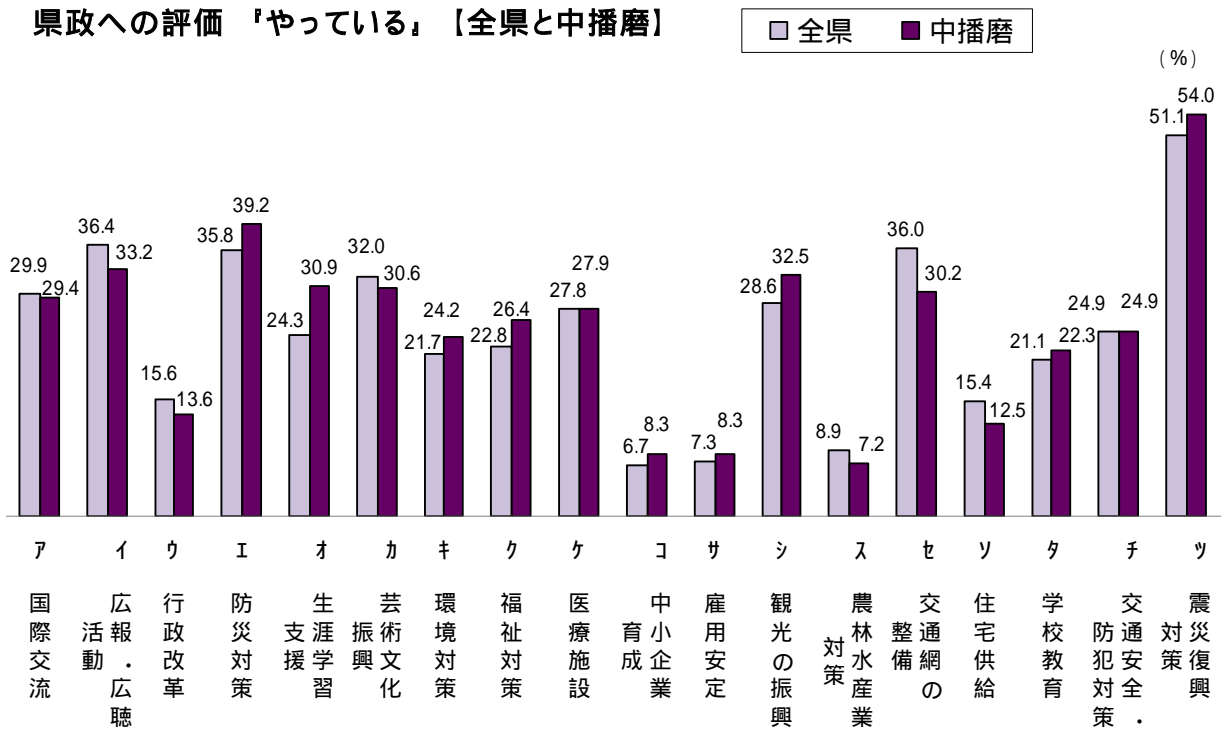
前年との比較では、「阪神・淡路大震災からの復興」「防災対策の充実」等の評価が高く、「交通安全・防犯対策」で努力が求められている。

《中播磨地域》

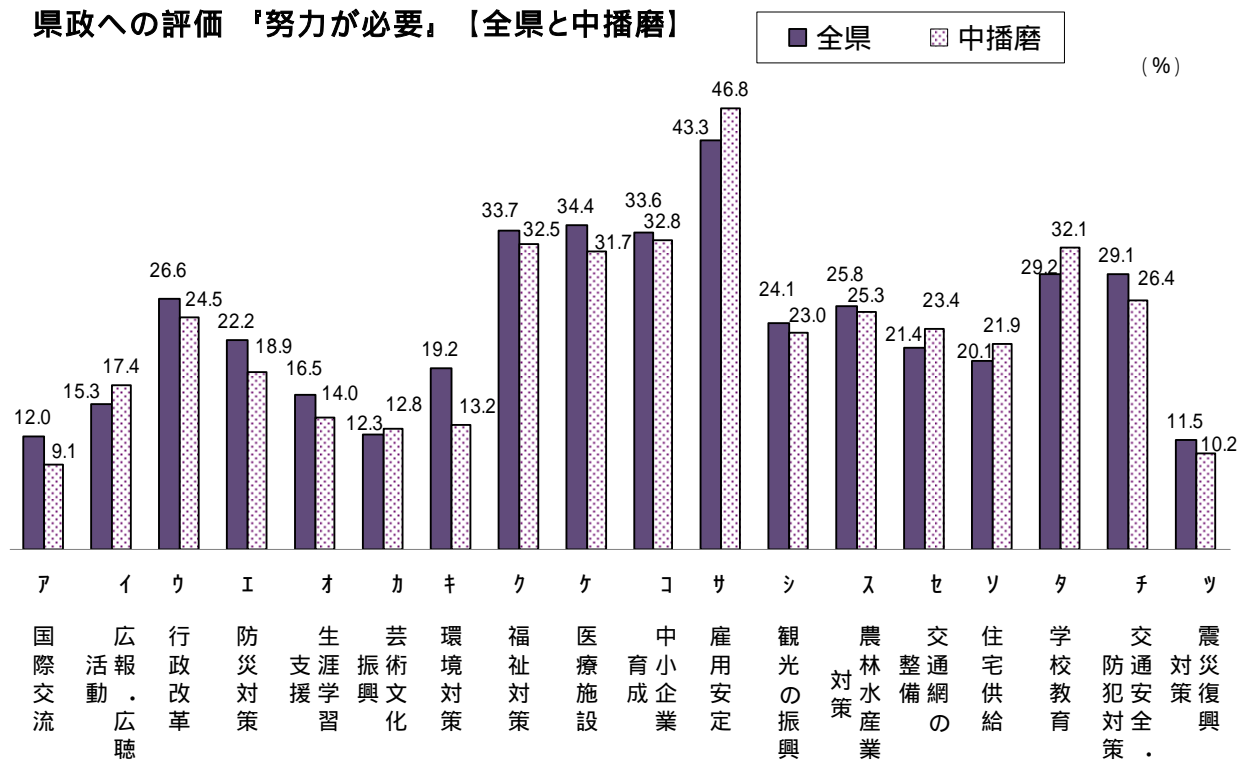
〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔防災対策の充実〕などで評価が高い。



県政への評価 「やっている」【全県と中播磨】



県政への評価 「努力が必要」【全県と中播磨】



県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	6.7
シ 観光の振興	3.9
ク 福祉対策	3.7
エ 防災対策の充実	3.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	2.9
キ 環境の保全と創造	2.5
コ 県内中小企業の育成	1.6
タ 学校教育の充実	1.2
サ 雇用安定と職業能力開発	1.1
ケ 病気予防・医療施設の充実	0.1
チ 交通安全・防犯対策	0.0
ア 国際的な交流や協力	-0.4
カ 芸術文化の振興	-1.5
ス 農林水産業の活性化対策	-1.8
リ 県政の合理的運営への努力	-2.0
ロ 良質な住宅の供給	-3.0
イ 県政の広報・広聴活動	-3.2
セ 道路等の交通網の整備	-5.8

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
サ 雇用安定と職業能力開発	3.5
タ 学校教育の充実	2.9
イ 県政の広報・広聴活動	2.0
セ 道路等の交通網の整備	2.0
ロ 良質な住宅の供給	1.8
カ 芸術文化の振興	0.5
ス 農林水産業の活性化対策	-0.6
コ 県内中小企業の育成	-0.8
シ 観光の振興	-1.1
ク 福祉対策	-1.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-1.3
リ 県政の合理的運営への努力	-2.0
オ 生涯学習活動への支援	-2.5
ケ 病気予防・医療施設の充実	-2.7
チ 交通安全・防犯対策	-2.7
ア 国際的な交流や協力	-2.9
エ 防災対策の充実	-3.3
キ 環境の保全と創造	-6.0

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	16.5
エ 防災対策の充実	11.3
タ 学校教育の充実	6.2
ク 福祉対策	5.3
オ 生涯学習活動への支援	5.2
カ 芸術文化の振興	4.2
ア 国際的な交流や協力	3.0
ケ 病気予防・医療施設の充実	2.5
サ 雇用安定と職業能力開発	2.0
コ 県内中小企業の育成	1.7
キ 環境の保全と創造	0.9
チ 交通安全・防犯対策	-1.8
ス 農林水産業の活性化対策	-1.9
イ 県政の広報・広聴活動	-2.3
リ 県政の合理的運営への努力	-2.8
ロ 良質な住宅の供給	-3.0
セ 道路等の交通網の整備	-6.6

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
セ 道路等の交通網の整備	0.4
ロ 良質な住宅の供給	-0.4
ア 国際的な交流や協力	-2.9
カ 芸術文化の振興	-2.9
チ 交通安全・防犯対策	-3.1
イ 県政の広報・広聴活動	-3.7
タ 学校教育の充実	-3.8
リ 県政の合理的運営への努力	-5.3
ケ 病気予防・医療施設の充実	-8.6
オ 生涯学習活動への支援	-8.7
ス 農林水産業の活性化対策	-9.3
コ 県内中小企業の育成	-9.6
サ 雇用安定と職業能力開発	-10.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-10.6
ク 福祉対策	-10.6
キ 環境の保全と創造	-13.8
エ 防災対策の充実	-14.5

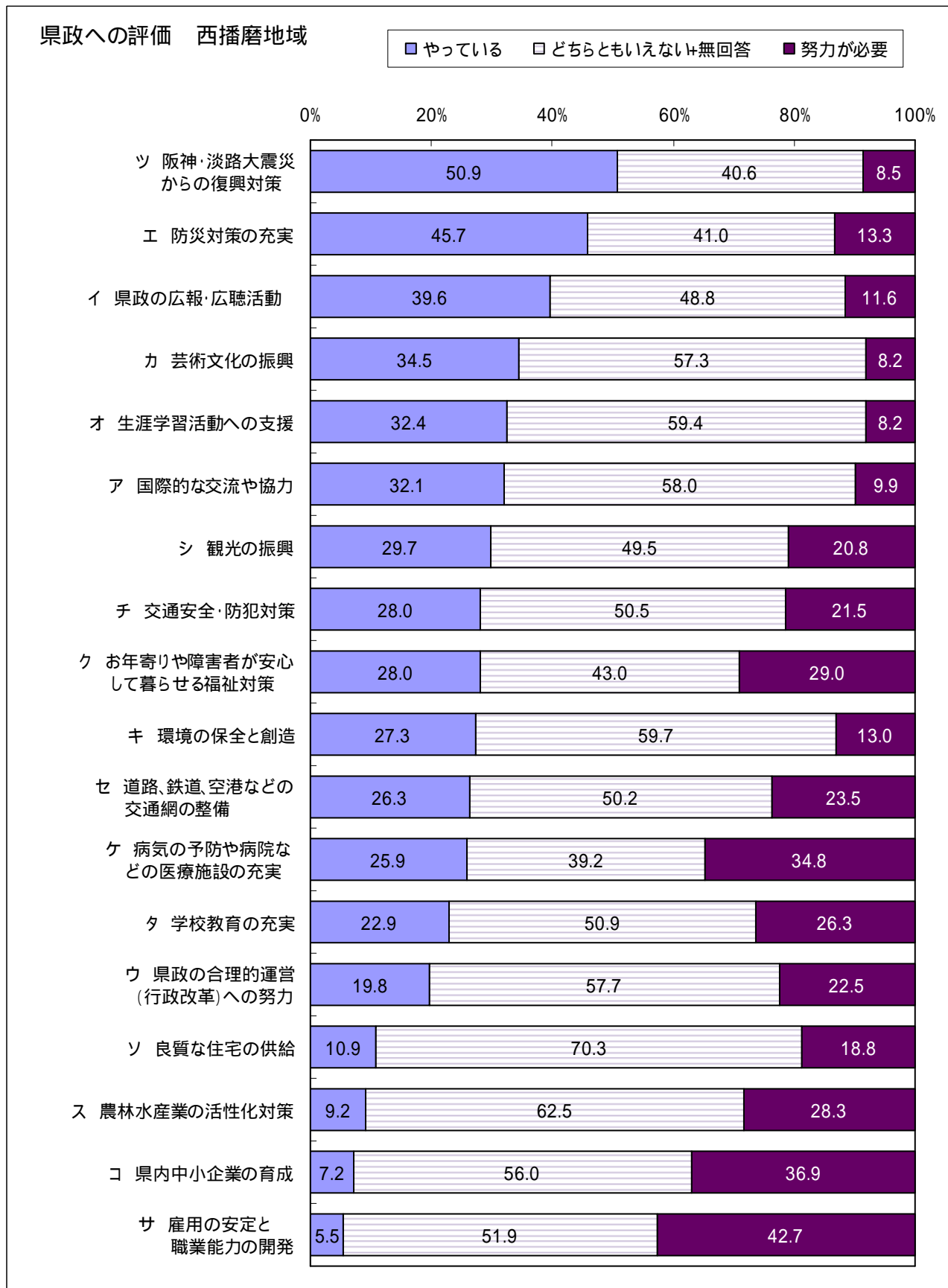
「シ 観光の振興」は新設項目のため前年度比較は記載していない。

全県との比較では、〔生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔雇用安定と職業能力開発〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔阪神・淡路大震災からの復興〕〔防災対策の充実〕等の評価が高い。

《西播磨地域》

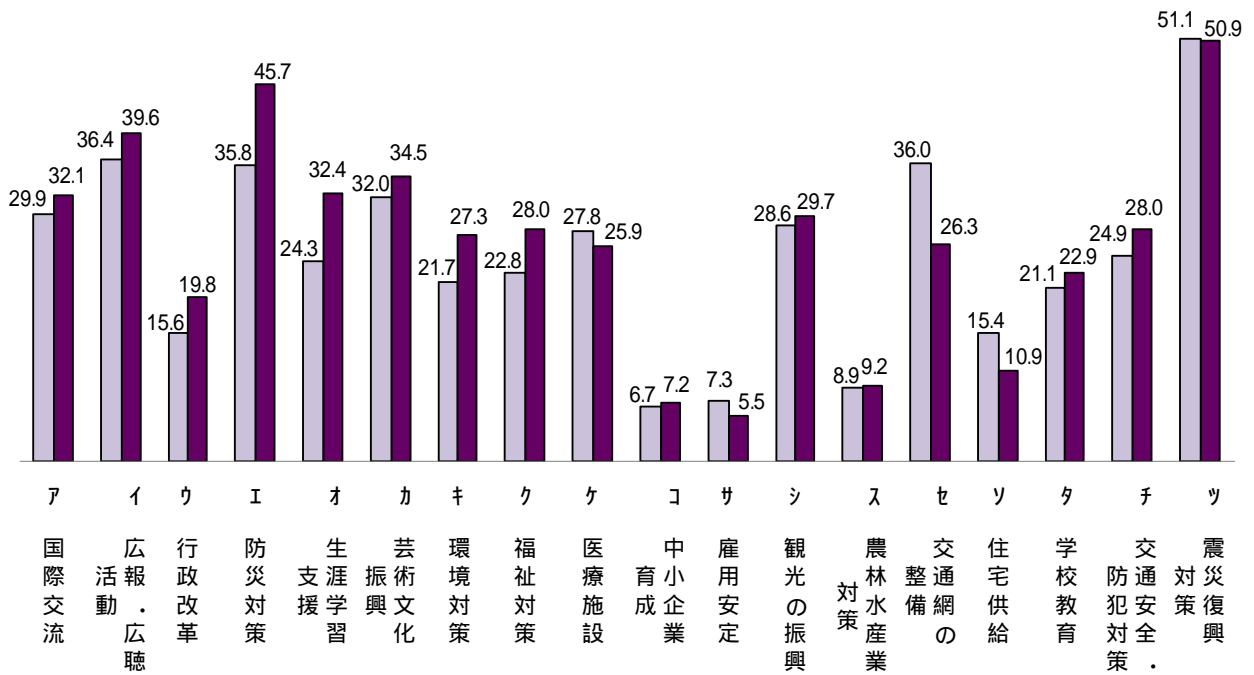
〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔防災対策の充実〕などで評価が高い。



県政への評価 「やっている」【全県と西播磨】

■ 全県 ■ 西播磨

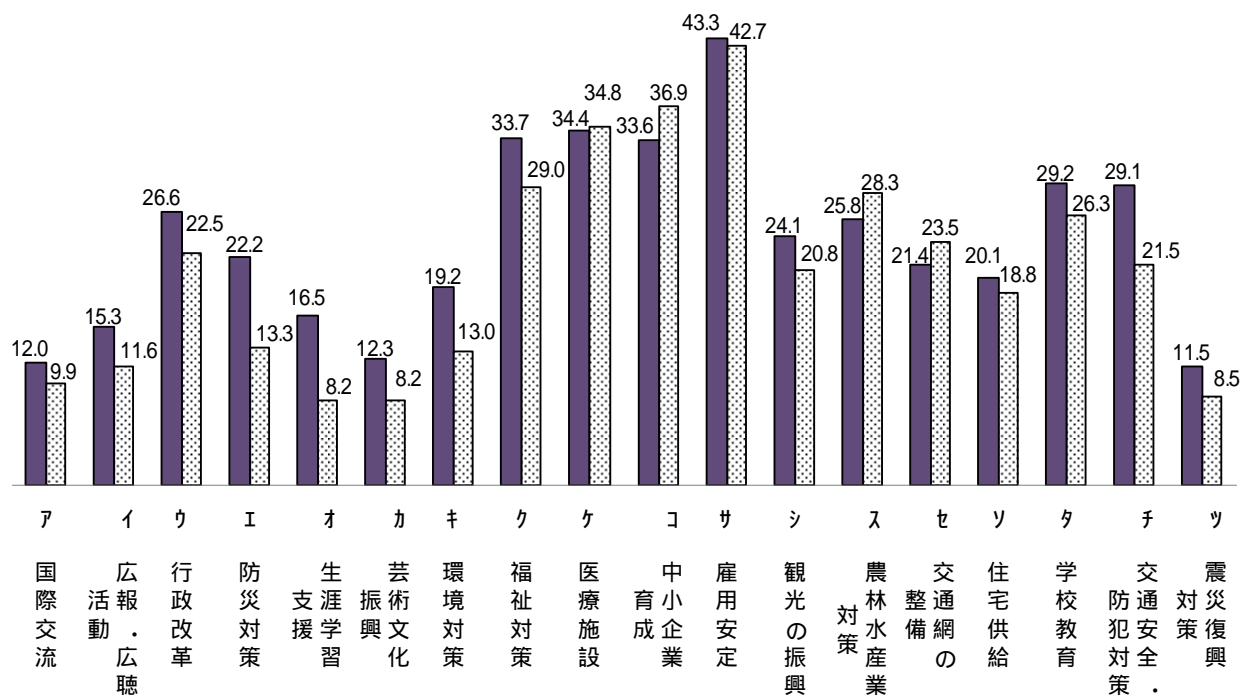
(%)



県政への評価 「努力が必要」【全県と西播磨】

■ 全県 ■ 西播磨

(%)



県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
Ⅰ 防災対策の充実	9.9
オ 生涯学習活動への支援	8.1
キ 環境の保全と創造	5.6
ク 福祉対策	5.2
ウ 県政の合理的運営への努力	4.2
イ 県政の広報・広聴活動	3.2
チ 交通安全・防犯対策	3.1
カ 芸術文化の振興	2.4
ア 国際的な交流や協力	2.2
タ 学校教育の充実	1.8
シ 観光の振興	1.1
コ 県内中小企業の育成	0.5
ス 農林水産業の活性化対策	0.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-0.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.8
ケ 病気予防・医療施設の充実	-1.9
ソ 良質な住宅の供給	-4.5
セ 道路等の交通網の整備	-9.7

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
コ 県内中小企業の育成	3.3
ス 農林水産業の活性化対策	2.5
セ 道路等の交通網の整備	2.1
ケ 病気予防・医療施設の充実	0.4
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.7
ソ 良質な住宅の供給	-1.3
ア 国際的な交流や協力	-2.1
タ 学校教育の充実	-2.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-3.0
シ 観光の振興	-3.3
イ 県政の広報・広聴活動	-3.7
ウ 県政の合理的運営への努力	-4.0
カ 芸術文化の振興	-4.1
ク 福祉対策	-4.7
キ 環境の保全と創造	-6.2
チ 交通安全・防犯対策	-7.6
オ 生涯学習活動への支援	-8.3
Ⅰ 防災対策の充実	-8.9

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	8.3
タ 学校教育の充実	8.0
カ 芸術文化の振興	6.2
ケ 病気予防・医療施設の充実	5.5
Ⅰ 防災対策の充実	5.5
オ 生涯学習活動への支援	3.3
ク 福祉対策	2.0
ス 農林水産業の活性化対策	0.2
ア 国際的な交流や協力	-0.3
ウ 県政の合理的運営への努力	-0.3
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.7
コ 県内中小企業の育成	-0.7
キ 環境の保全と創造	-1.0
イ 県政の広報・広聴活動	-2.1
チ 交通安全・防犯対策	-3.8
ソ 良質な住宅の供給	-4.5
セ 道路等の交通網の整備	-6.4

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ソ 良質な住宅の供給	-1.1
ア 国際的な交流や協力	-2.3
チ 交通安全・防犯対策	-2.7
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.4
ク 福祉対策	-4.5
カ 芸術文化の振興	-5.5
ケ 病気予防・医療施設の充実	-6.0
セ 道路等の交通網の整備	-6.2
コ 県内中小企業の育成	-7.2
イ 県政の広報・広聴活動	-7.3
ス 農林水産業の活性化対策	-8.1
タ 学校教育の充実	-8.4
Ⅰ 防災対策の充実	-8.6
キ 環境の保全と創造	-9.8
オ 生涯学習活動への支援	-10.5
サ 雇用安定と職業能力開発	-10.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-10.7

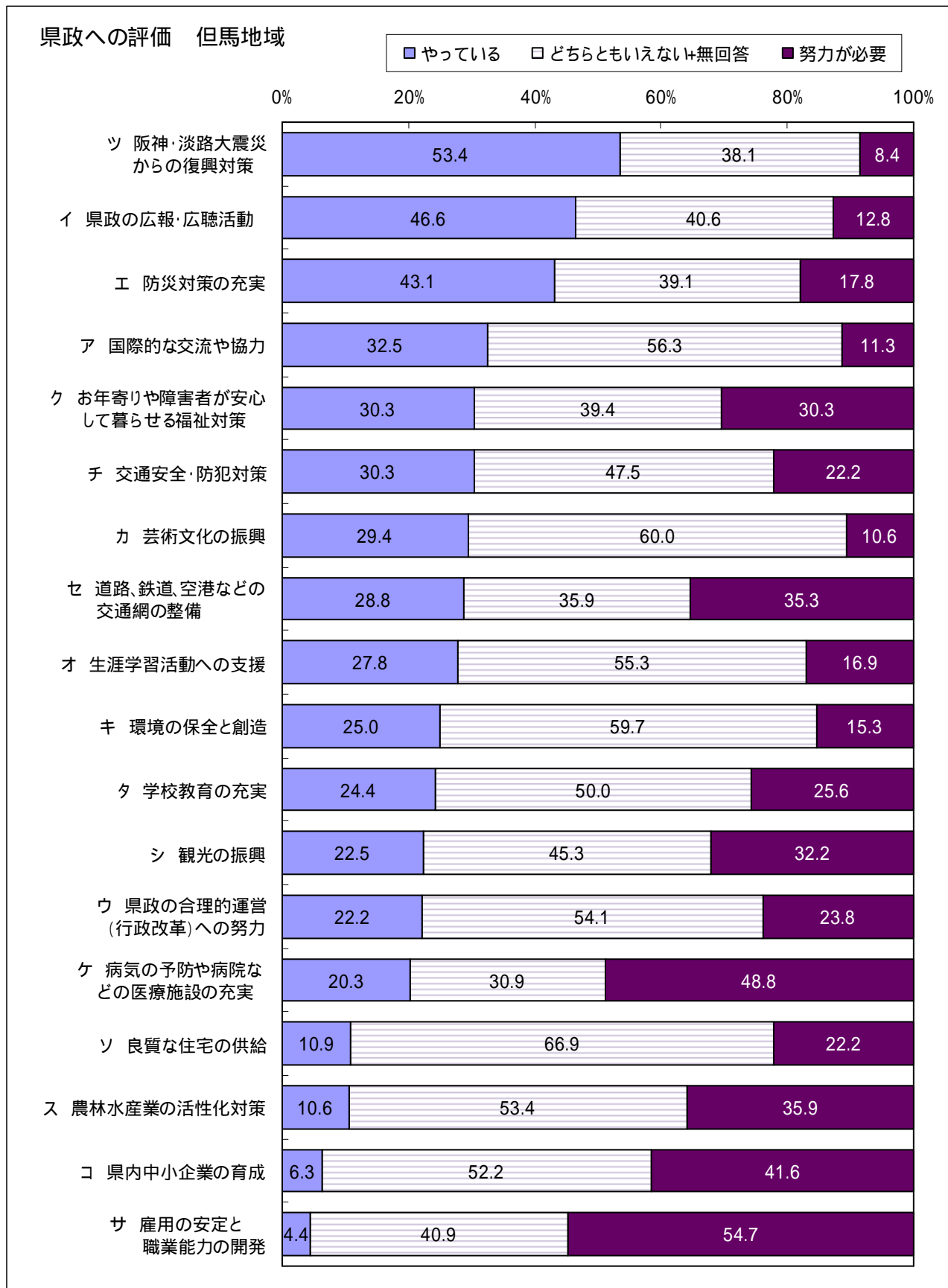
「シ 観光の振興」は新設項目のため前年度比較は記載していない。

全県との比較では、〔防災対策の充実〕〔生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔県内中小企業の育成〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔阪神・淡路大震災からの復興〕〔学校教育の充実〕等の評価が高い。

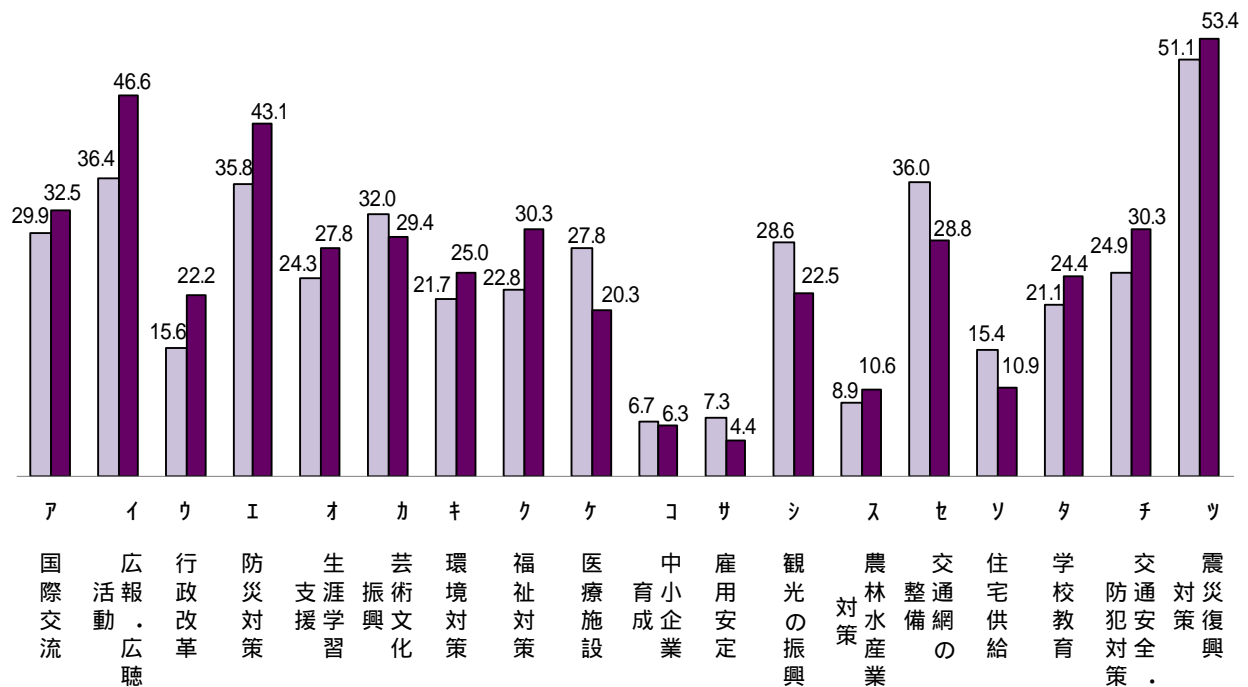
《但馬地域》

〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔県政の広報・広聴活動〕など評価が高い。



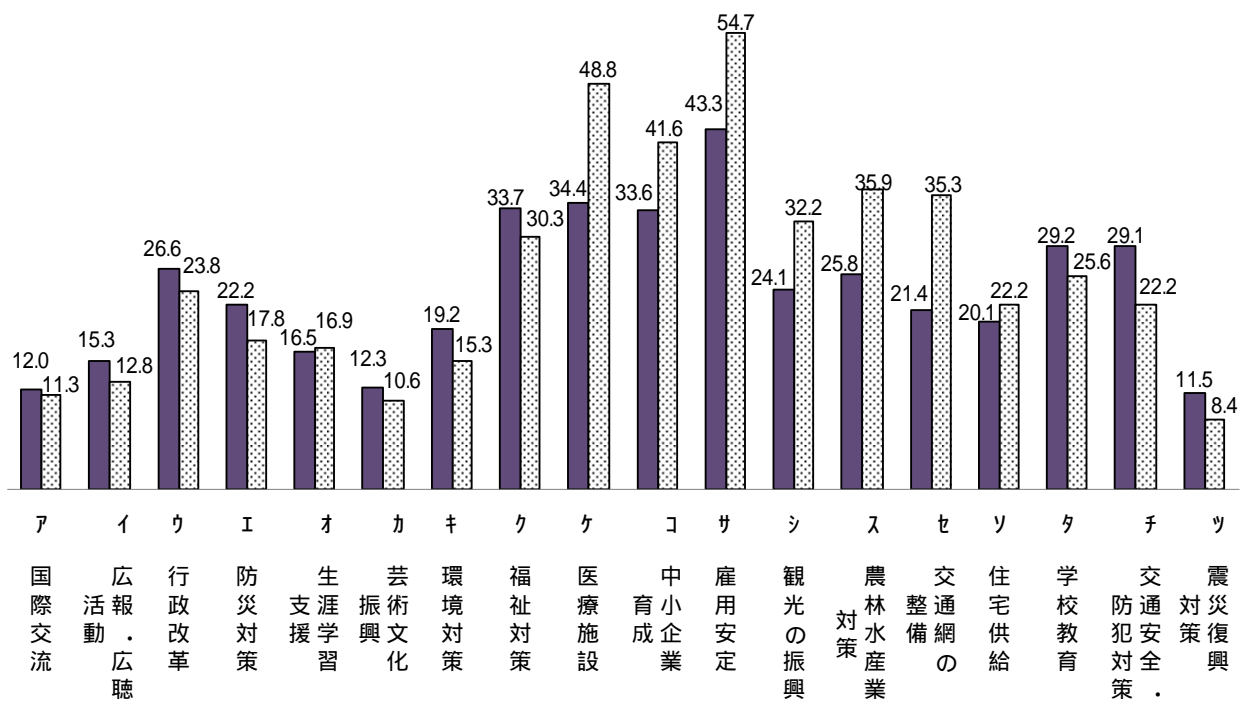
県政への評価「やっている」【全県と但馬】

□ 全県 ■ 但馬 (%)



県政への評価「努力が必要」【全県と但馬】

■ 全県 □ 但馬 (%)



県政への評価【全県結果との比較】

よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
イ 県政の広報・広聴活動	10.2
ク 福祉対策	7.6
エ 防災対策の充実	7.3
ウ 県政の合理的運営への努力	6.6
フ 交通安全・防犯対策	5.4
オ 生涯学習活動への支援	3.5
キ 環境の保全と創造	3.3
ク 学校教育の充実	3.3
ア 国際的な交流や協力	2.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	2.4
ス 農林水産業の活性化対策	1.7
コ 県内中小企業の育成	-0.5
カ 芸術文化の振興	-2.7
サ 雇用安定と職業能力開発	-2.9
ソ 良質な住宅の供給	-4.5
シ 観光の振興	-6.1
セ 道路等の交通網の整備	-7.2
ケ 病気予防・医療施設の充実	-7.5

県政への評価【全県結果との比較】

もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気予防・医療施設の充実	14.4
セ 道路等の交通網の整備	13.9
サ 雇用安定と職業能力開発	11.4
ス 農林水産業の活性化対策	10.1
シ 観光の振興	8.1
コ 県内中小企業の育成	8.0
ソ 良質な住宅の供給	2.1
オ 生涯学習活動への支援	0.4
ア 国際的な交流や協力	-0.7
カ 芸術文化の振興	-1.7
イ 県政の広報・広聴活動	-2.5
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-3.1
ク 福祉対策	-3.4
ク 学校教育の充実	-3.6
キ 環境の保全と創造	-3.9
エ 防災対策の充実	-4.4
フ 交通安全・防犯対策	-6.9

県政への評価【前年結果との比較】

よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	6.7
ク 学校教育の充実	6.3
ケ 病気予防・医療施設の充実	3.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	3.7
エ 防災対策の充実	2.3
ア 国際的な交流や協力	2.1
ク 福祉対策	1.5
ウ 県政の合理的運営への努力	1.3
コ 県内中小企業の育成	1.0
ス 農林水産業の活性化対策	0.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.5
オ 生涯学習活動への支援	-1.0
セ 道路等の交通網の整備	-1.6
カ 芸術文化の振興	-4.7
フ 交通安全・防犯対策	-5.3
ソ 良質な住宅の供給	-5.9
キ 環境の保全と創造	-13.7

県政への評価【前年結果との比較】

もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ソ 良質な住宅の供給	2.6
ウ 県政の合理的運営への努力	2.0
カ 芸術文化の振興	0.8
フ 交通安全・防犯対策	0.7
ア 国際的な交流や協力	0.5
セ 道路等の交通網の整備	0.3
オ 生涯学習活動への支援	0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-0.4
エ 防災対策の充実	-1.8
ク 学校教育の充実	-3.2
キ 環境の保全と創造	-3.7
サ 雇用安定と職業能力開発	-4.5
コ 県内中小企業の育成	-6.6
ク 福祉対策	-6.8
ス 農林水産業の活性化対策	-7.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-8.4
ケ 病気予防・医療施設の充実	-10.1

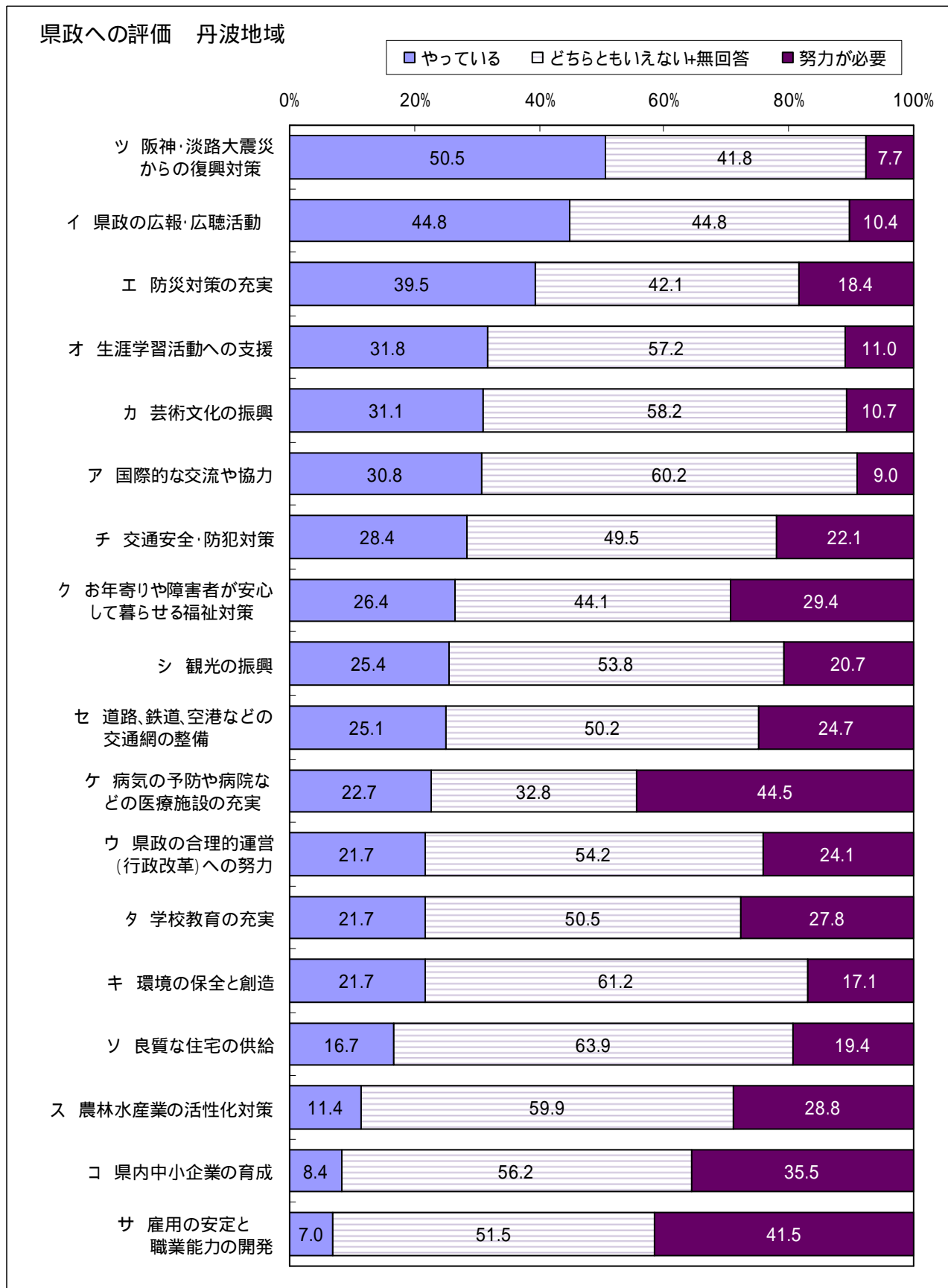
「シ 観光の振興」は新設項目のため前年度比較は記載していない。

全県との比較では、〔県政の広報・広聴活動〕等の評価が高く、〔病気予防・医療施設の充実〕〔道路等の交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔県政の広報・広聴活動〕〔学校教育の充実〕等の評価が高く、〔良質な住宅の供給〕〔県政の合理的運営の努力〕で努力が求められている。

《丹波地域》

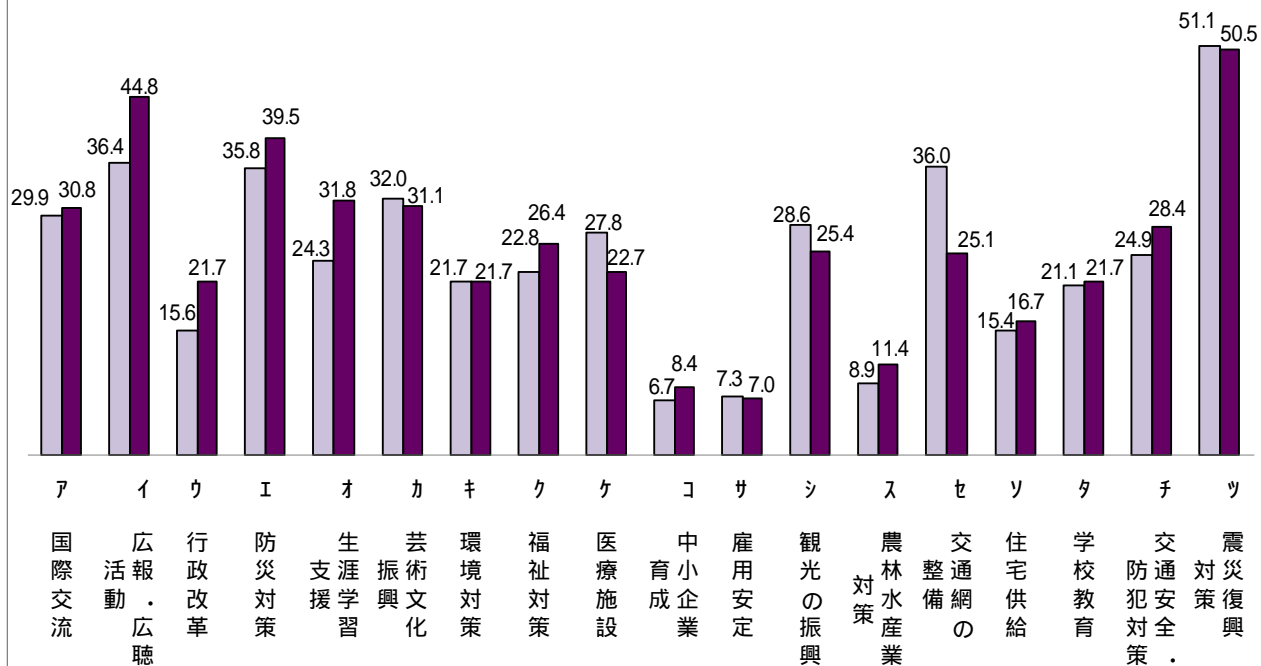
〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔県政の広報・広聴活動〕などで評価が高い。



県政への評価 「やっている」【全県と丹波】

□ 全県 ■ 丹波

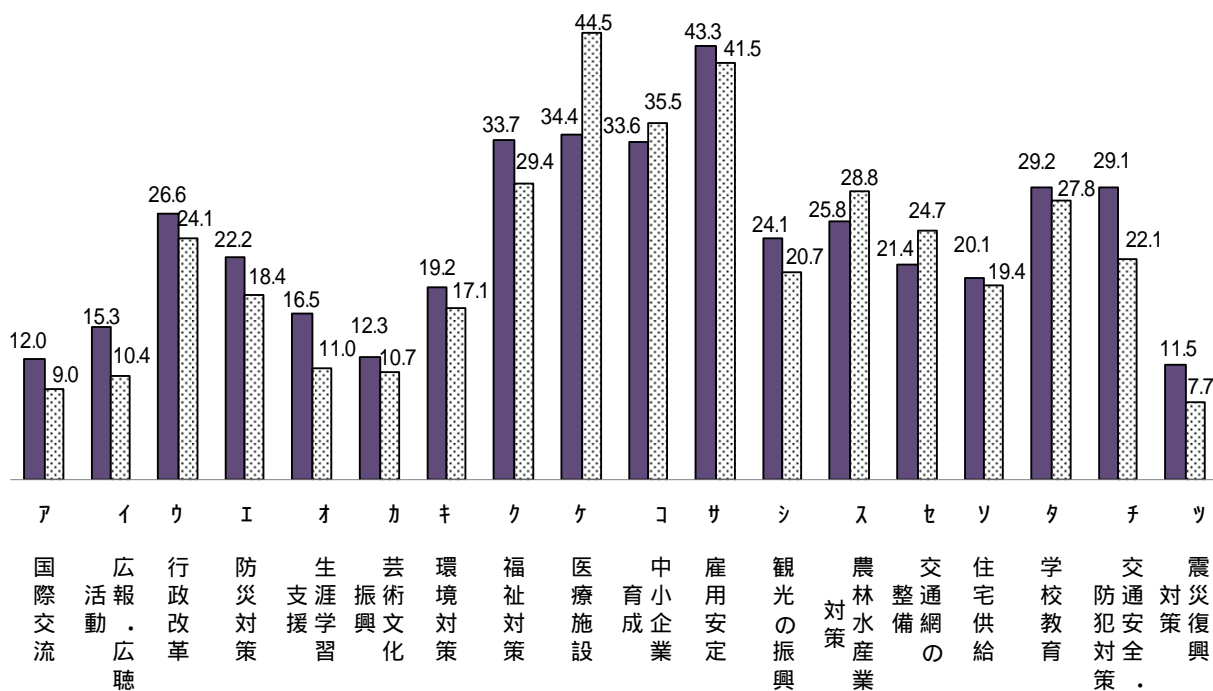
(%)



県政への評価 「努力が必要」【全県と丹波】

■ 全県 □ 丹波

(%)



県政への評価【全県結果との比較】

よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
イ 県政の広報・広聴活動	8.4
オ 生涯学習活動への支援	7.5
ウ 県政の合理的運営への努力	6.1
エ 防災対策の充実	3.7
ク 福祉対策	3.7
チ 交通安全・防犯対策	3.5
ス 農林水産業の活性化対策	2.4
コ 県内中小企業の育成	1.7
ソ 良質な住宅の供給	1.3
ア 国際的な交流や協力	0.9
タ 学校教育の充実	0.7
キ 環境の保全と創造	0.0
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-0.6
カ 芸術文化の振興	-0.9
シ 観光の振興	-3.2
ケ 病気予防・医療施設の充実	-5.1
セ 道路等の交通網の整備	-10.9

県政への評価【全県結果との比較】

もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気予防・医療施設の充実	10.1
セ 道路等の交通網の整備	3.3
ス 農林水産業の活性化対策	2.9
コ 県内中小企業の育成	1.9
ソ 良質な住宅の供給	-0.7
タ 学校教育の充実	-1.5
カ 芸術文化の振興	-1.6
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.9
キ 環境の保全と創造	-2.1
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.5
ア 国際的な交流や協力	-3.0
シ 観光の振興	-3.3
エ 防災対策の充実	-3.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-3.8
ク 福祉対策	-4.3
イ 県政の広報・広聴活動	-4.9
オ 生涯学習活動への支援	-5.4
チ 交通安全・防犯対策	-7.0

県政への評価【前年結果との比較】

よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	6.6
ソ 良質な住宅の供給	4.9
エ 防災対策の充実	4.3
タ 学校教育の充実	3.7
サ 雇用安定と職業能力開発	1.7
ケ 病気予防・医療施設の充実	1.6
コ 県内中小企業の育成	1.5
ス 農林水産業の活性化対策	0.8
セ 道路等の交通網の整備	-0.5
イ 県政の広報・広聴活動	-0.7
ク 福祉対策	-1.3
チ 交通安全・防犯対策	-1.5
オ 生涯学習活動への支援	-2.8
カ 芸術文化の振興	-4.4
ウ 県政の合理的運営への努力	-6.0
ア 国際的な交流や協力	-7.9
キ 環境の保全と創造	-11.9

県政への評価【前年結果との比較】

もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ソ 良質な住宅の供給	1.6
キ 環境の保全と創造	0.5
ウ 県政の合理的運営への努力	-0.5
カ 芸術文化の振興	-1.4
ア 国際的な交流や協力	-1.9
エ 防災対策の充実	-2.8
オ 生涯学習活動への支援	-3.0
イ 県政の広報・広聴活動	-3.0
ク 福祉対策	-4.5
チ 交通安全・防犯対策	-4.7
タ 学校教育の充実	-5.6
コ 県内中小企業の育成	-5.7
セ 道路等の交通網の整備	-5.8
ケ 病気予防・医療施設の充実	-7.9
サ 雇用安定と職業能力開発	-8.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-8.8
ス 農林水産業の活性化対策	-10.5

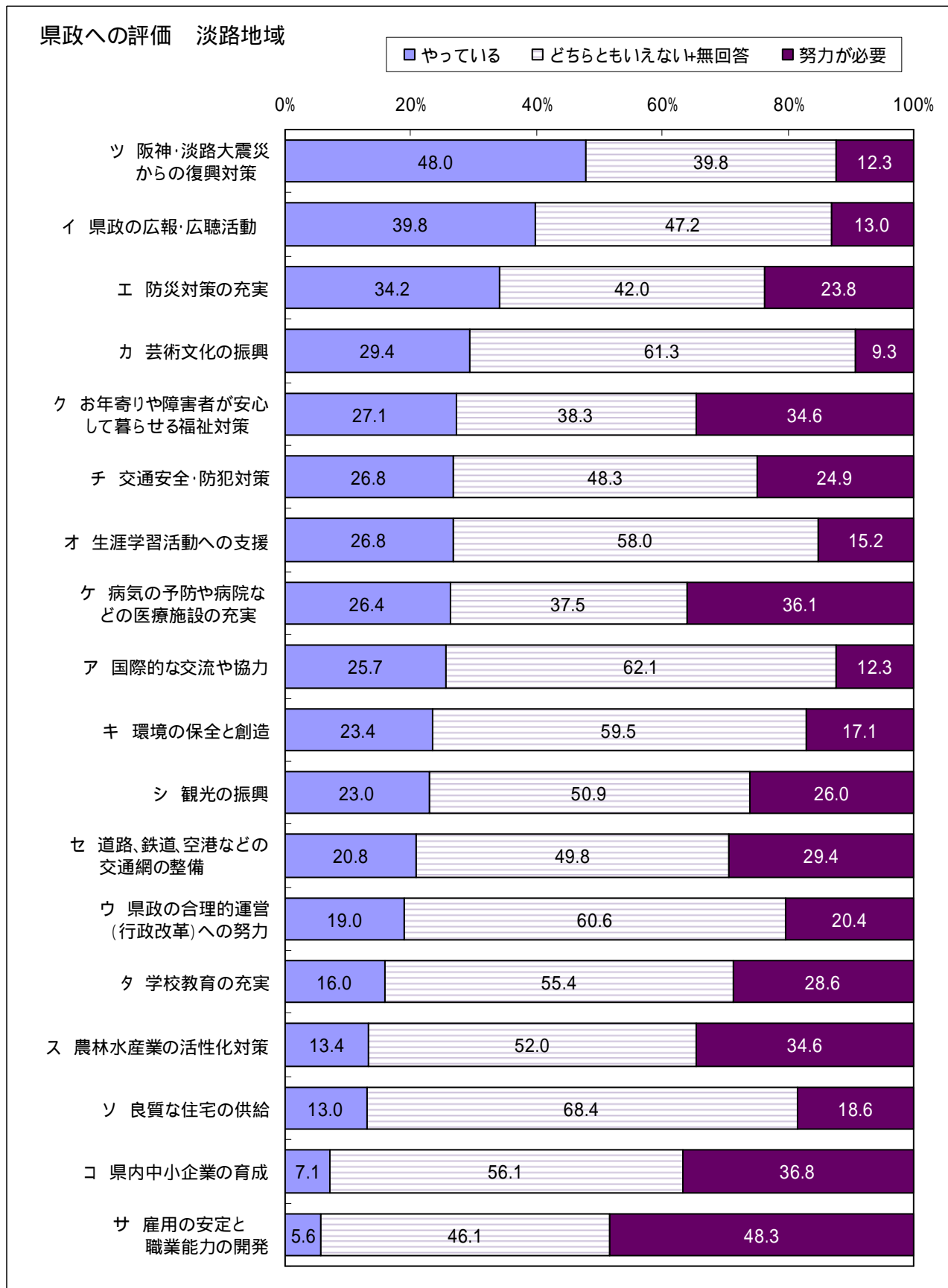
「シ 観光の振興」は新設項目のため前年度比較は記載していない。

全県との比較では、〔県政の広報・広聴活動〕〔生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔病気予防・医療施設の充実〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔阪神・淡路大震災からの復興〕等の評価が高く、〔良質な住宅の供給〕で努力が求められている。

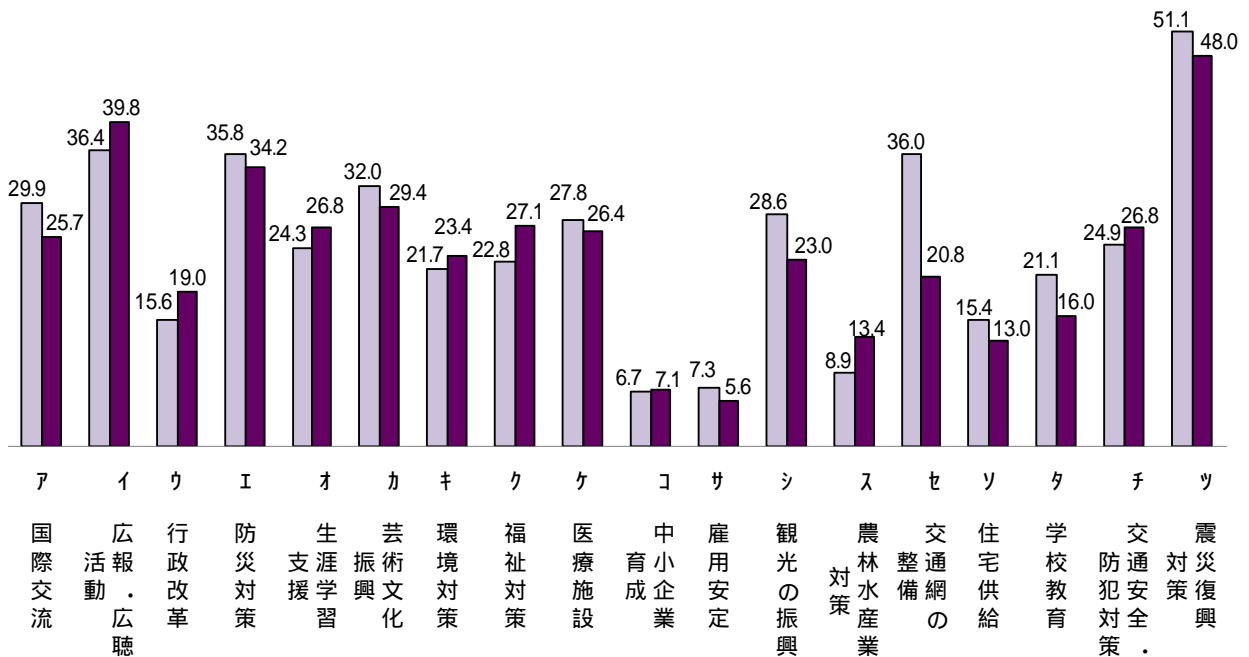
《淡路地域》

〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔県政の広報・広聴活動〕などで評価が高い。



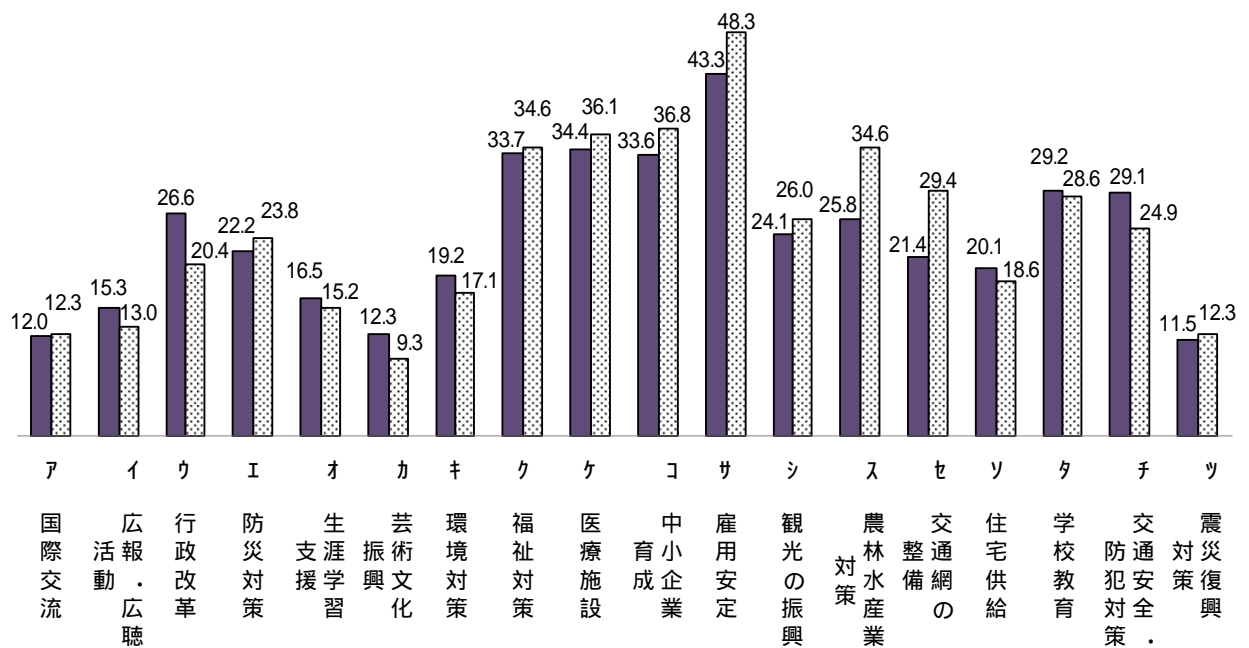
県政への評価 「やっている」【全県と淡路】

□ 全県 ■ 淡路 (%)



県政への評価 「努力が必要」【全県と淡路】

■ 全県 □ 淡路 (%)



県政への評価【全県結果との比較】

よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	4.4
ク 福祉対策	4.4
イ 県政の広報・広聴活動	3.4
ウ 県政の合理的運営への努力	3.4
オ 生涯学習活動への支援	2.5
フ 交通安全・防犯対策	1.9
キ 環境の保全と創造	1.7
コ 県内中小企業の育成	0.4
ケ 病気予防・医療施設の充実	-1.5
エ 防災対策の充実	-1.6
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.7
ソ 良質な住宅の供給	-2.4
カ 芸術文化の振興	-2.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-3.1
ア 国際的な交流や協力	-4.2
タ 学校教育の充実	-5.1
シ 観光の振興	-5.5
セ 道路等の交通網の整備	-15.2

県政への評価【全県結果との比較】

もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	8.7
セ 道路等の交通網の整備	7.9
サ 雇用安定と職業能力開発	5.0
コ 県内中小企業の育成	3.2
シ 観光の振興	1.9
ケ 病気予防・医療施設の充実	1.7
エ 防災対策の充実	1.6
ク 福祉対策	0.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	0.8
ア 国際的な交流や協力	0.3
タ 学校教育の充実	-0.6
オ 生涯学習活動への支援	-1.2
ソ 良質な住宅の供給	-1.5
キ 環境の保全と創造	-2.1
イ 県政の広報・広聴活動	-2.3
カ 芸術文化の振興	-3.0
フ 交通安全・防犯対策	-4.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-6.1

県政への評価【前年結果との比較】

よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	8.7
ケ 病気予防・医療施設の充実	6.6
オ 生涯学習活動への支援	3.9
イ 県政の広報・広聴活動	3.3
ス 農林水産業の活性化対策	2.5
タ 学校教育の充実	2.0
エ 防災対策の充実	1.4
ク 福祉対策	1.2
ソ 良質な住宅の供給	0.0
コ 県内中小企業の育成	-0.1
カ 芸術文化の振興	-0.3
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.6
フ 交通安全・防犯対策	-0.9
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.2
セ 道路等の交通網の整備	-1.4
ア 国際的な交流や協力	-2.7
キ 環境の保全と創造	-3.5

県政への評価【前年結果との比較】

もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ク 福祉対策	-0.2
ア 国際的な交流や協力	-1.4
フ 交通安全・防犯対策	-3.1
エ 防災対策の充実	-3.5
ソ 良質な住宅の供給	-4.3
セ 道路等の交通網の整備	-4.4
イ 県政の広報・広聴活動	-4.7
キ 環境の保全と創造	-4.7
オ 生涯学習活動への支援	-4.9
カ 芸術文化の振興	-5.7
タ 学校教育の充実	-5.8
コ 県内中小企業の育成	-6.5
サ 雇用安定と職業能力開発	-7.3
ウ 県政の合理的運営への努力	-8.2
ス 農林水産業の活性化対策	-8.4
ケ 病気予防・医療施設の充実	-9.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興	-9.9

「シ 観光の振興」は新設項目のため前年度比較は記載していない。

全県との比較では、〔農林水産業の活性化対策〕〔福祉対策〕等の評価が高いが、同じ〔農林水産業の活性化対策〕は努力を求める声も多い。

前年との比較では、〔阪神・淡路大震災からの復興〕等の評価が高い。

問19 県民局の認知度

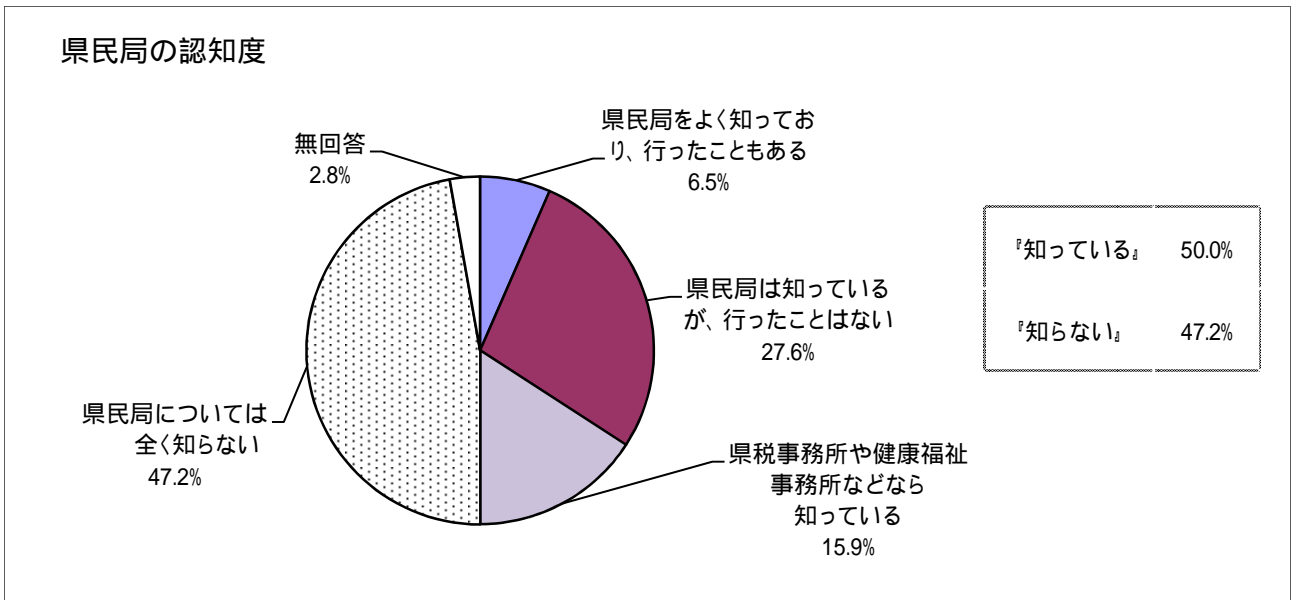
問19

あなたが住まいの地域の県民局について、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号をつけてください。

- 1 県民局をよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局は知っているが、行ったことはない
- 3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
- 4 県民局については全く知らない

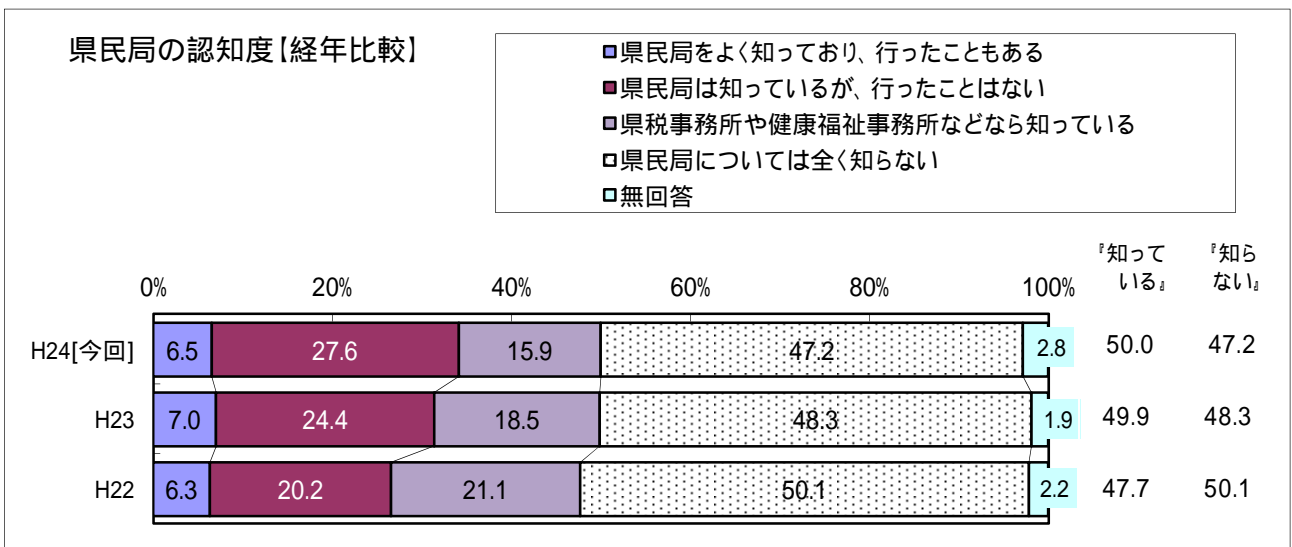
【全 県】

県民局の認知度は、「よく知っており、行ったこともある」、「知っているが行ったことはない」、「事務所なら知っている」を合わせた『知っている』が5割となっている。



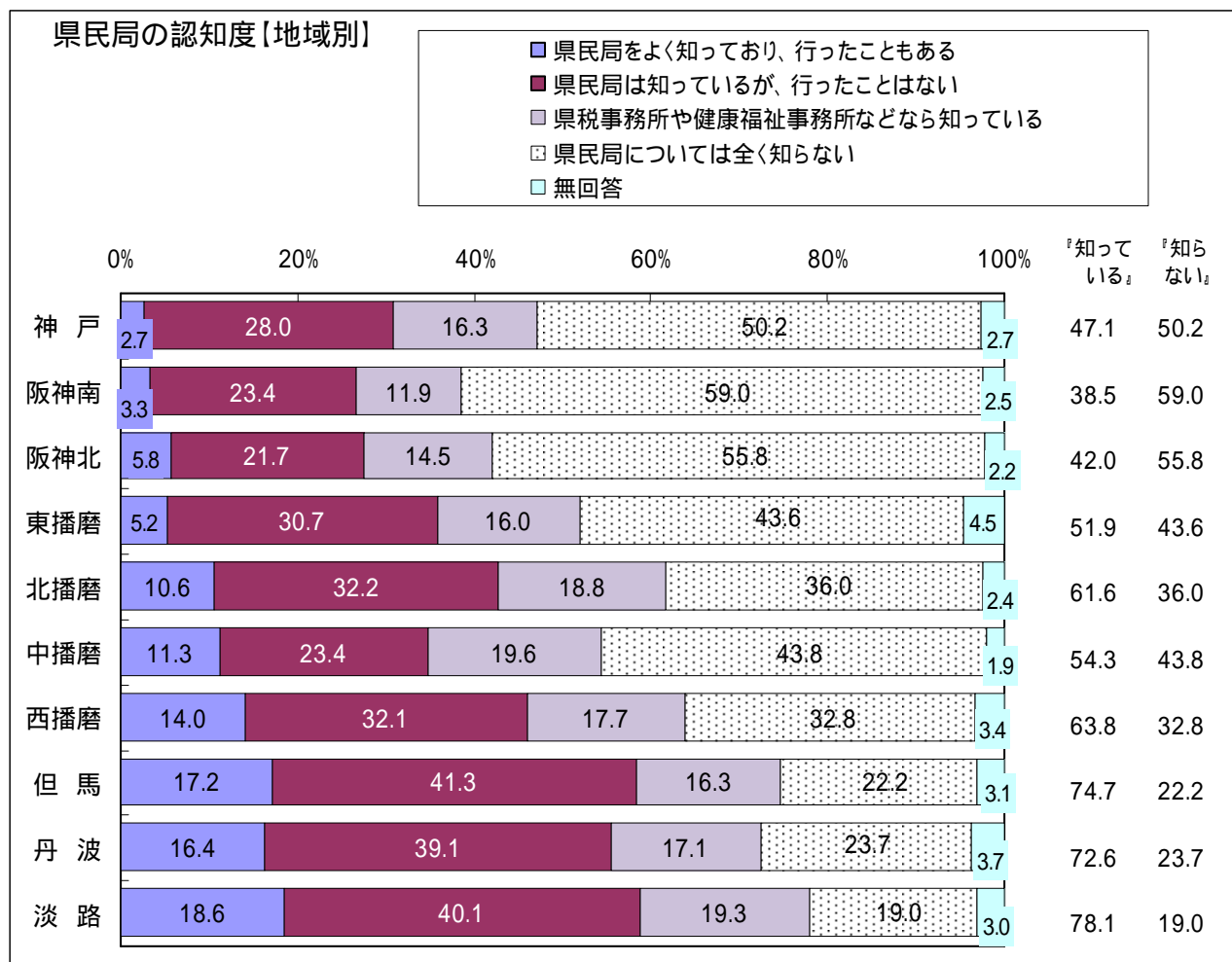
【経年比較】

県民局の認知度はわずかながら増加傾向にある。



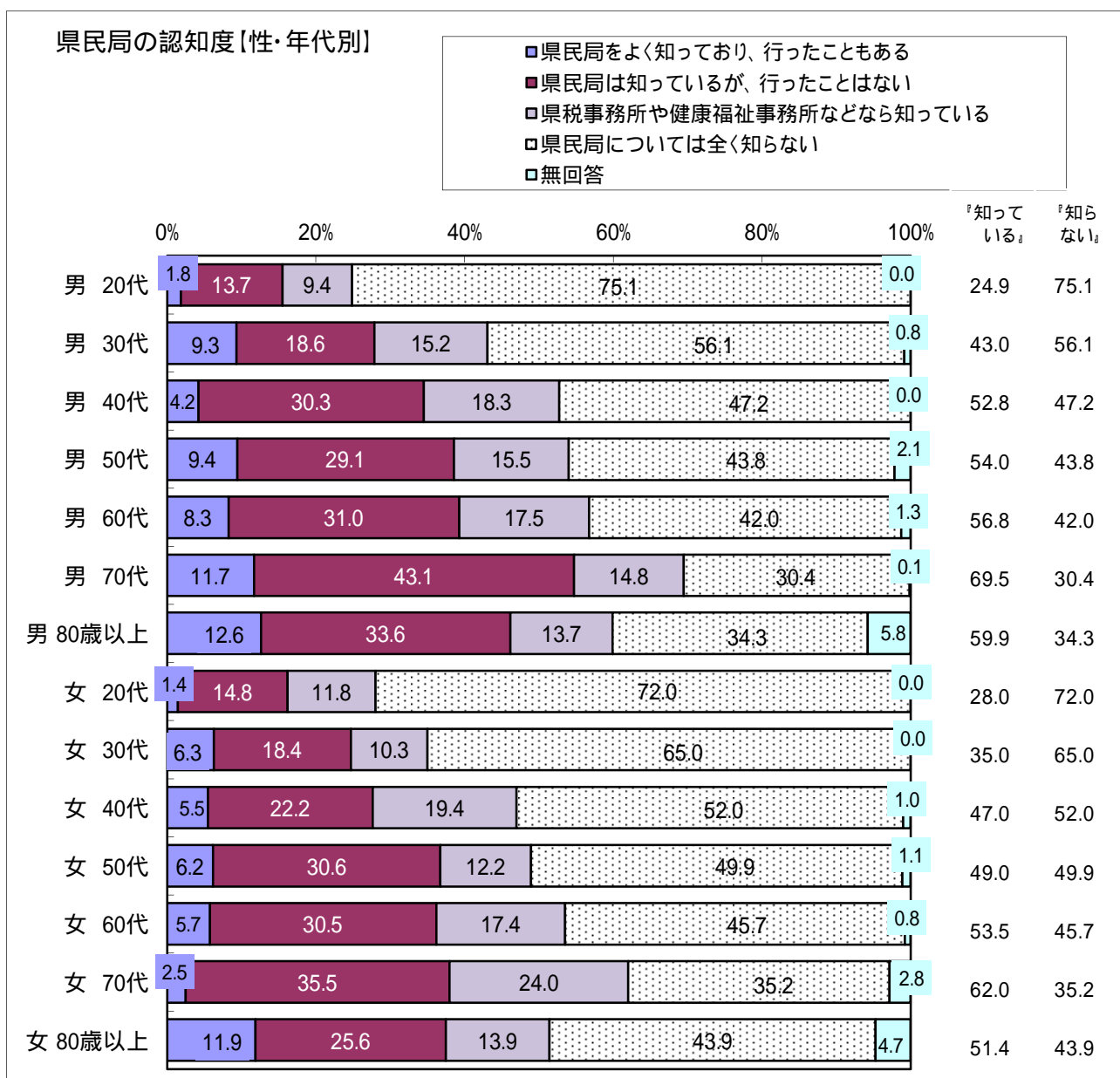
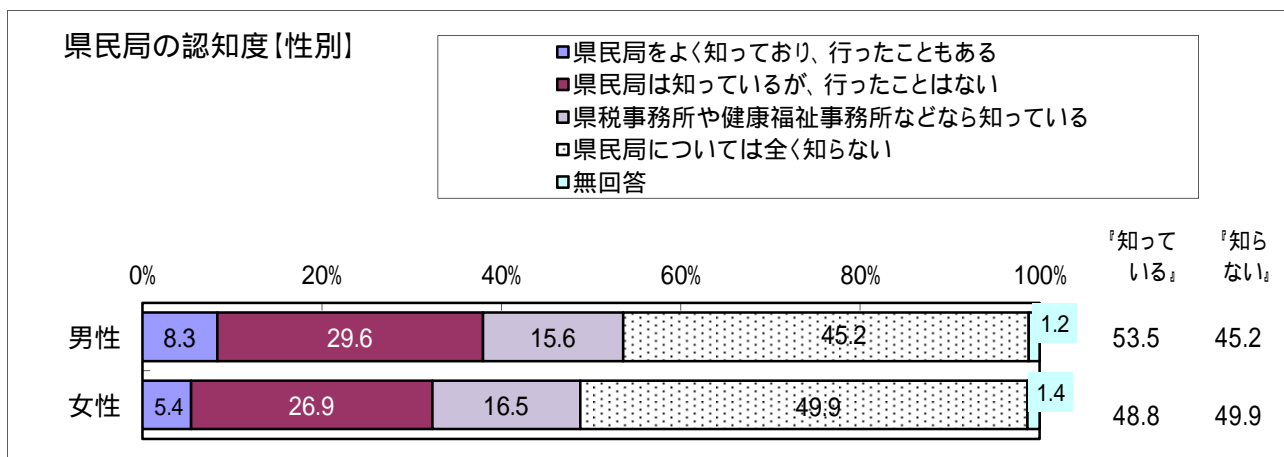
【地域別】

県民局の認知度は、阪神間で5割を下回っているが、淡路、但馬、丹波では7割を上回っている。



【性別、性・年代別】

男性の方が女性よりもわずかに認知度が高く、男女ともに年齢が高くなるほど『知っている』が多くなっている。



問20 県民情報番組「ひょうごワイワイ」の視聴

問20

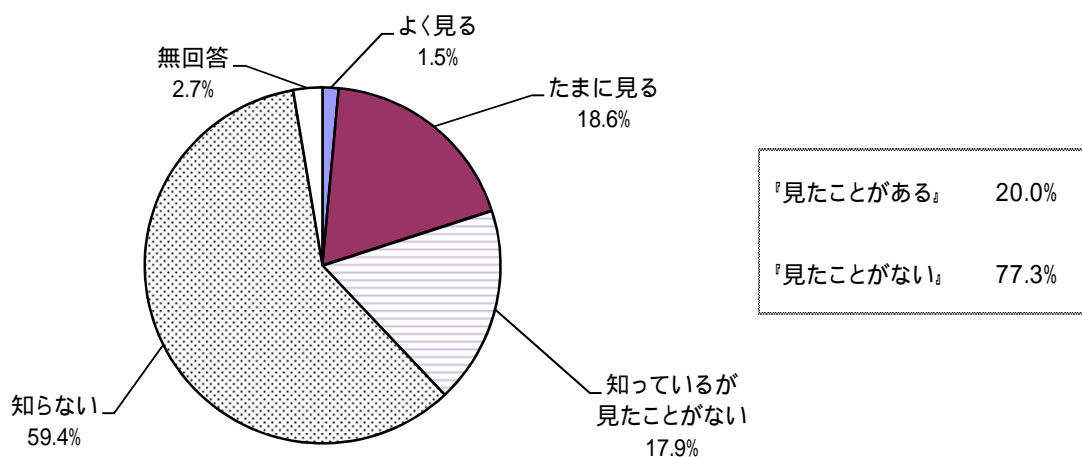
県では、県政ニュースやイベント情報、地域の特産品等を紹介する県民情報番組「ひょうごワイワイ」をサンテレビで日曜朝10時（再放送は月曜夕方6時）から放送していますが、ご覧になったことはありますか。次の中から1つ選んで番号にをつけてください。

- 1 よく見る
- 2 たまに見る
- 3 知っているが見たことがない
- 4 知らない

【全 県】

県民情報番組の視聴状況は、「よく見る」と「たまに見る」を合わせた『見たことがある』は2割となっている。

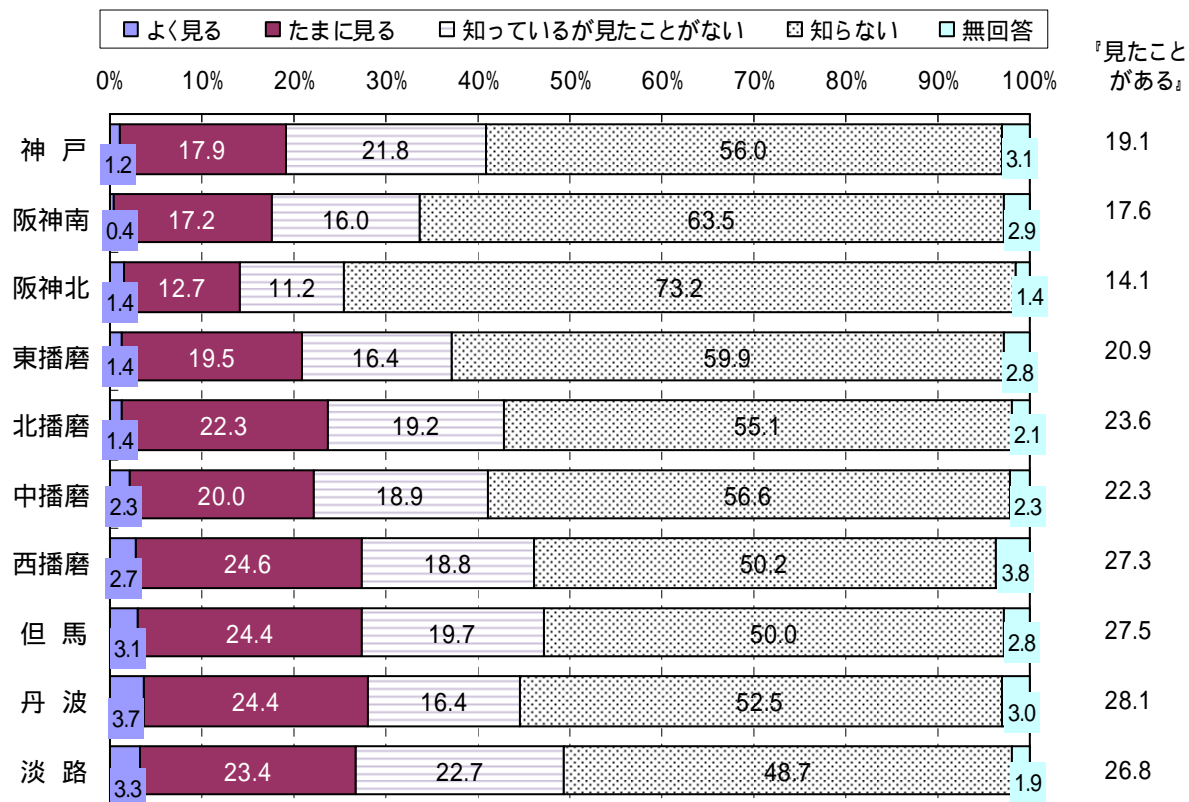
県民情報番組「ひょうごワイワイ」の視聴



【地域別】

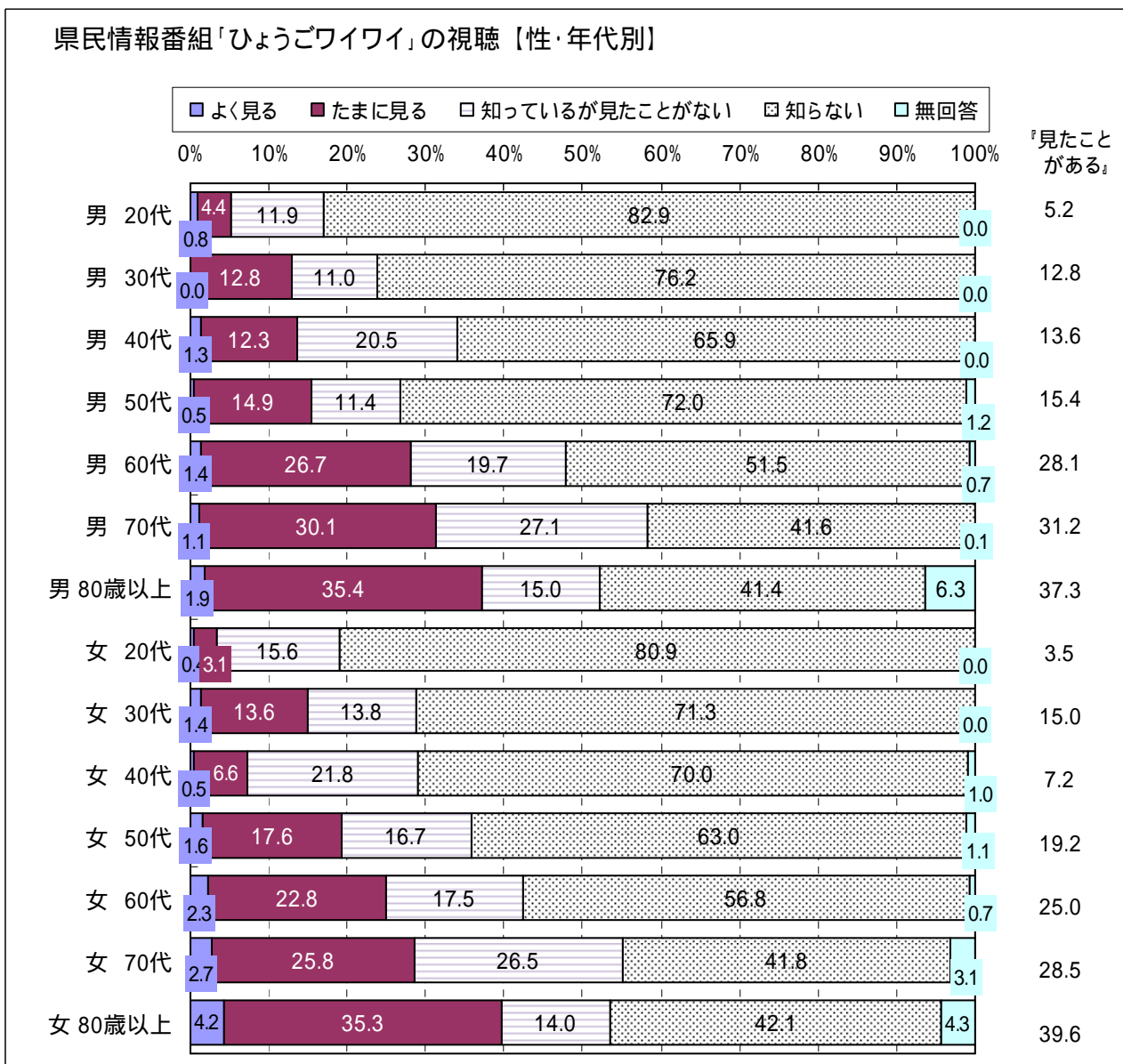
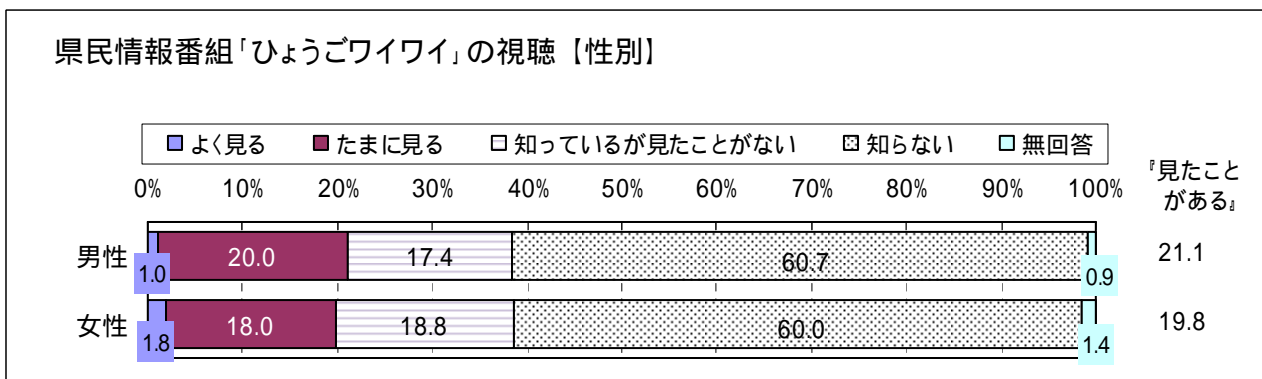
『見たことがある』では、丹波が最も多く3割弱、次いで但馬、西播磨、淡路と続いている。
 「知らない」では、阪神北が7割強、阪神南が6割強となっている。

県民情報番組「ひょうごワイワイ」の視聴【地域別】



【性別、性・年代別】

性別による違いはみられないが、性・年代別では、男女ともに年齢が高くなるほど『見たことがある』が増えている。





ひょうごの環境と今後の再生可能エネルギー

平成24年度県民意識調査

兵庫県では、次世代に継承する“環境適合型社会”の実現をめざし、平成20年12月に「第3次兵庫県環境基本計画」を策定しました。

まもなく計画の見直し時期を迎えることから、皆さんの環境問題に関する現在の意識や取り組みと、東日本大震災の影響により、近年、急速に関心が高まっている再生可能エネルギーについてご意見をお伺いし、本県の環境及びエネルギー施策に活用していきたいと考えています。

今回、多くの県民の皆さんの中から、あなたを回答者として選ばせていただきました。お忙しい中誠に恐縮ですが、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。



平成24年9月

兵庫県知事 井戸 敏三

回答ご記入についてのお願い

ご回答は、必ず**あて名の方が**ご記入くださいますようお願いいたします。
ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、恐縮ですが、**9月26日(水)まで**にご返送くださいますようお願いいたします。
この調査は**無記名**でお願いしておりますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。
調査結果は、来年2月をめどに、県ホームページ等で公表するとともに、県政の貴重な資料として活用させていただきます。
ご不明な点がありましたら、下記にお問い合わせください。また、点字の調査票を用意いたしますので、必要な場合は下記までご連絡ください。
兵庫県企画県民部 広聴室広聴係 TEL078(362)3021

「ひょうごの環境」に関することについてお聞きします。

問1 現在、地球規模に及ぶさまざまな環境問題が生じています。次の中から、あなたが特に関心をもっていることを**2つまで**選んで番号にをつけてください。

- 1 手つかずの自然の減少
- 2 砂漠の拡大
- 3 生物種の減少や消失
- 4 海洋や大気汚染
- 5 黄砂や酸性雨などの影響
- 6 オゾン層の破壊
- 7 地球温暖化
- 8 その他
- 9 特にない

問2 あなたは、お住まいの周辺の環境にどの程度満足していますか。次のア～カについて、**それぞれの項目ごとに1つ**選んで番号にをつけてください。

満足	やや満足	いどちらもないとも	やや不満	不満
----	------	-----------	------	----

- | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---|---|---|---|
| ア 空気のきれいさ
(粉じん、排気ガスなど) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| イ 川・池・海などのきれいさ
(汚れ、濁り、水辺のごみなど) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ウ におい
(工場、飲食店等のおいなど) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| エ 静けさ
(車、鉄道、近隣からの騒音など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| オ 身近な自然とのふれあい
(田畑や公園の緑、動植物など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| カ 地域の美しさ・ゆとり
(街路樹、ごみ、違法駐車など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問3 リサイクルや河川の清掃、緑化、自然保護など、環境をよりよくするための活動について、あなたはどのように関わっていますか。次のア～ケについて、**それぞれの項目ごとに1つ**選んで番号にをつけてください。

	既に参加している	参加したいと思う	関心がない
ア 環境についての講習会や勉強会	1	2	3
イ 古紙・牛乳パックなどの回収活動	1	2	3
ウ マイバッグ持参など環境にやさしい買物運動	1	2	3
エ 探鳥会など自然の観察活動	1	2	3
オ まちなみや史跡を守る活動	1	2	3
カ 地域の美化・緑化活動	1	2	3
キ 里山の手入れや森林の環境保全活動	1	2	3
ク 川・池や海(藻場、干潟を含む)の環境保全活動	1	2	3
ケ その他	1	2	3

問3-2 【問3】の各項目で1又は2を選択された方にお聞きします。それらの活動にあなたが参加する(した)きっかけはどのようなことですか。次の中から**該当するものを全て**選んで番号にをつけてください。

- 1 家族や知り合いの勧め
- 2 地域での熱心な取り組み
- 3 活動団体などのホームページやブログ
- 4 シンポジウムや講演会などでの学習
- 5 県や市町の広報
- 6 ミニコミ誌やCATVなどでの情報
- 7 新聞やテレビなどマスコミでの報道
- 8 その他



問4 次のア～ツについて、あなたが普段の生活の中で現在していることやこれからしたいことがあれば、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に をつけてください。

現在している	これからしたい
--------	---------

省エネルギー	ア 使用していない家電製品のコンセントをぬく	1	2
	イ 冷蔵庫の適正使用（ドアの開閉時間を短くする、物をつめすぎない）	1	2
	ウ テレビをつけっぱなしにしない	1	2
	エ 冷暖房は適温にする（冬は20、夏は28前後）	1	2
	オ 省エネタイプの家電製品を使用する	1	2
	カ 照明器具はLED電球を使う	1	2
	キ 住宅の保温、断熱化を行う（カーテン、二重窓など）	1	2
	ク 自家用車の利用を控え、バス・電車・自転車を利用する	1	2
	ケ アイドリング・ストップ（自動車の駐停車中のエンジン停止）を行う	1	2
	コ 低公害車（電気自動車、ハイブリッド自動車、低燃費・低排出ガス車など）を利用する	1	2
省資源・リサイクルなど	サ 夏場に家庭内の電気使用を抑えるため、身近な商業施設や公共施設など（クールスポット）に出掛ける	1	2
	シ 過剰包装の商品は買わない	1	2
	ス 買物の際、マイバッグを持参してレジ袋を断る	1	2
	セ 衣服や家具、家電製品は、修繕・修理して使用する	1	2
	ソ ビンやプラスチック容器は、中身だけを詰め替えて使用する	1	2
	タ チラシや包装紙などを計算用紙、封筒などにして再使用する	1	2
	チ 新聞紙、雑誌などを分別してリサイクル業者に出す	1	2
	ツ 生ごみ処理機を使用する	1	2

問5 あなたが環境について学ぶとすれば、どのようなことを重視しますか。次の中から2つまで選んで番号に をつけてください。

- 1 環境問題をわかりやすく理解できること
- 2 工場見学等を通じて、環境関連技術を実際に見て学べること
- 3 活動を実践している人達の取り組みを知ること
- 4 インターネットなどでいつでも一人でも取り組めること
- 5 海や川、里山などで活動し、自然を体験すること
- 6 実際に動植物を守り育て、命を育むこと
- 7 大人や子供、地域団体などが交流できること
- 8 その他
- 9 わからない

問6 県が環境学習を推進する上で、特に重要と思われることはどのようなことですか。次の中から2つまで選んで番号に をつけてください。

- 1 情報提供や相談体制の充実
- 2 学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実
- 3 防災や国際理解なども学習できるプログラムの提供
- 4 住民やNPO、学校、事業者、市町などの連携の強化
- 5 指導者の育成や地域・学校などへのアドバイザー派遣
- 6 自主的な活動に対する助成や機材提供などの支援
- 7 学習に取り組める拠点施設の整備
- 8 その他
- 9 わからない

「再生可能エネルギーの利用」に関することについてお聞きします。

エネルギー資源が少ない日本で、今、新たなエネルギーとして注目されているのが、太陽光や風力、バイオマスなど自然の力を利用した「再生可能エネルギー」です。

問7 次のア～キの再生可能エネルギーについて、あなたはどの程度ご存じですか。それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に 印をつけて下さい。

知っている	聞いたことがある	全く知らない
-------	----------	--------

ア 太陽光発電	1	2	3
イ 太陽熱利用	1	2	3
ウ 風力発電	1	2	3
エ バイオマス利用	1	2	3
オ 小水力発電	1	2	3
カ 地熱発電	1	2	3
キ 潮流発電	1	2	3



兵庫県マスコット はばタン

折り返しです！
残り半分ご協力をお願いします！

問8 あなたのご家庭や地域で利用している電力や熱源で、再生可能エネルギー等の設備の導入状況についてお伺いします。次のア～クについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に 印をつけて下さい。

	既に導入している	将来的に導入したい	導入するつもりはない
ア 太陽光発電	1	2	3
イ 太陽熱温水器	1	2	3
ウ 風力発電	1	2	3
エ バイオマス利用	1	2	3
オ 小水力発電	1	2	3
カ 家庭用燃料電池 1	1	2	3
キ ヒートポンプ給湯器 2	1	2	3
ク 家庭用蓄電池	1	2	3

1 都市ガスやLPガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させ、電気をつくり出す設備。一般的にはエネファームという名称で販売されている。

2 エアコンと同じヒートポンプの原理を用いた給湯器の総称。一般的には、エコキュートという名称で販売されている。

問9 あなたのご家庭で再生可能エネルギー等を導入する際の課題や問題点はどのようなことだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。

- 1 設備の価格が高い
- 2 補助金等の支援制度がない
- 3 設備等の内容・仕組みが分からない
- 4 電力の買取制度の仕組みがわからない
- 5 環境保全への貢献が期待できない
- 6 電気代等の節約効果が期待できない
- 7 設置する場所がない
- 8 その他 ()
- 9 関心がない

問10 今後、再生可能エネルギー等を普及させるためのコストを、消費者が負担することとした場合、ご家庭の電気料金のうち、月額あたり何割までなら負担が増えてもよいと思われますか。次の中から1つ選んで をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 1割増まで | 4 3割増以上 |
| 2 2割増まで | 5 わからない |
| 3 3割増まで | 6 負担できない |

問11 再生可能エネルギーの普及促進、蓄電池等の利用によるエネルギーの効率化を図るため、県としてどのような取り組みを進めるべきだと思いますか。次の中から2つまで選んで をつけてください。(選択肢の続きは右段上に続きます。)

- 1 再生可能エネルギー等に関する設備導入時の補助・融資
- 2 公共施設等における再生可能エネルギー等の導入

- 3 再生可能エネルギー等についての広報・普及活動の強化
- 4 新技術・新製品の開発に対する支援
- 5 太陽光発電等へ出資する市民ファンド(発電事業に地域住民自らが出資)の仕組みづくり
- 6 その他 ()
- 7 再生可能エネルギー等の普及促進を行う必要はない

「生活全般や県政」に関することについてお聞きします。

問12 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | |

問13 あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に をつけてください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
ア 所得・収入	1	2	3	4	5
イ 貯蓄などの金融資産	1	2	3	4	5
ウ 住居	1	2	3	4	5
エ 車、家具などの耐久消費財	1	2	3	4	5
オ 時間のゆとり	1	2	3	4	5
カ 趣味やレクリエーションへの取組	1	2	3	4	5
キ 地域活動やボランティアへの取組	1	2	3	4	5
ク 仕事の内容	1	2	3	4	5
ケ 家族との関係	1	2	3	4	5
コ 知人や近所の人との関係	1	2	3	4	5
サ 住んでいる地域の住み心地	1	2	3	4	5
シ あなた自身の健康	1	2	3	4	5
ス 家族の健康	1	2	3	4	5

問14 あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1 向上している | 3 低下している |
| 2 同じようなもの | 4 わからない |

問15 あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 起こると思う | 4 絶対起こらないと思う |
| 2 可能性は高いと思う | 5 わからない |
| 3 可能性は低いと思う | |

問16 あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。

- 1 現在参加している 3 参加していない
2 過去に参加したことがある 4 わからない

問17 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に をつけてください。

- 1 大変関心がある 3 ほとんど関心がない
2 多少関心がある 4 全く関心がない

問18 県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に をつけてください。

	よくやっている	まあまあやっている	どちらともいえない	もう少し努力が必要	もっと努力が必要
--	---------	-----------	-----------	-----------	----------

ア 国際的な交流や協力	1	2	3	4	5
イ 県政の広報・広聴活動	1	2	3	4	5
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1	2	3	4	5
エ 防災対策の充実	1	2	3	4	5
オ 生涯学習活動への支援	1	2	3	4	5
カ 芸術文化の振興	1	2	3	4	5
キ 環境の保全と創造	1	2	3	4	5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1	2	3	4	5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1	2	3	4	5
コ 県内中小企業の育成	1	2	3	4	5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1	2	3	4	5
シ 観光の振興	1	2	3	4	5
ス 農林水産業の活性化対策	1	2	3	4	5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1	2	3	4	5
ソ 良質な住宅の供給	1	2	3	4	5
タ 学校教育の充実	1	2	3	4	5
チ 交通安全・防犯対策	1	2	3	4	5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1	2	3	4	5

問19 あなたがお住まいの地域の県民局について、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に をつけてください。

- 1 県民局をよく知っており、行ったこともある
2 県民局は知っているが、行ったことはない
3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
4 県民局については全く知らない

問20 県では、県政ニュースやイベント情報、地域の特産品等を紹介する県民情報番組「ひょうごワイワイ」をサンテレビで日曜朝10時(再放送は月曜夕方6時)から放送していますが、ご覧になったことはありますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。

- 1 よく見る 3 知っているが見たことがない
2 たまに見る 4 知らない

最後に、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身や家族構成等についてお聞かせください。下記のことについて、あてはまるものに をつけてください。

F1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性

F2 あなたの年代は

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代
5 60代 6 70代 7 80歳以上

F3 あなたの職業は

- 1 自営業（農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む）
2 会社・団体などの正規社員（職員）
3 会社・団体などの役員
4 契約社員や派遣社員など
5 短時間勤務のパートタイマーやアルバイト
6 専業主婦（主夫）
7 学生
8 無職（専業主婦（主夫）・学生を除く）

F4 あなたが現在お住まいのところの郵便番号は

（ご不明の場合、当調査票をお届けした封筒に記載の郵便番号をご覧ください）

□□□ - □□□□

F5 あなたの同居のご家族の構成は

- 1 1人世帯
2 夫婦だけ（1世代）
3 自分(たち)と子ども、または親と自分(たち)（2世代）
4 親と子と孫（3世代）
5 その他（ ）



ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒でご返送ください。

兵庫県マスコット はばタン